

東戸塚駅自転車駐車場設計

設計図

昭和 60 年 月

横浜市道路局街路課

八千代エンジニアリング株式会社

NO.	図面名称	縮尺	NO.	図面名称	縮尺	NO.	図面名称	縮尺
01	設計概要	—	38	A棟 鉄骨詳細図(4)	S=1:30			
02	特記仕様書(建築工事) ①	—	39	、 X・Y角詳細図	S=1:20 S=1:50	74	特記仕様書(電気設備)	—
03	、 ②	—	40	、 斜路・階段詳細図(1)	S=1:20	75	電気設備 凡例・配置図	S=1:300
04	配置図	S=1:300	41	、 斜路詳細図(2)	S=1:20	76	A棟 電気設備 地階・1階平面図	S=1:100
05	A棟 面積表	S=1:200	42	、 通路橋梁 鉄骨詳細図	S=1:10 S=1:20	77	、 電気設備 2階・R階平面図	S=1:100
06	、 仕上表	—	43	、 平面詳細図・展開図	S=1:30	78	、 電気設備 1階話所平面図	S=1:30
07	、 ロット平面図・凡例	S=1:100	44	B棟 基礎図・面積表	S=1:200	79	通路橋 電気設備 平面図	S=1:100
08	、 地階・1階平面図	S=1:100	45	、 平面図	S=1:200	80	B棟 電気設備 平面図(1)	S=1:200
09	、 2階・R階平面図	S=1:100	46	、 立面図	S=1:200	81	分電盤 結線図	—
10	、 PH屋根伏図	S=1:100	47	、 断面図	S=1:200	82	照明器具 姿図	—
11	、 北・面立面図	S=1:100	48	、 矩計図	S=1:50	83	自動火災報知設備系統図・凡例	—
12	、 南・東立面図	S=1:100	49-1,2,3	、 斜路詳細図 A,B,C	S=1:50	84	自動火災報知設備 地階・1階平面図	S=1:100
13	、 東西断面図	S=1:100	50	、 階段詳細図	S=1:50 S=1:10	85	自動火災報知設備 2階・R階平面図	S=1:100
14	、 南北断面図	S=1:100	51	、 部分詳細図	S=1:20	86-1,2	B棟 電気設備平面図(2), B棟 管理小屋平面図	S=1:200, 1:30
15	、 矩計図	S=1:50	52	、 有効開口面積計算	S=1:200 S=1:50			
16	、 斜路 A・B 平面図	S=1:50	53	、 伏図(1)	S=1:200	87	通路橋 一般図	S=1:100
17	、 斜路 A・B 立面図	S=1:50	54	、 伏図(2)	S=1:200	88-1,2	、 床版(①), (②)	S=1:30
18	、 斜路 C 平面図・断面図	S=1:50	55	、 軸組図	S=1:200	89-1,2,3,4,5	、 主桁(①), (②), (③), (④), (⑤)	S=1:20
19	、 階段 平面図・断面図	S=1:50	56	、 杭・基礎・スラブ・リスト・柱状図	S=1:30	90-1,2	、 高欄(①), (②)	S=1:20
20	、 外壁廻り詳細図	S=1:20	57	、 場所打ち杭配筋図	S=1:50	91	、 支柱 省	図示
21	、 建具表(1)	S=1:50	58	、 地中梁リスト	S=1:30	92	、 排水装置	S=1:20
22	、 建具表(2)	S=1:50	59	、 梁・スラブ リスト	—	93	、 伸縮装置・地覆	図示
23	、 部分詳細図(1)	S=1:10	60	、 部分詳細図	S=1:30	94	、 落橋防止装置	S=1:5
24	、 部分詳細図(2)	S=1:10	61-1,2	、 部分詳細図, 通路橋梁 鉄骨詳細図	S=1:30 S=1:10	95	、 杭・根巻き	図示
25	、 部分詳細図(3)	S=1:10 S=1:20	62	、 部分詳細図	S=1:20	96	、 照明受台詳細	—
26	、 部分詳細図(4)	S=1:10 S=1:20	63	、 部分詳細図	S=1:20	97	、 給排水管受台	—
27	、 有効開口面積計算	S=1:100	64-1	A・B棟 鉄骨構造標準図	—	64-2	B棟 管理小屋	S=1:50, 20
28-1,2	、 伏図(1)	S=1:100 S=1:200				64-3	山留計画図	S=1:100
29	、 伏図(2)	S=1:200	65	特記仕様書(給排水・換気設備)	—	64-4	A棟 浴室平面図, 立面図	S=1:100
30	、 X通り軸組図	S=1:200	66	器具表・機器表	—	64-5	、 側溝詳細図	S=1:30
31	、 Y通り軸組図	S=1:200	67	ドレンチャ-設備系統図	—	64-6	、 部分詳細図	S=1:30, 10
32	、 基礎リスト・柱状図・杭梁補強	S=1:20 S=1:30	68	A棟 地階・1階平面図	S=1:100	64-7	B棟 駅舎間通路 取合詳細図	S=1:20, 10
33	、 地中梁リスト・擁壁配筋図	S=1:30	69	、 2階・R階平面図	S=1:100	64-8	、 鉄骨詳細図	S=1:20, 10
34	、 柱・梁リスト表	—	70	通路橋 給水設備平面図	S=1:100	64-9	A棟 軒天伏図, 断面図	S=1:50
35	、 鉄骨詳細図(1)	S=1:10 S=1:30	71	B棟 給水設備平面図	S=1:200			
36	、 鉄骨詳細図(2)	S=1:30	72	ドレンチャ-ポンプ制御盤結線図 他	S=1:200			
37	、 鉄骨詳細図(3)	S=1:30	73	給排水設備系統図	—			—

設計概要

1. 地名地番 横浜市戸塚区品濃町 515-2 他

2. 用途地域 住居地域 商業地域

防火地域 防火地域 準防火地域

3. 主要用途 自転車駐車場

4. 建ぺい率・容積率 62.7% ・ 157.8%

5. 構造 A 棟 B 棟

躯体 鉄骨造 鉄骨造

基礎 杭基礎 杭基礎

杭 P H C 杭 A 種 (プレホーリン工法) 現場造成杭 (ベント工法)

6. 面積

1) 敷地面積 1200 m²

2) 建築面積 A 棟 423.376 m² B 棟 328.963 m² 計 752.339 m²

3) 延床面積

	B1 階	1 階	2 階	R 階	合計
A 棟	351.063	347.073	423.376	52.554	1,174.07 m ²
B 棟		307.211	307.211	105.282	719.71 m ²
合計	351.063	654.284	730.587	157.836	1,893.78 m ²

件名	横浜駅自転車駐車場設計			
図面名	設計概要			
縮尺		図面番号	1 /	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 7 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

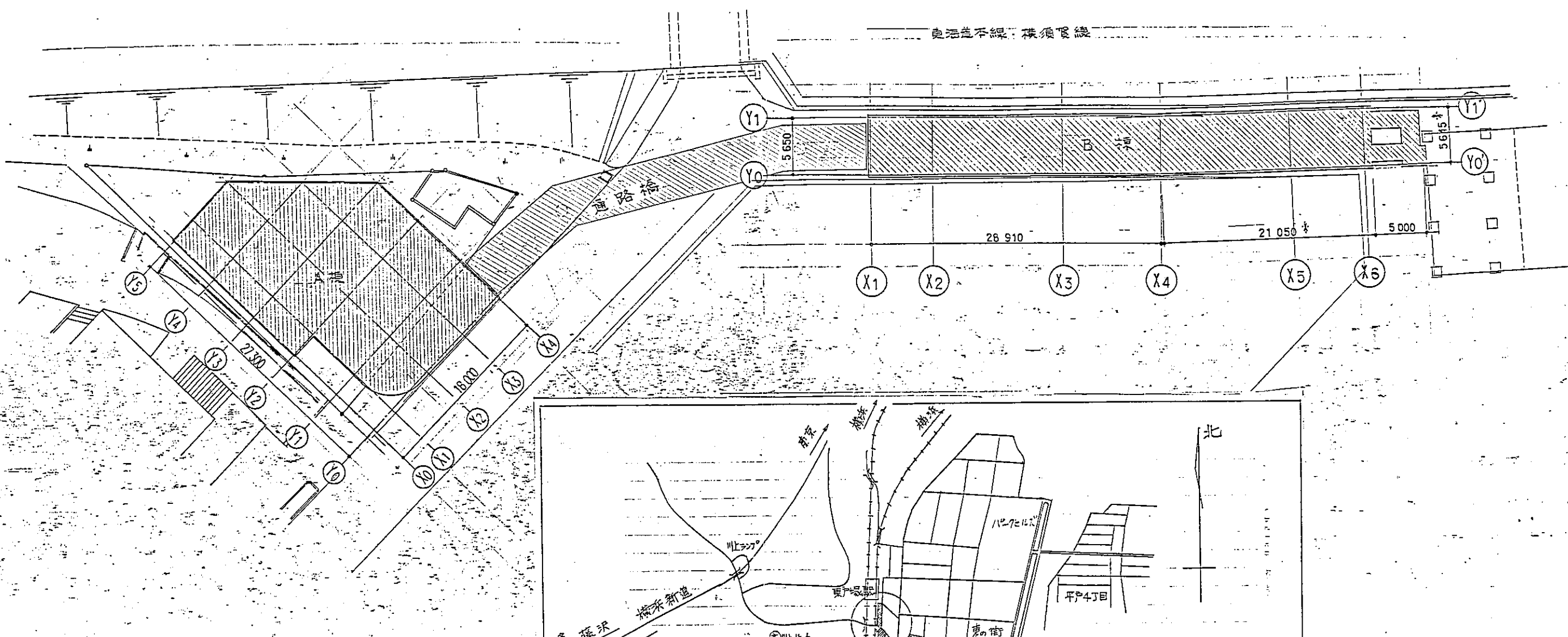
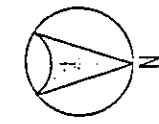
特記仕様書（建築工事）

1 一般共通事項			
1. 総則		2. 仮設工事	
1 適用範囲	本仕様書に記載されていない事項は、全て「建設大臣官庁官庁営繕部監修の「建築工事共通仕様書」、横浜市建設局の「横浜市建築工事特記仕様書」（昭和60年度版）」に依る。	1 敷地測量	建物の位置及びFLに付いての決定は、係員立会いの上行う。
2 工期	工期は契約工期を厳守する事。	2 仮囲い	敷地の周囲には適当な材料で仮囲いを設置する。尚、方法、材料等は係員の指示による。
3 工程表及び施工計画書	着工に先立ち工程表とともに施工計画書を作成し係員の承認を受ける。		
4 施工図	施工上必要な図面は遅滞なく作成し係員の承認を受ける。		
5 施工の検査	着工時検査：地盤高低図・各種施工図・敷地測量図・建物位置の確認及び検査 中間検査：杭製品検査、杭芯検査、杭打検査、根切検査、アンカーボルト検査、鉄骨現寸検査、 鉄骨製品検査、鉄骨建方検査、スラブ配筋検査。 竣工検査：竣工期日前に両者（市・施工者）立会いにて検査を行ない手直し、残工事完了の上再検査を竣工日までに行う事。	3. 土工事	
6 官公署その他の手続	本工事に必要な諸官公署その他の許可申請手続は、施行者にて行う。	1 堀削	歩道に隣接する部分の工事に際しては、係員の指示により適当な養生をする。
7 養生その他	工事中各工事に明示したもののほか、係員の必要と認めた場合には隣接歩道その他に対し損傷を生じないように養生を施す。又万一損傷部分に付ては現況に復旧する。	2 残土処分	残土は場外搬出とし搬出場所は係員の指示による。指示なき場合も係員の承認を得るものとする。
8 軽微な変更	現場のおさまり、取合わせなどの関係で材料の寸法、取付位置、取付け工法を多少変えるいはこれらにより取付け数量をいくぶん増減するなどの軽微な変更は係員の指示により行う。	3 埋戻し	埋戻土は係員の指示する場所へ置く。
9 工事に関する報告	許可申請（手続）、障害物、着工、根切、鉄骨現寸、建方施工等の写真と工事進行状況を寸章にて提出する。	4 土留工事	掘削・オーブンカット・山留壁・シートパイル・支保工・井型切梁
10 工事写真	各工事毎の写真をフリーアルバムに整理し提出する。	4. 地業及び基礎スラブ工事	
11 竣工図書	竣工検査時に竣工図作成の上、3部提出する。	1 杭	A棟 PHC杭 B棟 場所打コンクリート杭
12 契約	市指定による。	2 工法	プレボリング工法（A棟）及び、オールケーシング・ベント工法（B棟）とし施工計画書提出の上係員の承認を得る。
13 保険	労災保険：各建設場所毎にかけると。火災保険についてはその限りにあらず。	3 砂利材料	砂利は最大寸40～0mmの切込砂利または砕石とする。
14 発生物件	現場において発生した有価物件は一定の場所にまとめ、係員の指示により処理する。 又、工事中支障となる物件は係員の指示により処理する。	4 割り石材料	割り石はJIS A5006に適合する硬質のものまたは硬質の割玉石とする。
15 使用材料	特記なき限り市の指定材料とし、特記ある場合も係員の承認を得るものとする。 又、特に係員の指定する材料については見本品提出の上決定する。	5 捨コンクリート	捨コンクリートの圧縮強度は $f_c = 150 \text{ kg/cm}^2$ 以上とし7-カビリティーのよいものとする。
16 工事範囲	建築工事・電気設備工事・給排水衛生設備・外構工事		
17 工事規模	A棟 鉄骨造 地下1階 地上2階 延床面積 1,174.07 m ² B棟 鉄骨造 地上3階 延床面積 719.71 m ² 合 計 1,893.78 m ²		
18 工事用看板	工事用看板を設置すること。		

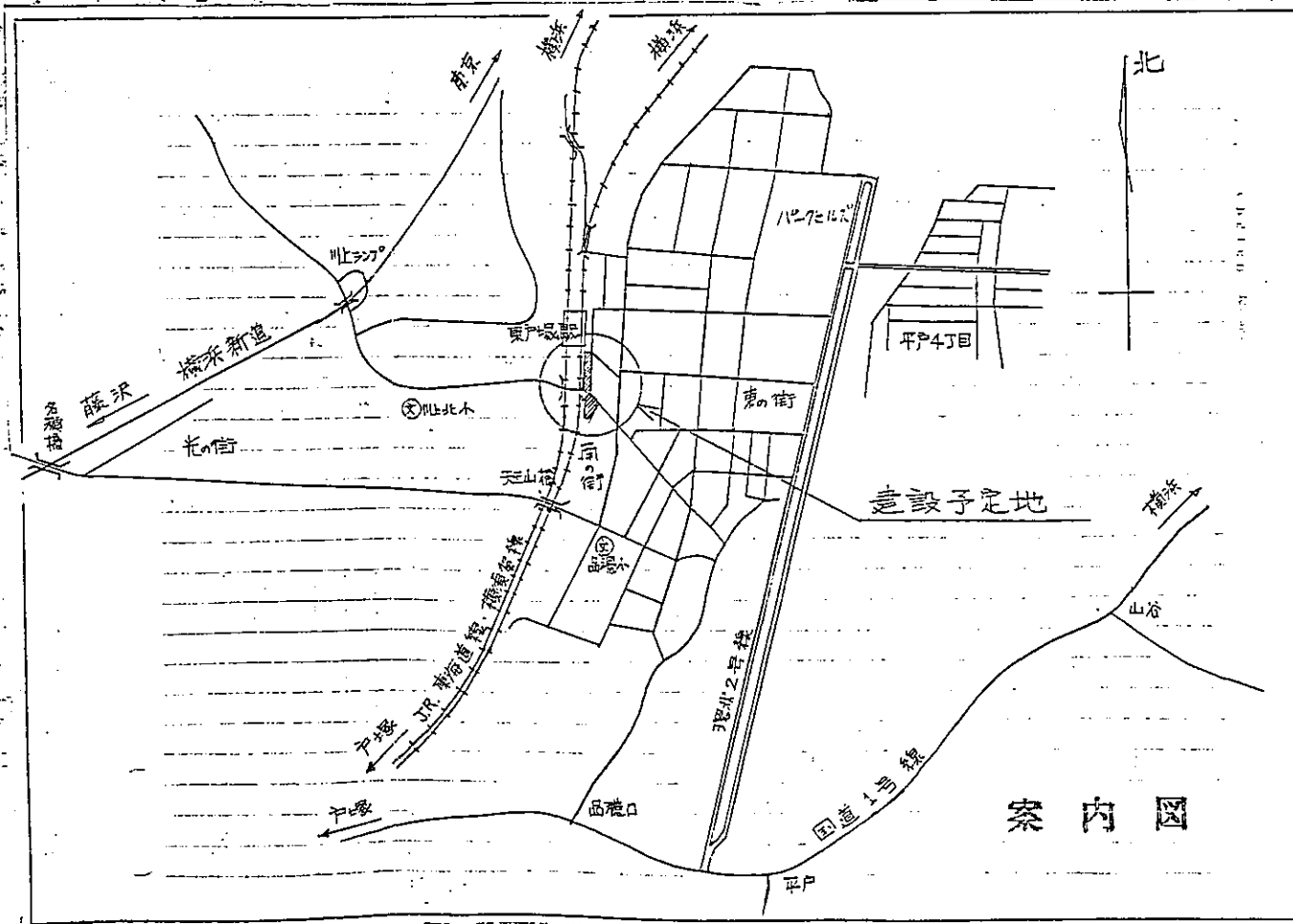
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	特記仕様書（建築工事）その1		
縮尺		図面番号	2 /
設計年月日	昭和 62 年 9 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

5. コンクリート工事		11. 塗装工事	
1. セメント材料	普通ポルトランドセメントを用いる。	1. 調合ペイント塗	一般鉄部 屋外 屋内 共に 17.4.4.表による (下塗2回 中塗1回 上塗1回)。 亜鉛めっき面 屋外 屋内 共に塗装種別はC種とする (下塗2回 中塗1回 上塗1回)。 仕上塗装色は係員の指示により 塗り見本を提出の上 決定する。
2. 設計基準強度	コンクリートの圧縮強度は $F_c 28 = 210 \text{ kg/cm}^2$ 以上とする。	2. 道路等標識塗装	白線マーキング トラフィックペイント同等品以上 仕上厚は 0.2mm 以上とする。
3. 所要スランプ	コンクリートの所要スランプは 15cm 以下とする。		
4. 製造	レディミクストコンクリートとし 調合表を前もって提出し 係員の承認を得るものとする。		
5. 鉄筋	D16以下はSD30 D19以上はSD35とする		
6. 圧縮試験	各工事箇所テストピースを採取し 1週 及び 4週 圧縮強度試験を行ない 試験表を提出する事。 テストピースの本数は 係員の指示による。		
		12. その他工事	
		a. マーク・サイン	製作図を提出し 係員の承認後 製作する。尚 色彩は 係員の指示により 見本品を提出し 承認を得ること。
6. 鉄骨工事		b. 白線マーキング	墨出しの際は 自転車立て位置を確認し 係員立会いの上 決定する事。
1. 品 質	SS41 (形鋼鋼板)・SS41 (軽量形鋼)・ボルト: 中ボルト・高張力ボルト: F10T ワッシャーボルトは ダブルナット締めとする。		
2. 塗 装	素地処理は C種素地処理とし 仕上げ塗料は JIS K 5622 (鉛丹仕上げペイント)とする。		
		c. エポキシ樹脂系塗床	ノンスリップ工法
7. 防水工事		d. 外 構	敷地内で工事に支障のある樹木は係員の指示により 処分する。 工事中損傷した歩道部分は 現状に復旧する。
1. 種 別	アスファルト保護防水 B-1種とする	e. 軽量乾式コンクリート板工事	50mm, 100mm (平板) および 100+25mm (デザインパネル)とし 割付けは施工図を提出し 係員の承認を得ること。
		f. ホーロー鋼板パネル工事	鋼板は ①1.6mmとし 裏打ち材 A種 吹付ロックウール ③30 B種 吹付ロックウール ③30 ホーローの厚さは 0.1~0.6mmとする。 表面の色調・光沢 仕上は見本品を提出し 係員の承認を得ること。 パネルの割付け及び工法は 施工図を提出し 係員の承認を得ること。
8. 金属工事			
1. 手摺 類	一般構造用炭素鋼 鋼管 (SGP) 各所別に製作図を作成の上 係員の承認を得た後 加工 製作する。		
9. 建具工事			
1. アルミサッシ 建具	アルミ製サッシは一般用及び ALC用 (シルバーサッシ見込 70% 米切幅 50%)とする		
2. 鋼 製 建具	鋼製建具は 甲種防戸 (常時閉鎖型)とする		
3. 木 製 建具	木製建具の表面板は 桧合板 ④40mmとする		
4. 重 量 シャッター	シャッターは 防火シャッターとし 煙感知器又は熱感知器と連動させる		
10. ガラス工事			
1. ガラス取付材料	ガラス取付は ポリサルファイド系 コーキング材を使用すること。		

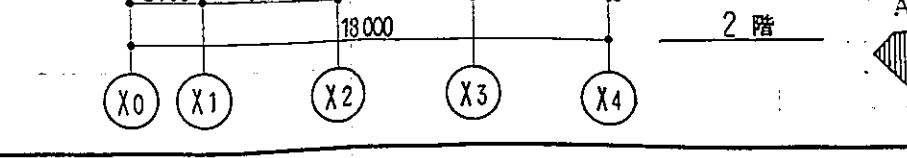
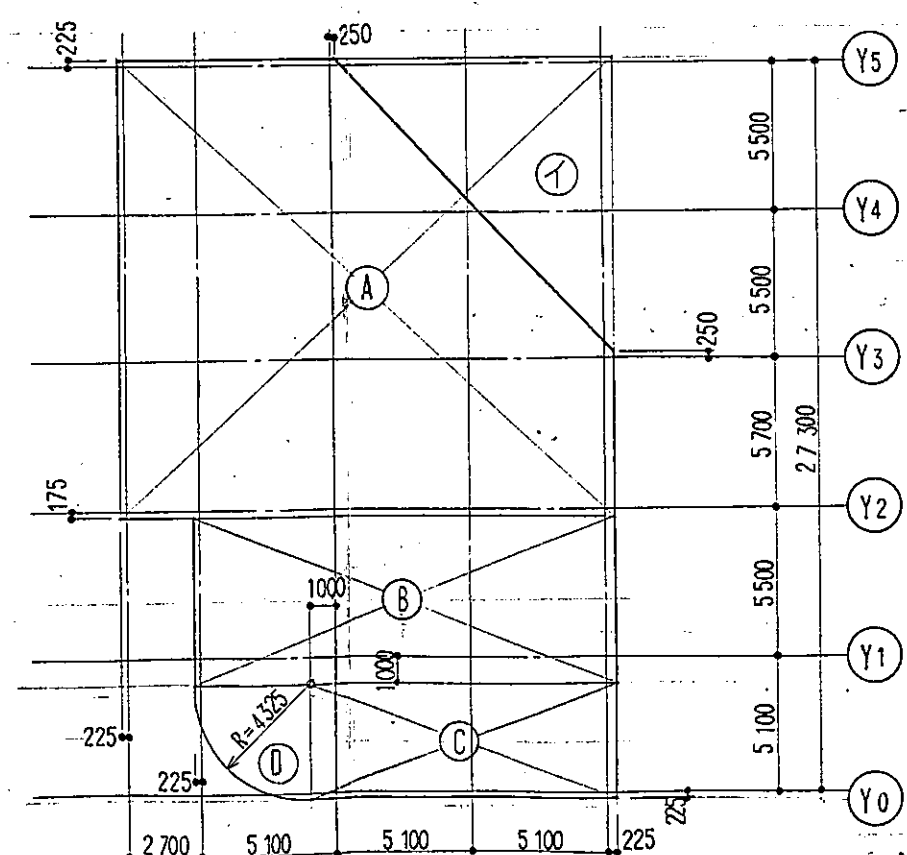
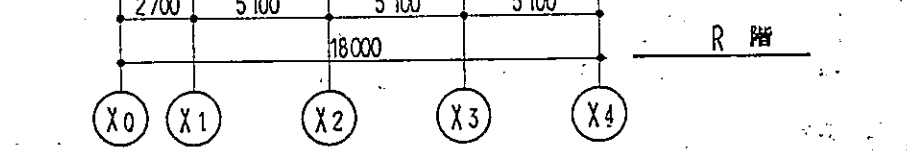
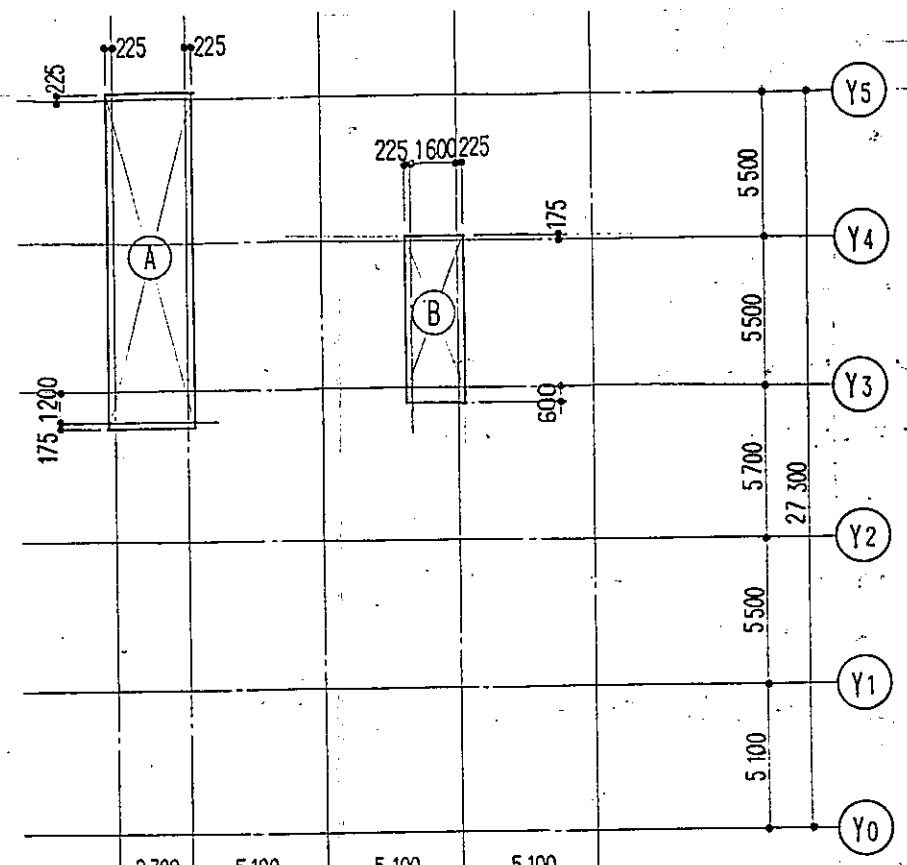
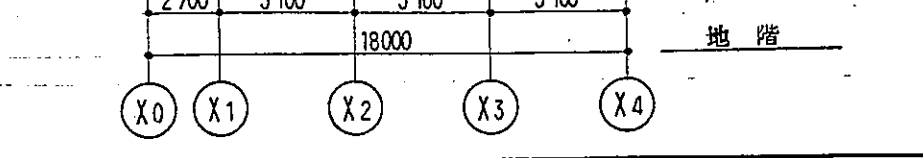
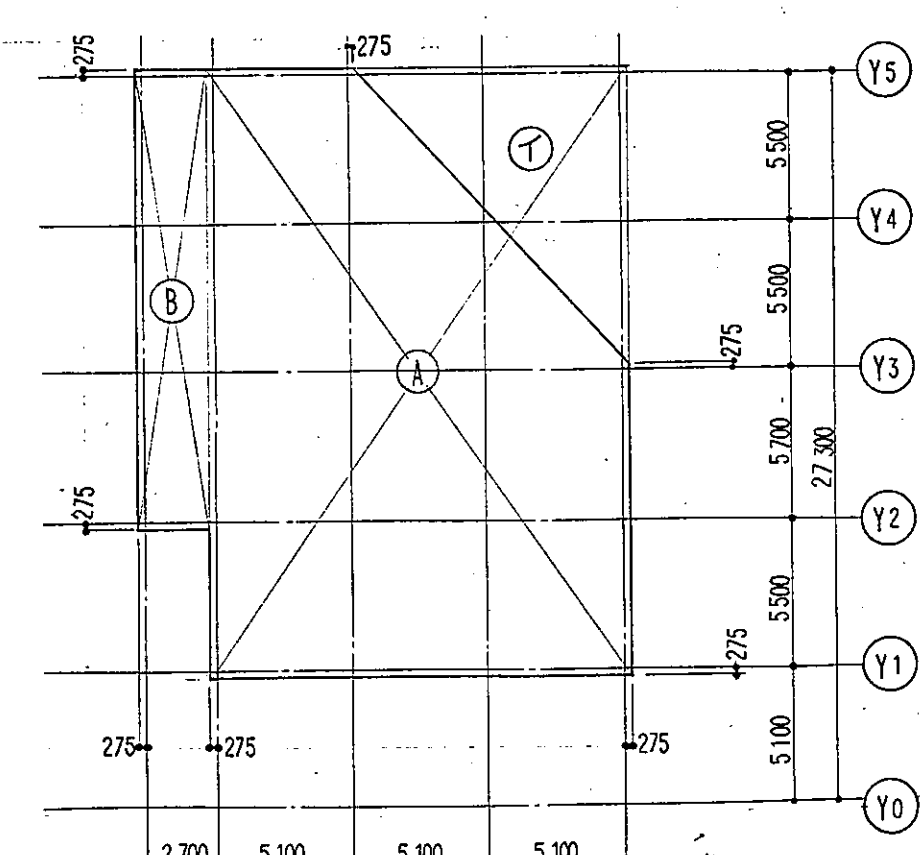
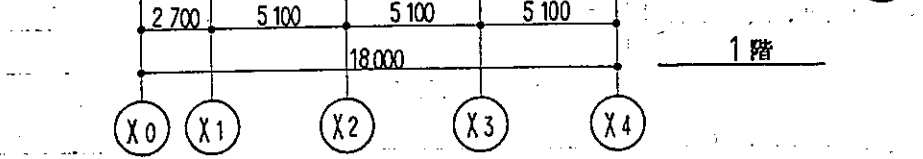
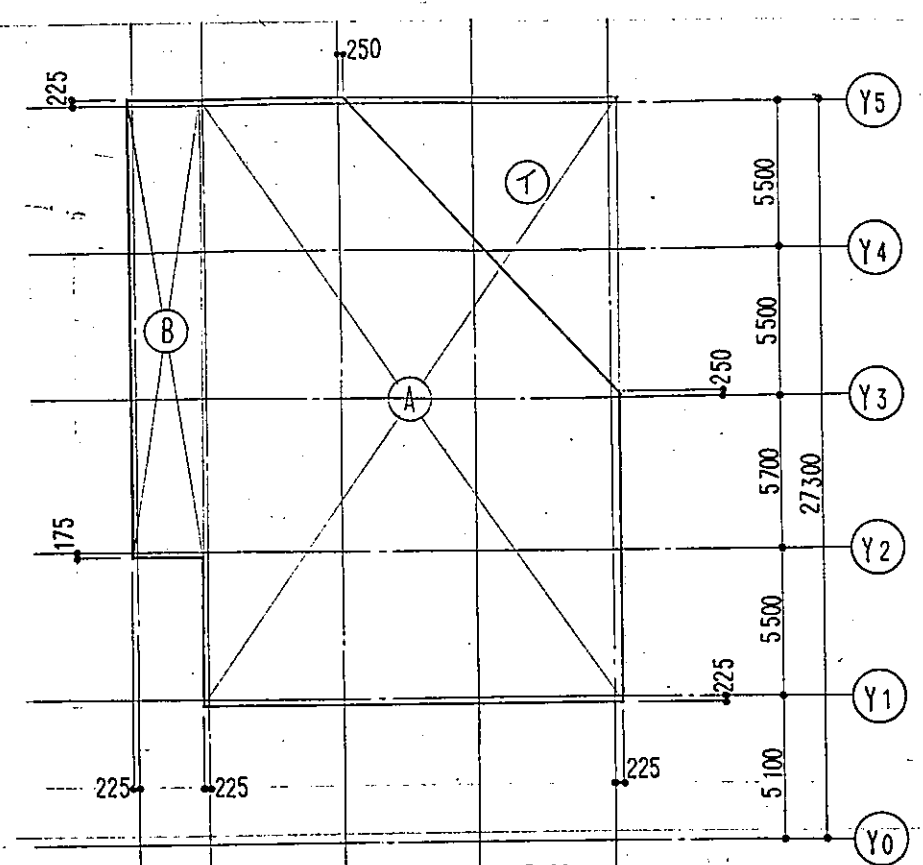
件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	特記仕様書 (建築工事) その2		
縮 尺		図面番号	3 /
設計年月日	昭和 62 年 9 月 29 日		
部 長		課 長	
		係 長	
		担 当	
横 浜 市 道 路 局			



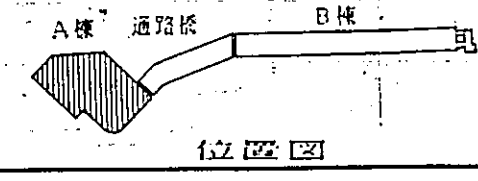
配置図 S=1:300



件名	東横駅自転車駐車場設計			
図面名	配置図			
縮尺	1/300	図面番号	4/	
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



面積表		
地階床面積		
(A)	15,850 x 22,750	360,588
(B)	2,700 x 17,250	46,575
(1)	10,200 x 11,000 x 1/2	56,100
(A)+(B)-(1)		351,063
1階床面積		
(A)	15,750 x 22,650	356,738
(B)	2,700 x 17,100	46,170
(1)	10,175 x 10,975 x 1/2	55,835
(A)+(B)-(1)		347,073
2階床面積		
(A)	18,450 x 17,100	315,495
(B)	15,750 x 6,325	99,619
(C)	11,425 x 4,325	49,413
(D)	4,325 x 4,325 x 3/4 x 1/4	14,684
(1)	10,175 x 10,975 x 1/2	55,835
(A)+(B)+(C)+(D)-(1)		423,376
R階床面積		
(A)	3,150 x 12,600	39,690
(B)	2,050 x 6,275	12,864
(A)+(B)		52,554
延床面積		1174,066 ^{m²}



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟面積表		
縮尺	1/200	図面番号	5/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 6 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

外部仕上表

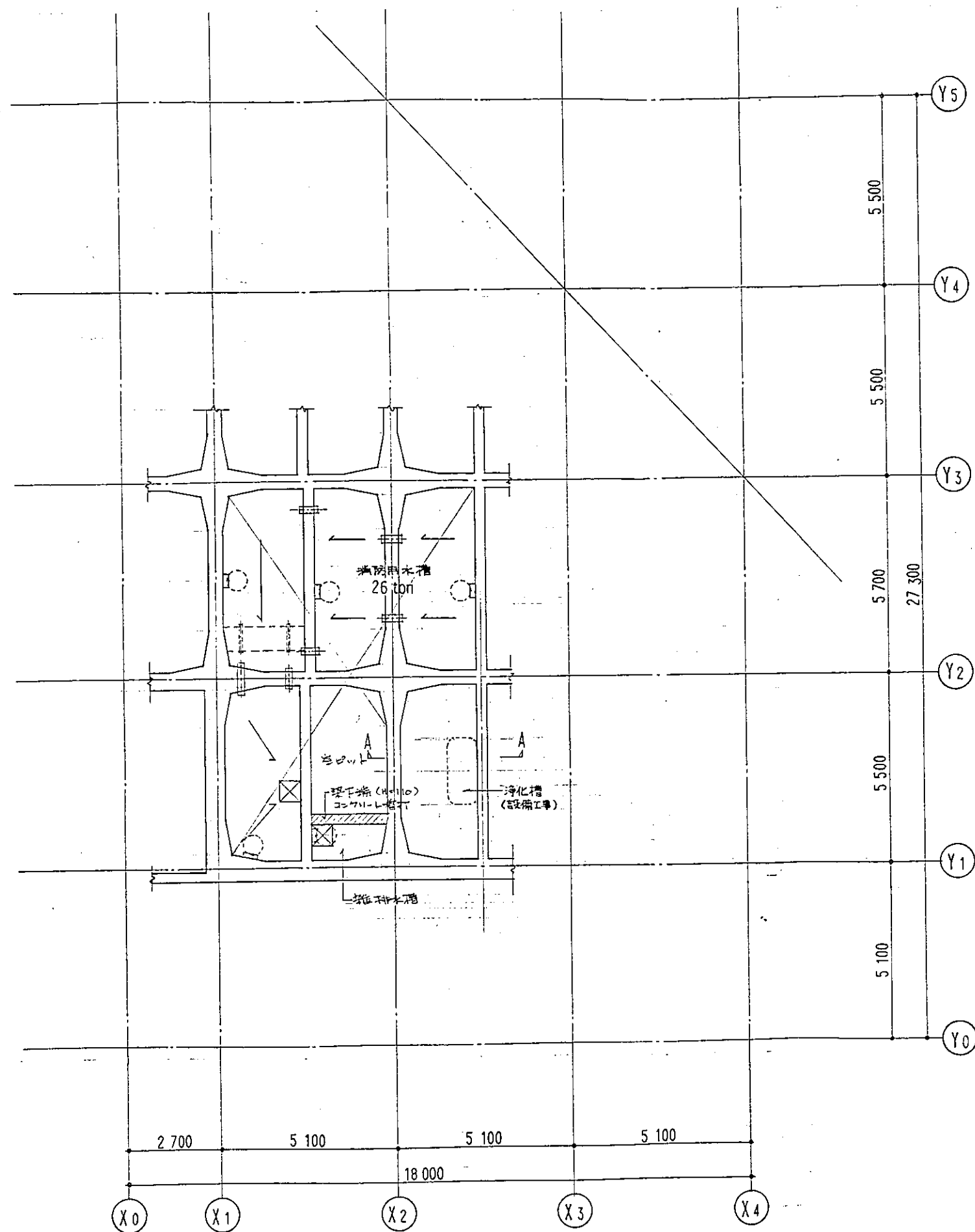
部 位	仕 上	備 考	部 位	仕 上	備 考
屋 上	コンクリート金ゴテ押え + アスファルト防水 (B-1) + 押えコンクリート 60~140金ゴテ押え + フェロコンハード仕上 (溶接金網 1/6 @100) ; 伸縮目地 : W25	転倒防止柵 : スチールパイプ OP	フェンス	スチール FB-9×50 B4 FB-6×40 OP	
屋上手摺	外周 : 外壁と同じ 内周 (H=500以上) : 軽鉄下地 ALCパネル 50 アクリル系吹付タイル 注 : ホロー鋼板パネル ; 水切 : ガラス板 0.8 曲げ加工	目かくしフェンス (アルミ既製品)	外 木	コンクリート打放し補修	
塔屋屋根	コンクリート金ゴテ押え + アスファルト防水 (D-1)	消火水槽基礎 配管取出用立上り			
バルコニー壁	アルミ (既製品) アルマイト処理		EXP.ジョイント (屋上のみ)	コーティング : L-65×65×6 B4 B-6×10 タール焼付 ジョイントカバー : C.B-6 タール焼付 軒端 : スチール 0.9 HL W×125 H×250 ; ドレインカバー : スチール金網	
外 壁	ホロー鋼板パネル張り または ALCパネル 100×25 アクリル系吹付タイル ; 目地 (共通) : シーリング (B種) 10×10 15×10 20×10	ALCパネル出隅部 (一部) : ガラス板 0.8 曲げ加工 2F ALC 隠蔽部 : ガラス板 0.8 曲げ加工			
開口部	アルミサッシ (ALC用 2F 一般用) アルマイト処理 ; ガラス : 網入遮熱板ガラス 6.8	木切出板 : アルミ既製品			
通気口	鉄製ルーフトライン (種別型) φ80, 100 B4 150 タール焼付 硬質塩ビパイプ φ80, 100 B4 150 VP		側 溝	現場打ちコンクリート 打放し補修 (天端のみ金ゴテ仕上) ; U字溝既製品 U-180, U-240	
軒 裏	軽鉄下地 アルミスパンフレット張り		受水槽基礎	天端 : コンクリート金ゴテ仕上 側面 : コンクリート打放し補修	
			桌椅用階段	踏面・蹴上 : モルタル金ゴテ仕上 側面 : コンクリート打放し補修 手摺 : スチールパイプ OP 柱 : スチール 鋼 100×100	
外部斜路 (斜路 A)	スロープ : コンクリート金ゴテ押え + エポキシ樹脂系塗料 (1mm厚仕上) ; 蹴上 : 鋼板 表わし OP 2面塗 ; 踏面 : シーリング付コンクリート平板 700×300 300×300 ; 蹴上 300×300 ; 蹴上表わし OP 2面塗 ; 手摺 : スチールパイプ OP				

内部仕上表

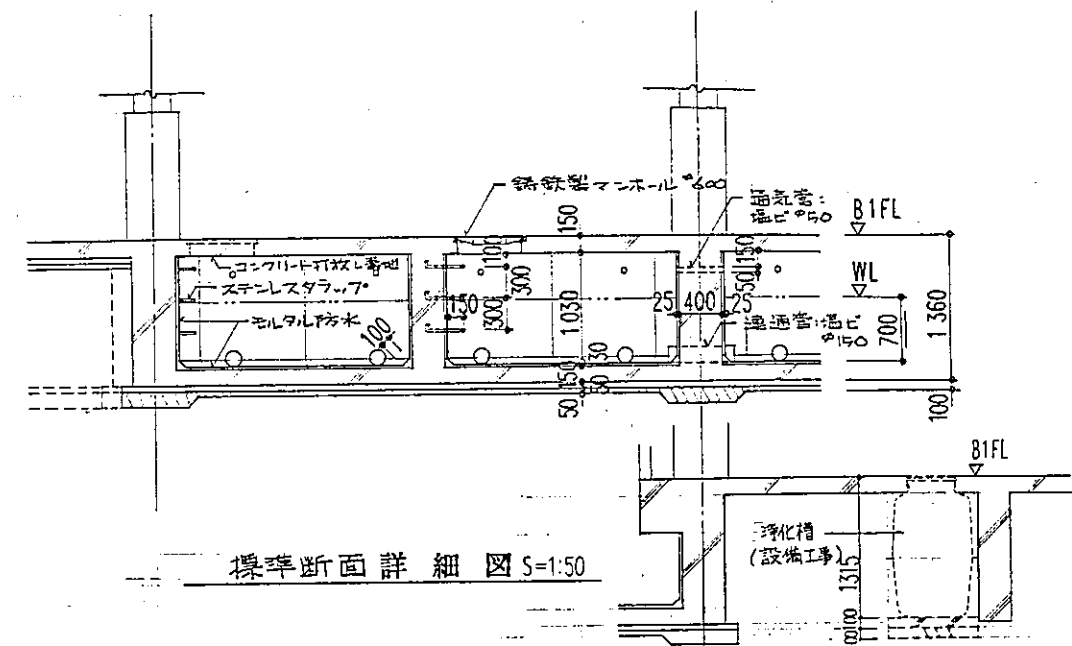
階	室 名	床	巾 木	壁	天 井	柱 ・ 梁	備 考
8 1 階	ミニバイク置場	コンクリート金ゴテ押え + フェロコンハード仕上	---	コンクリート打放し補修	デッキフロート E12 表わし	耐火被覆 : H≦FL+1200 ALC 5077116 吹付タイル H≦FL+1200 鉄骨 0.9 HL 板 0.25 AEP	床排水溝 : W=100, H=10~40 コンクリート金ゴテ 床下鉄管マンホール : 鉄製 600 床下鉄管パイプ : スチール既製品 ; ネットフェンス ホロー鋼板 床下鉄管マンホール B4 90mm : 全上
	ドレナボア室	コンクリート金ゴテ仕上	---	コンクリートアローフ 120 化粧板	全 上	---	---
1 階	ミニバイク置場	コンクリート金ゴテ押え + フェロコンハード仕上	---	外壁ホロー鋼板パネル部 : ALCパネル 50 アクリル系吹付タイル 外壁 ALCパネル部 : アクリル系吹付タイル ALCパネル 100 アクリル吹付タイル一部 (軽鉄下地 中壁) 隠蔽部 ALCパネル 50 AEP	デッキフロート E12 表わし	耐火被覆 : H≦FL+1200 ALC 5077116 吹付タイル H≦FL+1200 鉄骨 0.9 HL 板 0.25 AEP	床排水溝 : W=100, H=10~40 コンクリート金ゴテ 床下鉄管マンホール : 鉄製 600 床下鉄管パイプ : スチール既製品 ; ネットフェンス ホロー鋼板 床下鉄管マンホール B4 90mm : 全上
	管理人詰所	コンクリート金ゴテ押え + 長尺塩ビシート貼	ビニル巾木	60	フレキシブルボード 4	2 350	通気付 受付カウンター : メラミン化粧板貼 スチール流し台 : 1500 吊戸棚 : 900 スチール流し台 : 900
	便 所	全 上	全 上	60	全 上	2 200	全 上
2 階	自転車置場	コンクリート金ゴテ押え + フェロコンハード仕上	---	外壁ホロー鋼板パネル部 : ALCパネル 50 アクリル系吹付タイル 外壁 ALCパネル部 : アクリル系吹付タイル	デッキフロート E12 表わし	鉄骨表わし OP 2面塗	床排水溝 : W=100, H=10~30 コンクリート金ゴテ 転倒防止柵 : スチールパイプ OP
塔 屋	階段室	コンクリート金ゴテ押え + フェロコンハード仕上	---	外壁 (ALCパネル) アクリル系吹付タイル	デッキフロート E12 表わし	鉄骨表わし OP 2面塗	---
各 階 装 通	斜路 B, C	スロープ : コンクリート金ゴテ + エポキシ樹脂系塗料 (1mm厚仕上) ; 踏面 : シーリング付コンクリート平板 700×300 ; 蹴上 OP	---	---	段差 : 鉄骨表わし OP 2面塗	---	手摺 : スチールパイプ OP
	階段 A, B	踏面 : モルタル金ゴテ仕上 (ワイヤラス φ2750 角) ; 蹴上 : 鋼板表わし OP	---	---	全 上	---	100×100mm : スチール製

材料認定番号 フレキシブルボード 不燃 1001号
硬質塩ビ板 1061号

件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	A棟仕上表		
縮 尺	図面番号	6 /	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局			



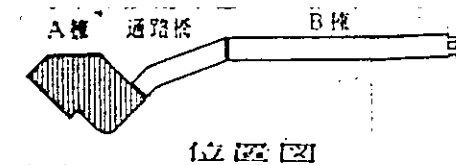
ピット平面図 S=1:100



A-A 断面図 S=1:50

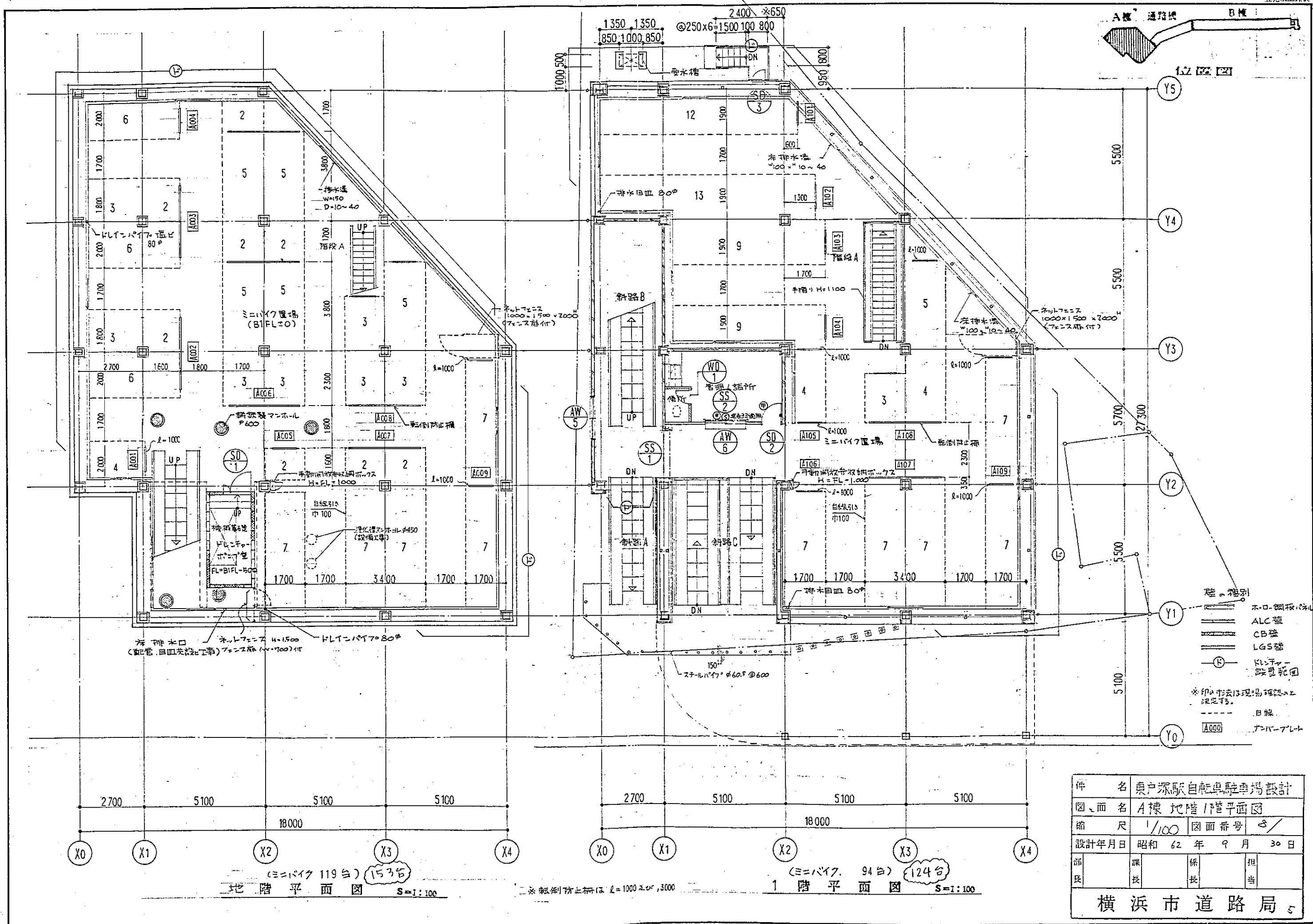
凡 例

記号	記 号
	上部:通気管 塩ビパイプ 50φ
	下部:通気管 150φ
	通気管:塩ビパイプ 25φ
	管端:600 ^W × 600 ^H
	ステンレスダクト(既製品)
	上部 鉄筋製マンホール 600

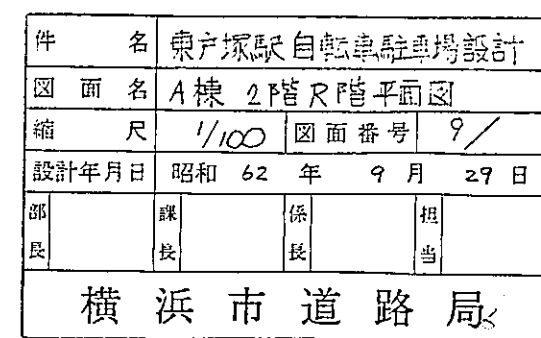


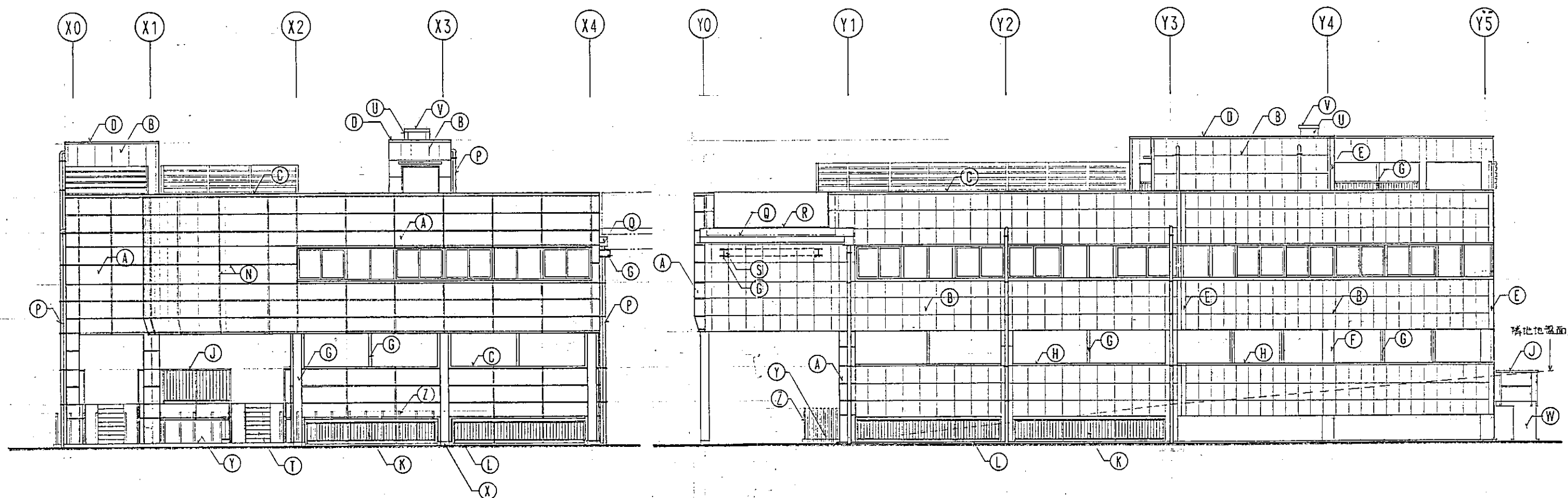
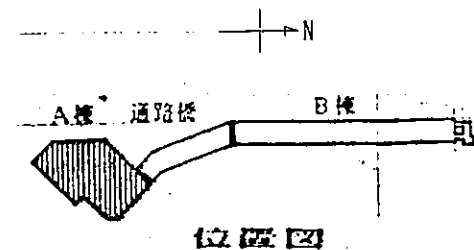
位置図

件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図 面 名	A棟ピット平面図・凡例			
縮 尺	1/100	図面番号	7/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 30 日			
部 長	課 長	係 長	担 当	
横 浜 市 道 路 局				



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟 地階1階平面図			
縮尺	1/100	図面番号	3/	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部	課	係	担当	
長	長	長		
横浜市道路局 5				



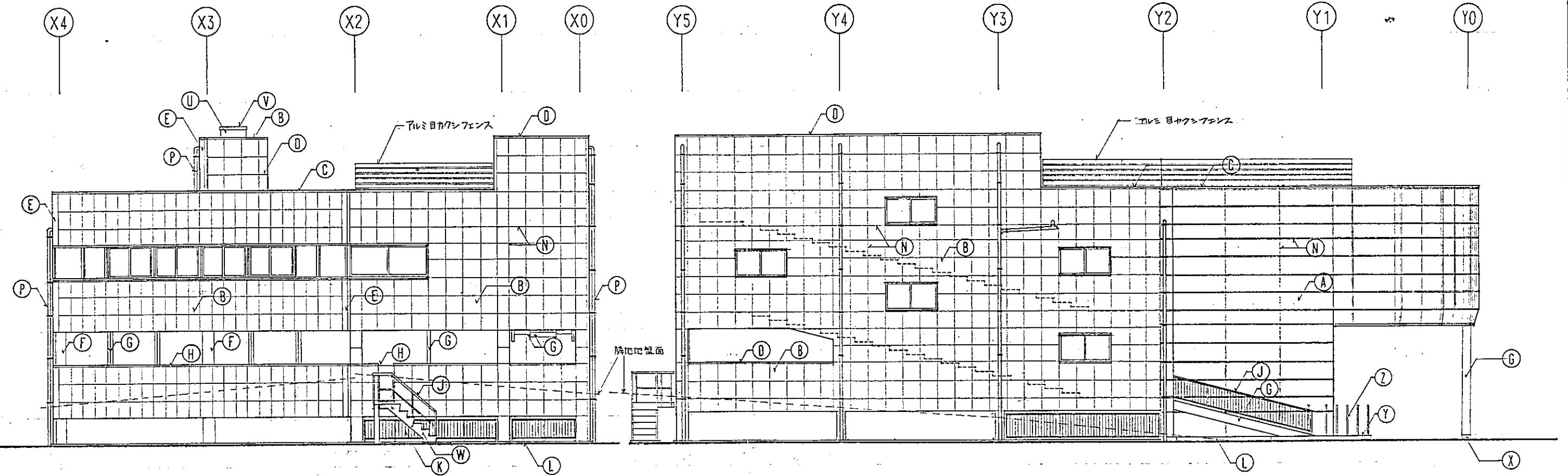
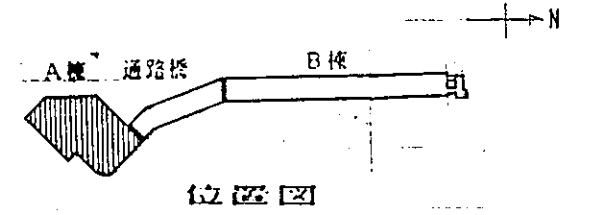


北 立 面 図 S=1:100

西 立 面 図 S=1:100

記号	仕 上	記号	仕 上	記号	仕 上
A	外壁面仕様: エーロ-鋼板パネル	J	手摺面仕様: スチールパイプφ48 ⁵ 、42 ⁷ 、34 ⁹ 、21 ¹ OP	S	×7ラ板: カラー鉄板のOB加工OP
B	外壁: ALCパネル100+25 アクリル系吹付タイル	K	フェンス: スチールFB-9×50 26 FB-6×40 OP	T	階段面仕様: 蹴上部 鉄骨骨組み OP 斜路部 30 ² リットル系吹付タイル
C	手摺面仕様: ホーロ-鋼板パネル	L	外壁面: コンクリート打放し補修	U	配管上り外壁: コンクリート打放し補修 アクリル系吹付タイル
D	パラペット面仕様: アルミ既製品 タイル処理			V	配管上り屋根: 防水モルタル金ゴテ工
E	コーナ-カバー: カラー鉄板φ0.8加工	N	外壁面地: 不燃性ファイバーシート	W	屋根外壁面仕様: コンクリート打放し補修
F	耐火被覆: 珪酸塩カルシウム板φ25 アクリル系吹付タイル	P	壁面: 硬質塩ビパイプφ80、100及び150 VP	X	根巻: スチールφ1.0 アクリル
G	鉄骨骨組み OP 2面塗り	Q	軒樋 (E×P ジョイント部): 鋼板φ3.2 加工 (スチールφ0.5 HL 内貼)	Y	コンクリート金ゴテ押え
H	手摺面仕様: カラー鉄板φ0.8加工	R	コーナ-補強金物: L-65×65×6 タール焼付	Z	スチールパイプφ60.5 OP

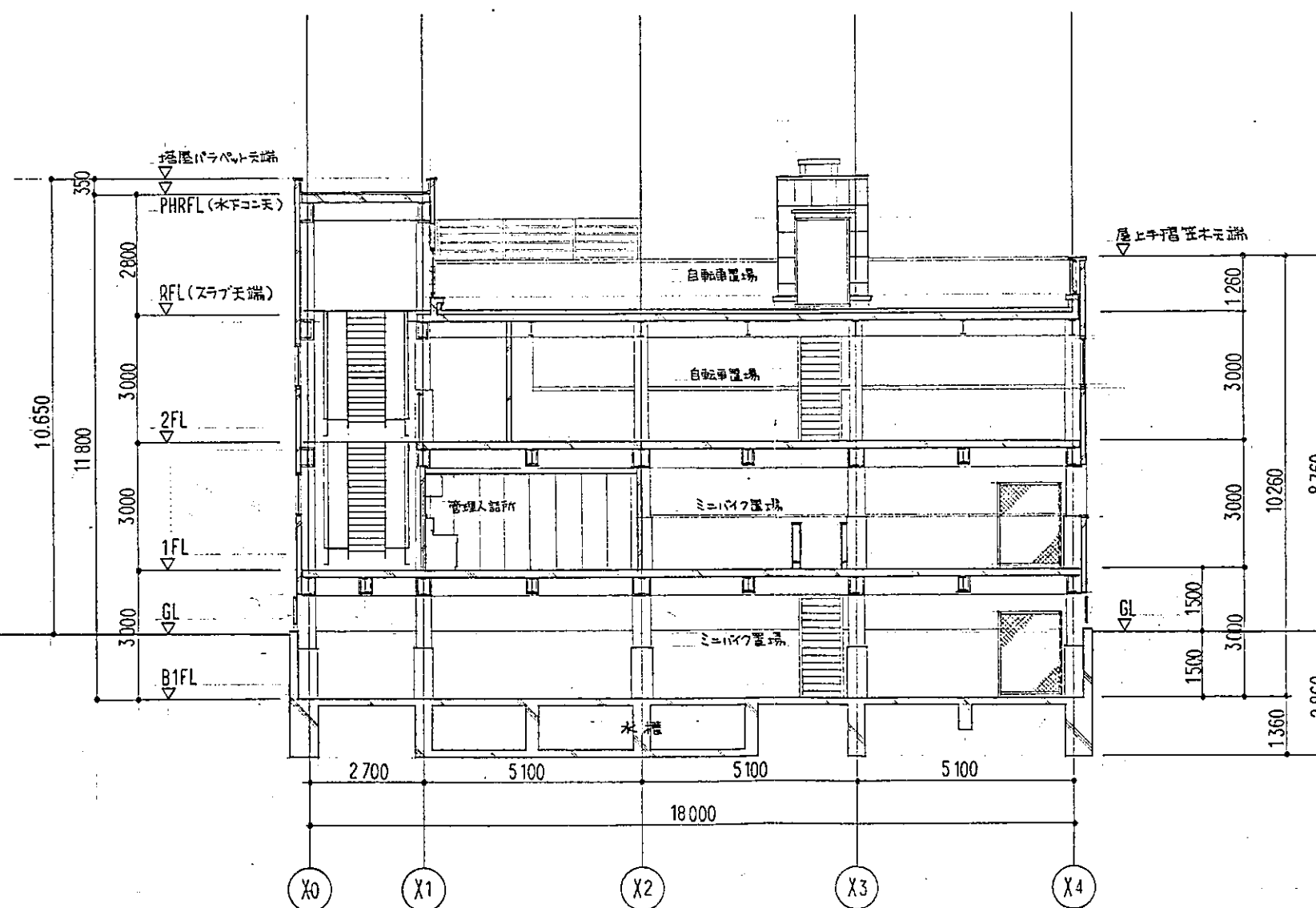
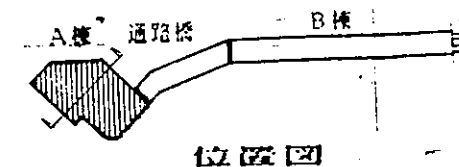
件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	A棟 北西立面図		
縮 尺	1/100	図面番号	11/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局			



南立面図 S=1:100

東立面図 S=1:100

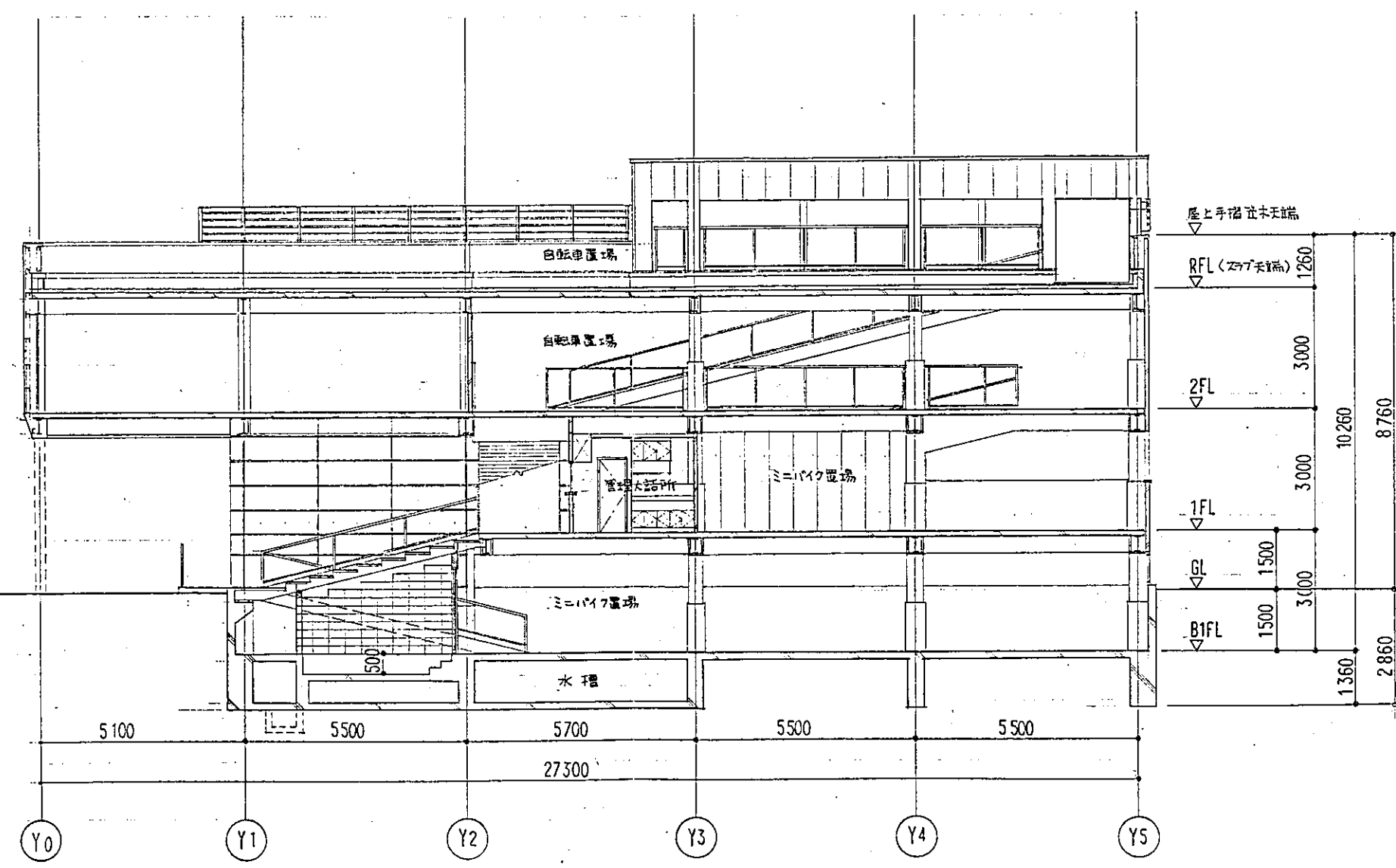
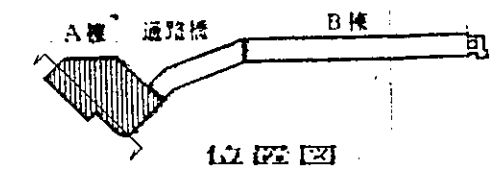
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟南東立面図		
縮尺	1/100	図面番号	12/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



東西断面図 S=1:100

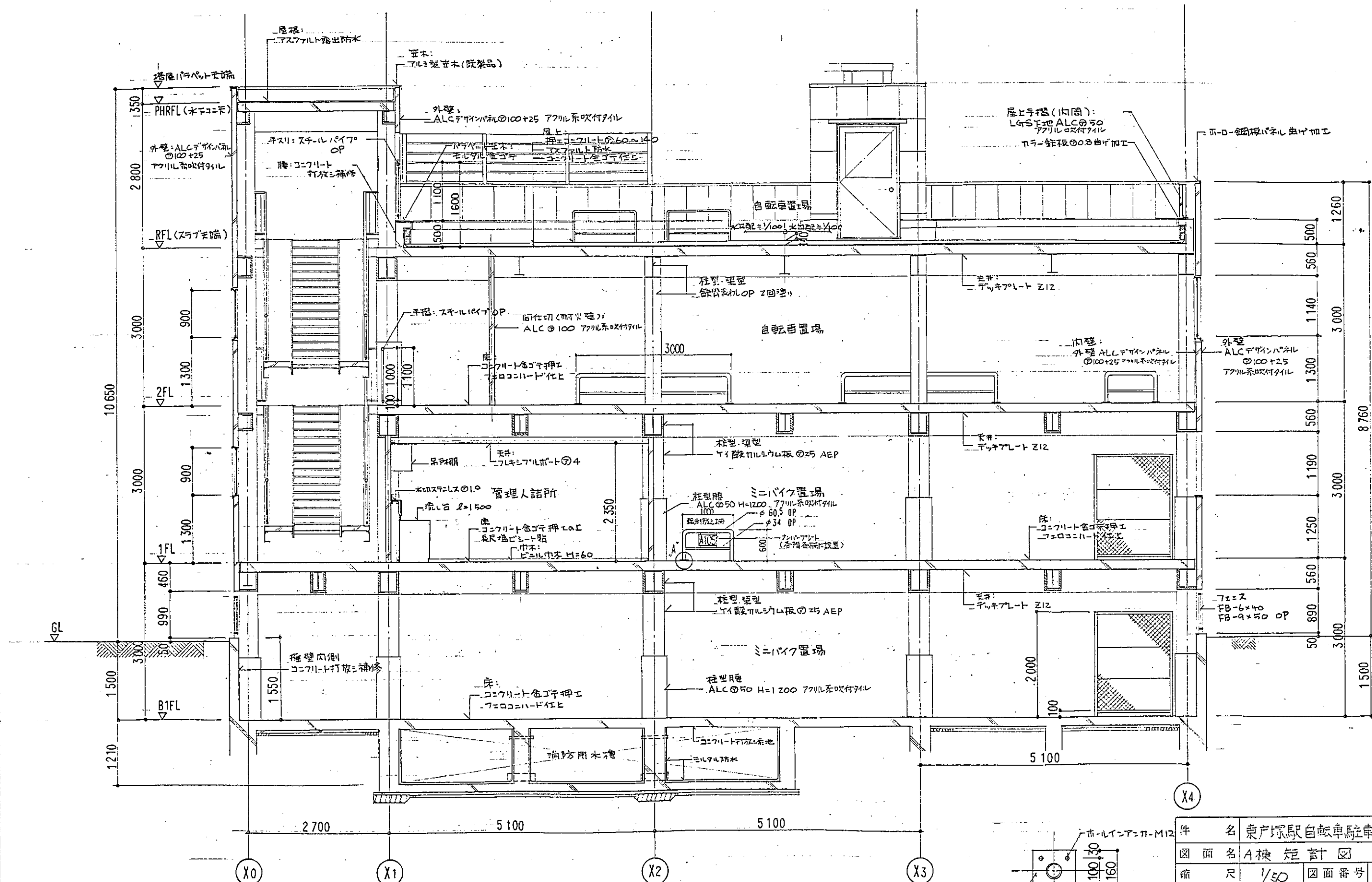
Y2 ~ Y3 1/4

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟東西断面図		
縮尺	1/100	図面番号	13/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

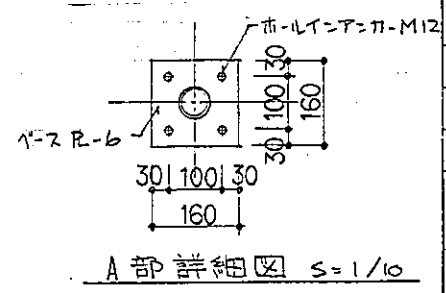


南北断面図 S=1:100
(X1)~(X2) 面

件名	東戸塚駅自転車駐留場設計			
図面名	A棟南北断面図			
縮尺	1/100	図面番号	14/	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



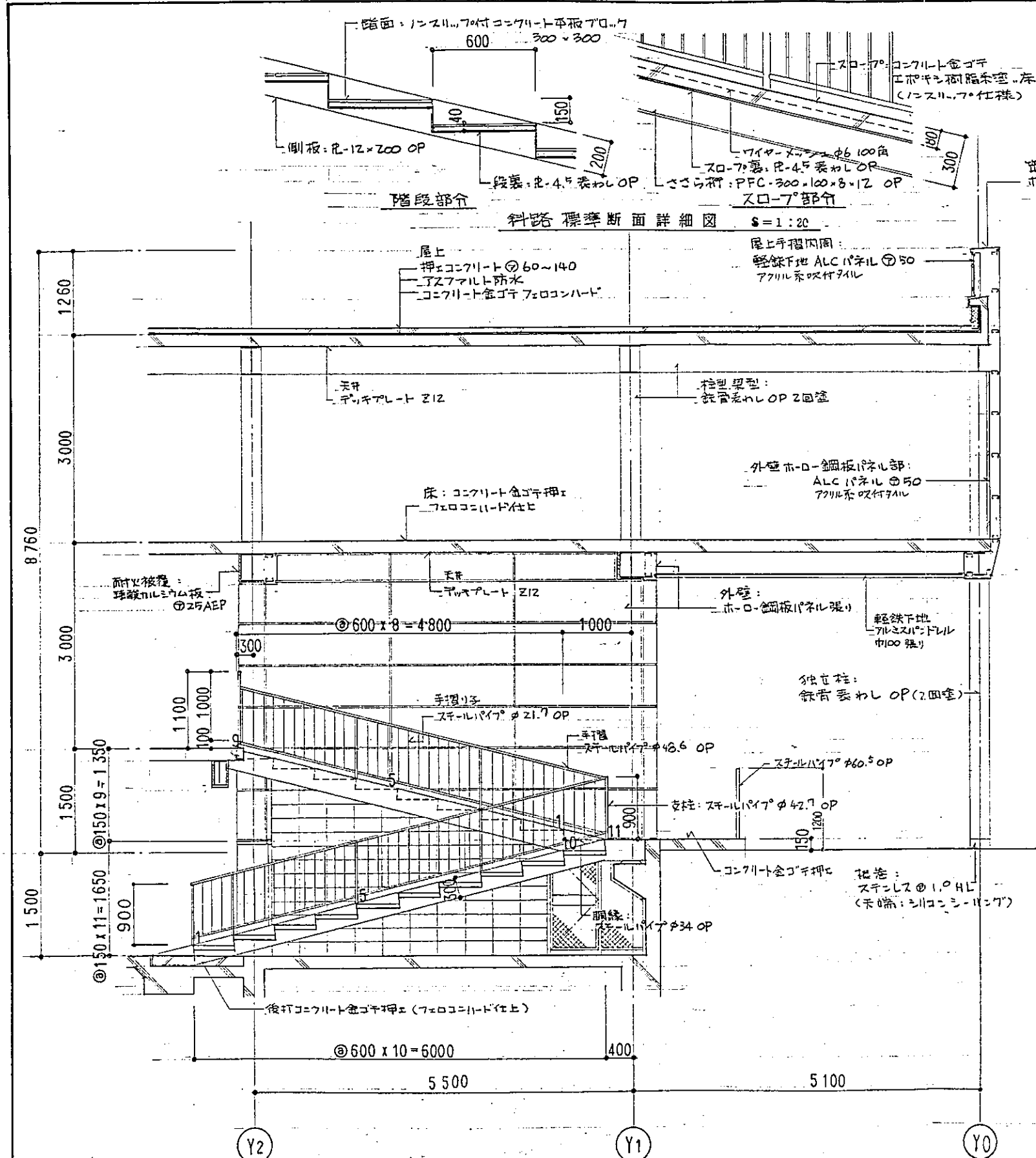
矩 計 図 S=1:50



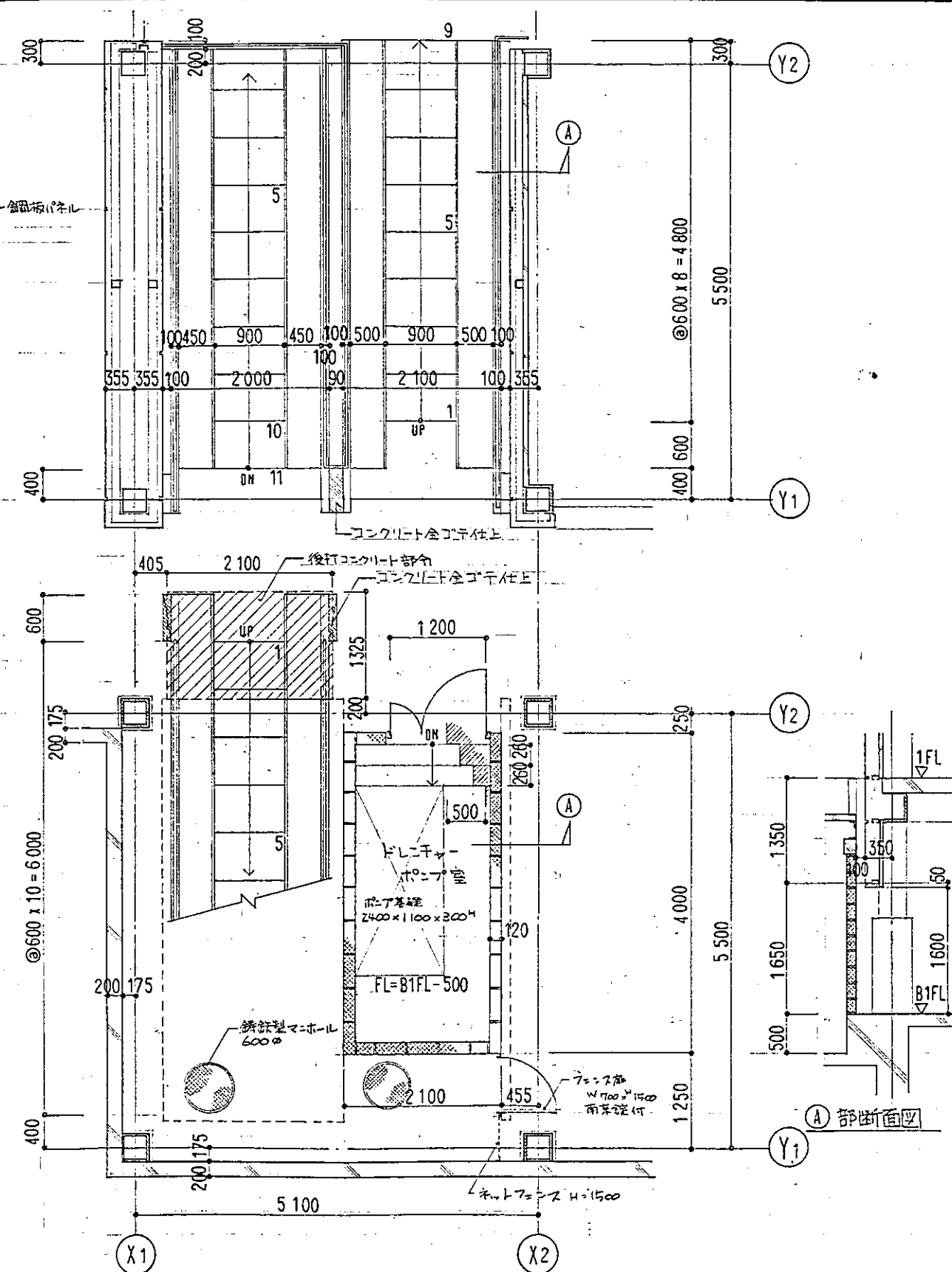
件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	A棟 矩 計 図		
縮 尺	1/50	図面番号	15/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局 12			

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計				
図面名	A棟斜路A-B平面図				
縮尺	1/50	図面番号	16		
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日				
部長	課長	係長	担当		
横 浜 市 道 路 局					

件名	東京駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟斜路A-B立面図			
縮尺	1/50	図面番号	17	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



斜路C断面詳細図 $S=1:50$



斜路C平面詳細圖 S=1:50

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟斜路C 平面図・断面図		
縮尺	1/50	図面番号	18/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

階段 A 平面詳細図 S=1:50

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟階段平面図・断面図			
縮尺	1/50	図面番号	19	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
邸長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

$$S = 1 : 20$$

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計				
図面名	A棟外壁廻り詳細図				
縮尺	1/20	図面番号	20/		
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日				
部長	課長	係長	担当		
横浜市道路局					

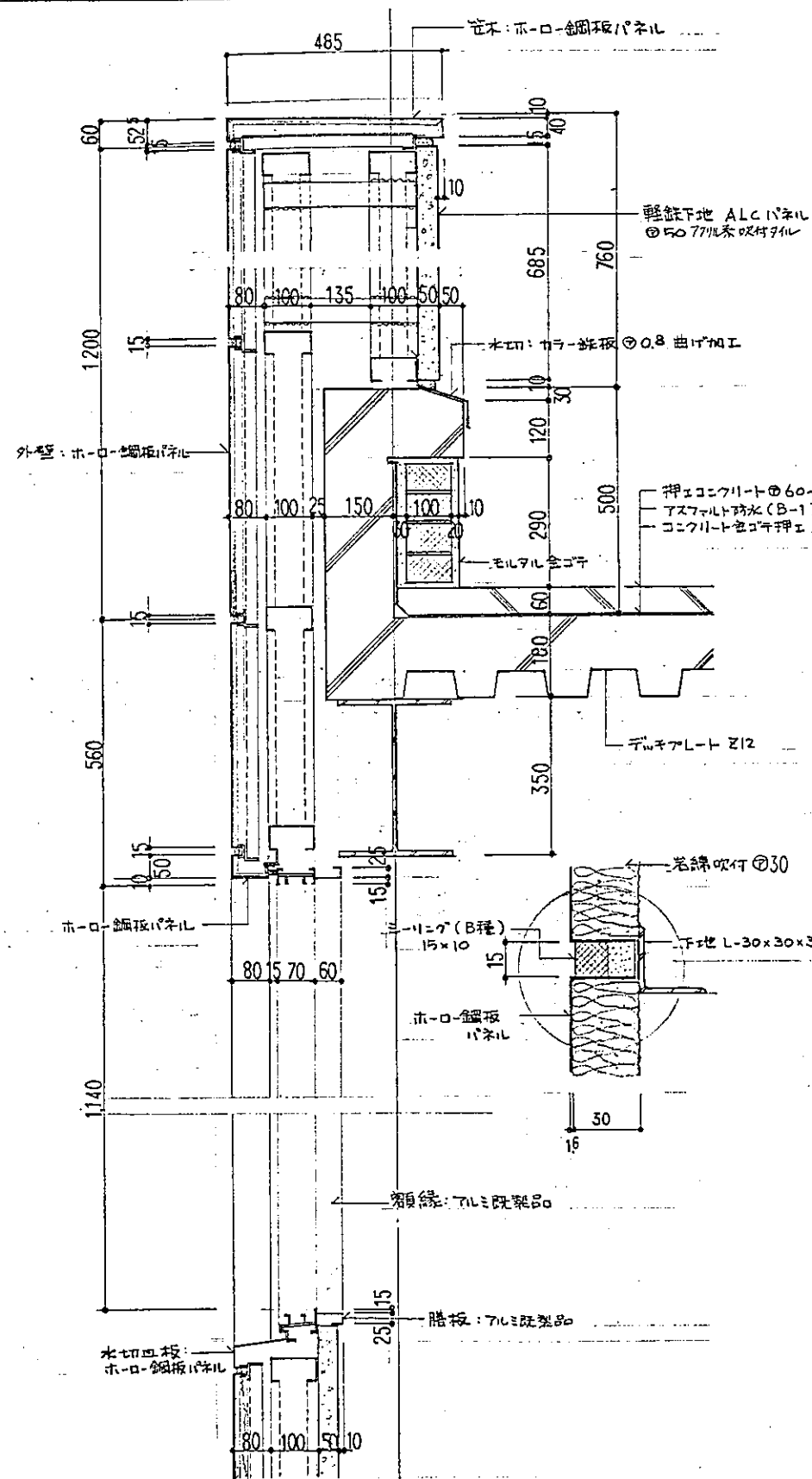
記号 形状	(AW 1) アルミ製引違い及び嵌め殺し連窓 (一般用)		(AW 2) アルミ製引違い及び嵌め殺し連窓 (一般用)
型式 (付法)			
数量 (見込)	1 (70)		1 (70)
仕上	アルミアルマイト仕上		アルミアルマイト仕上
ガラス	網入磨き板ガラス ⑥6.8		網入磨き板ガラス ⑥6.8
付属金物	付属金物一式 額縁及び隠板: アルミ既製品		付属金物一式 水切皿板: アルミ既製品
備考	乙防		乙防 外部 アルミ水切 (≦50)
記号 形状	(AW 3) アルミ製引違い及び嵌め殺し連窓 (一般用)		(AW 4) アルミ製引違い及び嵌め殺し連窓 (一般用)
型式 (付法)			
数量 (見込)	1 (70)		1 (70)
仕上	アルミアルマイト仕上		アルミアルマイト仕上
ガラス	網入磨き板ガラス ⑥6.8		網入磨き板ガラス ⑥6.8
付属金物	付属金物一式 水切皿板: アルミ既製品		付属金物一式 水切皿板: アルミ既製品
備考	乙防 外部: アルミ水切 (≦50)		乙防 外部 アルミ水切 (≦50)
記号 形状	(AW 5) アルミ製引違い窓 (一般用)	(AW 6) アルミ製引違い窓 (ALC用)	
型式 (付法)			
数量 (見込)	5 (70)	1 (70)	
仕上	アルミアルマイト仕上	アルミアルマイト仕上	
ガラス	網入磨き板ガラス ⑥6.8	トーメイ板ガラス ⑥5.0	
付属金物	付属金物一式	付属金物一式	
	水切皿板: アルミ既製品		
備考	乙防	下柵カウンター埋込	

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 建具表 (1)		
縮尺	1/50	図面番号	21/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

記号 形状	SD 1 鋼製親3開キフラッシュ扉	SD 2 鋼製片開キフラッシュ扉	SD 3 鋼製片開キフラッシュ扉	SD 4 鋼製片開キフラッシュ扉 (煙感知器連動付)	SD 5 鋼製片開キフラッシュ扉 (煙付)	WD 1 木製片開キフラッシュ扉 (煙付)
型式 (寸法)						
数量(見込)	1 (40)	1 (40)	1 (40)	1 (40)	1 (40)	1 (36)
仕上	OP	OP	OP	OP	OP	桐ベニヤ OP
ガラス					細入型板ガラス 6.8	型板ガラス 4.0
付属金物	T番・握り玉付本錠錠	T番・握り玉付本錠錠(両側付)	T番・握り玉付本錠錠	T番・キーハンドル付錠錠	T番・握り玉付錠錠	T番・握り玉付錠錠
	防火扉・ドアローザ(ストッパーなし)	ドアローザ(ストッパーなし)付		ドアローザ(ストッパーなし)	ドアローザ(ストッパーなし)	
備考	甲種防火戸(常開)	甲種防火戸(常開)	乙種防火戸(常開) ステンレス 2.0	甲種防火戸(常開)	乙種防火戸(常開)	
記号 形状	SS 1 重量シャッター (煙感知器連動付) (電動)	SS 2 重量シャッター (煙感知器連動付) (電動)				
型式 (寸法)						
数量(見込)	1	1				
仕上	OP	OP				
ガラス						
付属金物	付属金物一式 (ガイド・レール、巻上げ機及び座板はステンレス製とする)	付属金物一式 (ガイド・レール、巻上げ機及び座板はステンレス製とする)				
備考	甲種防火戸 手動巻上げ機(チェーン式)	甲種防火戸 手動巻上げ機(チェーン式)				
記号 形状						
型式 (寸法)						
数量(見込)						
仕上						
ガラス						
付属金物						
備考						

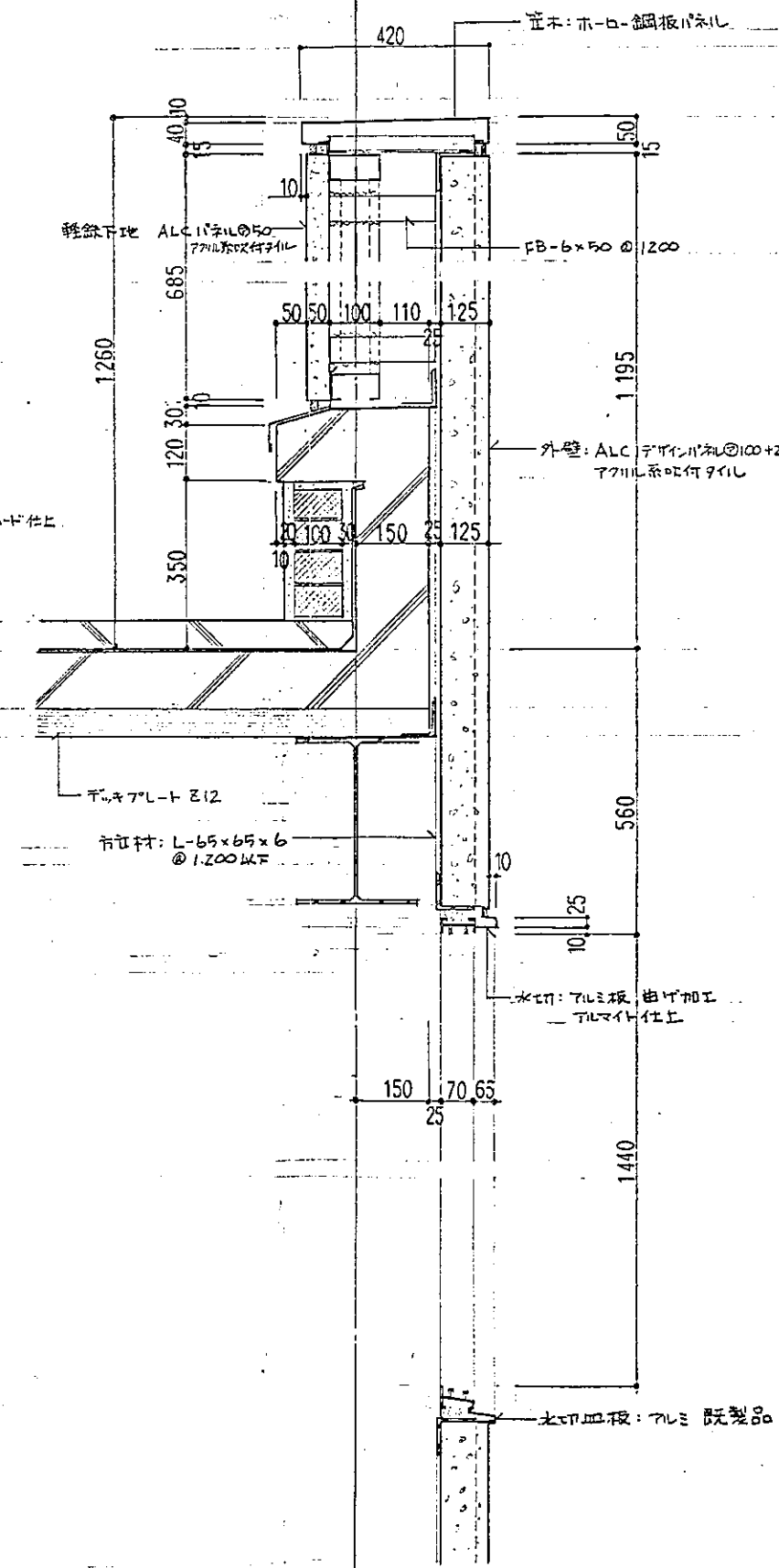
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	4棟 建具表 (2)		
縮尺	1/50	図面番号	22/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

0-1 屋上手摺り廻り詳細図(外壁ホ-ロ-鋼板パネル部) S=1:10



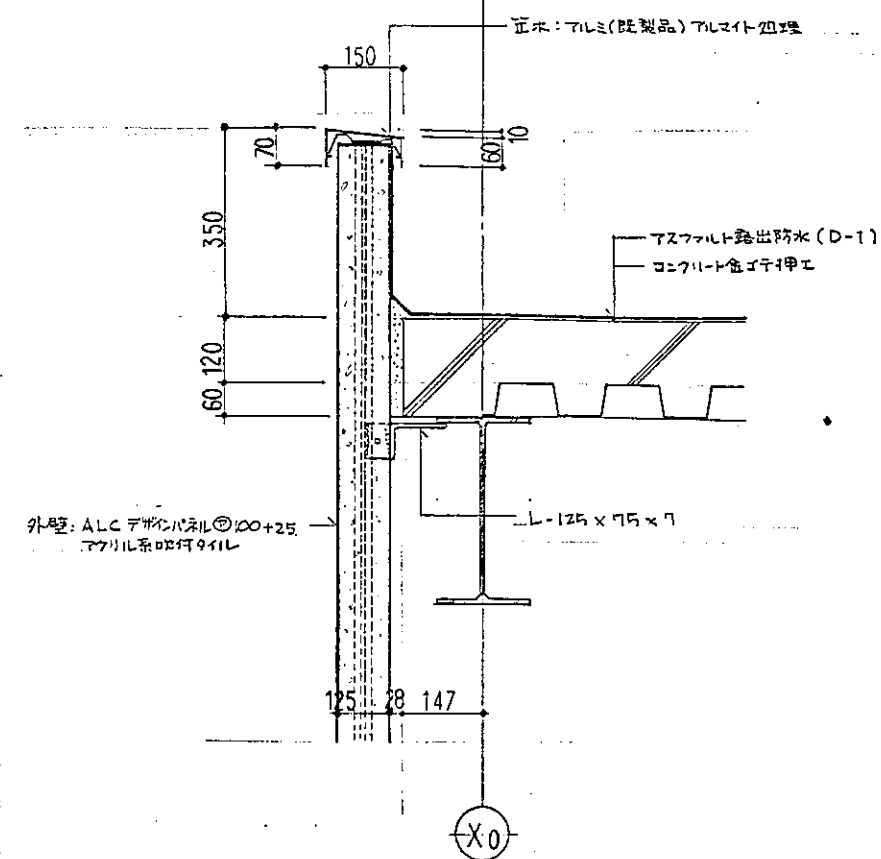
Y0

0-2 屋上手摺り廻り詳細図(外壁 ALCパネル部) S=1:10

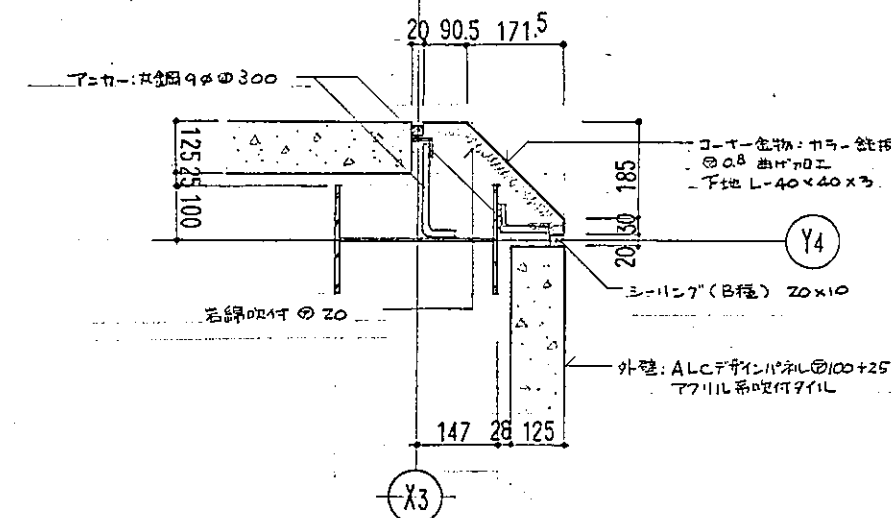


X4

0-3 塔屋パラペット廻り詳細図 S=1:10

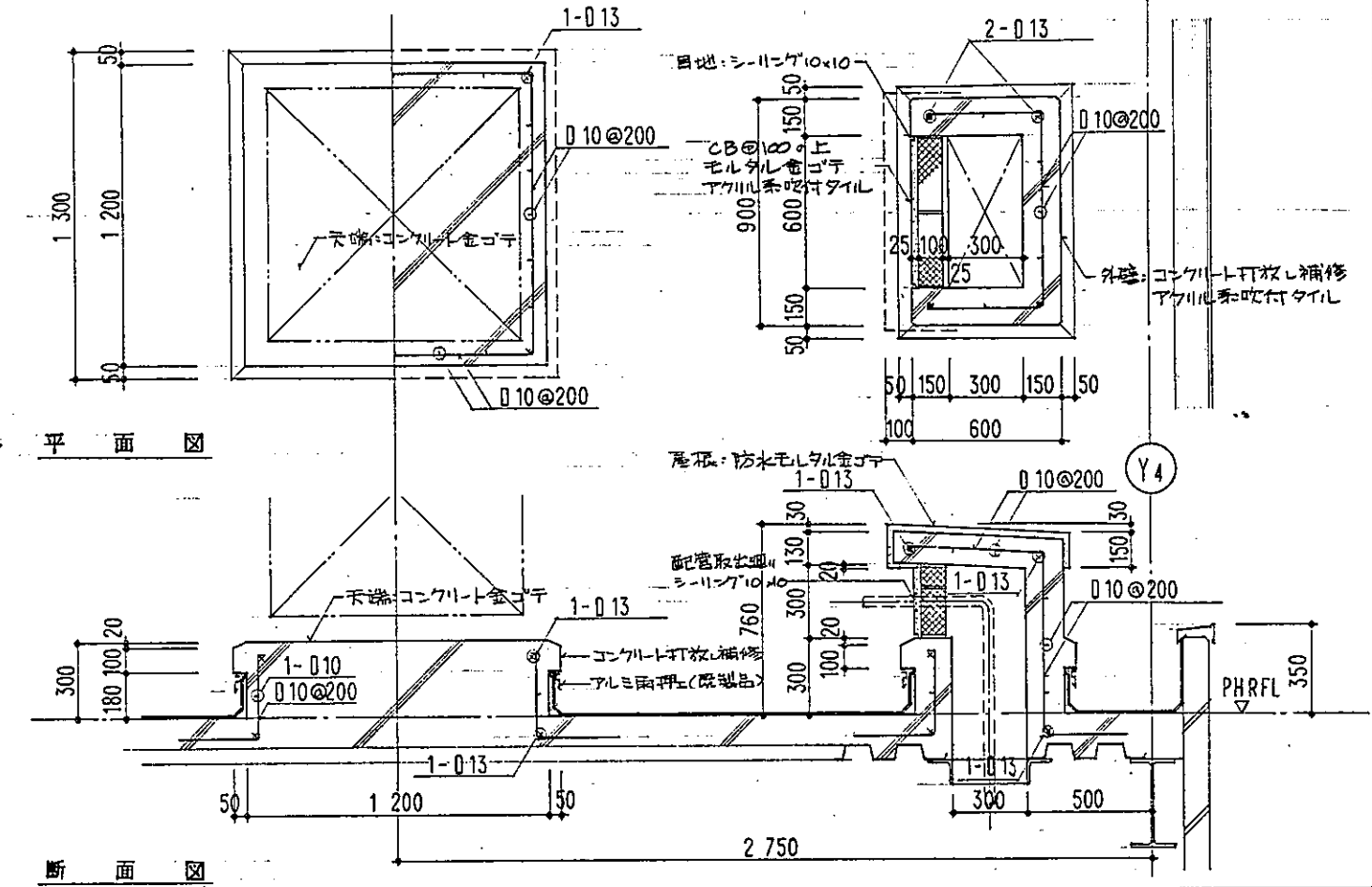
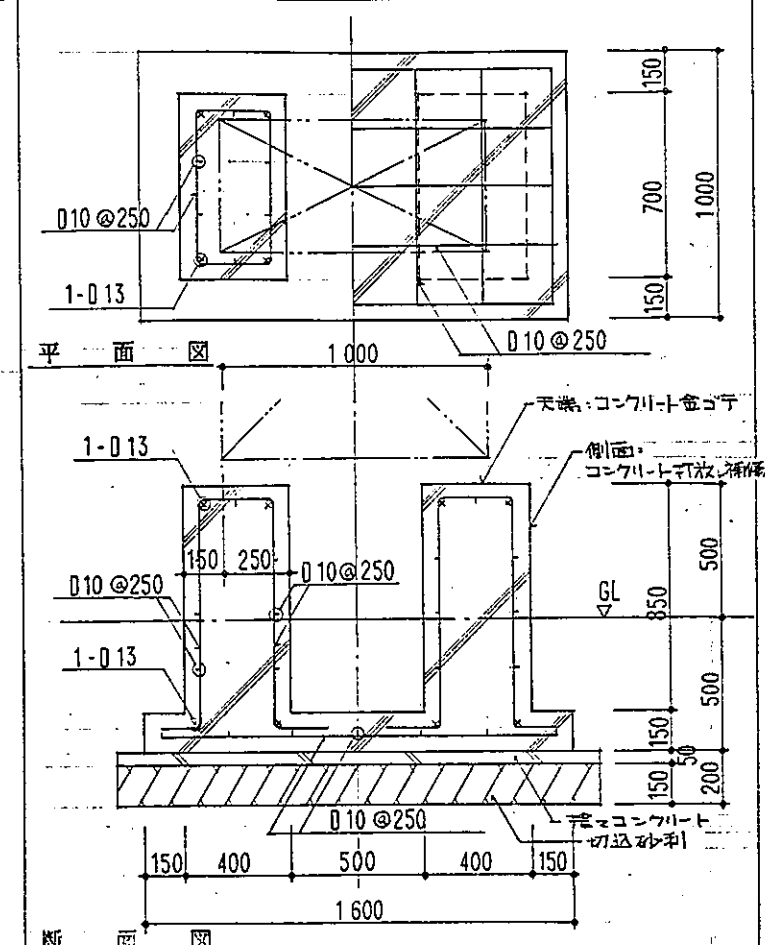
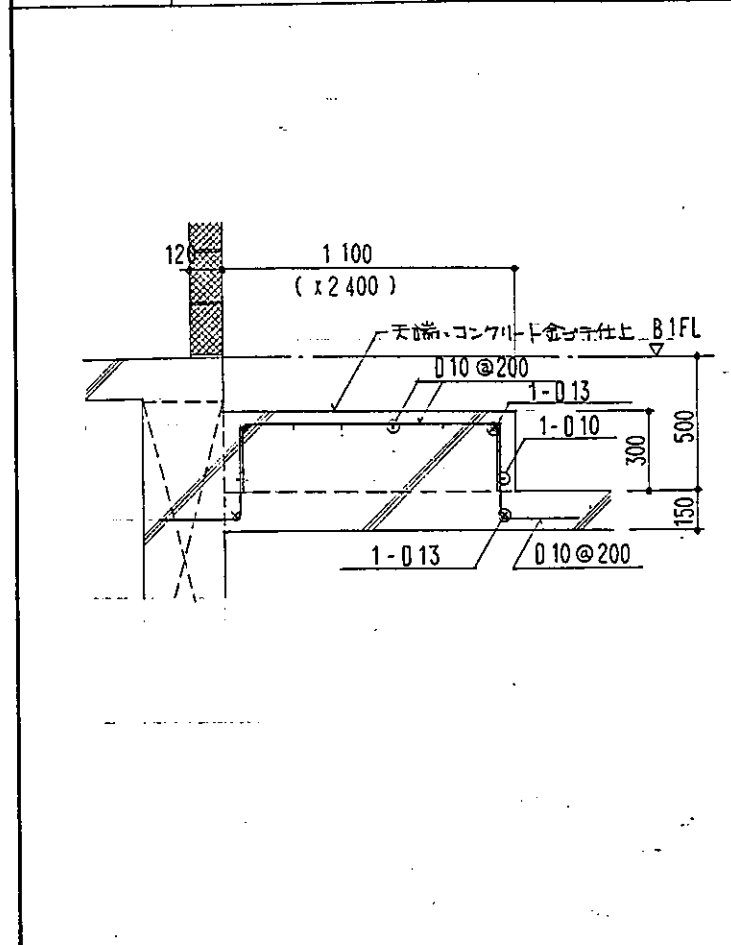


0-4 塔屋出隅部分詳細図 S=1:10

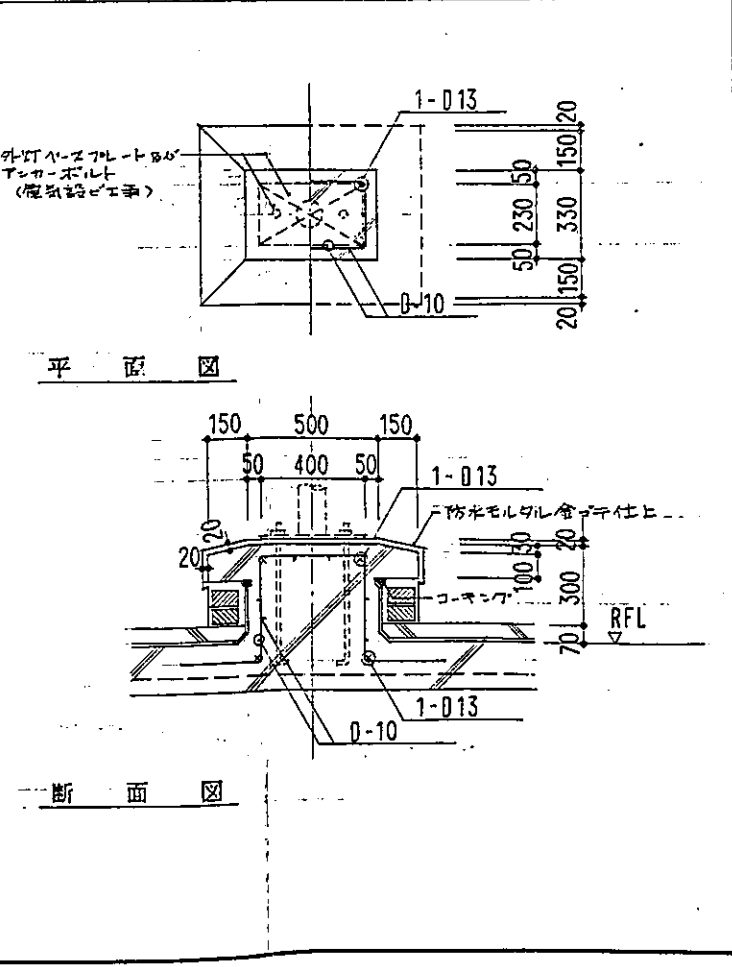
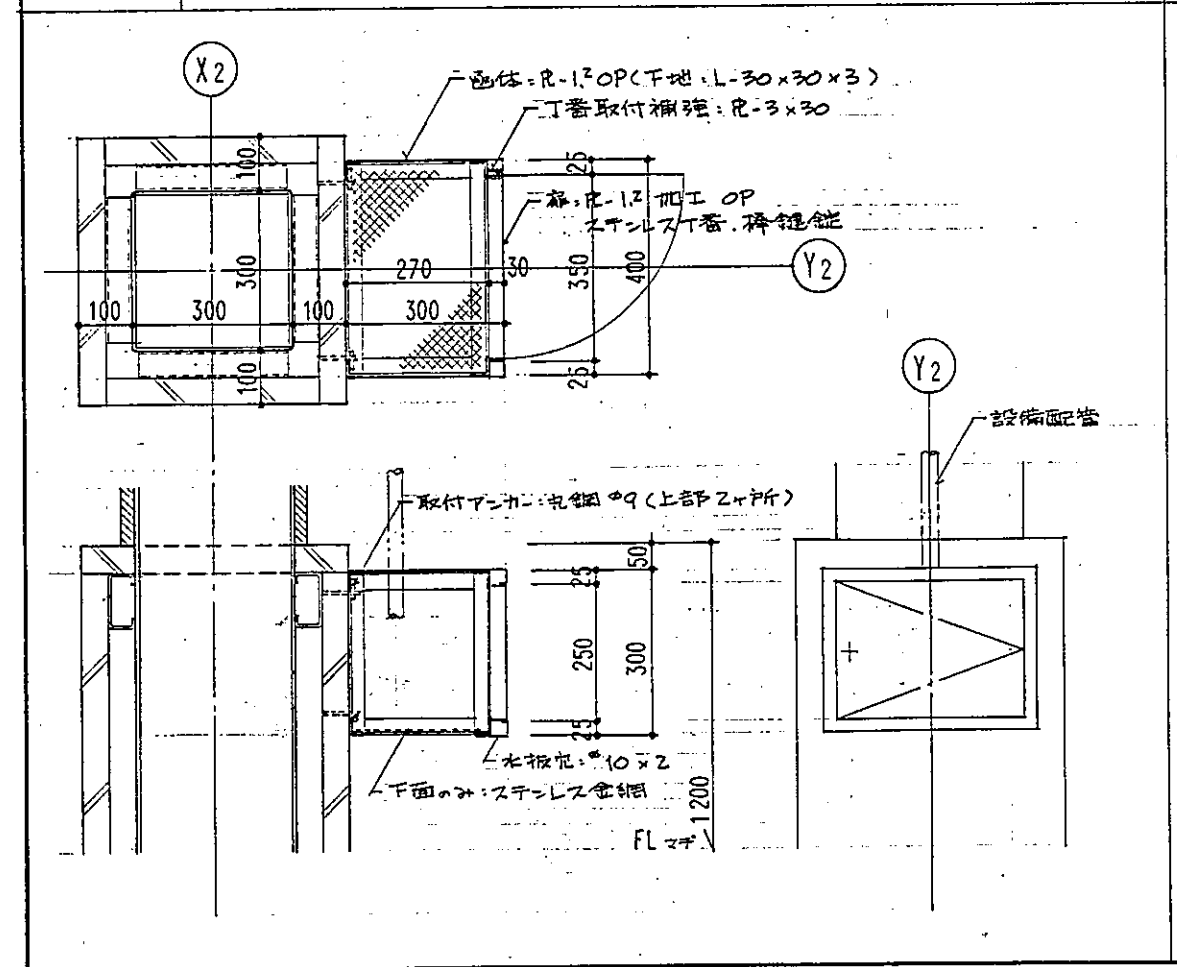


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟部分詳細図(1)			
縮尺	1/10	図面番号	23	
設計年月日	昭和 62 年 4 月 2 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

D-10 トレンチャーポンプ基礎詳細図 S=1:20
D-11 屋外受水槽基礎詳細図 S=1:20
D-12 塔屋屋根 消火水槽基礎及び配管取出用土上詳細図 S=1:20



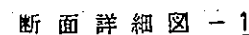
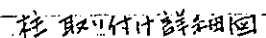
D-13 手動開放弁ボックス詳細図 S=1:10
D-14 屋上外灯基礎詳細図 S=1:20



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟部分詳細図(3)			
縮尺	1/10, 1/20	図面番号	25	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

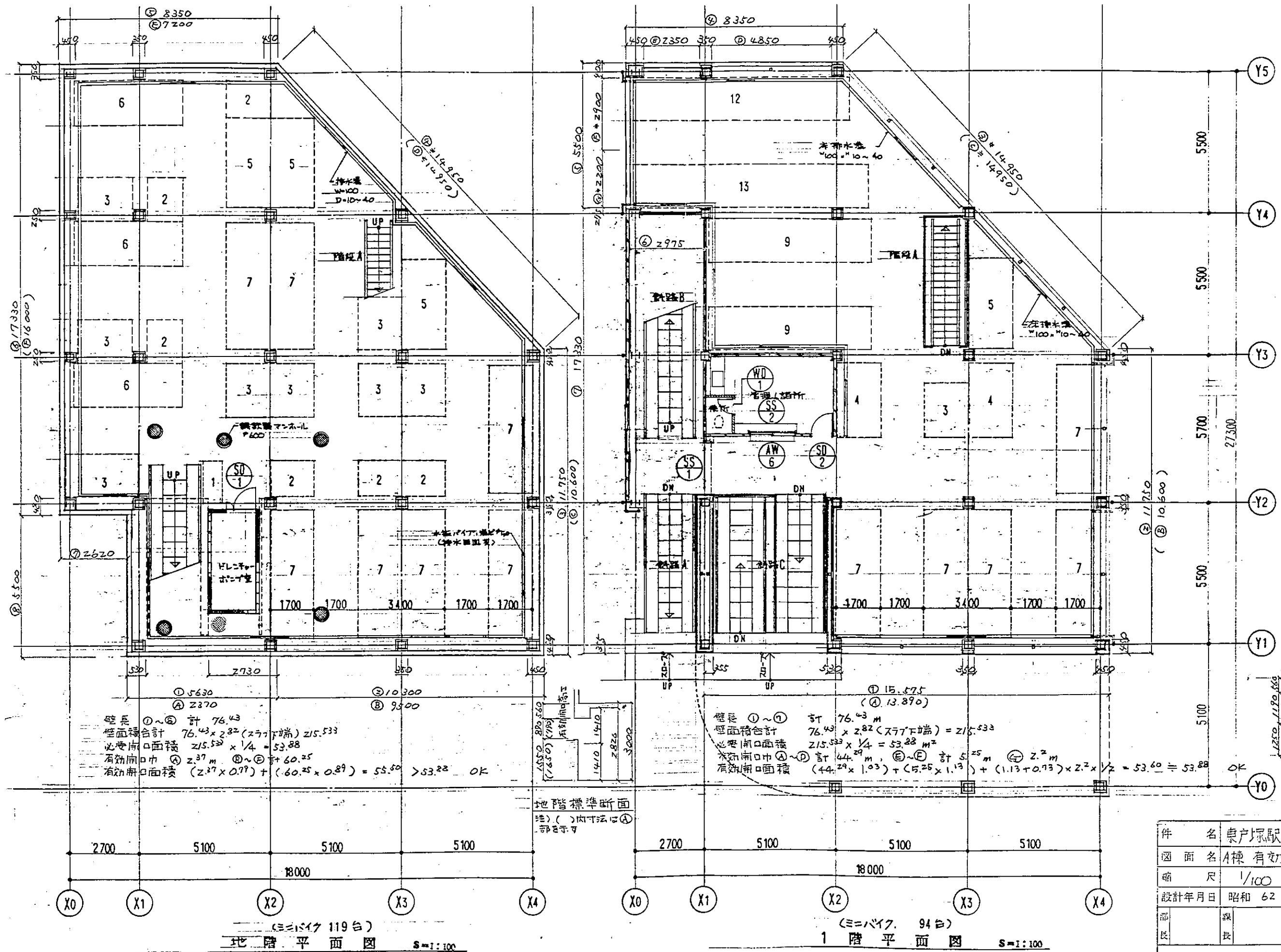
$$S = 1 : 10$$

受水槽 点検用階段



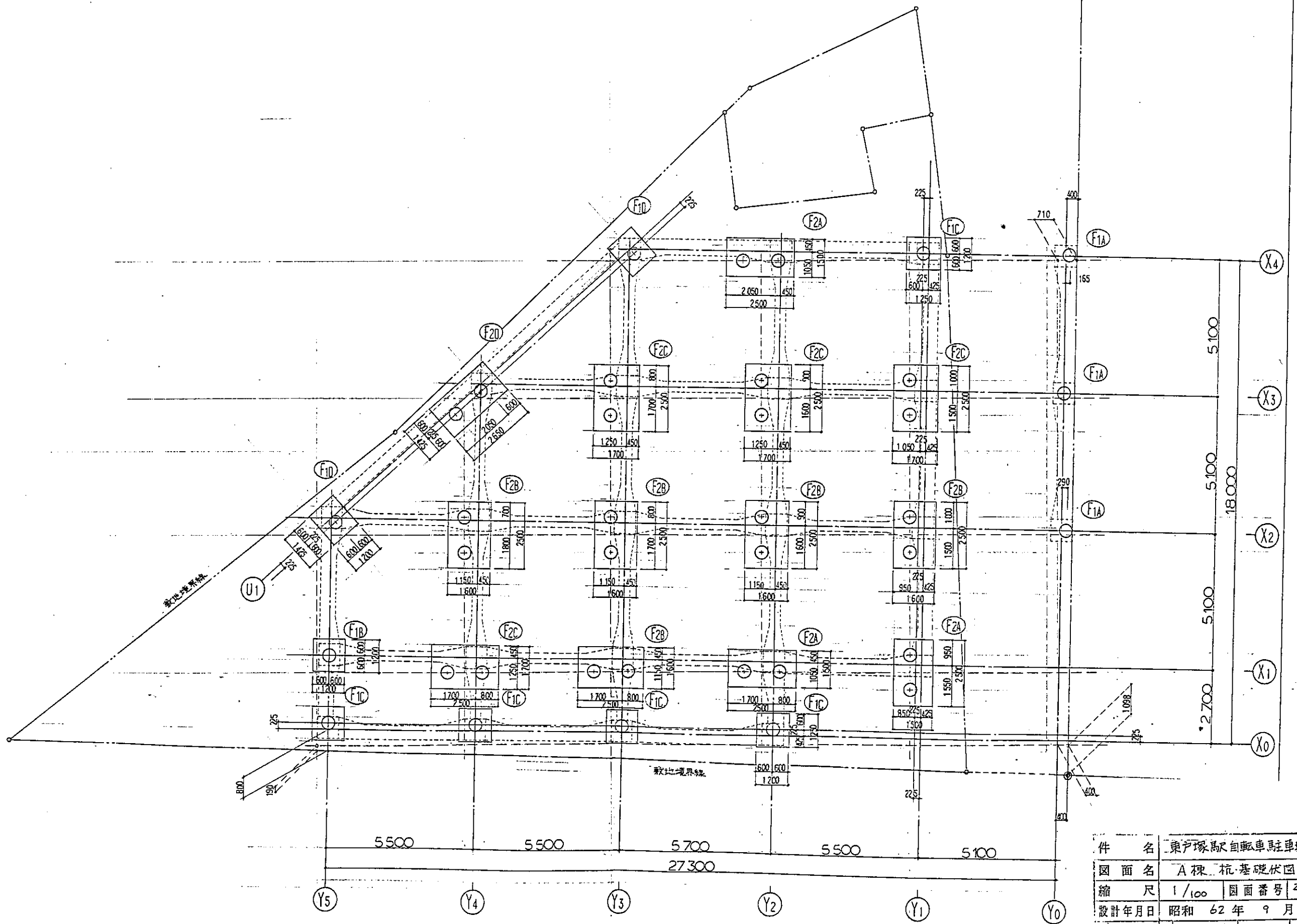
断面詳細図 - 2

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A種部分詳細図(4)		
縮尺	1/10, 1/20	図面番号	26/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟有効開口面積計算			
縮尺	1/100	図面番号	27/	
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日			
部長	課長	係長	担当	

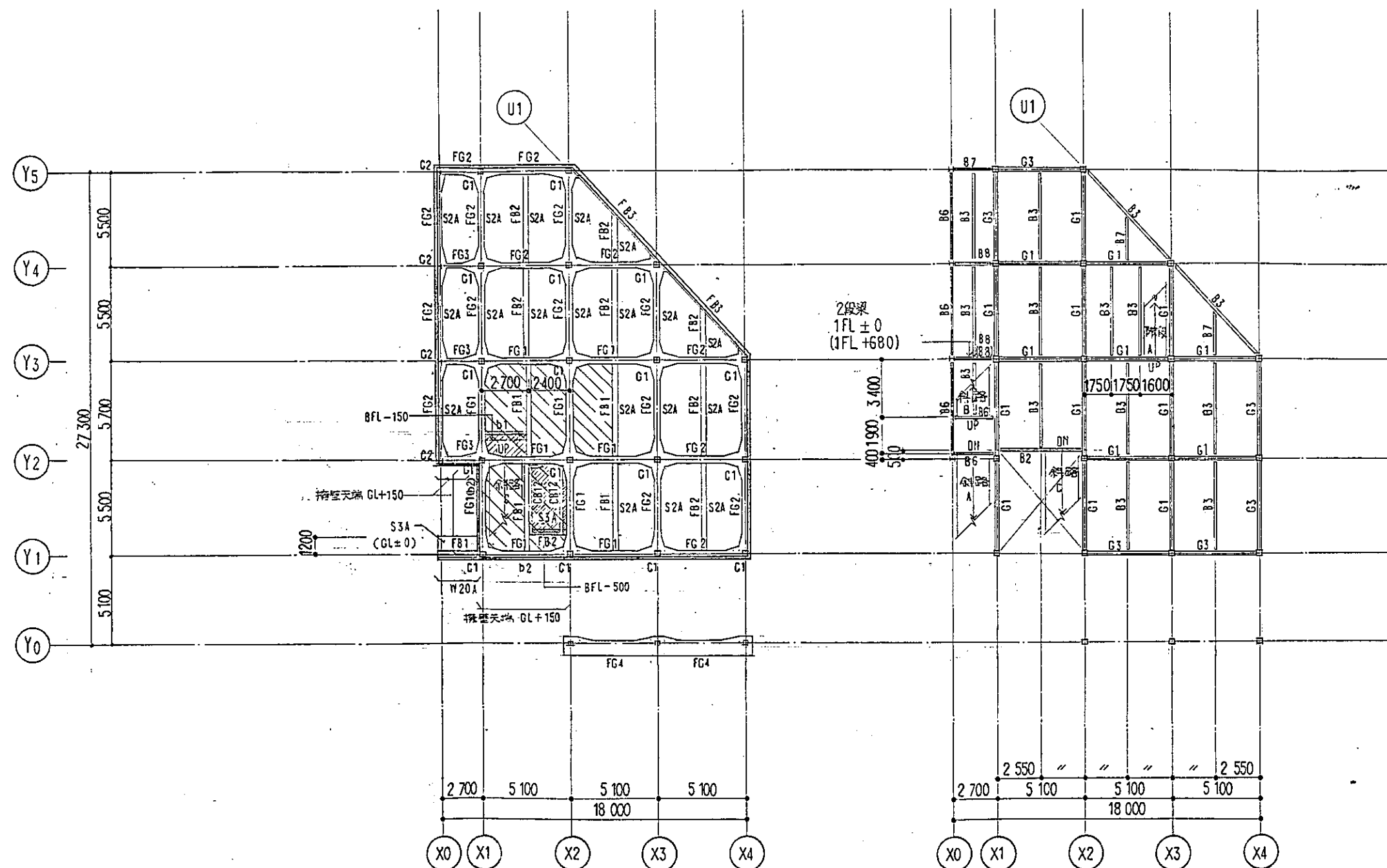
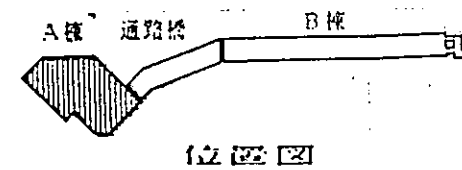
横浜市道路局 23



杭種・杭径 PHC杭 A種 500φ
 杭工法 フレホ・リン工法
 設計杭長(打設長) F1B, F1C, F1D: $l=16.0m (7.0m + 9.0m)$ $n=8$ 本
 及び杭本数 F2A, F2B, F2C, F2D: $l=16.0m (7.0m + 9.0m)$ $n=26$ 本
 F1A: $l=15.0m (7.0m + 8.0m)$ $n=3$ 本

杭・基礎伏図 S=1:100

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟杭基礎伏図		
縮尺	1/100	図面番号	28-1/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



地階伏図 S=1/200

1階伏図 S=1/200

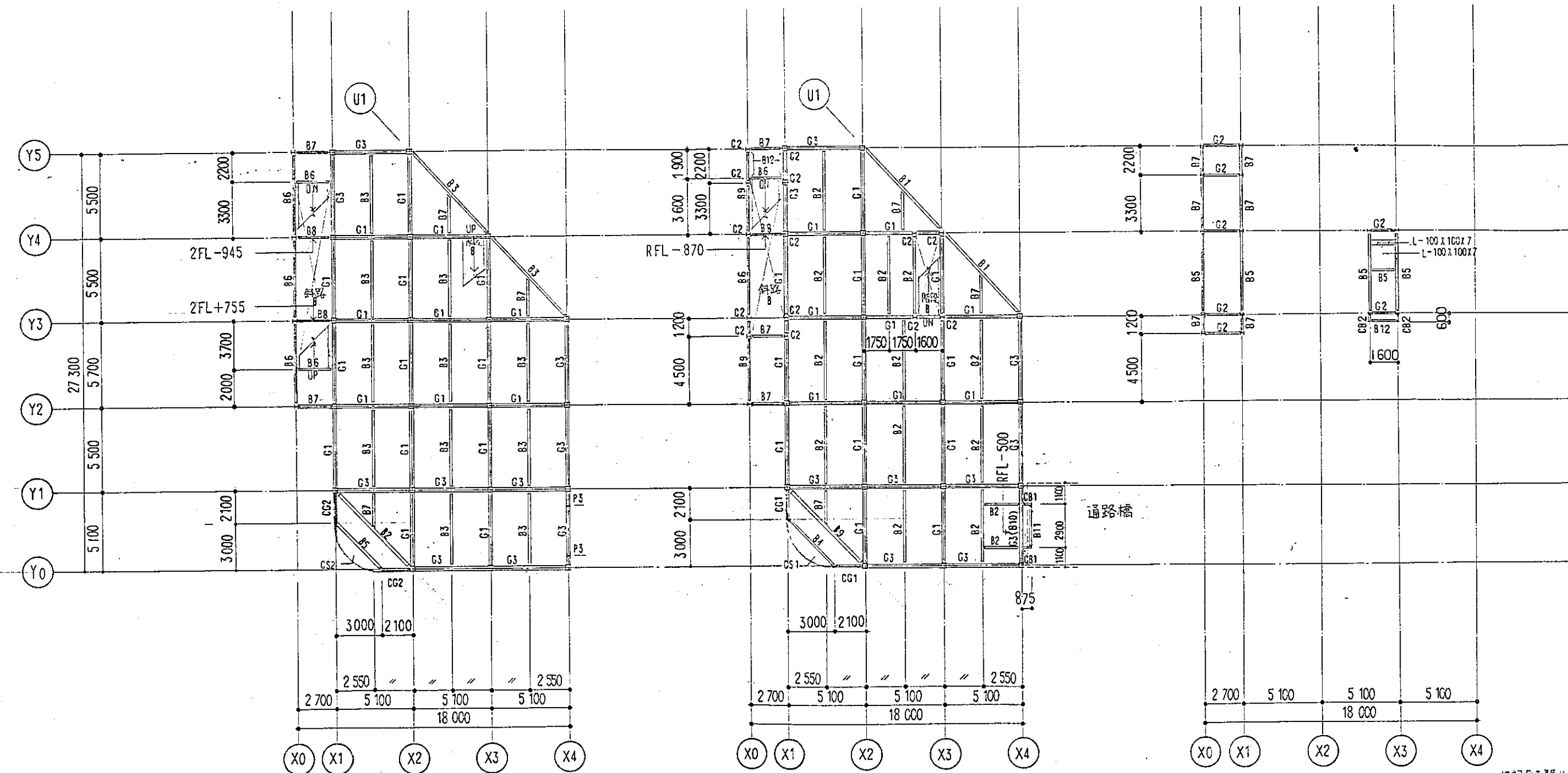
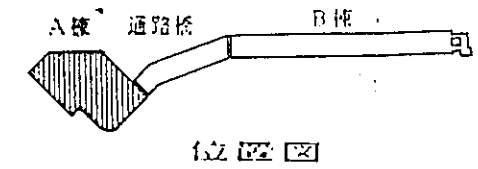
特記なき限り

1. 二重スラブ S1A FS. 示す。
2. 柱型 W20 示す。
3. BFL=GL-1660

特記なき限り

1. スラブ S1
2. ベルは梁天端を示す。
3. 1FLは1階梁天端を示す。

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟伏図 (1)		
縮尺	1/200	図面番号	28-2
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



2 階 伏 図 S=1/200

- 特記なき限り
- 1 スラフ S1
 - 2 レベルは梁天端を示す。
 - 3 2FLは2階床天端を示す。

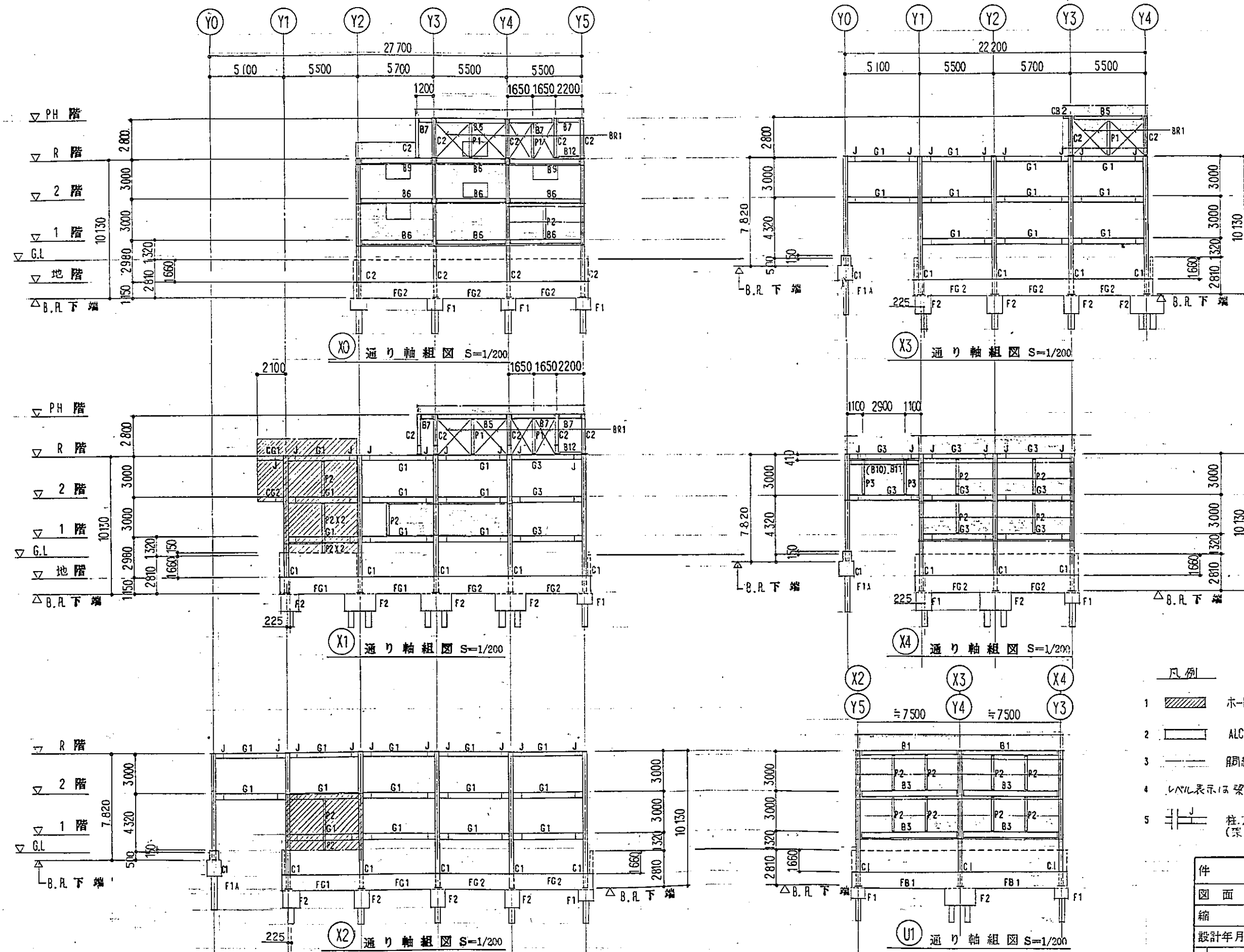
R 階 伏 図 S=1/200

- 特記なき限り
- 1 スラフ S2
 - 2 レベルは梁天端を示す。
 - 3 RFLはR階床天端を示す。

PH 階 伏 図 S=1/200

件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	A棟 伏 図 (2)		
縮 尺	1/200	図面番号	29/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部 長	課 長	係 長	担 当

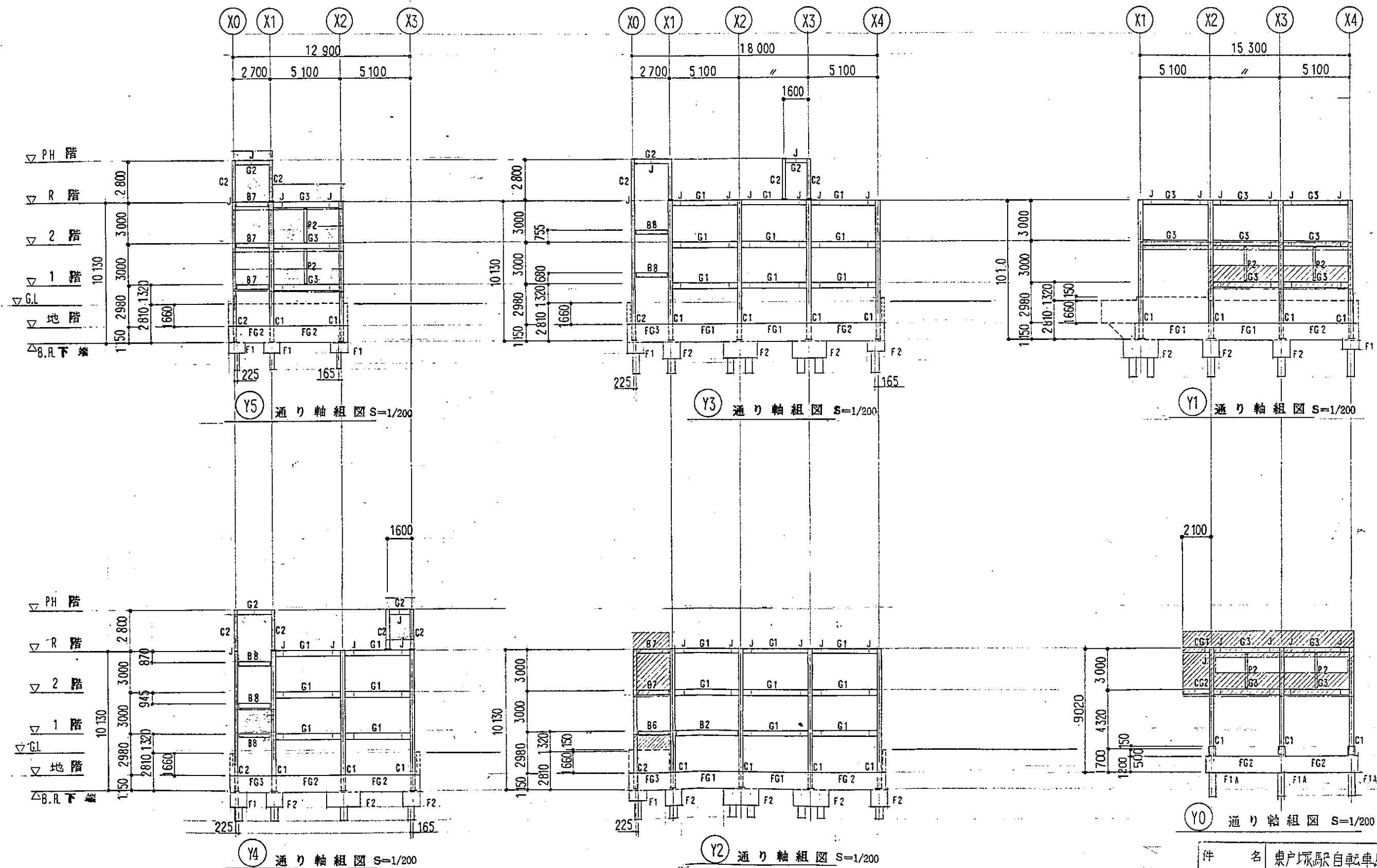
横 浜 市 道 路 局



凡例

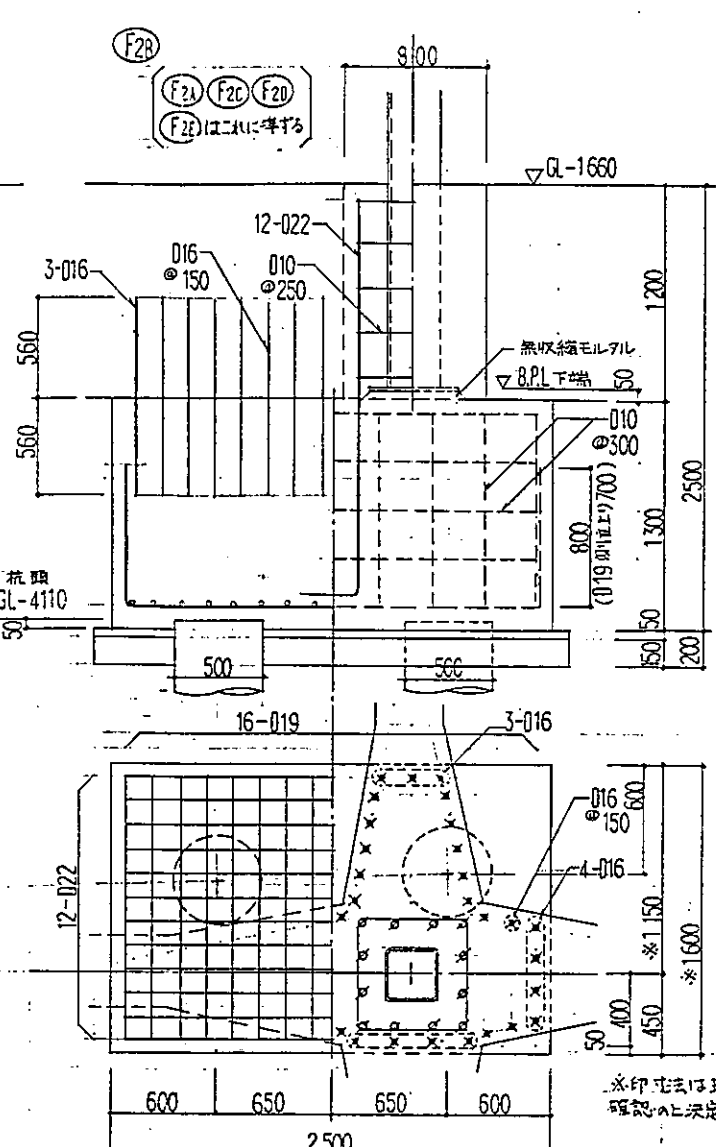
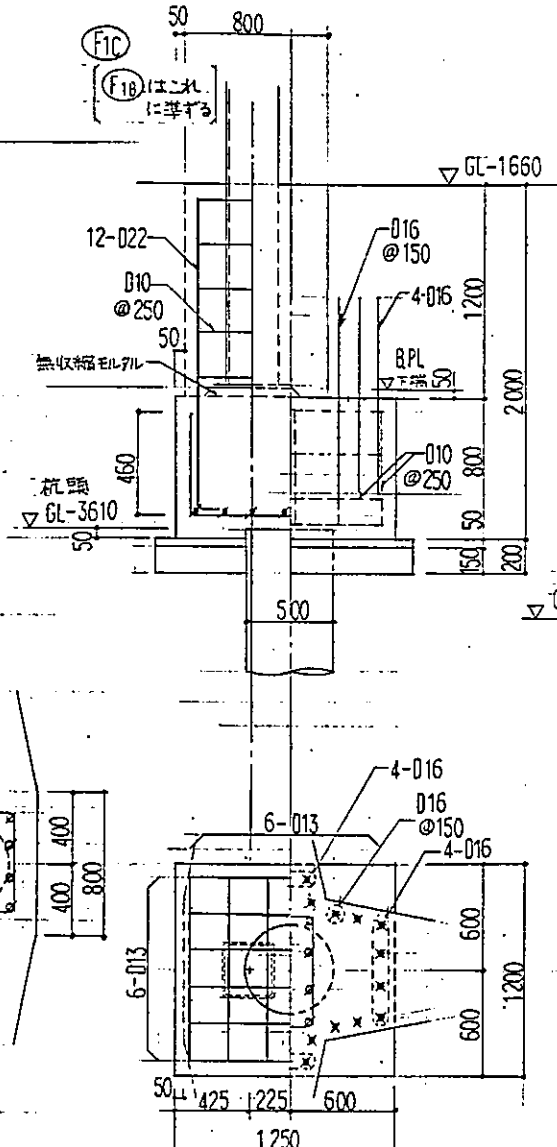
- 1 ホ-口-鉄板の範囲を示す 胴縁 01
- 2 ALCの範囲を示す 胴縁 02
- 3 胴縁を示す
- 4 レベル表示は梁天端による。
- 5 柱、大梁の継ぎ目等を示す (梁端詳細図参照)

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 X 通り軸組図		
縮尺	1/200	図面番号	30/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

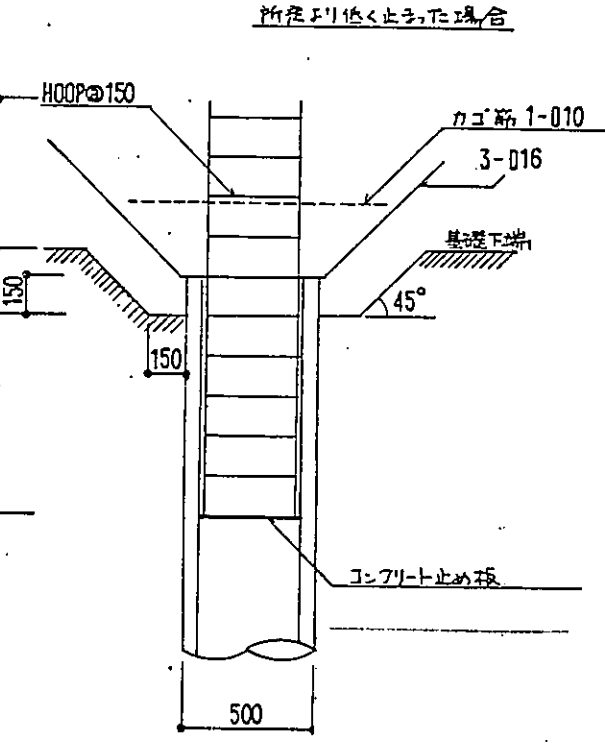
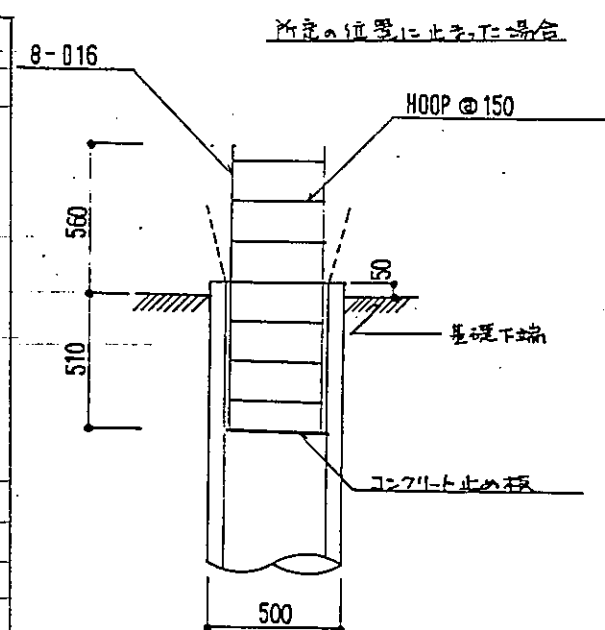


- 凡例
- 1 ホ-ロ-鉄板の範囲を示す 附録D1
 - 2 ALCの範囲を示す 附録D2
 - 3 脚縁を示す
 - 4 レベル表示は梁天端による
 - 5 柱、大梁の継手箇所を示す (架構詳細図参照)

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 Y通り軸組図		
縮尺	1/200	図面番号	31/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局 4			



符号	FG4	
位置	端部	中央
断面		
	1100	700
上端筋	6-022	5-022
下端筋	6-022	5-022
スタップ	D13@100	D13@100
腹筋	4-D19	4-D19



柱状图 地质标高 GL±0=TP 23.60

[illegible][illegible]

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計				
図面名	A 棟基礎リスト				
縮尺	1/30	図面番号	32- /		
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日				
部長		課長		係長	
				担当	
横浜市道路局					

特記なき限り

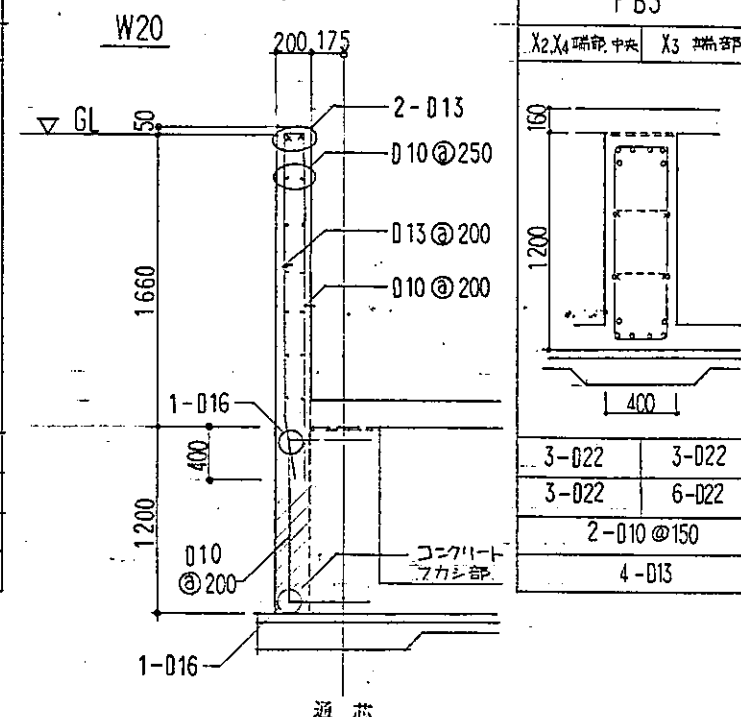
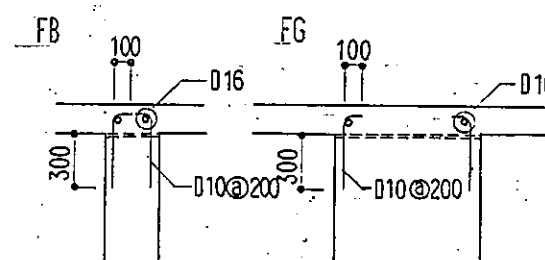
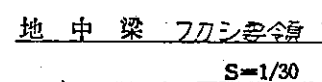
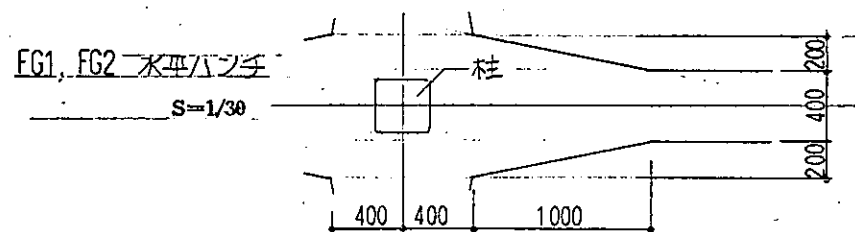
1. 巾止筋 D10 @ 1000

 $\leq 0.16 \rightarrow S030$ とする $\geq 0.19 \rightarrow 5035$ とする

地 中 梁 リ ス ト $S=1/30$

墙 壁 配 筋 图 S=1/30

符 号	FG1 (FG3)		FG2		b1	FB1	FB2
位 置	端 部	中 央	端 部	中 央	全 断 面	全 断 面	全 断 面
▽地 階	(X1 端)	(X0 端, 中央)					
断 面							
上 端 筋	2-D25 + 6-D22	4-D22	20-D25 + 6-D22	4-D22	5-D16	4-D19	3-D19
下 端 筋	6-D22	5-D22	6-D22	4-D22	5-D16	4-D19	3-D19
スタラップ	2-D13@100	D13@125	2-D13@100	D13@125	3-D10@200	D10@200	D10@200
腹 筋	4-D13	4-D13	4-D13	4-D13	—	4-D10	2-D10

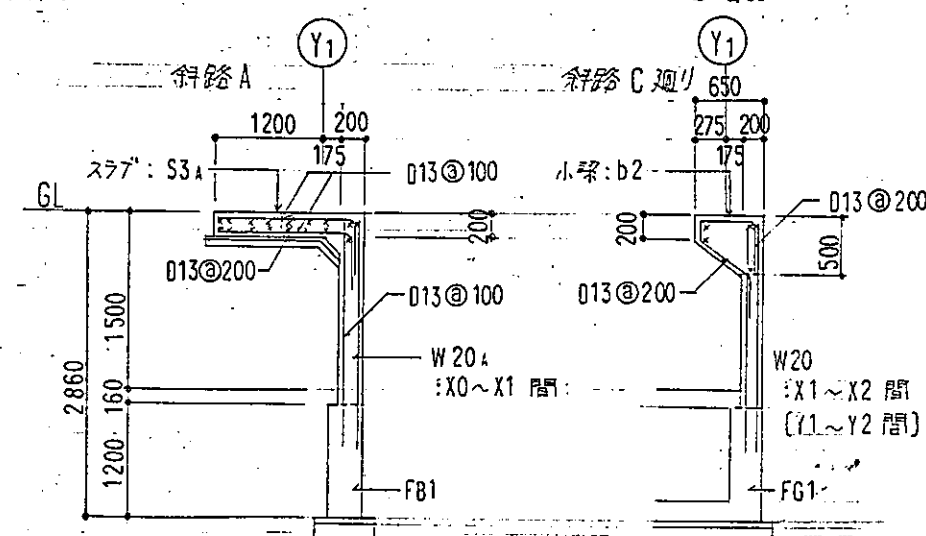
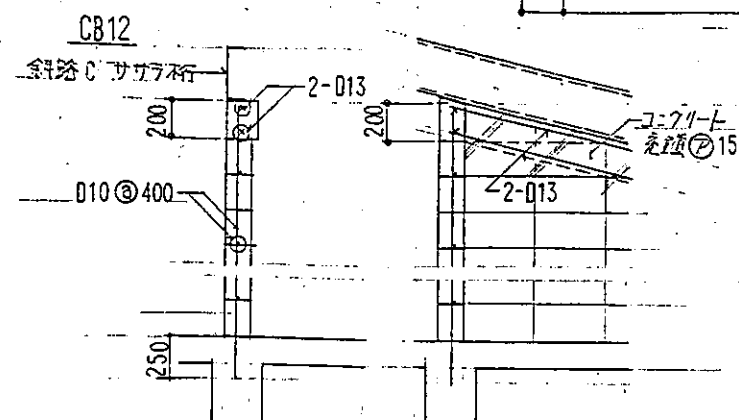
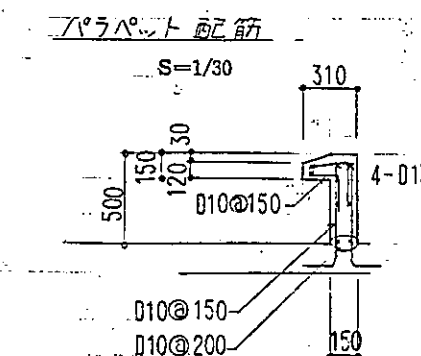
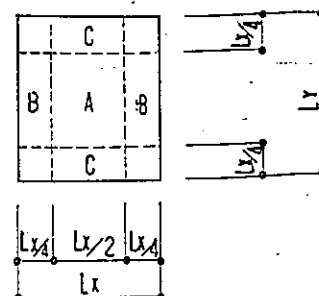
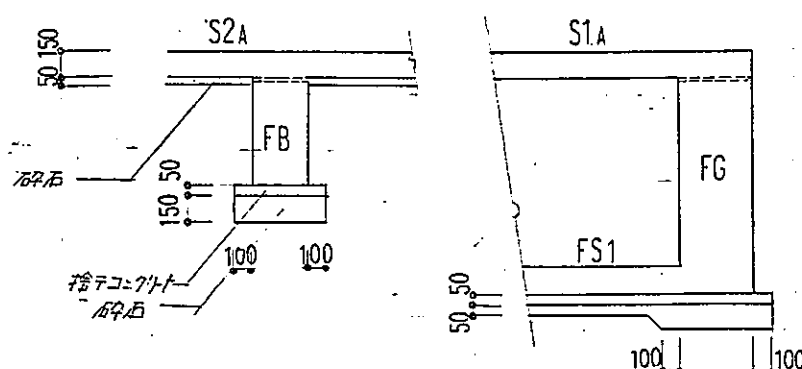


62. 斜路受配筋要領

S3A: // S=1/50

符 号	版 厚	位 置	短 边 方 向			长 边 方 向			备 考
			中 央 部		端 部	中 央 部		端 部	
			端 部 (B)	中 央 (A)	全 断 面	端 部 (C)	中 央 (A)	全 断 面	
S1A	150	上 端	D10D13@200	D10@400	D10@200	D10@250	D10@500	D10@250	预埋通长钢筋
		下 端	D10@200	D10@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	
FS1, S2A	150	上 端	D10D13@200	D10D13@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	
		下 端	D10@400	D10@200	D10@200	D10@500	D10@250	D10@250	
S3A	150	上 端	←	D13@100	→	←	D13@200	→	
		下 端							
		上 端							
		下 端							

S2A, FS1 及び FG, FB の地業



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 地中梁・柱・擁壁配筋図		
縮尺	1/30	図面番号	33/
設計年月日	昭和 62 年 7 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

柱リスト

符号	階	主 材	柱 頭・柱 脚	備 考
C1	2	□-300 X 300 X 9	TOP PL-16X350 X 350	
	1	□-300 X 300 X 12		
	地	□-300 X 300 X 12	BPL-19X400X400 AB.4-M20 (L=700)	スタッドボルト M16
C2		H-294 X 200 X 8 X 12	BPL-16X250X400 AB.4-M20 (L=700)	基礎と建物の場合
			GPL-16 HTB.4-M20	柱と大梁と建物の場合
			TOP PL-12	
P1		H-175 X 90 X 5 X 8		
P2		□-100 X 100 X 2 ³		
P3		H-250 X 250 X 9 X 14	TOP PL-12X300X300 HTB.4-M20	
			B.PL-12X300X300 HTB.4-M20	

大 梁 リ ス ト

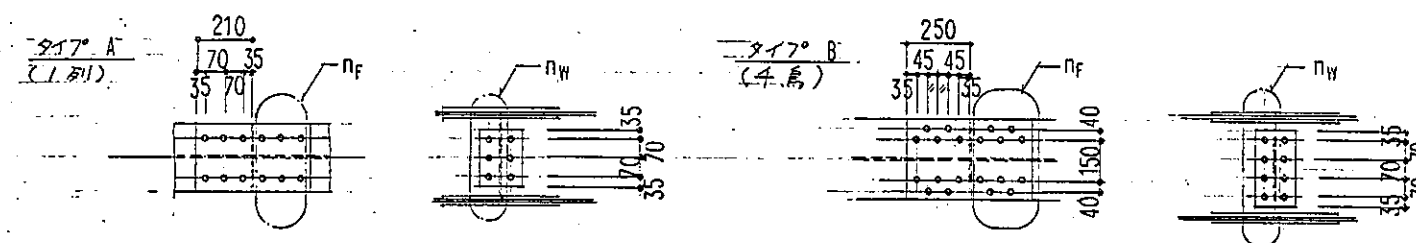
符 号	階	主 材	フランジ				ウェブ			備 考	
			タイプ	HTB. nφ	S.PL { 外側 }	S.PL { 内側 }	タイプ	HTB. nφ	S.PL		
G1	R	H - 340 X 250 X 9 X 14	A	6-M20	PL-12 X 250	2 PL-12 X 100	A	3-M20	2 PL-9 X 210	スタッドボルト M16@200(h=75) 全ての梁上にお (シムール)	
	2	H - 390 X 300 X 10 X 16	B	10-M20	PL-12 X 300	2 PL-12 X 115	B	4-M20	2 PL-9 X 280		
	1	H - 390 X 300 X 10 X 16	B	10-M20	PL-12 X 300	2 PL-12 X 115	B	4-M20	2 PL-9 X 280		
G2	PH	H - 350 X 175 X 7 X 11	A	6-M20	PL-9 X 175	2 PL-9 X 75	A	3-M20	2 PL-6 X 210		
G3	R	H - 340 X 250 X 9 X 14	A	6-M20	PL-12 X 250	2 PL-12 X 100	A	3-M20	2 PL-9 X 210		
	2	BH - 350 X 300 X 9 X 19	B	10-M20	PL-12 X 300	2 PL-12 X 115	B	4-M20	2 PL-9 X 280		
	1	BH - 350 X 300 X 9 X 19	B	10-M20	PL-12 X 300	2 PL-12 X 115	B	4-M20	2 PL-9 X 280		
CG1	R	H - 340 X 250 X 9 X 14	A	6-M20	PL-12 X 250	2 PL-12 X 100	A	3-M20	2 PL-9 X 210		
CG2	2	H - 350 X 175 X 7 X 11	A	6-M20	PL-9 X 175	2 PL-9 X 75	A	3-M20	2 PL-6 X 210		

小 梁 リ ス ト

符号	主 材	仕口及び継手	備 考
B1	H-396 X 199 X 7 X 11	HTB. 4-M20 GPL-9X340	
B2	H-350 X 175 X 7 X 11	" "	
B3	H-346 X 174 X 6 X 9	" "	
B4	H-300 X 150 X 6 ⁵ X 9	HTB. 3-M20 GPL-9X270	
B5	H-298 X 149 X 5 ⁵ X 8	" "	
B6	H-244 X 175 X 7 X 11	" GPL-9X210	
B7	H-200 X 100 X 5 ⁵ X 8	HTB. 2-M20 GPL-9X200	
B8	H-194 X 150 X 6 X 9	HTB. 4-M20 GPL-12X200	HTB 互列2本
B9	H-340 X 250 X 9 X 14	" GPL-12X340	
B10, CB1	H-250 X 250 X 9 X 14	HTB. 3-M20 GPL-9X210	
B11	[- 250 X 90 X 9 X 13	" "	
B12 CB2	[- 150 X 75 X 6 ⁵ X 10	HTB. 2-M20 GPL-9	R階床高上げ

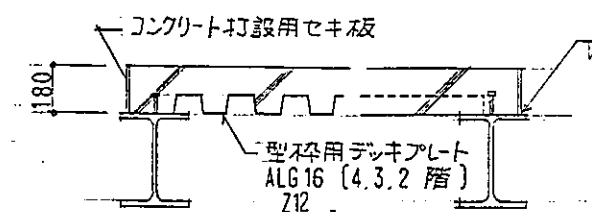
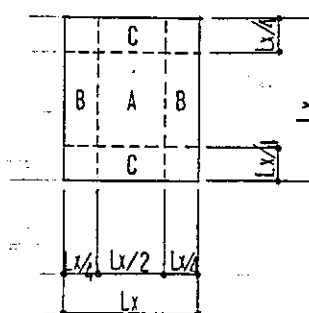
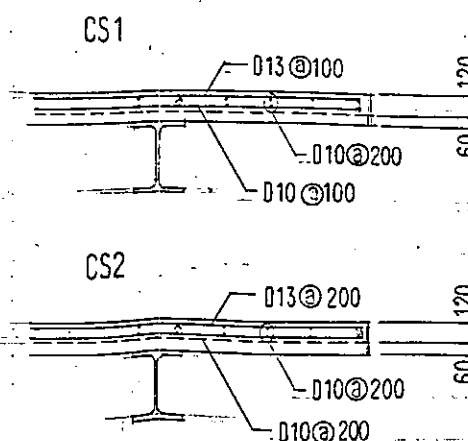
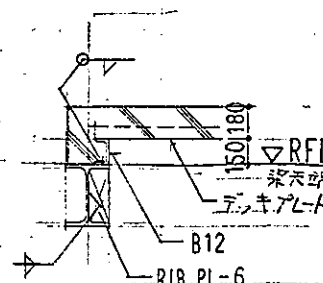
ブレース
部 材 リ ス ト

符号	主 材	仕口及び継手	備 考
D1	C-100 X 50 X 20 X 2 ³	L-125 X 75 X 7 中継 2-M16	
D2	L-65 X 65 X 6	L-125 X 75 X 7 HTB. 2-M16	
BR1	FB-65 X 9	G.PL-9 HTB. 3-M16	鉛直ブレース

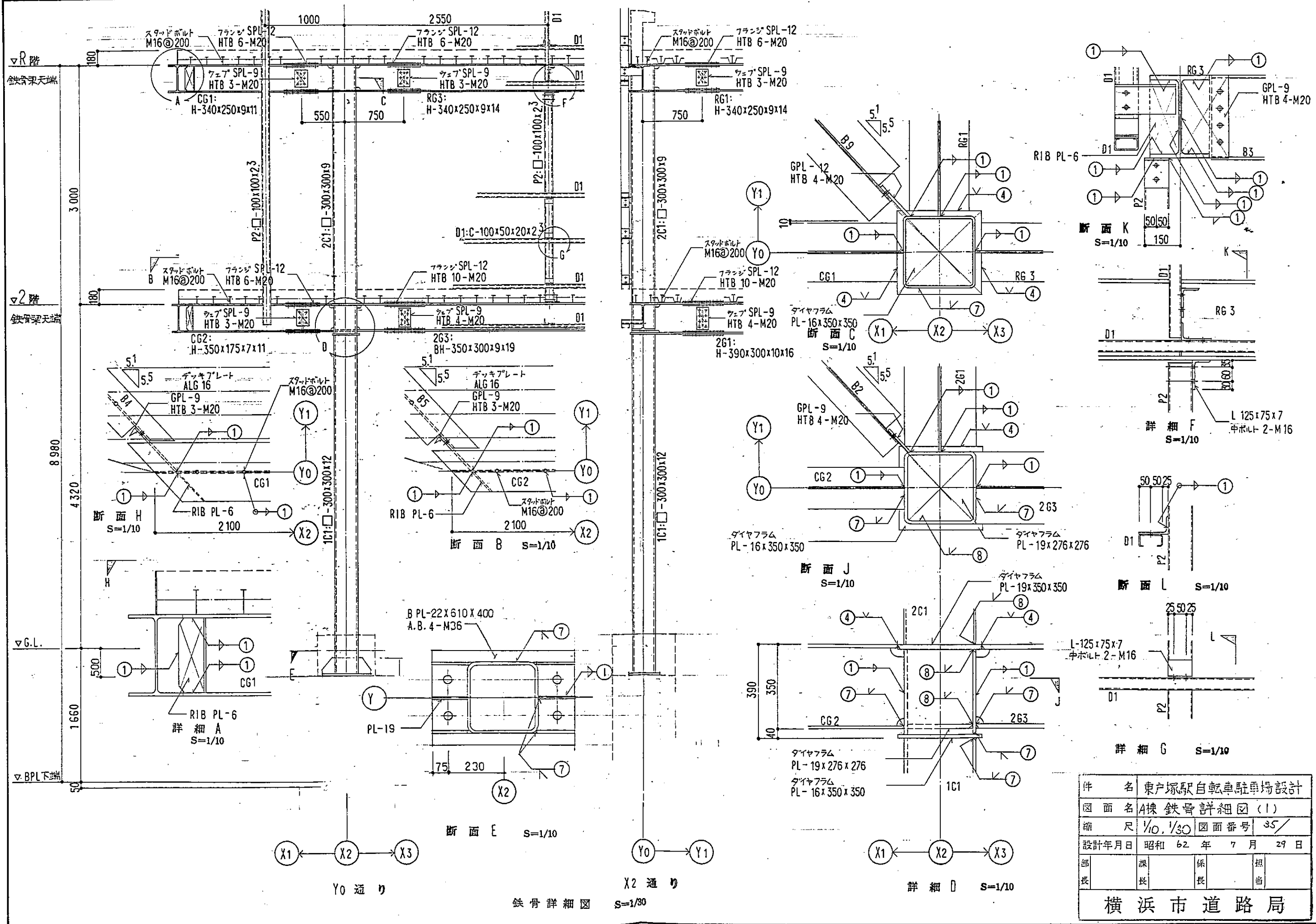


ス ラ ブ リ ス ト

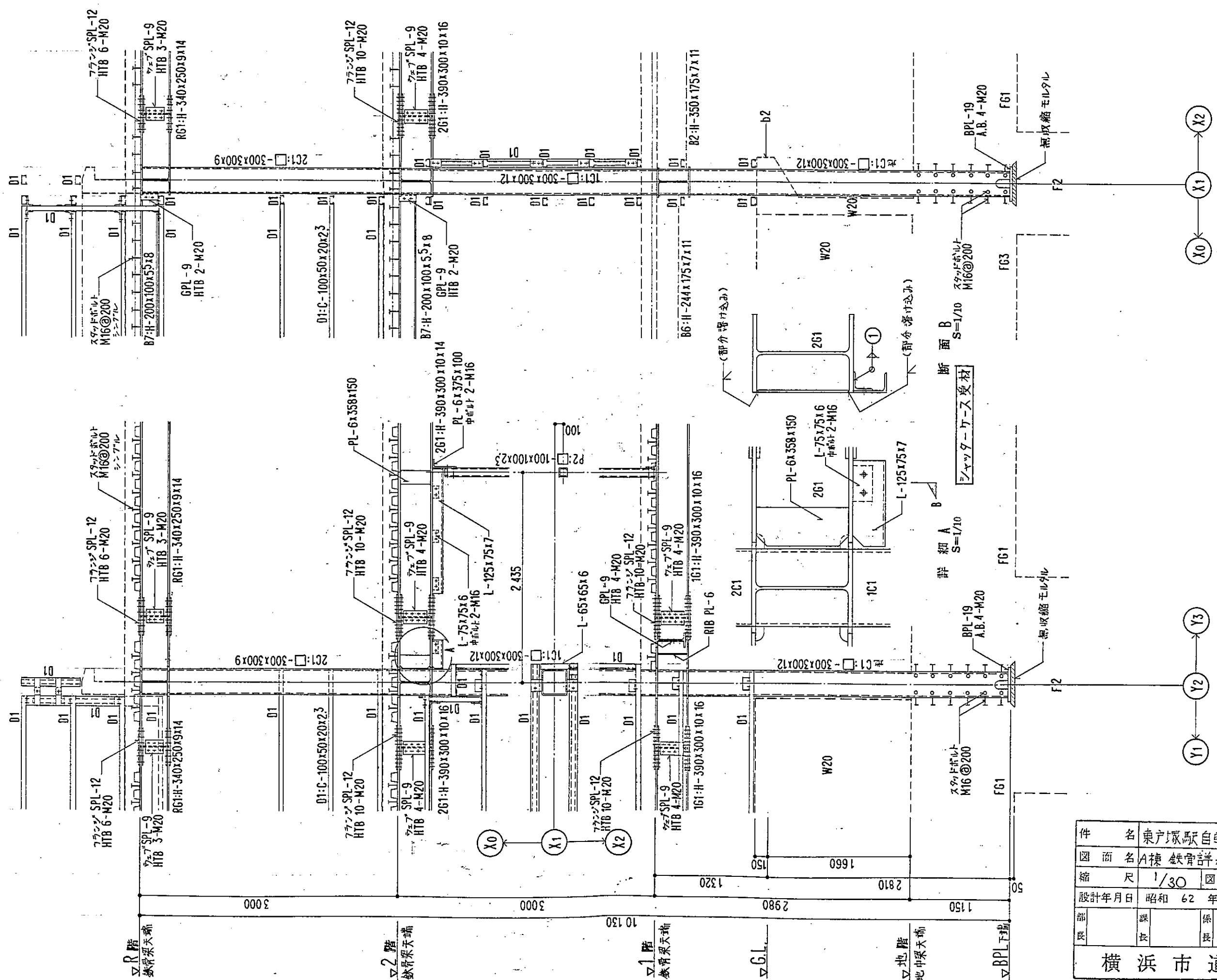
符号	版厚	位 置	短 辺 方 向			長 辺 方 向			備 考
			中央部		端 部	中央部		端 部	
			端部(B)	中央(A)	全断面	端部(C)	中央(A)	全断面	
S1	120	上端	D10@13@200	D10@400	D10@200	D10@250	D10@500	D10@250	
		下端	D10@400	D10@200	D10@200	D10@500	D10@250	D10@250	
S2	120	上端	D10@13@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	D10@200	
		下端	D10@400	D10@200	D10@200	D10@400	D10@200	D10@200	
S3	120	上端	D10@200	D10@200	D10@200	D10@250	D10@250	D10@250	左右端部から
		下端							
		上端							
		下端							



件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	A棟 柱・梁 リスト表		
縮 尺		図面番号	04/
設計年月日	昭和 62 年 7 月 30 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟鉄骨詳細図(1)		
縮尺	1/10, 1/30	図面番号	35
設計年月日	昭和 62 年 7 月 29 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



Y2 通り

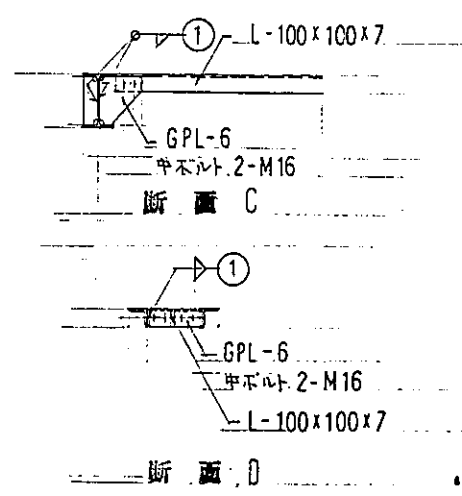
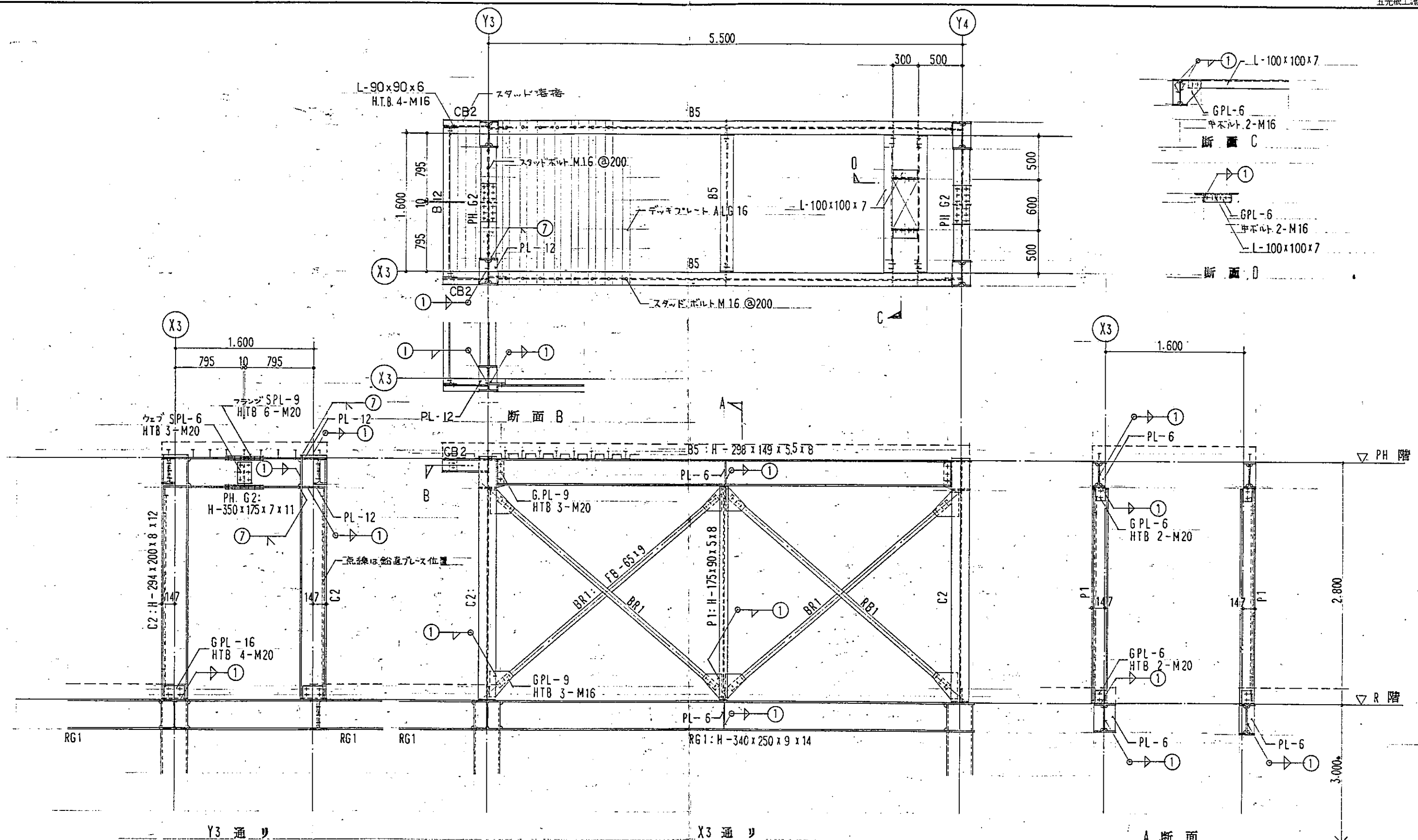
X1 通り

鉄骨詳細図 S=1/30

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 鉄骨詳細図 (2)		
縮尺	1/30	図面番号	36
設計年月日	昭和 29 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当

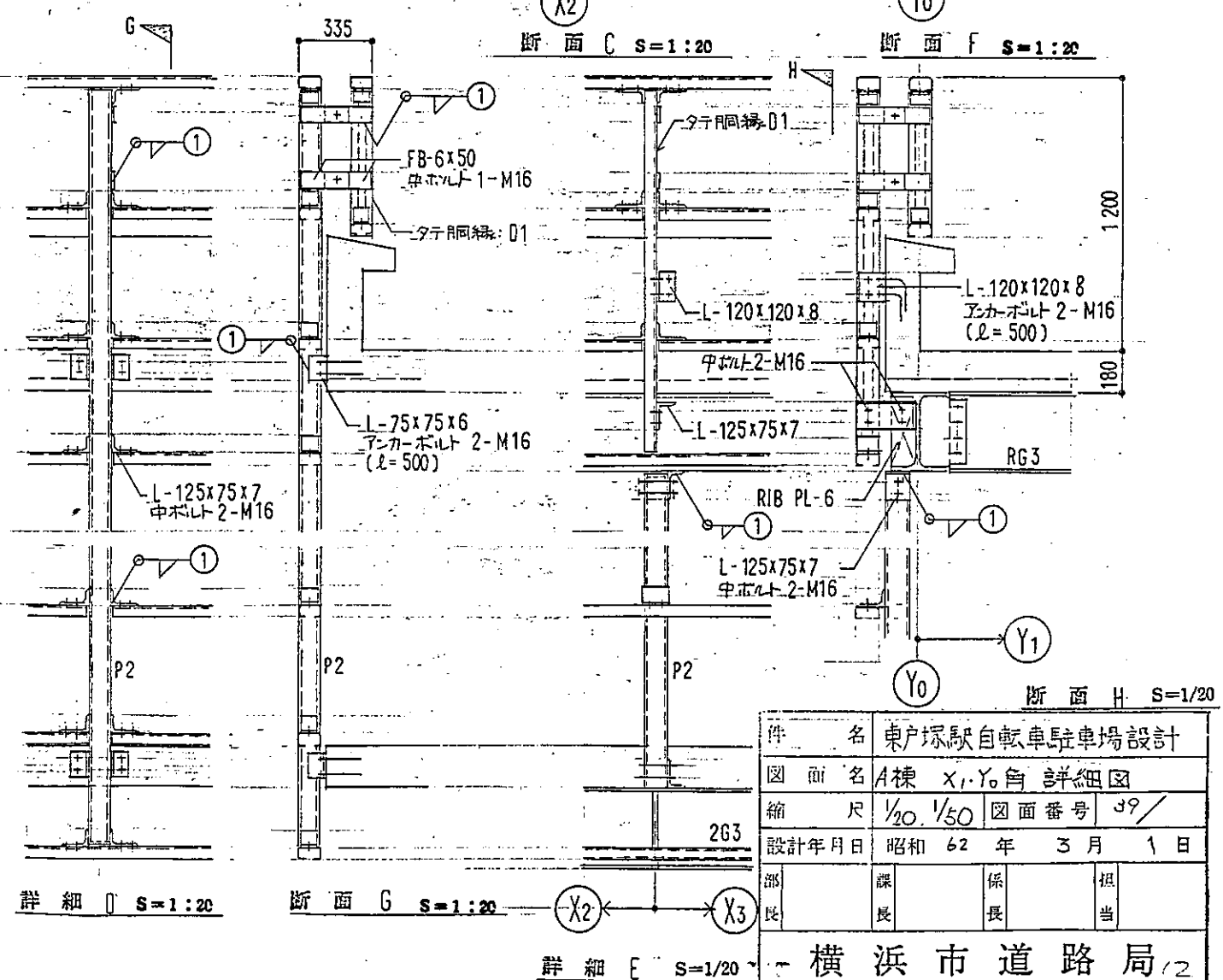
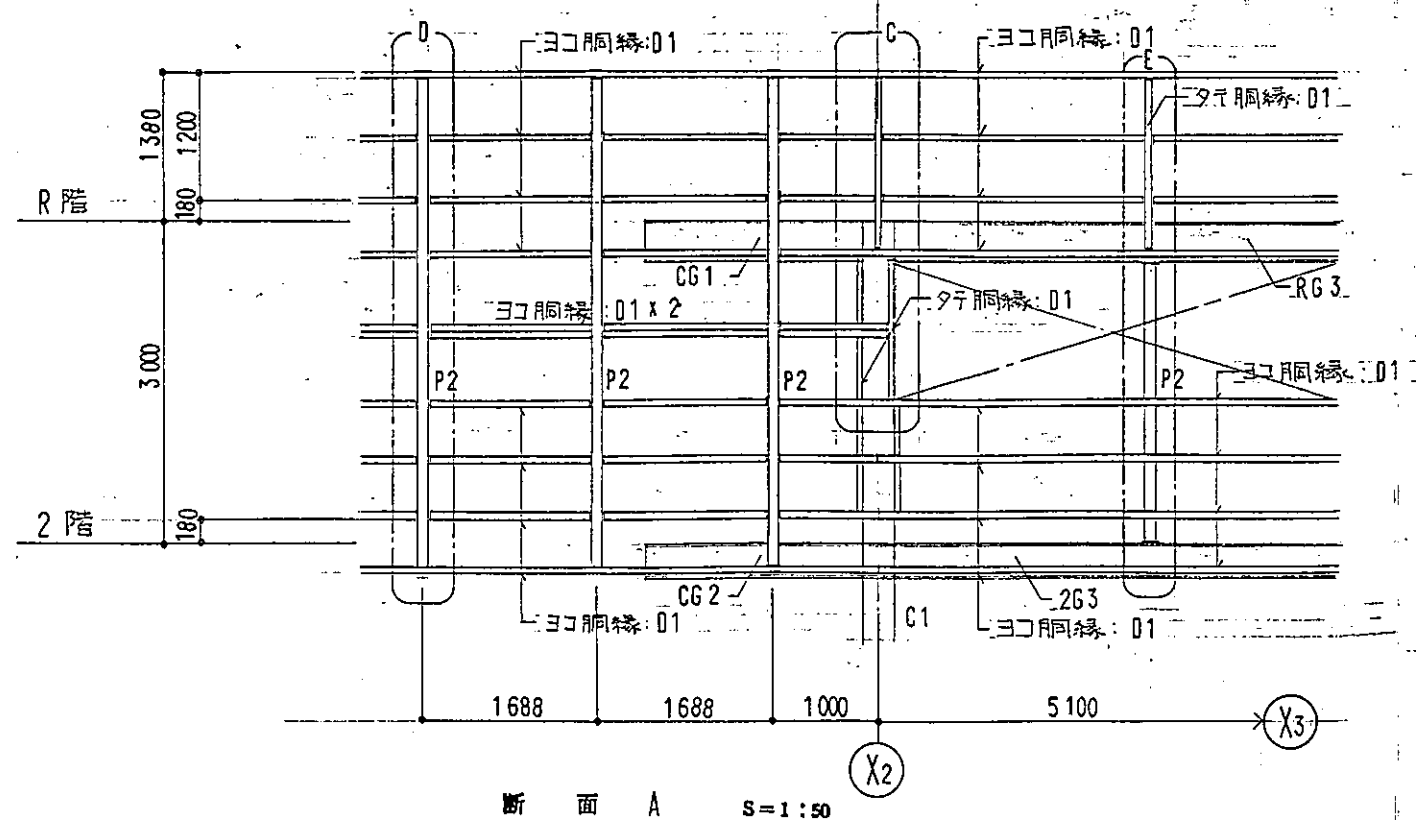
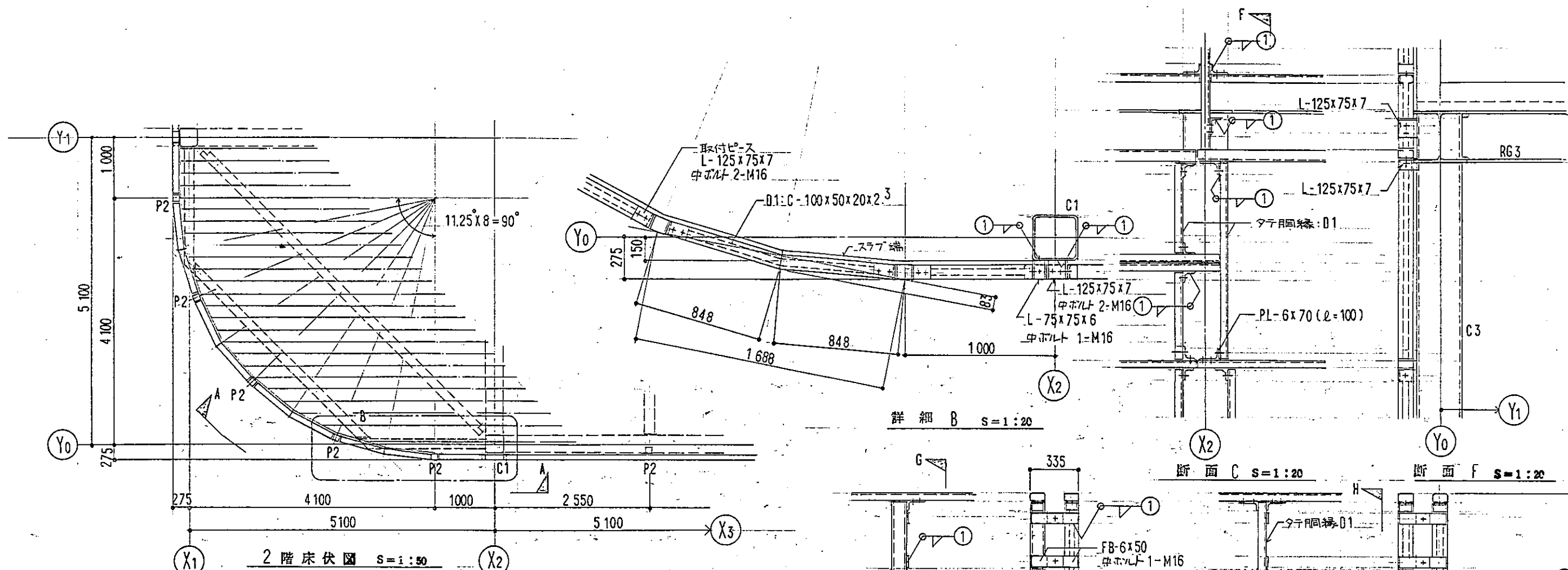
横浜市道路局

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計				
図面名	A棟鉄骨詳細図 (3)				
縮尺	1/30	図面番号	37/		
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日				
部長	課長	係長	担当		
横浜市道路局。					



鉄骨詳細図 S=1/30

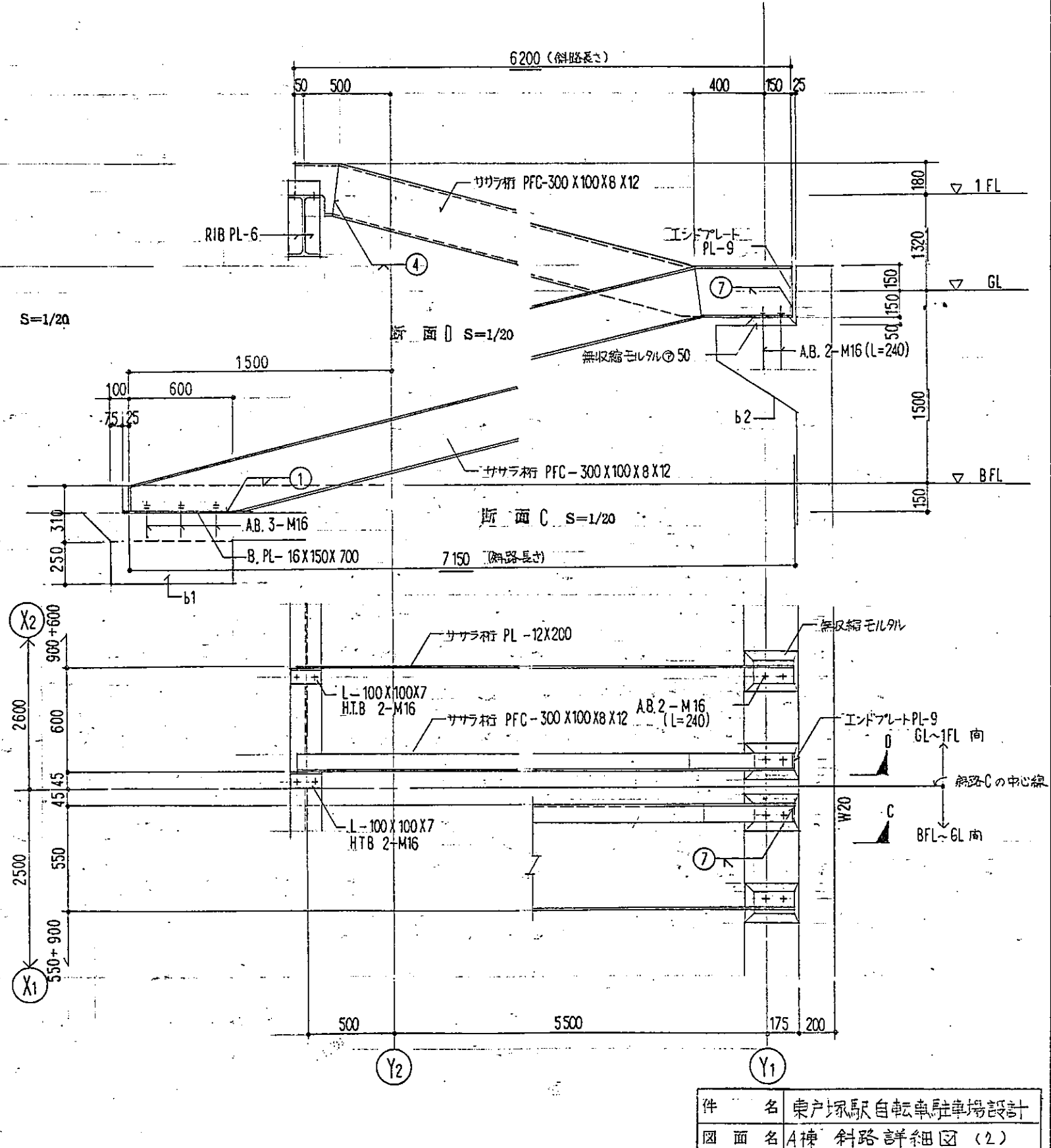
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟 鉄骨詳細図 (4)			
縮尺	1/30	図面番号	38/	
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟 X.Y.角 詳細図			
縮尺	1/20	1/50	図面番号	39/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 1 日			
部長	課長	係長	担当	
横 浜 市 道 路 局				

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟斜路階段詳細図(1)		
縮尺	1/20	図面番号	40/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

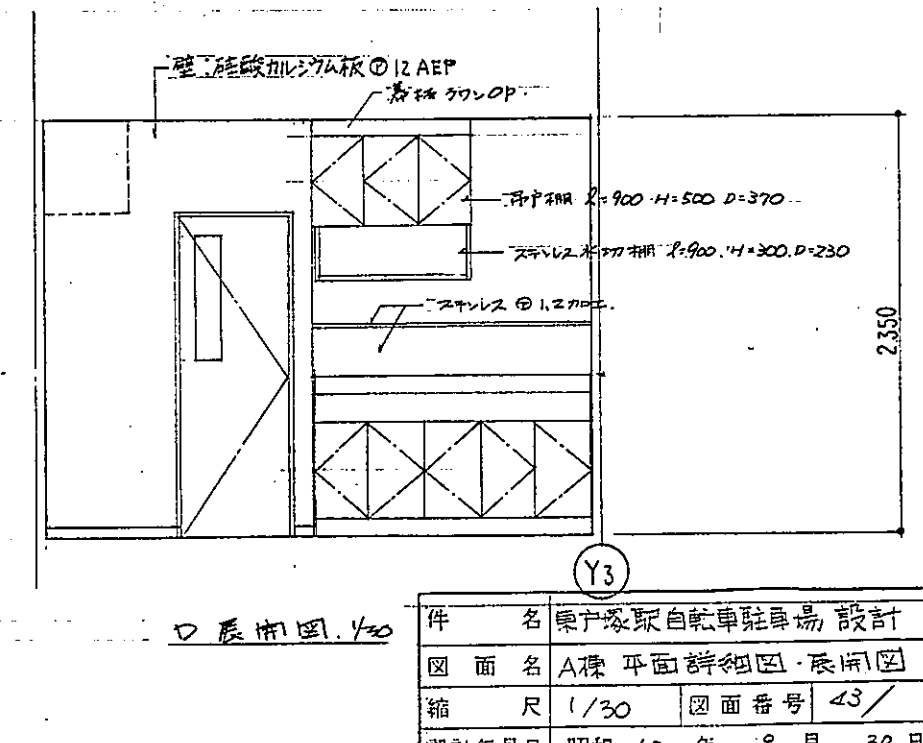
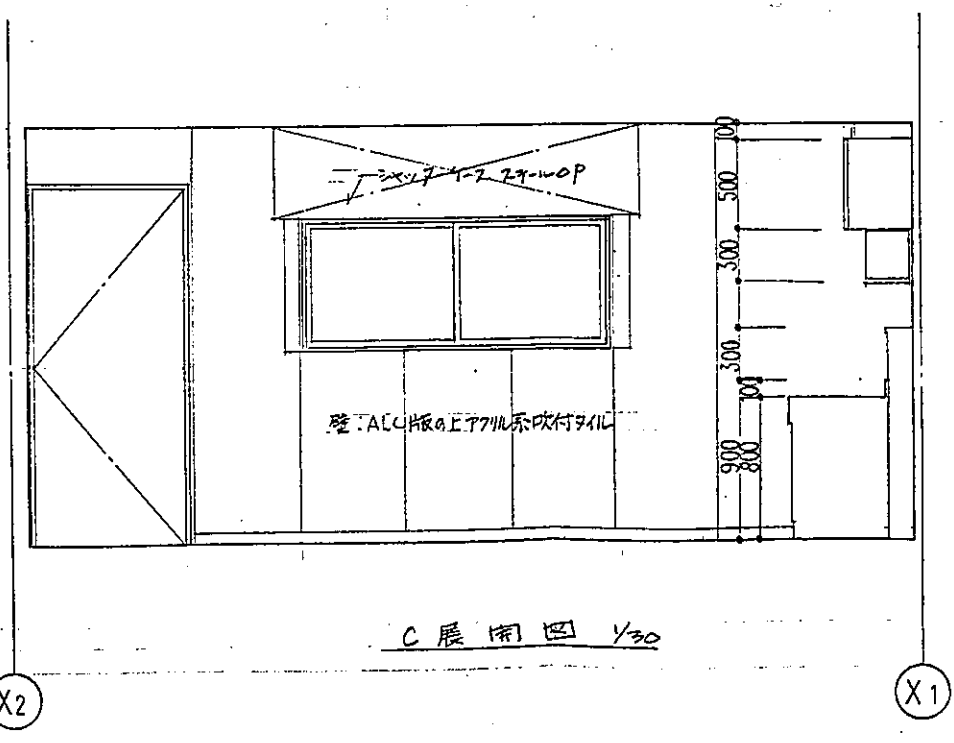
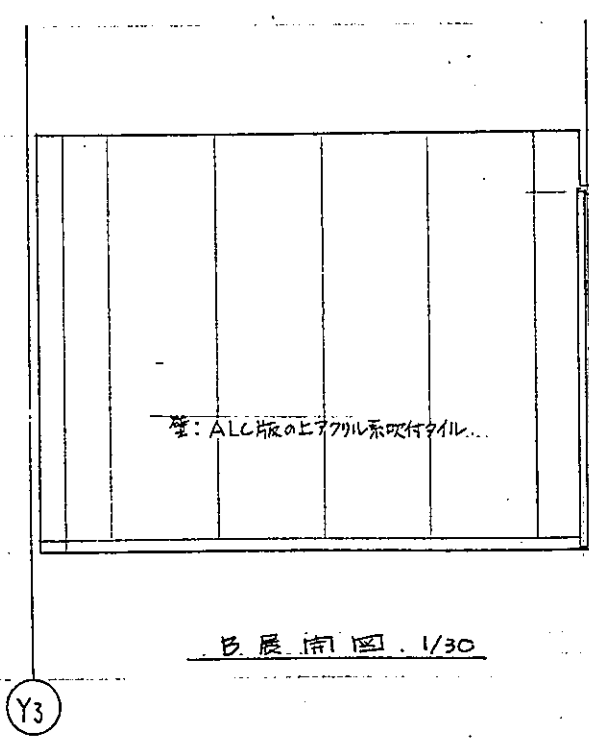
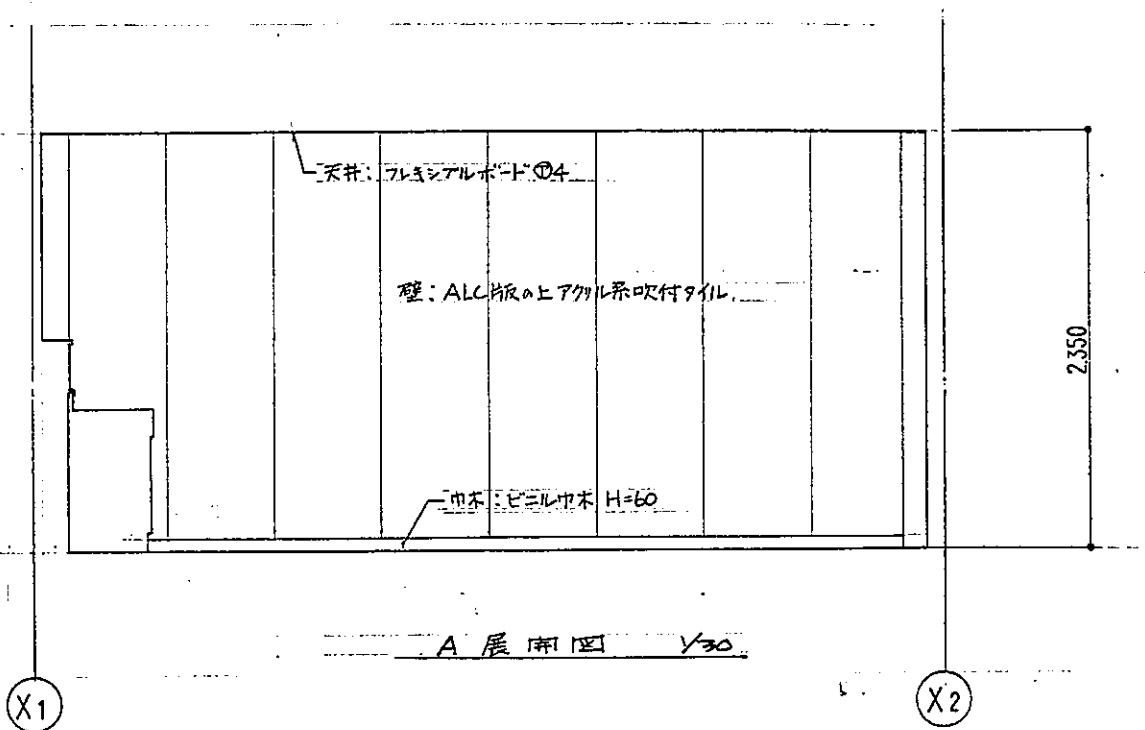
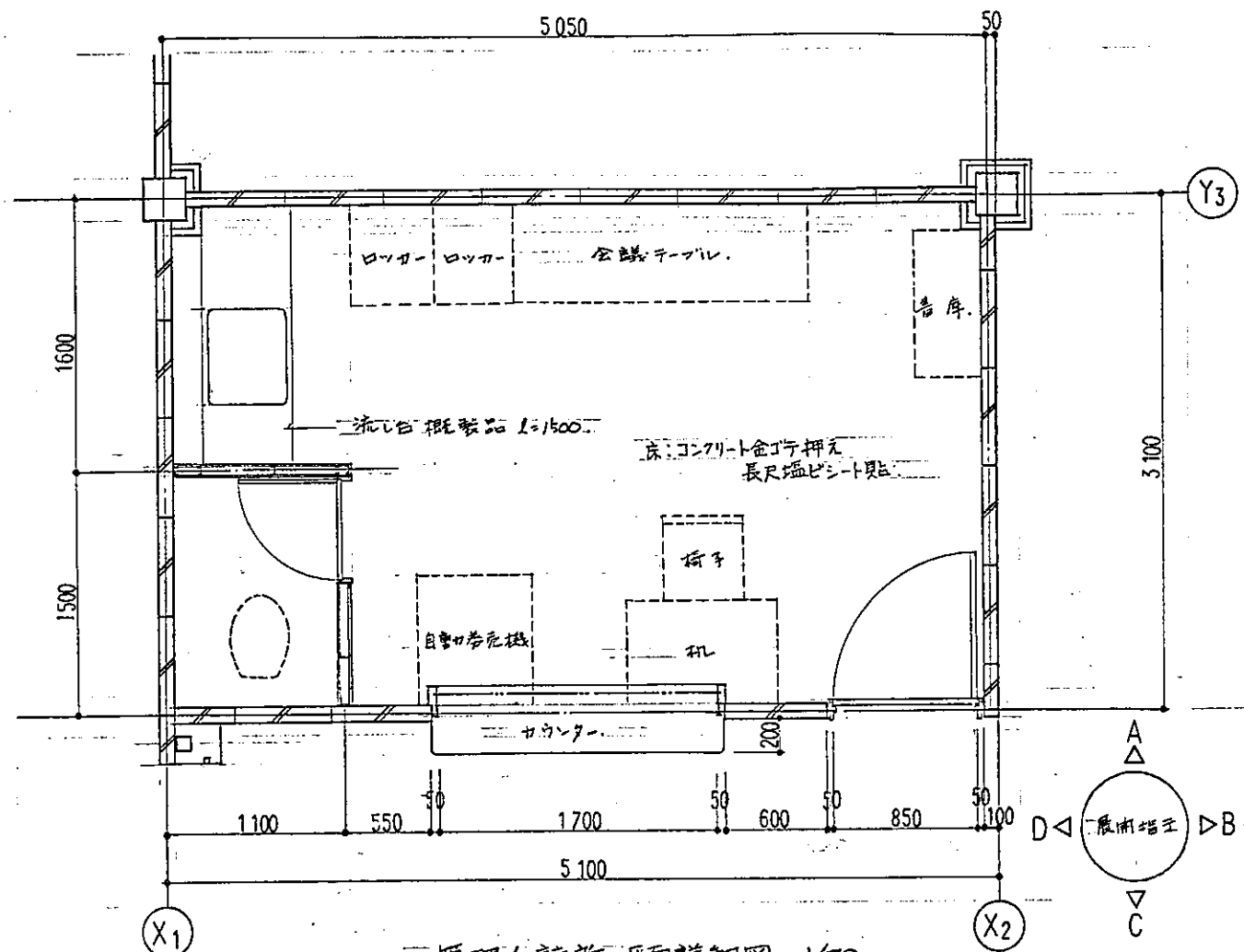
1. 段板, 踏板, 詳細は
斜路B 詳細図による



1. 段板、踏板、詳細は
斜路B 詳細図による

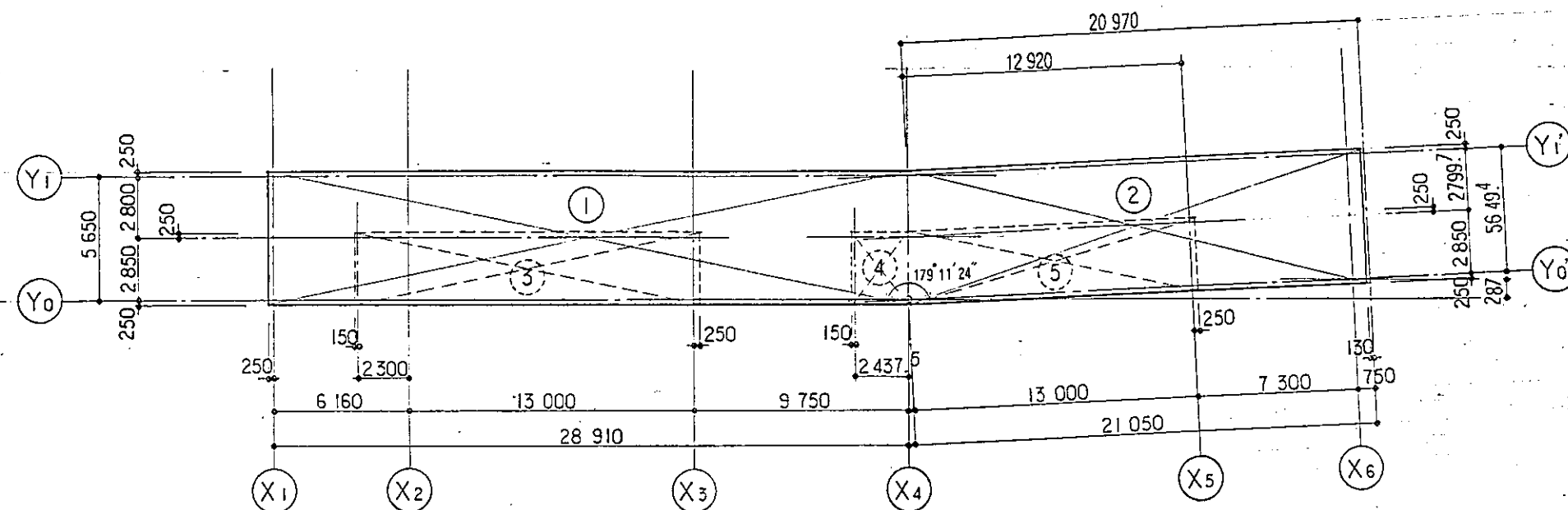
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟 斜路詳細図 (2)		
縮尺	1/20	図面番号	41/
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟通路橋受鉄骨詳細図		
縮尺	1/10, 1/20	図面番号	42/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟 平面詳細図・展開図			
縮尺	1/30	図面番号	43/	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

求 積 図 ・ 面 積 表 S=1:200



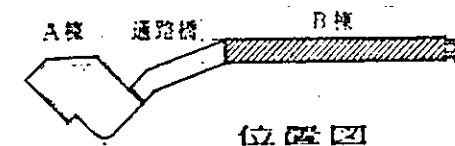
注). *印付法は、現場にて確認の上、決定する。

外部仕上表

部 位	仕 上	備 考	部 位	仕 上	備 考
屋 上	コンクリート金ゴテ押エ + アスファルト防水(B-1) + 押エコンクリート ⑥60 ~ 120 金ゴテ押エ フェロコンハード仕上 (溶接金網 #6 ⑥100); 伸縮目地: W=25		外 階 段	階面: モルタル金ゴテ仕上 (7ヶ所); 階段: 鉄骨表わし OP; 踊り場: コンクリート金ゴテ (7ヶ所) 柱・梁: 金網仕上 (階段: 鉄骨表わし OP 2箇所)	手摺: スチールパイプ OP 2箇所 1: スリッパ; スチンレス鋼 (ゴム入)
屋上手摺	外周: 外周に同じ 内周: 軽鉄下地 ALCパネル ⑤50 アクリル系吹付タイル 足木: ホーロー鋼板パネル; 水切り: カラー鉄板 ⑥98 加工		外 部 腰	コンクリート打放し補修 目地: シ-リング B種 10x10 躯体目地: " 20x20	足木: コンクリート金ゴテ
落屋屋根	コンクリート金ゴテ押エ + アスファルト防水 (D-1) パラペット足木: ホーロー鋼板パネル (東面のみ) Bがアルミ既製品アルマイト処理		EXPジョイント (足木のみ)	エ-キ金網: L-65x15x6 Bが R-6x10 9-IL 焼付 ジョイントカバー: C.R-6 9-IL 焼付 鉄骨表: スチンレス ⑥0.5 HL W=125, H=200; ドレインカバー: スチンレス金網; 足木: 鋼管埋込み ⑥125	
外 壁	ホーロー鋼板パネル張り または ALCパネル ⑥100 アクリル系吹付タイル; 目地 (美造): シ-リング (B種) 10x10 15x10 20x10 パウダース ロックワール	ALC腰壁足木: カラー鉄板 ⑥0.4加工	U字側溝	東側: U-240 (既製品) 西側: 現場打コンクリート 躯体目地 (⑥10.000): シ-リング B種 20x20	
縦・横・ドレン	縦・ドレン: 鋼鉄製 (横引型) #80 Bが #65 堅板: 鋼管埋込みパイプ #80 Bが #65				

内部仕上表

階	室 名	床	巾 木 ・ 腰	壁	天 井	柱 梁	備 考
1	ミニバイク置場	コンクリート金ゴテ押エ + フェロコンハード仕上	西面のみ コンクリート打放し補修 北・東・南面のみ コンクリート打放し補修	100 1250	外壁: ホーロー鋼板パネル部: ALCパネル ⑤50 焼付 外壁 ALCパネル部: アクリル系吹付タイル	チッキプレート Z12	耐火保護: H&FL=1200 ALC ⑤50 77HL RDP 付タイル 鉄骨埋込み ⑥1200 鉄骨埋込み ⑥1200 AEP ネットフェンス H=2000 床排水溝: W=100, H=200 コンクリート金ゴテ 床排水溝: W=100, H=200 コンクリート金ゴテ 床排水溝: W=100, H=200 コンクリート金ゴテ 床排水溝: W=100, H=200 コンクリート金ゴテ
2	ミニバイク置場	全 上	全 上	全 上	全 上	全 上	手摺: スチールパイプ OP
3	落 屋	全 上	北・南及び西面のみ コンクリート打放し補修	全 上	全 上	全 上	
共通	通路 A, B	スロープ: コンクリート金ゴテ + 金ゴテ押エ + 金ゴテ押エ + 金ゴテ押エ 階面: ノズリ付平板フローリング; 鉄部 OP	全 上	全 上	段裏: 鉄骨表わし OP 2箇所	全 上	



件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	B棟 求積図・面積表		
縮 尺	1/200	図面番号	44/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部 長	課 長	係 長	組 当
横 浜 市 道 路 局			

R 階 平面図 S 1:200

3 階 平面図 S 1:200

(自転車 39 台)

47 台

2 階 平面図 S 1:200

(ミニバイク 60 台)

80 台

1 階 平面図 S 1:200

(ミニバイク 72 台)

97 台

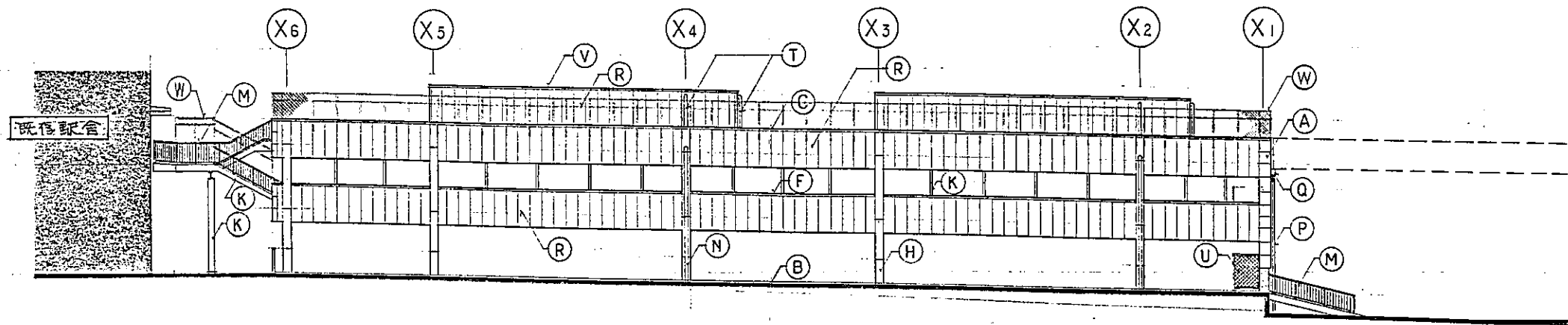
B 棟計 224 台

合計 (A 棟 + B 棟) 1003 台

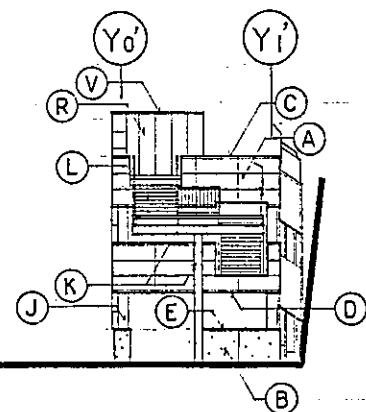
凡例

① フレーム設置範囲を示す。
転倒防止柵は $L=500, 1000$ [000] ナンバープレートを示す。
注) *印寸法は現場確認の上、決定する。

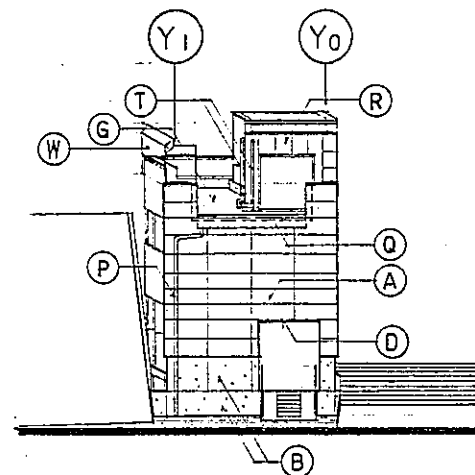
件名	東戸塚駅自転車駐車場 設計			
図面名	B棟 平面図			
縮尺	1/200	図面番号	45 /	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



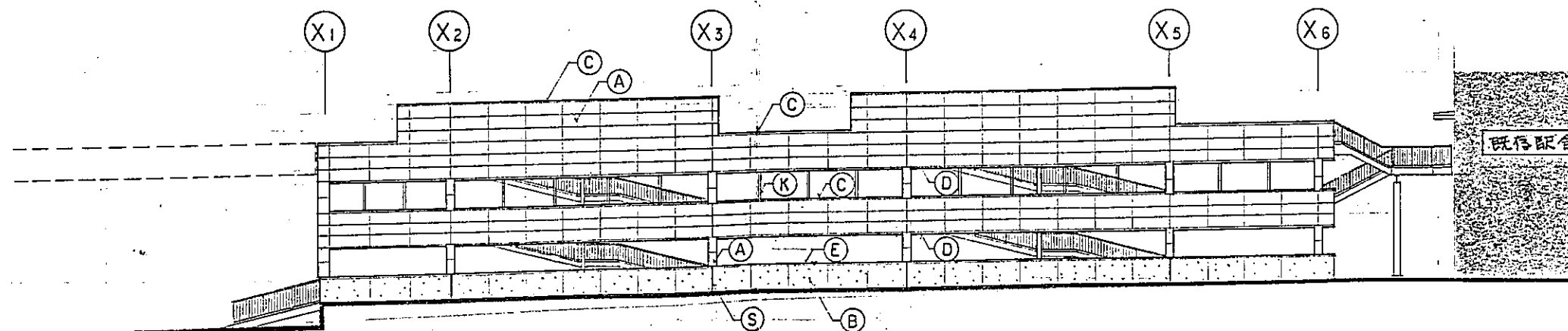
西立面図 S=1:200



北立面図 S=1:200



南立面図 S=1:200

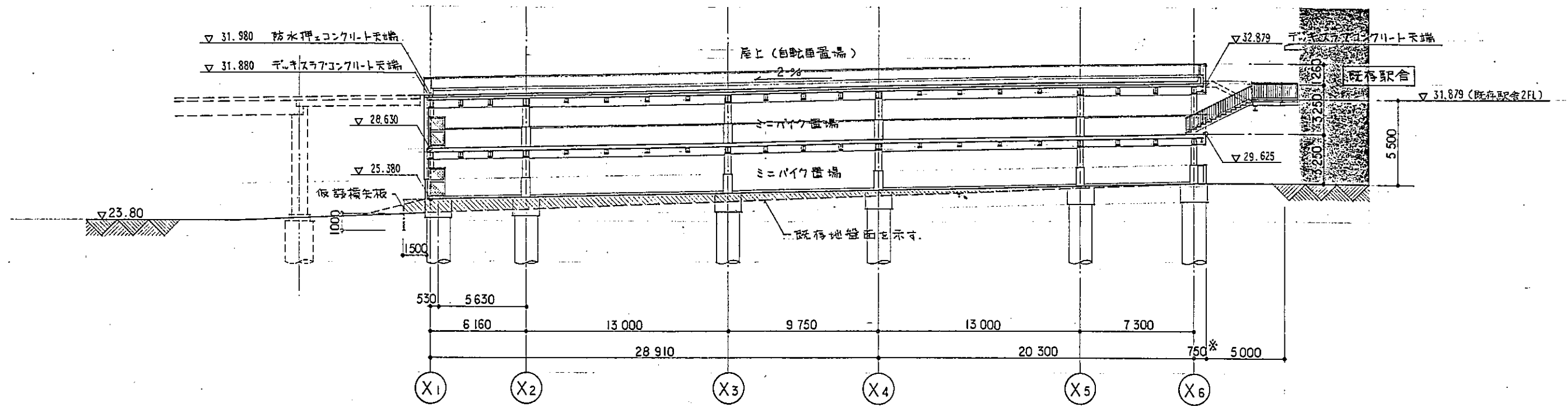


東立面図 S=1:200

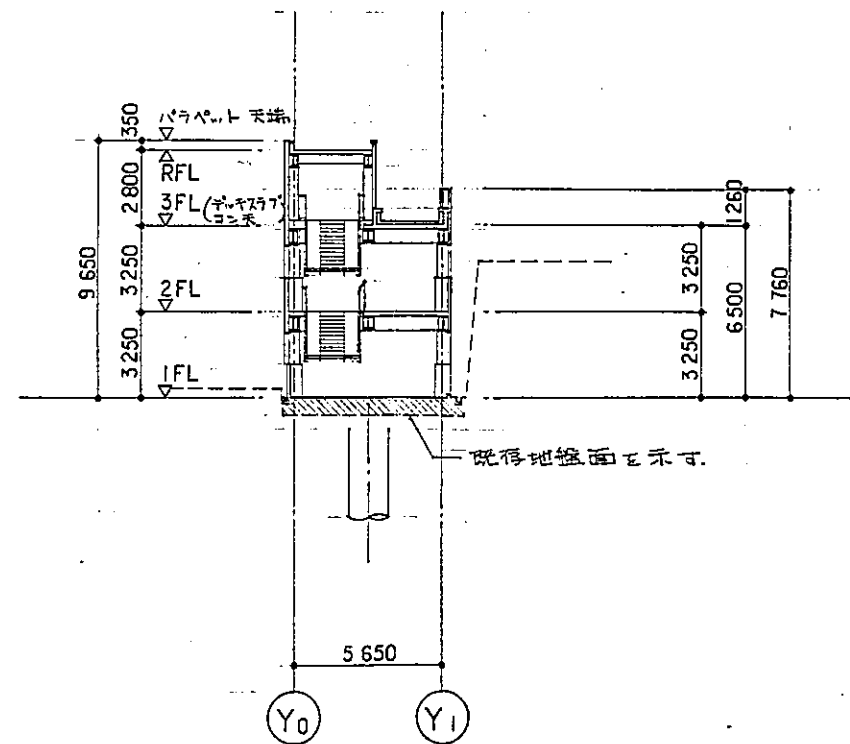
外部仕上表

記号	仕上	記号	仕上	記号	仕上
A	外壁及び柱型: ホ-ロ-鋼板パネル	J	耐火被覆(H≧1.200): 珪酸カルシウム板②25 AEP	S	躯体目地切: ホリサルトネット系 ネット 20×20
B	腰壁及び地中梁: コンクリート打放し補修	K	鉄骨表わし OP 2回塗	T	タテ樋: 硬質塩ビパイプ φ65
C	パラベット及び手摺室床: ホ-ロ-鋼板パネル	L	階段 踏面: エルメタル金コテ仕上(744×72×2750角入) 蹴込及び段長: 鋼板表わし OP	U	ネットフェンス H=2000 フェンス附付
D	水切: ホ-ロ-鋼板パネル	M	手摺: スチールパイプ OP	V	塔屋パラベット室床(ALC部): アルミ(既設品)アルマイト処理
E	腰壁床: コンクリート金コテ仕上	N	タテ樋: 硬質塩ビパイプ φ80	W	ネットフェンス
F	手摺室床(ALC部): カラー鋼板②0.6白亜加工	P	タテ樋: 硬質塩ビパイプ φ125		
G	屋根: 押入コンクリート金コテ平コンバート仕上	Q	軒樋: ステンレス②0.5 H.L内張し 鋼板③3.2加工		
H	耐火被覆(H≧1.200): ALC板⑤507714条吹付タイル	R	外壁: ALC③100 アクリル系吹付タイル		

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	B棟 立面図			
縮尺	1/200	図面番号	46	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



南北断面図 S=1:200



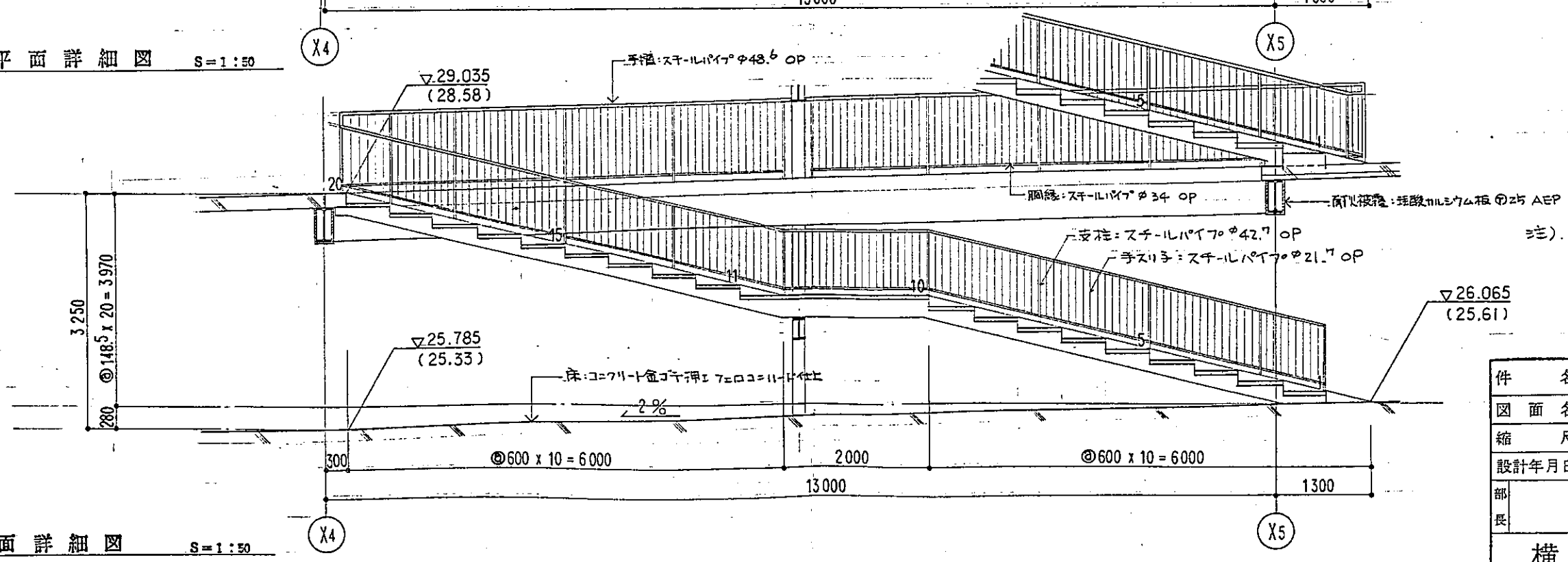
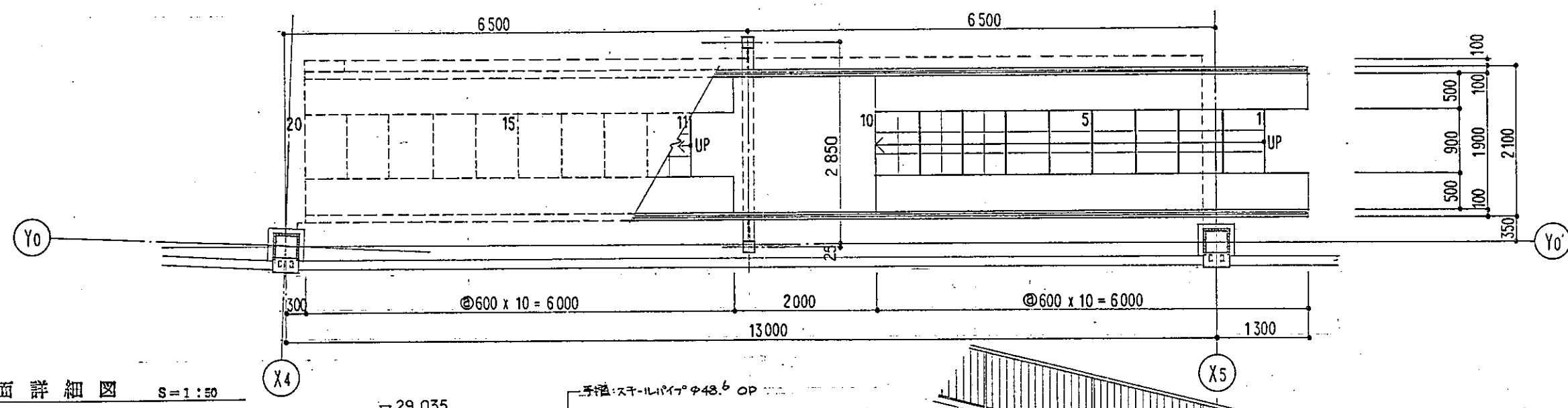
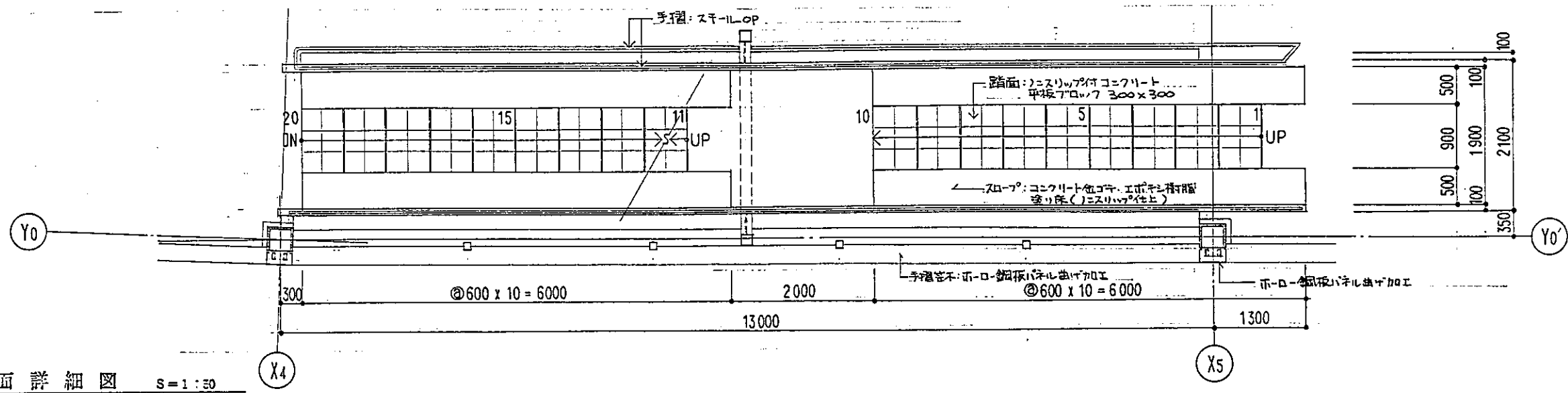
東西断面図 S=1:200

凡例

盛土を示す
(杭の打設前に施工する)

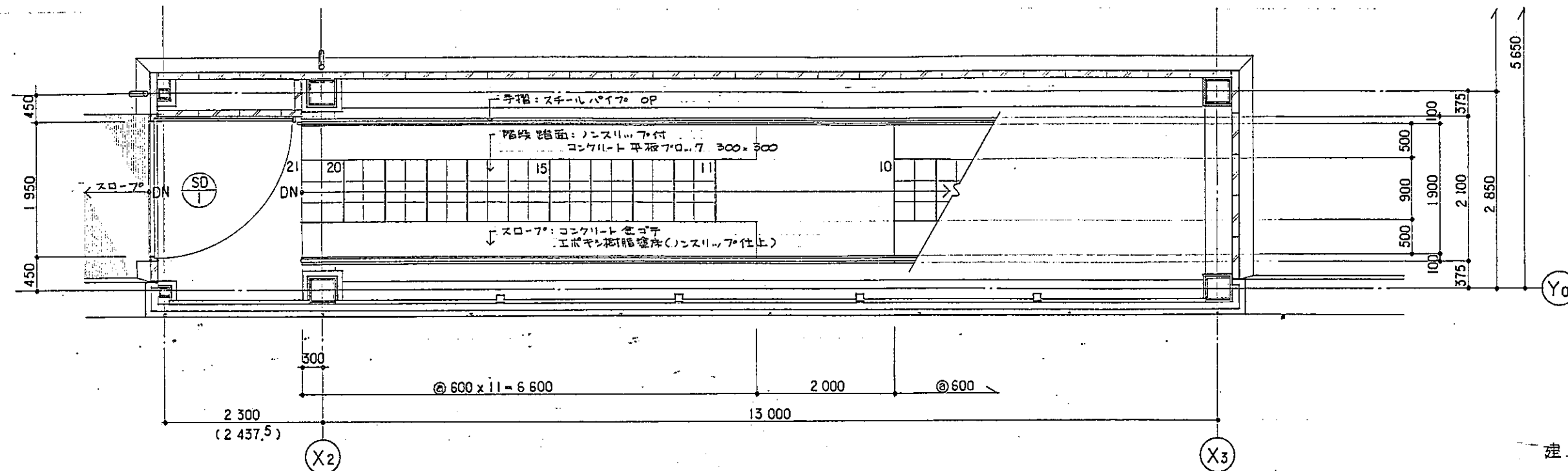
注). *印寸法は現場確認の上、決定すること。

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	B棟断面図			
縮尺	1/200	図面番号	47	
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

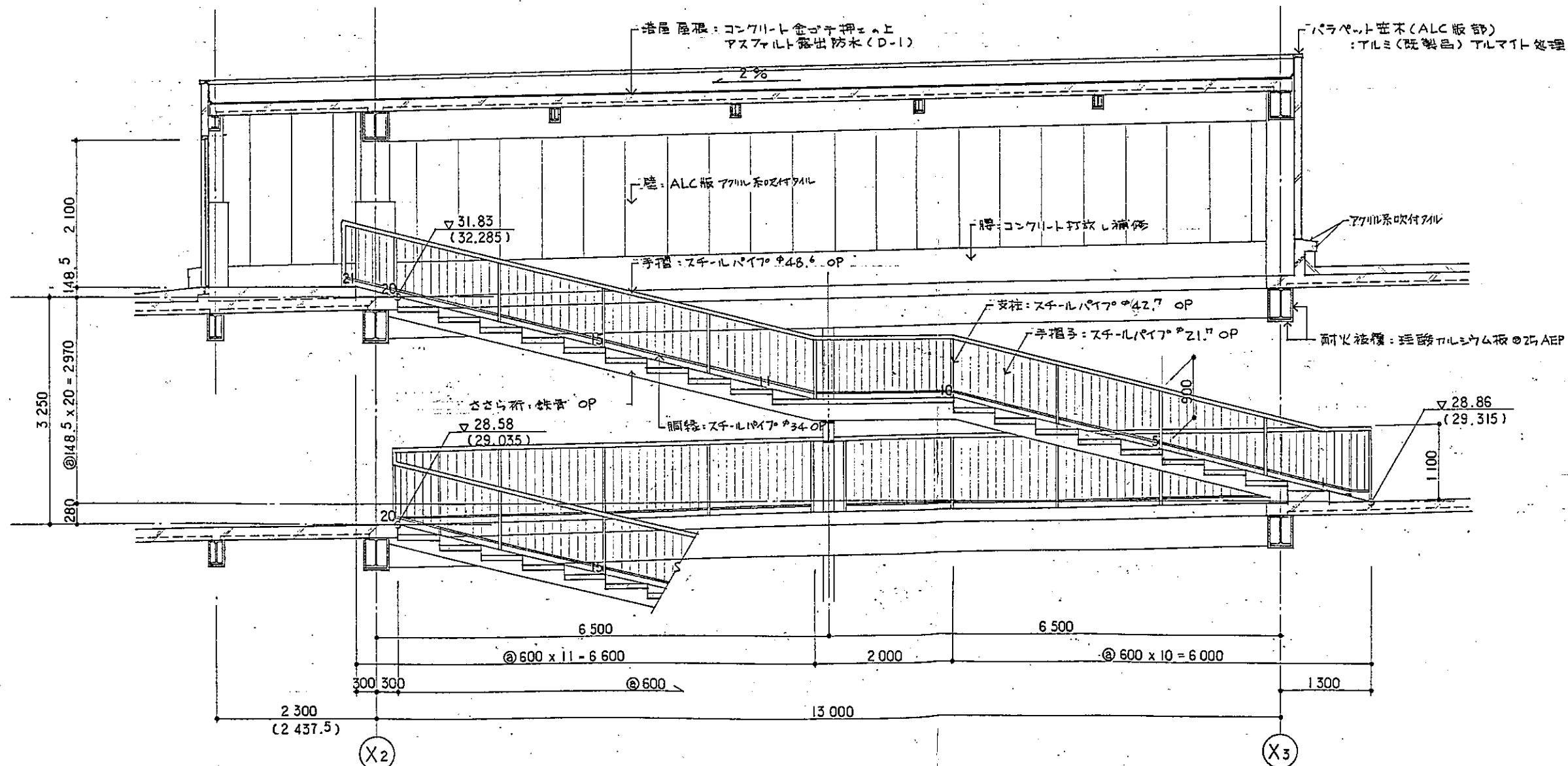


注) 1. 斜路 A は本図に倣う。
2. () 内の数字は、斜路 A のレベルを示す。

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	B棟 斜路B 詳細図			
縮尺	1/50	図面番号	49-1/	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



塔屋平面詳細図 S=1:50



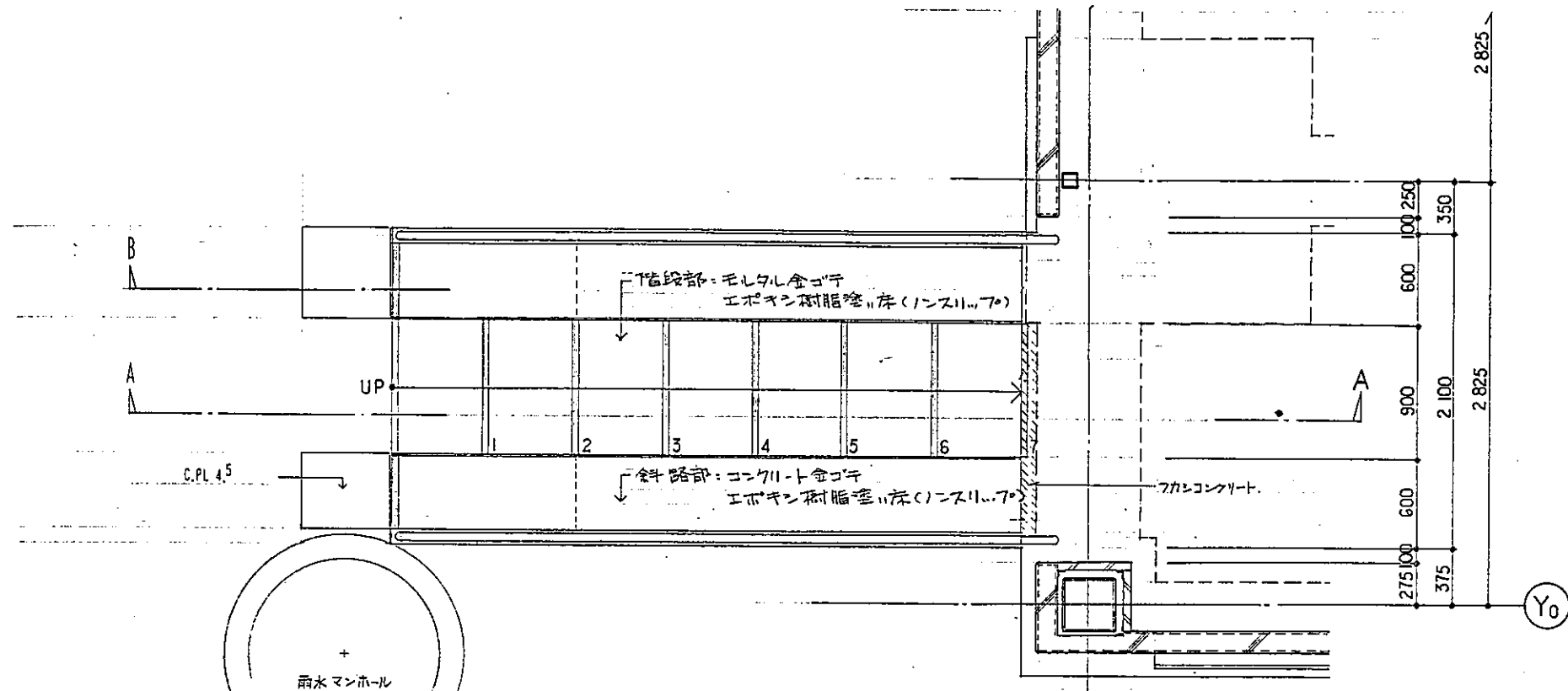
断面詳細図 S=1:50

建具表

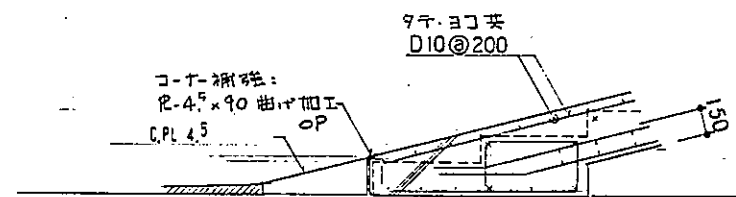
記号・形状	SD I	鋼製片断フラッシュ (標準型異形)
型式 (寸法)		
数量(見込)	2 (40)	
仕上	OP	
ガラス		
付属金物	丁番, ケースハンドル, ドアクローザ(ストッパなし)	
備考	甲種防火戸(常開)	

- 注) 1. 斜路 B は本図に倣う。
2. () 内の寸法は斜路 B の寸法を示す。

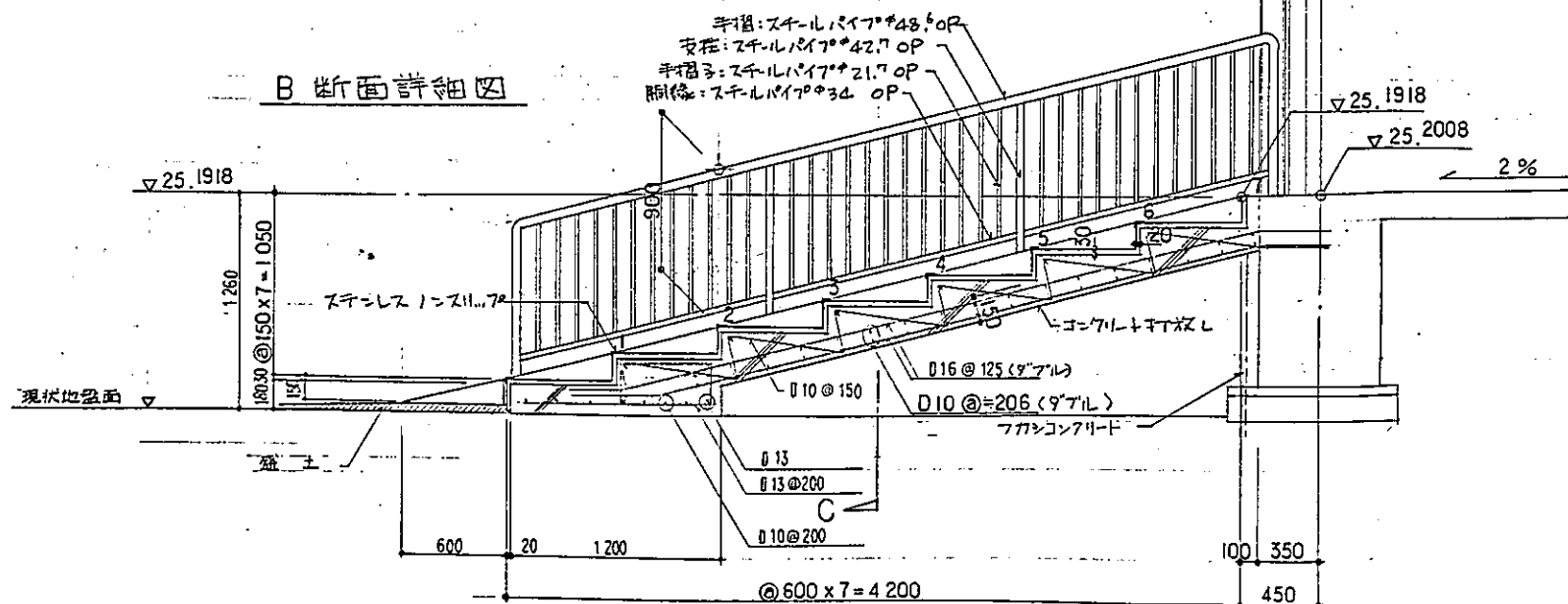
件名	東戸塚駅自転車駐車場 設計			
図面名	B棟 斜路A 詳細図			
縮尺	1/50	図面番号	49-2	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



平面詳細図

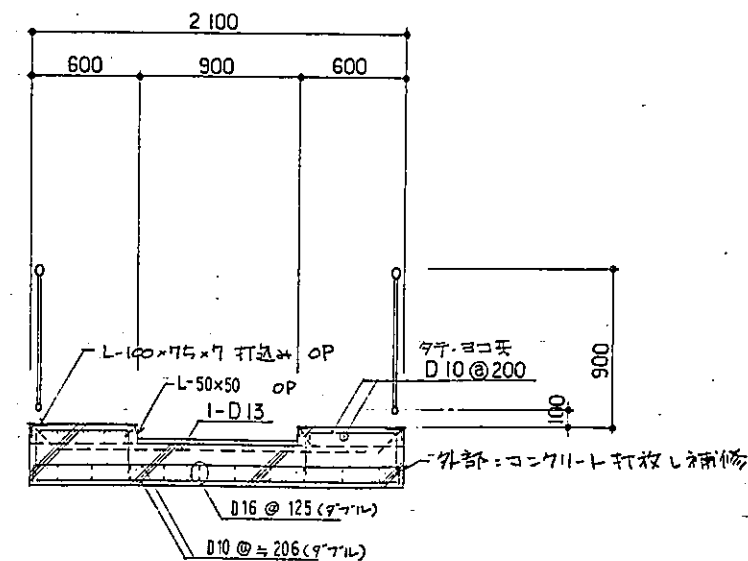


B 断面詳細図



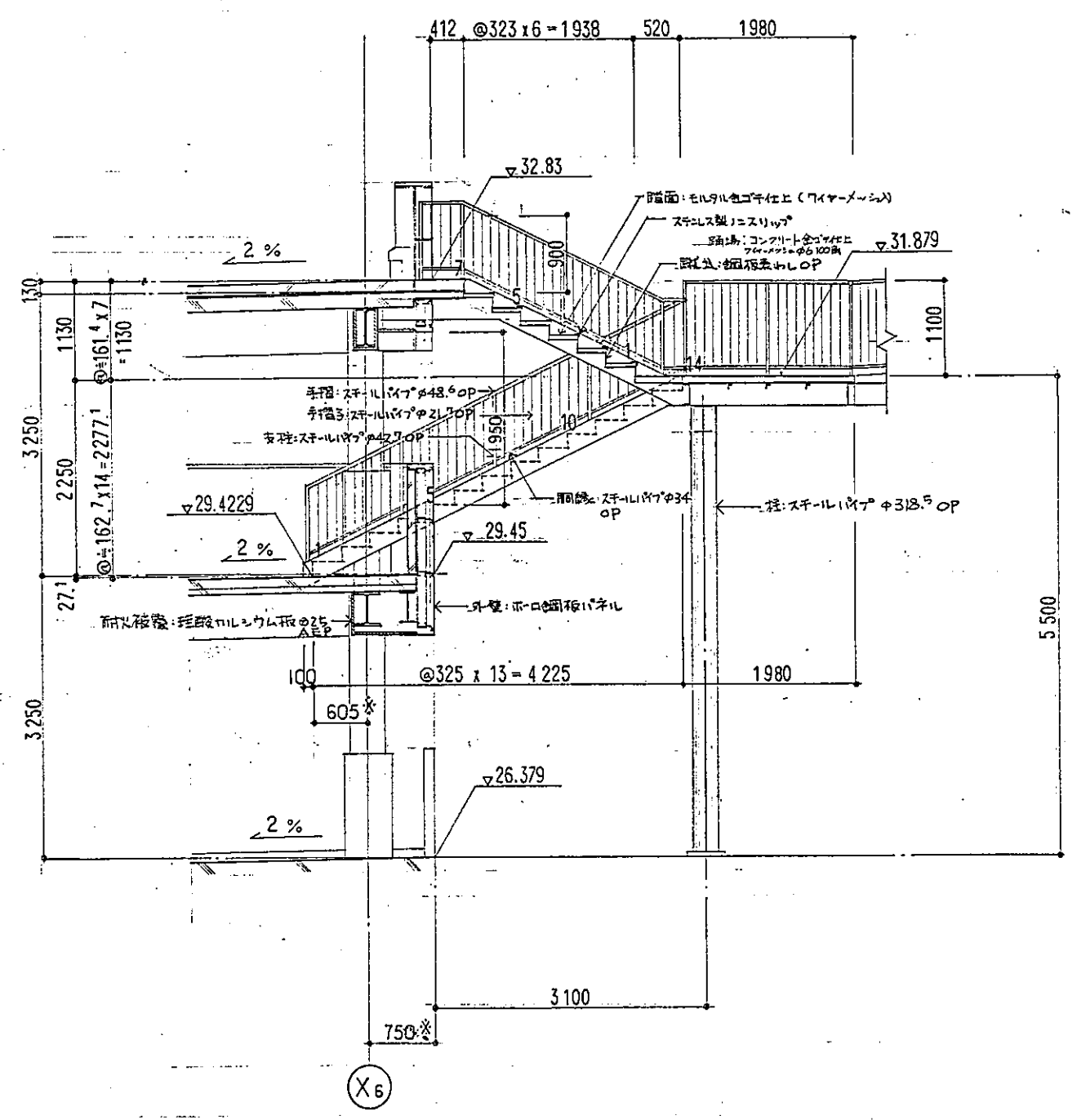
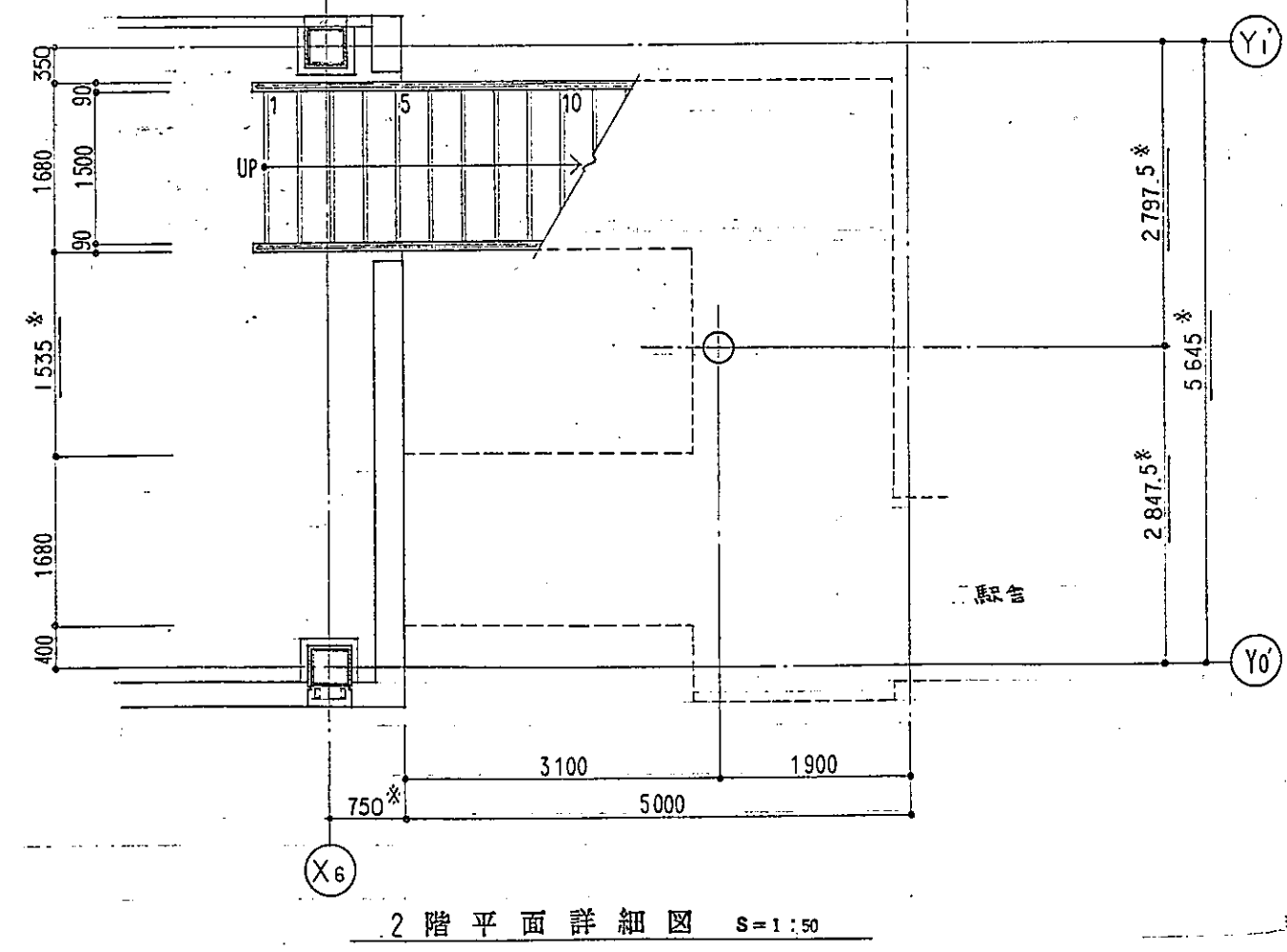
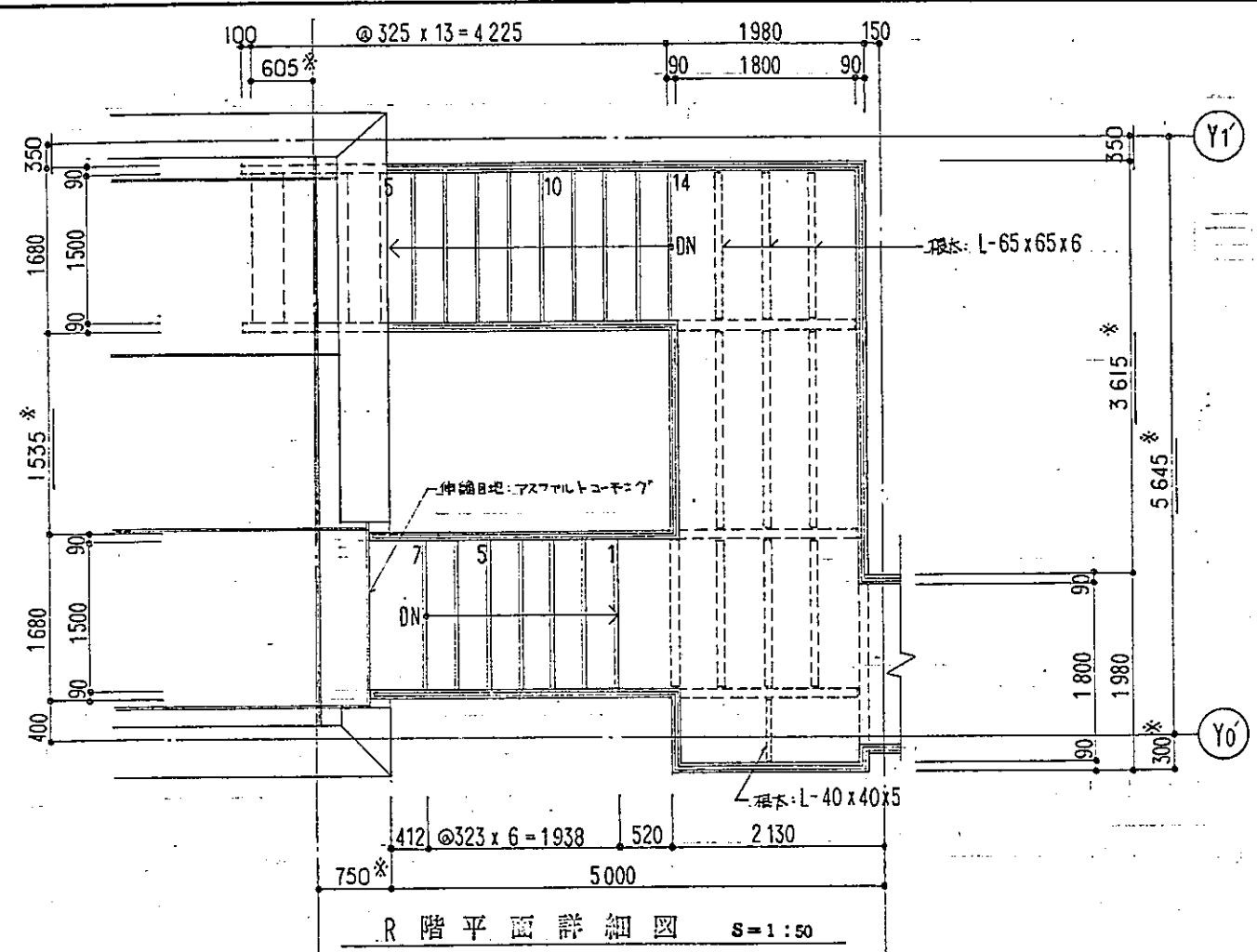
A-A 断面詳細図

注: ※印寸法が 30mm 以下となる様には造成地盤レベルを決定するに。



C 断面詳細図

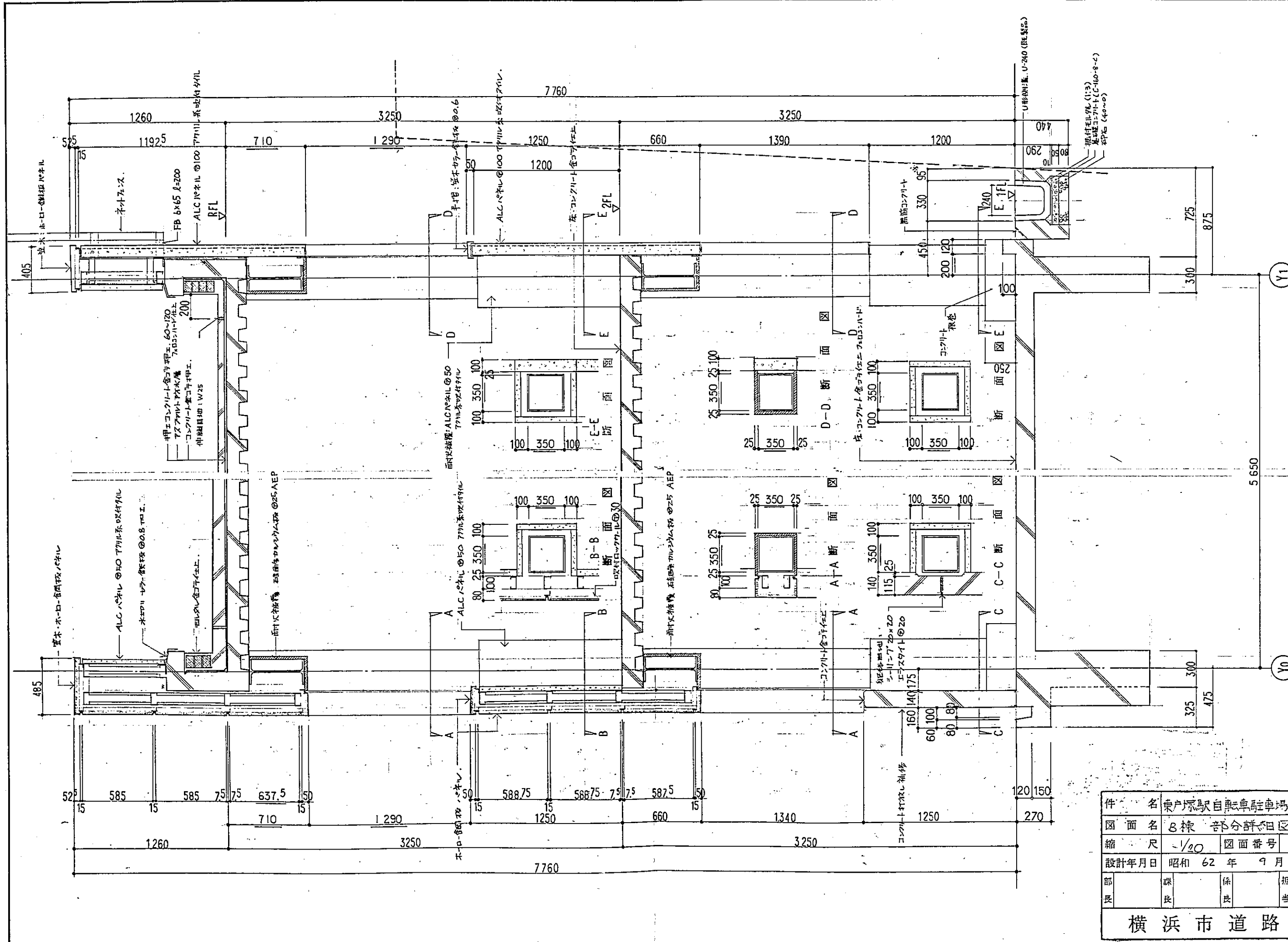
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟斜路C詳細図		
縮尺	1/30	図面番号	49-3/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



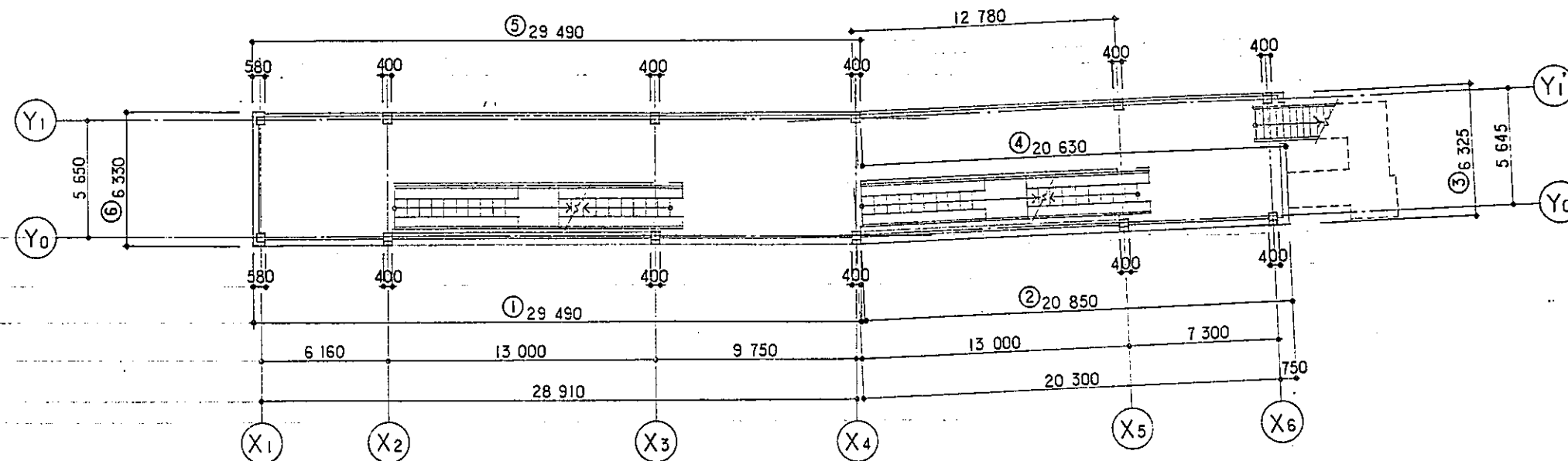
断面詳細図 S=1:50

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計						
図面名	B棟 階段詳細図						
縮尺	1/50, 1/10	図面番号	50 /				
設計年月日	昭和 62 年 8 月 5 日						
部長		課長		係長		担当	
横浜市道路局 港							

注) *印寸法は現場確認の上決定すること

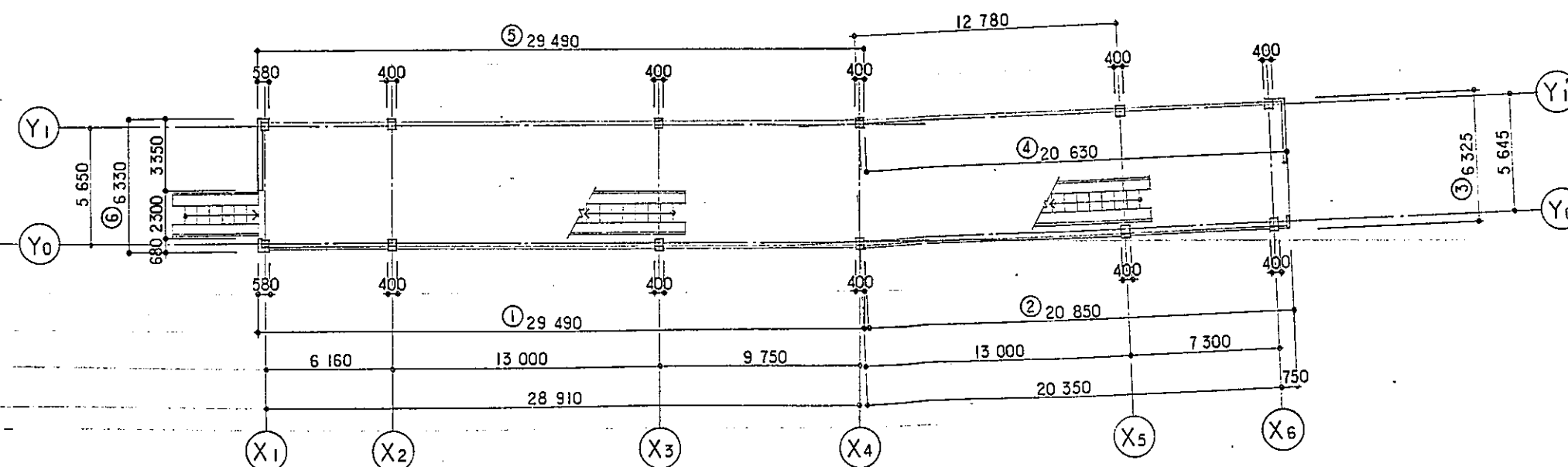


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 部分詳細図		
縮尺	1/20	図面番号	51/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



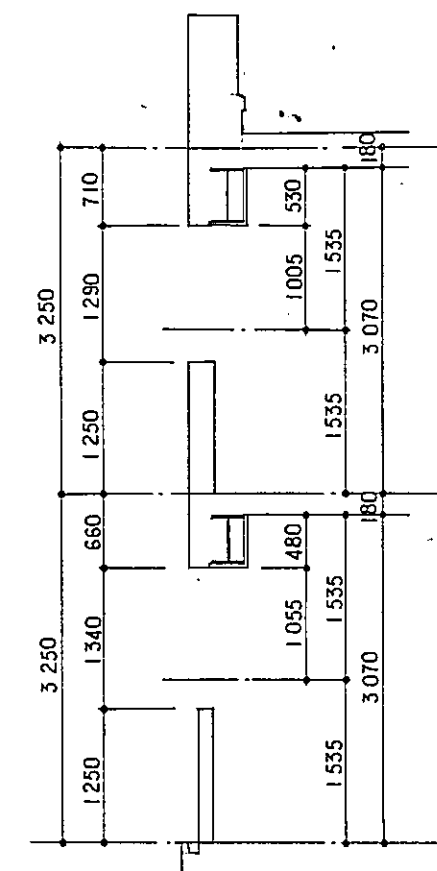
壁 長 ①~⑥ 合計 113.115 m
 壁面積 $113.115 \times 3.07 (\text{スラフ下端}) = 347.26 \text{ m}^2$
 必要開口面積 $347.26 \times 1/4 = 86.82 \text{ m}^2$
 有効開口長 $113.115 - (0.58 \times 2 + 0.4 \times 10 + 6.33) = 101.625 \text{ m}$
 有効開口面積 $101.625 \times 1.055 = 107.13 \text{ m}^2 > 86.82 \text{ m}^2 \text{ -----OK}$

2 階平面図 S=1:200



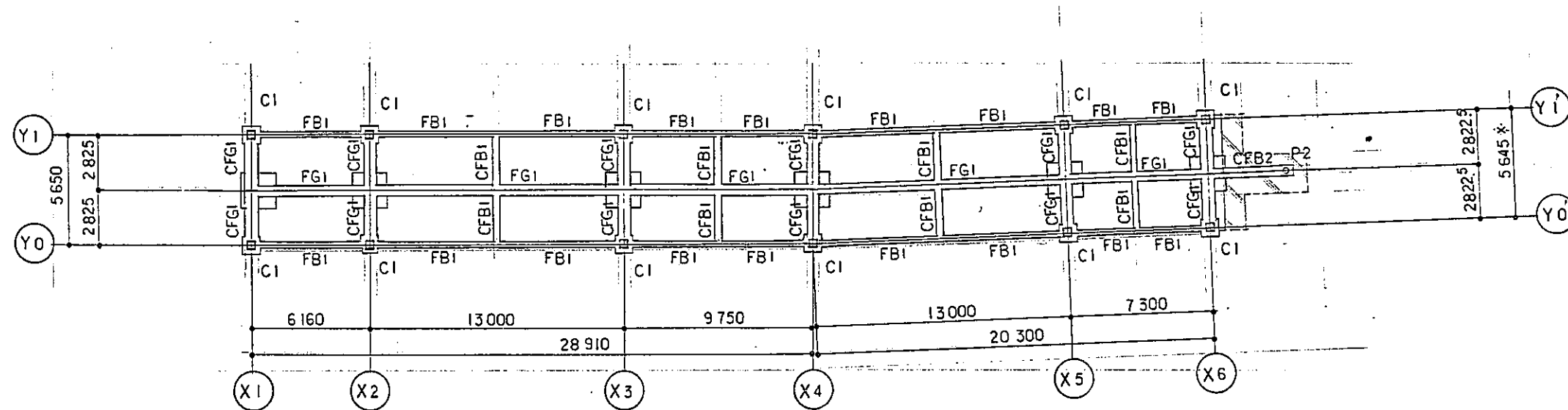
壁 長 ①~⑥ 合計 113.115 m
 壁面積 $113.115 \times 3.07 (\text{スラフ下端}) = 347.26 \text{ m}^2$
 必要開口面積 $347.26 \times 1/4 = 86.82 \text{ m}^2$
 有効開口長 $113.115 - (0.58 \times 2 + 0.4 \times 10 + 3.35 + 0.68) = 103.925 \text{ m}$
 有効開口面積 $103.925 \times 1.055 = 109.64 \text{ m}^2 > 86.82 \text{ m}^2 \text{ -----OK}$

1 階平面図 S=1:200



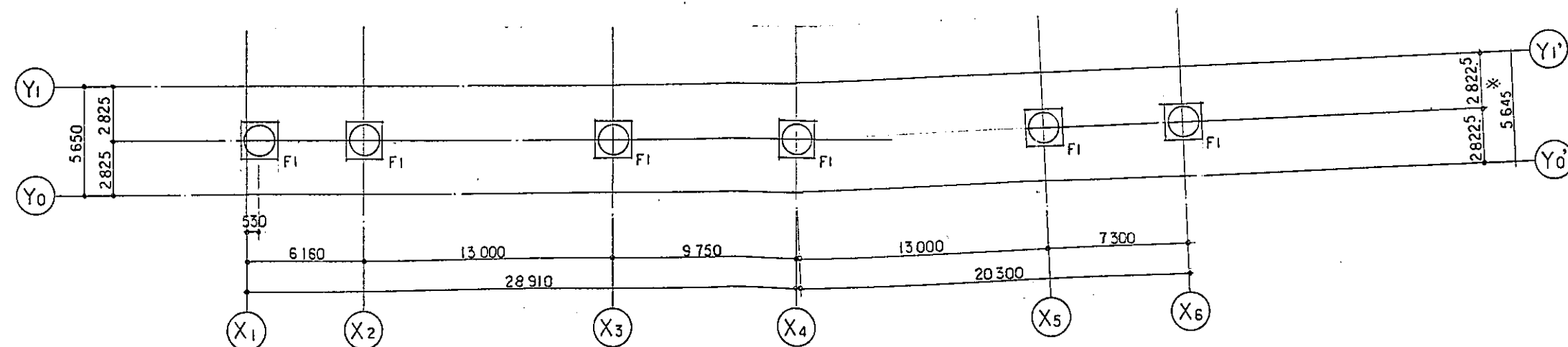
断面図 S=1:50

件 名	東戸塚駅 自転車駐車場 設計			
図 面 名	B棟 有効開口面積計算			
縮 尺	1/200, 1/50	図面番号	52/	
設計年月日	昭和 62 年 2 月 14 日			
部 長	課 長	係 長	担 当	
横 浜 市 道 路 局				



基礎梁 伏図 S. 1/200

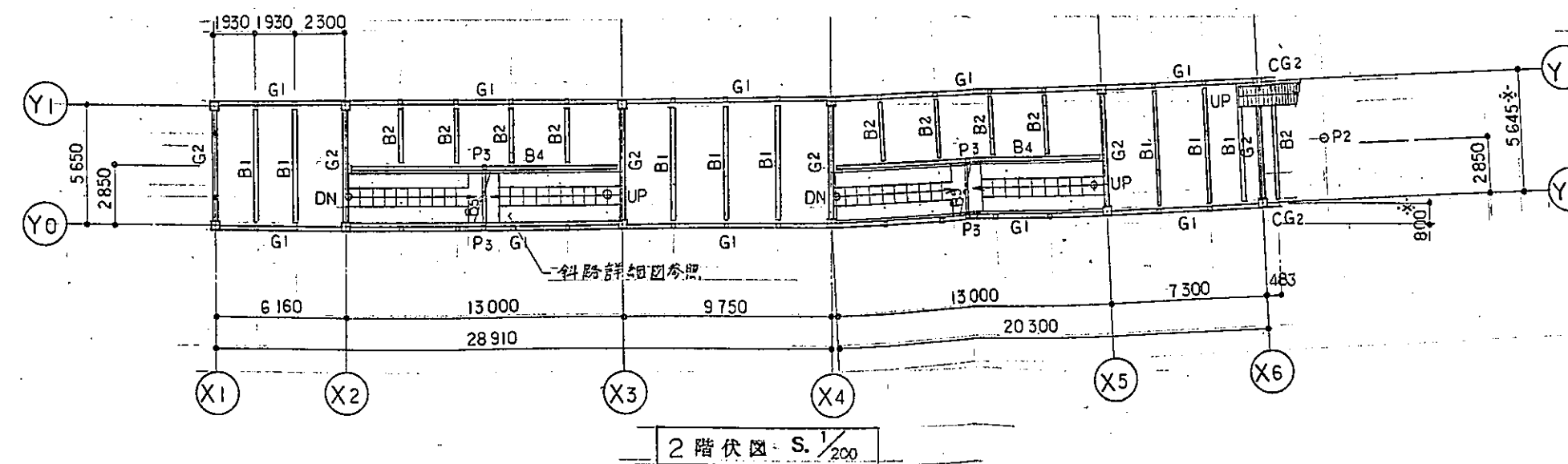
- 1 スラブ SIA
 2 フカシコンクリート
 3 土間コンクリート
- で示す。
 で示す。



杭 伏図 S. 1/200

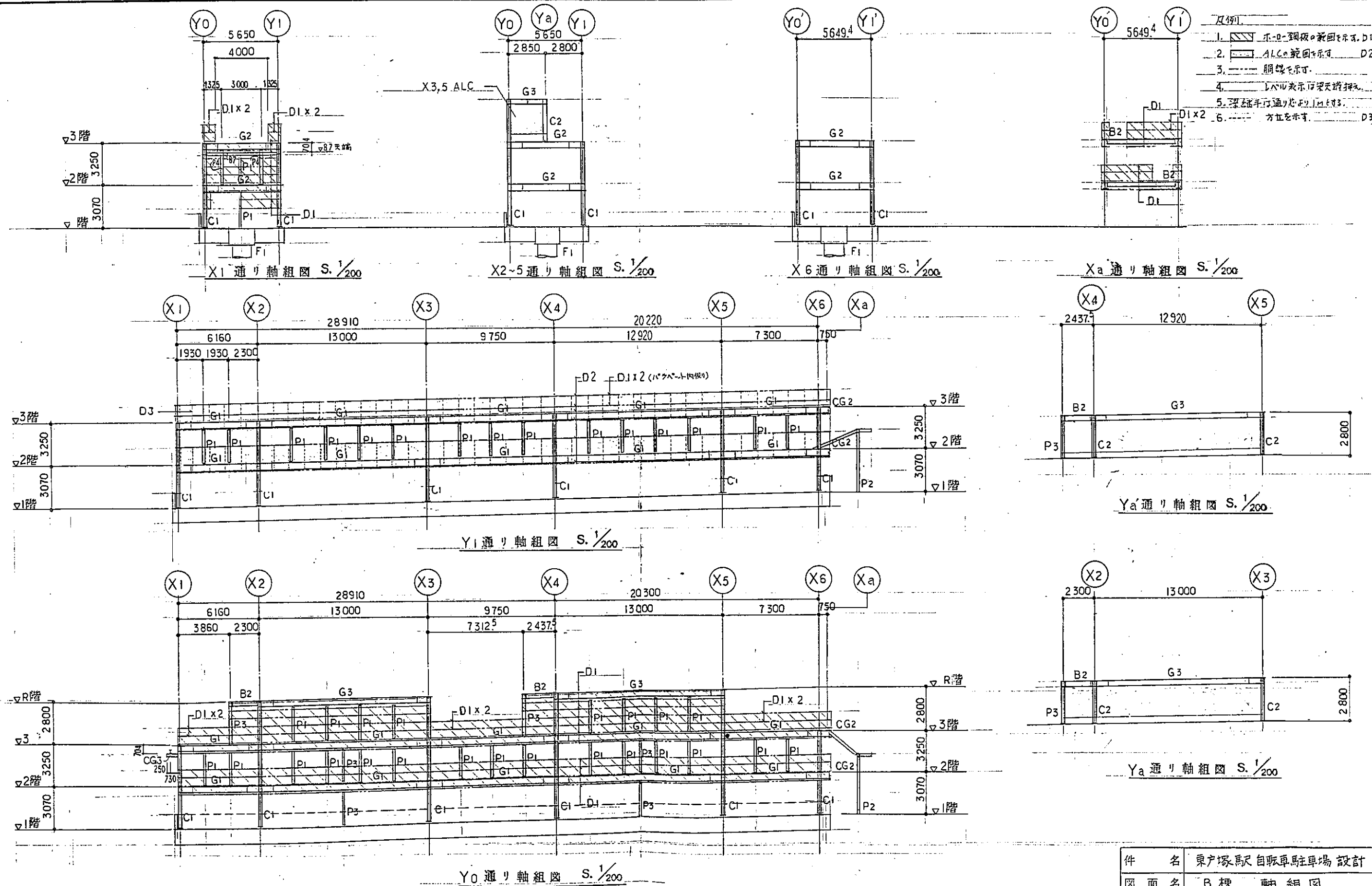
杭種 杭径 場所 JIS 杭 1,500φ
 杭工法 オルケーシング・バト工法
 設計杭数及本数 $Q=17.5$ $n=6$ 本

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 伏図(1)		
縮尺	1/200	図面番号	53
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



2. デッキプレート方向

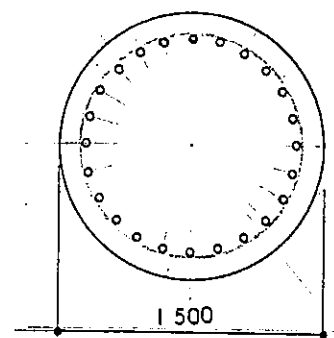
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B 標 伏図 (2)		
縮尺	1/200	図面番号	54/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B 棟 軸組図		
縮尺	1/200	図面番号	55/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

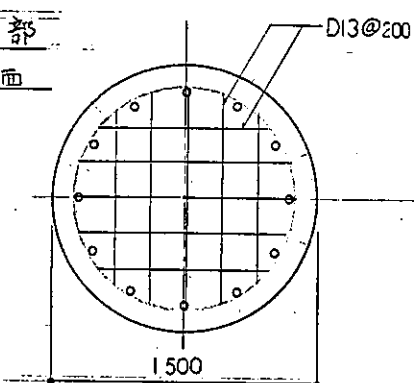
杭 リスト S. 1/30

杭 頭 部

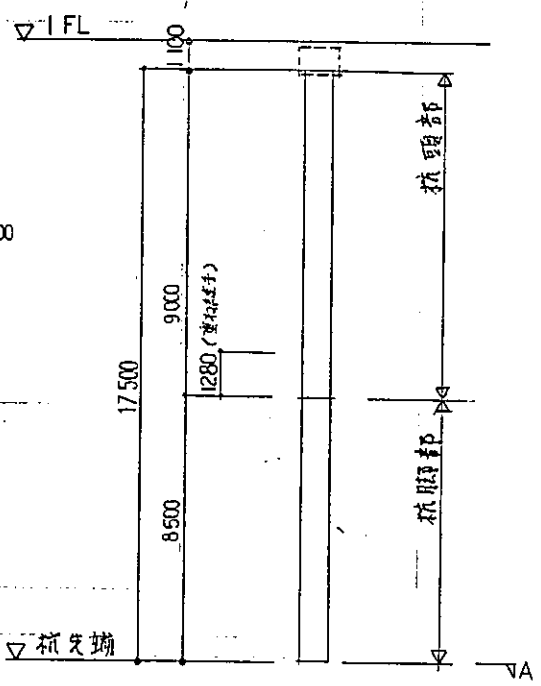
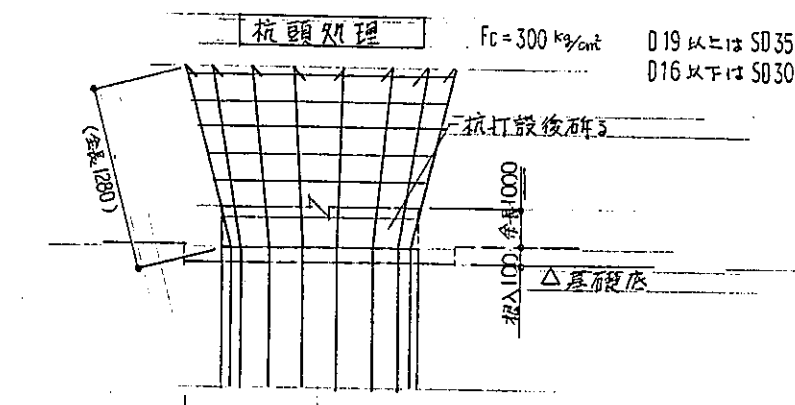


主 筋 28 - D32
フープ D16 @ 150

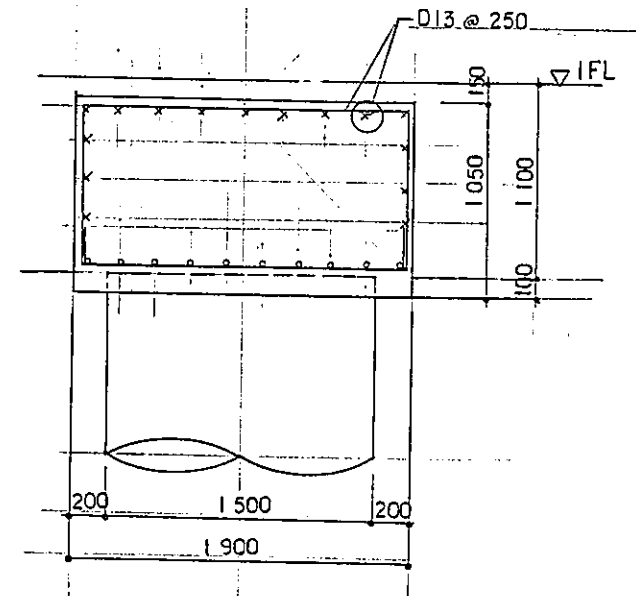
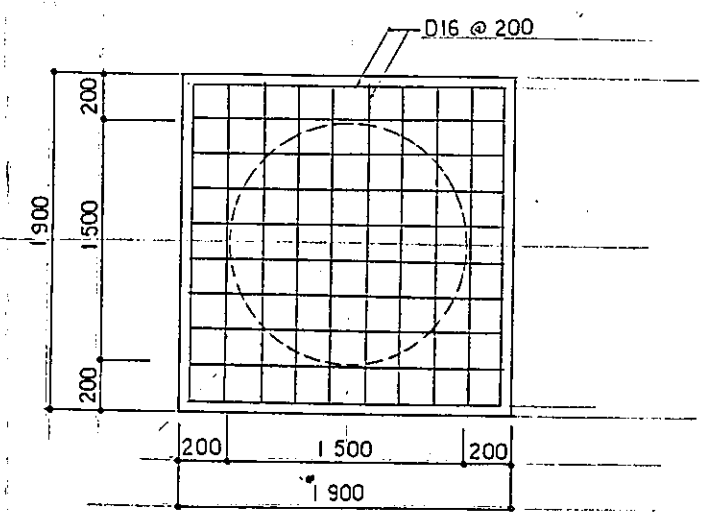
杭 脚 部
A-A 断面



主 筋 14 - D32
フープ D16 @ 300

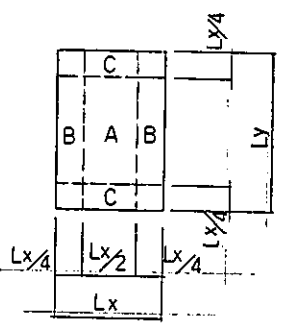


基礎 リスト S. 1/30

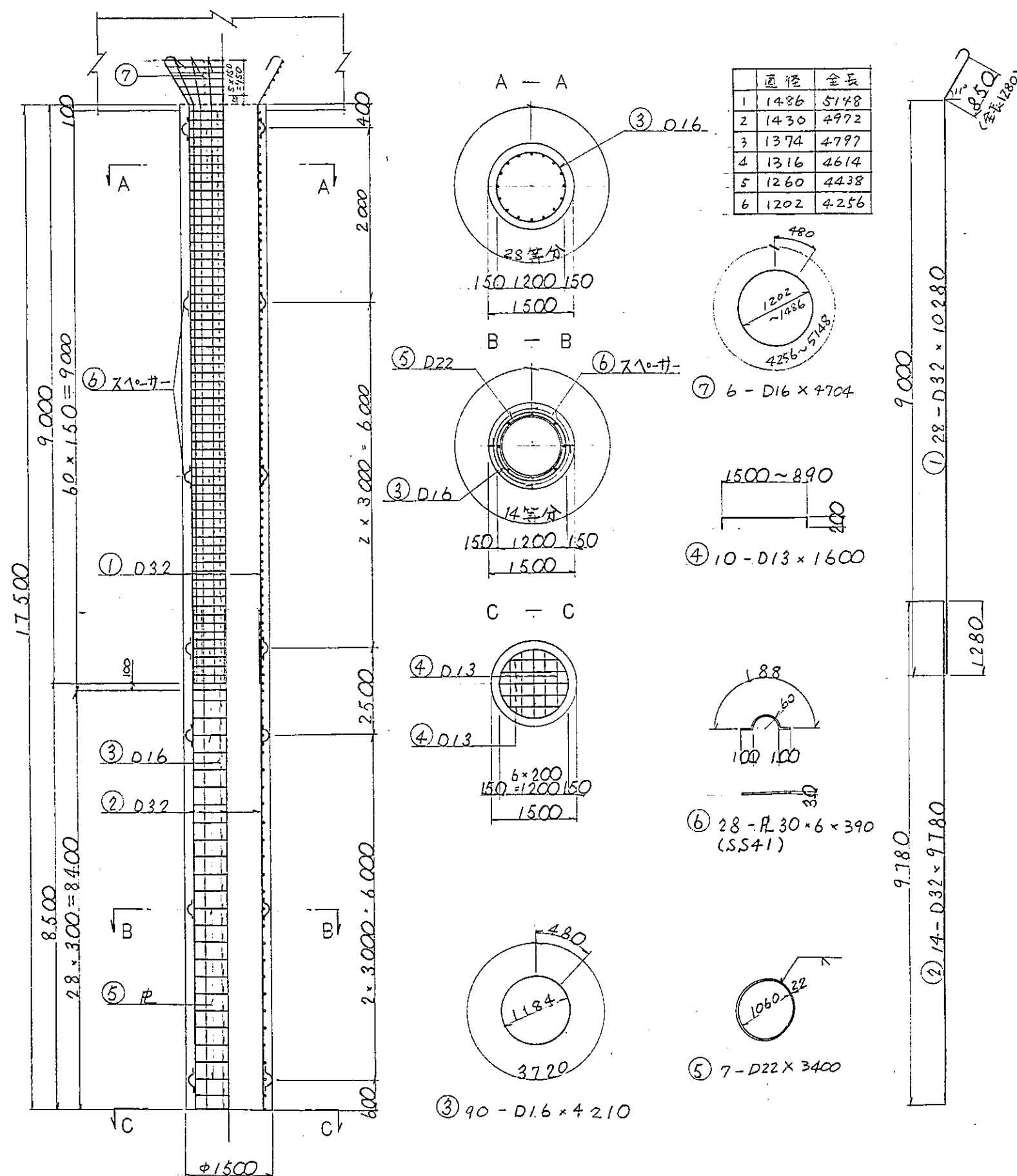


床 版 リスト

符号	厚 さ	位 置	短辺方向 (Lx)			長辺方向 (Ly)			備 考
			中央部		端 部	中央部		端 部	
			端 部 (B)	中 央 (A)	全断面	端 部 (C)	中 央 (A)	全断面	
S.I.A	150	上端筋	D10 D13 @ 200	D10 @ 400	D10 @ 200	D10 @ 250	D10 @ 500	D10 @ 250	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 250	D10 @ 250	D10 @ 250	



件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	B 棟 杭基礎スラブリスト仕様図		
縮 尺	1/30	図面番号	56/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局			

B棟場所打ち杭配筋図 $S=1/60$ 

材料表

符号	径 (mm)	長さ (mm)	本数	単位重量	一本の重量g	重量 (Kg)	摘要
①	D32	10280	28	6.23	64044	1793	7
②	"	9780	14	"	60929	853	1
③	D16	4210	89	1.56	6568	585	○
④	D13	1600	10	0.995	1592	16	┐
⑤	D22	3400	7	3.04	10336	72	○
⑥	平鋼	390	28	1.41	550	15	~
⑦	D16	4704	6	1.56	7338	44	○
				鉄筋	D32	2646Kg	
					D16	629	
					D13	16	
					D22	72	
				平鋼	30 × 6	15	
				合計		3378Kg	

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟場所打ち杭配筋図		
縮尺	1/60	図面番号	57/
設計年月日	昭和 62 年 4 月 4 日		
部長	課長	係長	担当
横浜 市 道 路 局			

符号	FGI	CFG1			FB1	CFB1		CFB2	
位置	全断面	基端	先端		全断面	基端	先端	全断面	
断面									
上端筋	11 - D25	9 - D25	6 - D25		3 - D25	6 - D25	4 - D25	11 - D25	
下端筋	11 - D25	6 - D25	6 - D25		3 - D25	4 - D25	4 - D25	11 - D25	
S.T.	□-D13 @ 200	□-D13 @ 200			□-D10 @ 200	□-D13 @ 200		□-D13 @ 200	
底筋	12 - D16	12 - D16			4 - D10	4 - D10		4 - D10	

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 地中梁リスト		
縮尺	1/30	図面番号	S8/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

住リスト

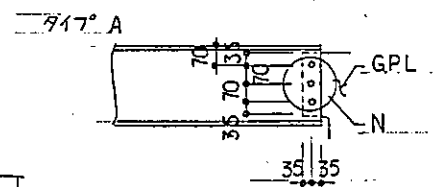
符号	階	主 材	柱 頭、柱 脚、仕 口	備 考
C1	3	□ - 350 x 350 x 16	TOP. PL - 22 x 400 x 400	
	2	□ - 350 x 350 x 22	HIBASE NO. BOX 350 x 350 - S - 19	12 階
	1	□ - 350 x 350 x 19	D.F. PL - 19 x 400 x 400	ア=カ=ホルト M42
C2	PH	□ - 350 x 350 x 16	D.F. PL - 19 x 400 x 400	
P1		□ - 100 x 100 x 2 ³		
P2		○ - 318.5 x 6 ⁹		
P3		□ - 150 x 150 x 6		
P4		H - 250 x 250 x 9 x 14	TOP P-12 FILLER, R-4.5, HTB4-M20 E.R-12x300x300 HTB4-M20	

小梁リスト

符号	主 材	フエツフ イロ ヌイ 継手			備 考
		タイ	HTB	G. PL	
B1	H- 350 x 175 x 7 x 11	A	4-M20	PL-9 x 280	
B2	H- 248 x 124 x 5 x 8	A	3-M20	PL-6 x 210	
B3	H- 175 x 90 x 5 x 8	A	2-M20	PL-6 x 140	
B4	H- 400 x 400 x 13 x 21	A	4-M20	PL-16 x 280	
B5	H- 300 x 150 x 6 ⁵ / ₈ x 9	A	4-M20	PL-9 x 280	
B6	H- 248 x 124 x 5 x 8	A	3-M20	PL-6 x 210	
B7	H- 250 x 250 x 9 x 14	A	3-M20	PL-9x400x445	
B8	H- 340 x 250 x 9 x 14		4-M20		

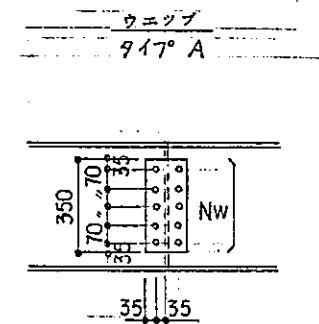
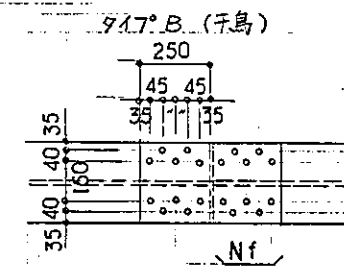
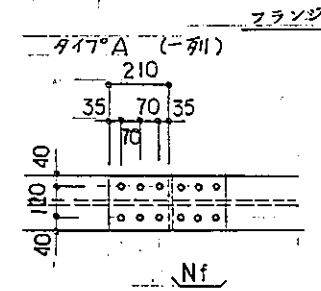
トスリ縁嗣

符号	主 材	110 及 60 号手		备 注
D1	C-100×50×20×2 ³	中板 2-M16	L-125×75×7	
D2	L-65×65×6			
D3	L-65×65×6			



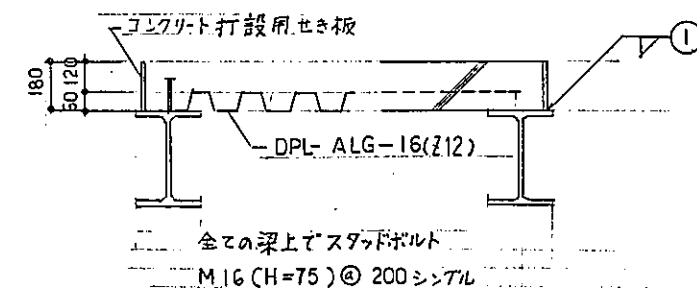
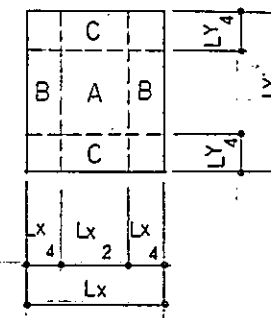
大梁リスト

符 号	備 考	主 材	フランジ				ウエップ		
			タイプ	H.T.B	SPL(外側)	SPL(内側)	タイプ	H.T.B	S.R.L.
G1	3	H-488 x 300 x 11 x 18	B	12-M20	PL-12 x 300	PL-12 x 115	A	5-M20	PL-9 x 350
	2	H-440 x 300 x 11 x 18	B	10-M20	PL-12 x 300	PL-12 x 115	A	5-M20	PL-9 x 350
G2	3, 2	H-440 x 300 x 11 x 18	B	"	"	"	A	"	"
G3	PHR	H-390 x 300 x 10 x 16	B	"	"	"	A	4 M20	9 x 280
CG1		H-400 x 200 x 8 x 13	—	—	—	—	—	—	—
CG2		H-300 x 150 x 6 ⁵ x 9	—	—	—	—	—	—	—
CG3		H-250 x 250 x 9 x 14	—	—	—	—	—	—	—

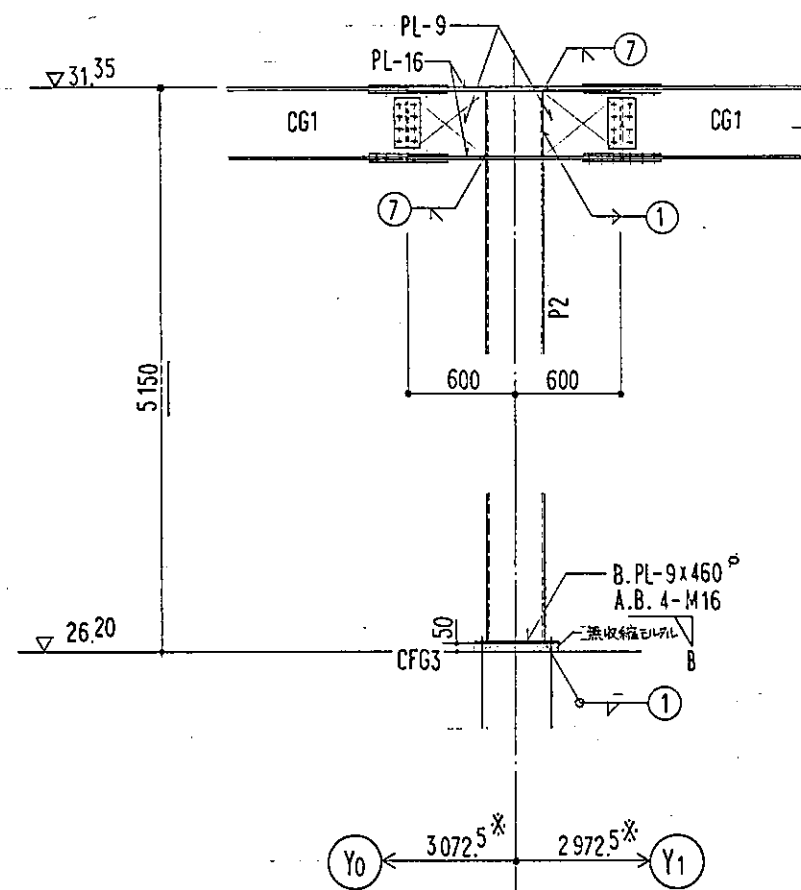


スラブ リスト

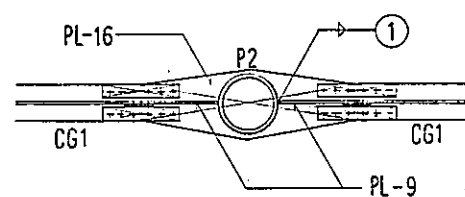
符 号	厚 度	位 置	短边方向 (L _X)			长边方向 (L _Y)			备 考
			中央部		隅 部	中央部		隅 部	
			端 部(B)	中 央(A)	全断面	端 部(C)	中 央(A)	全断面	
SI	120	上端筋	D10 D13@200	D10 @ 400	D10 @ 200	D10 @ 250	D10 @ 500	D10 @ 250	
		下端筋	D10 @ 400	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 250	D10 @ 250	D10 @ 250	



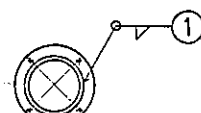
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	二B棟 梁スラガリスト		
縮尺		図面番号	59 /
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



階段支柱詳細図 S=1/30

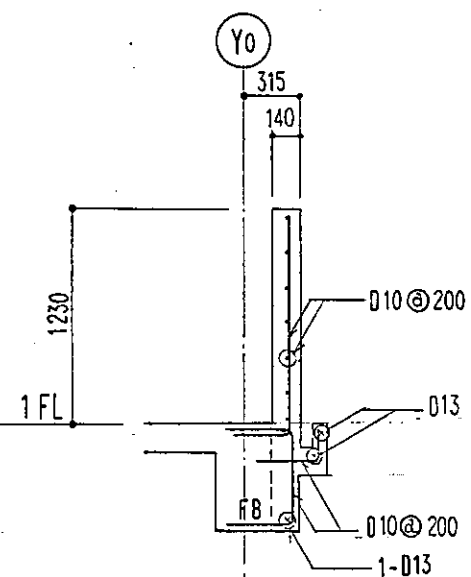


断面 A S=1/30

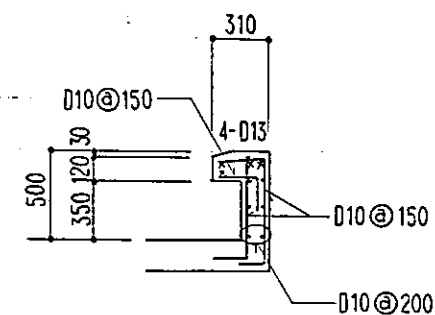


B. PL-9x460°
A.B. 4-M16 L=700

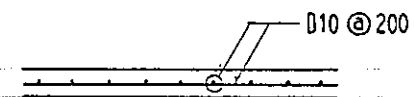
断面 B S=1/30



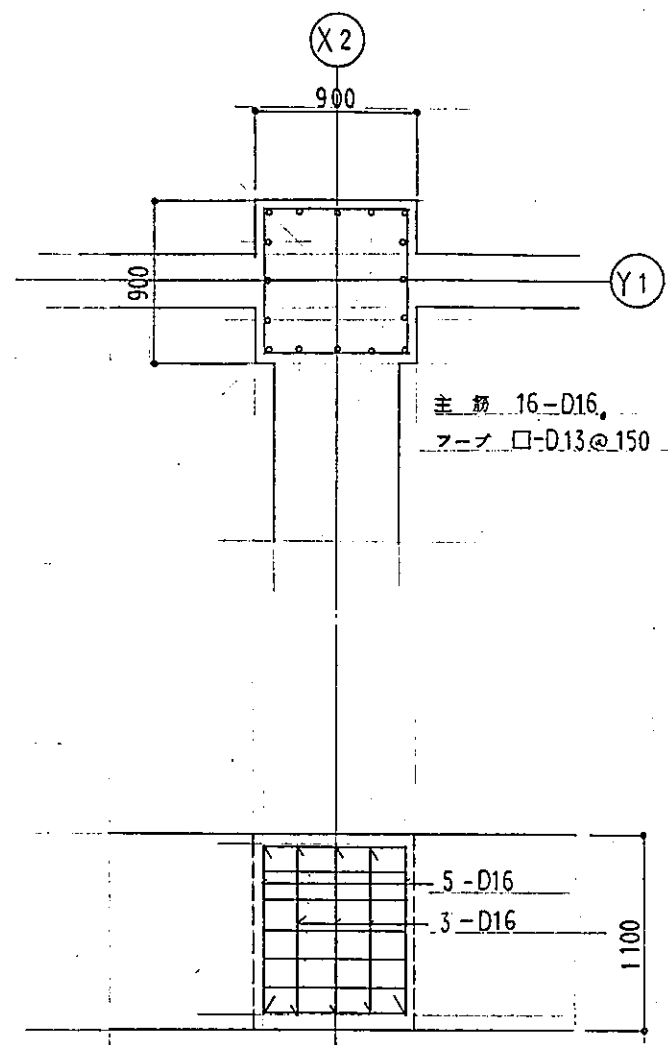
壁及び地中梁フカシ配筋図 S=1/30



パラペット配筋図 S=1/30

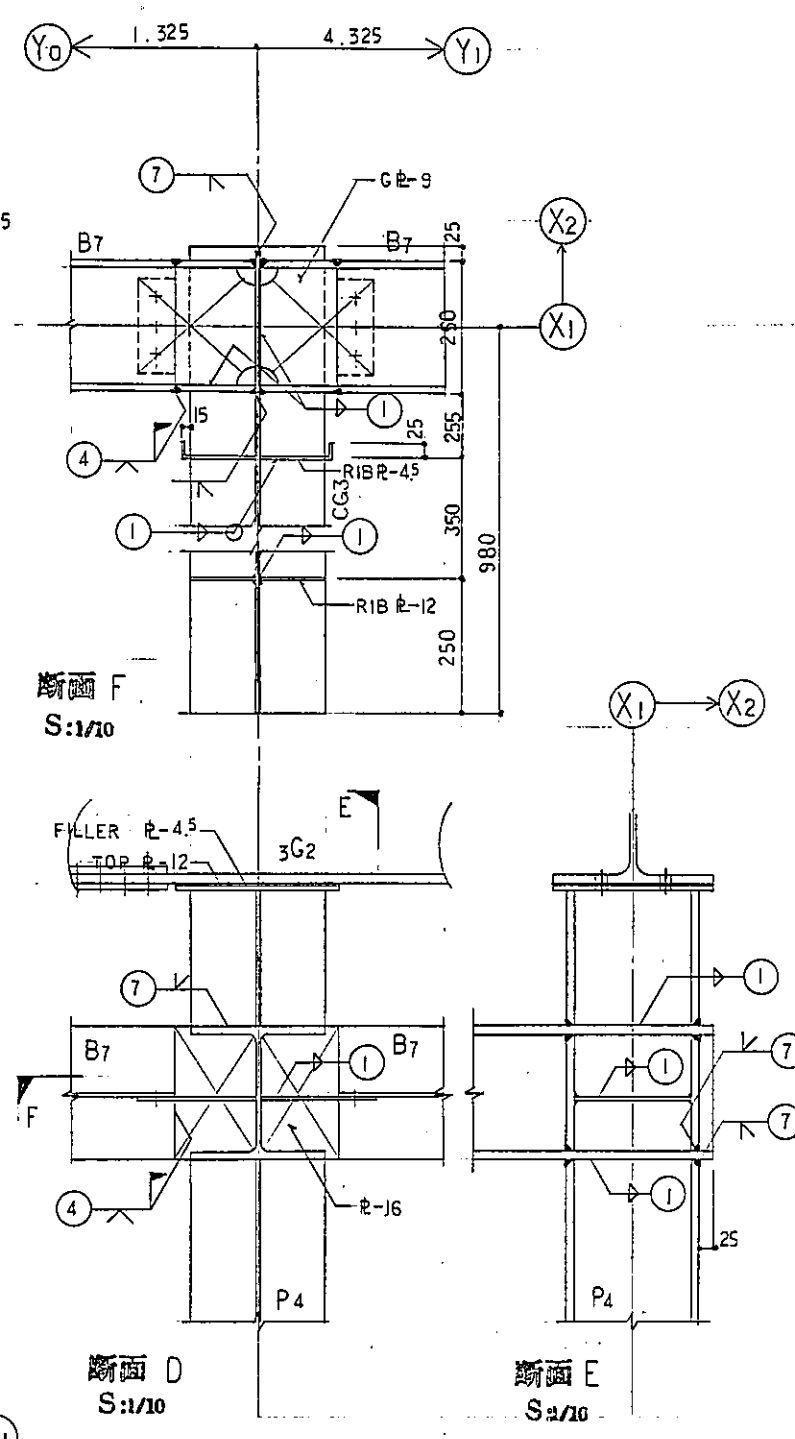
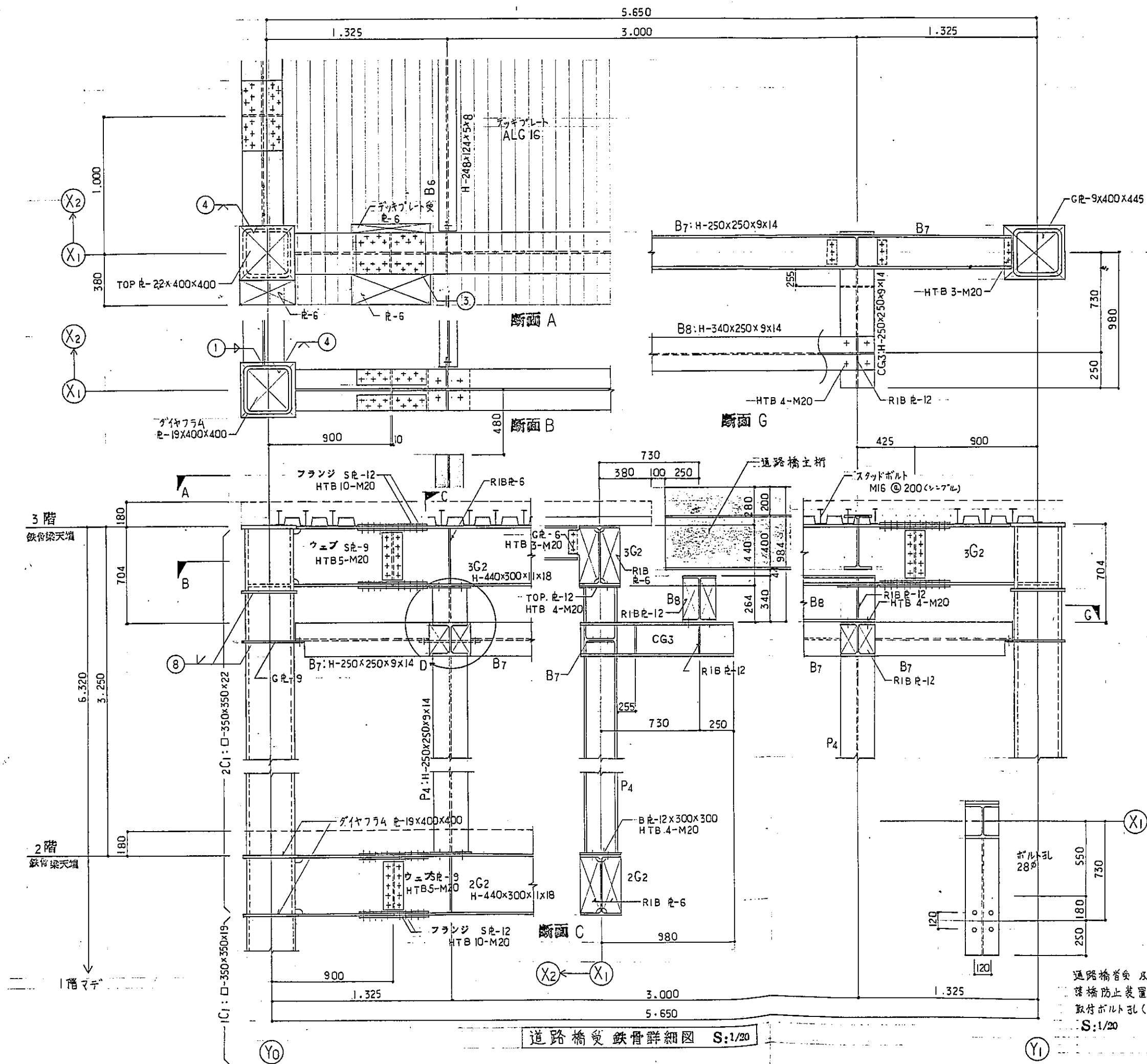


土間コンクリート配筋図 S=1/30



ペDESTAL配筋図 S=1/30

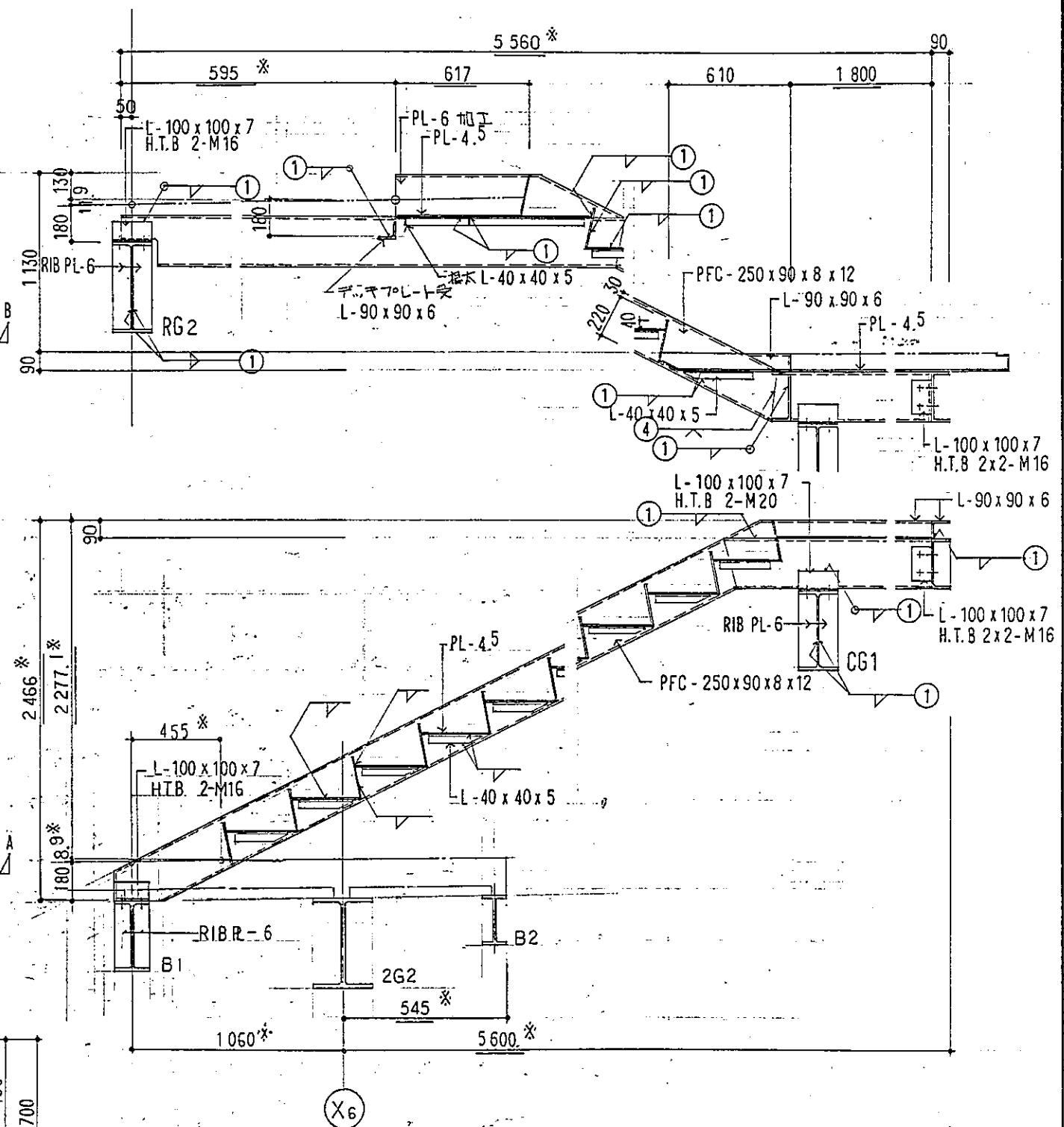
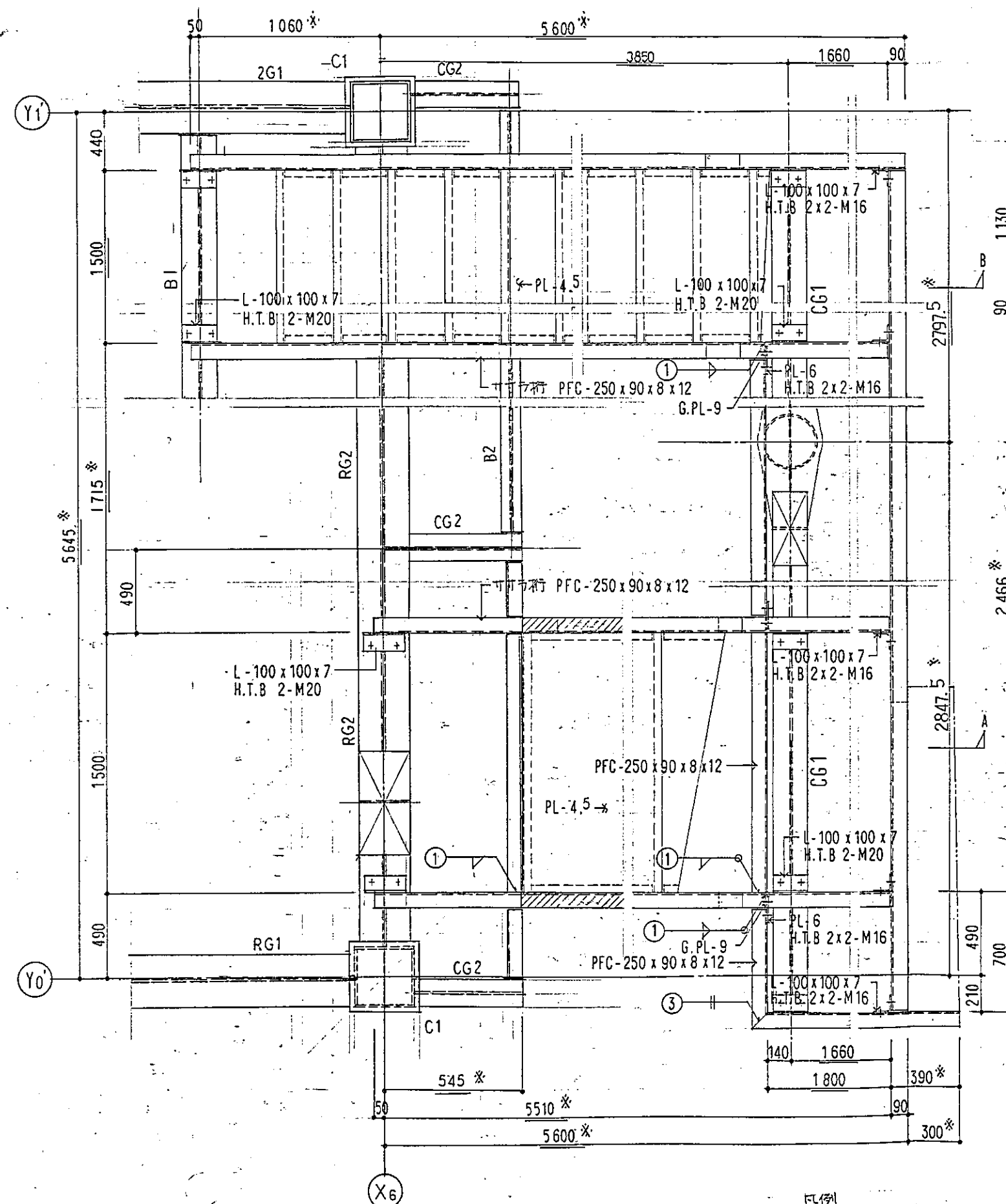
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	B棟 部分詳細図			
縮尺	1/30	図面番号	60/	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



道路橋受鉄骨詳細図 S:1/20

道路橋受鉄骨
橋脚防止装置
取付ボルト孔(2ヶ所)
S:1/20

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計
図面名	B棟通路橋受鉄骨詳細図
縮尺	1/10, 20 図面番号 61-2
設計年月日	昭和 62 年 9 月 8 日
配長	課長 担当
長	課長 担当
長	課長 担当
長	課長 担当
横浜市道路局	



凡例

PFCの天端へL-90x90 溶接範囲を示す。

PL-6 加工 溶接範囲を示す。

注) ※印可法は現場確認の上、決定すること。

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟 部分詳細図		
縮尺	1/20	図面番号	63/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 11 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

鉄骨構造標準図 (1)

1. 一般事項

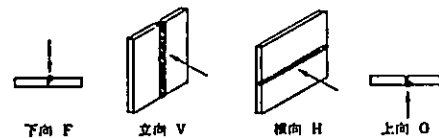
- (1) 材料及び検査
(a) 構造設計仕様による
(b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
(c) 社内検査の検査成績書には、社内検査記録簿試験の結果を添付する
- (2) 工作一般
(a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要綱書」を提出し工事監督者の承認を得る
(b) 鋼骨鋼材の分岐部手前の相貫切断は、鋼骨自動切断による
(c) 高張力鋼のひすみきょう正は、冷間きょう正とする

- (3) 高力ボルト接合
(a) 本図に使用するボルトと、低張力ボルトの併用はしてはならない

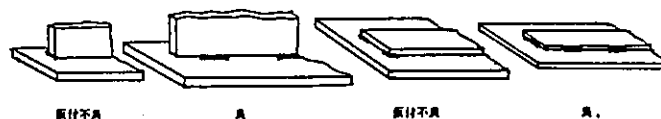
- (4) 溶接接合
(a) 溶接工
溶接工は施工する溶接に適合するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技師検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
(b) 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A~500A
(ロ) アークエアーガウジング機(直流) 600A
(ハ) 溶接機乾燥器
(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ホ) 溶接電圧を測定する電圧計
(ヘ) サブマージドアーク溶接機1式

- (c) 溶接方法
アーク手溶接 (MC)
ノンガスシールドアーク溶接 (NGC)
ガスシールドアーク溶接 (GC)
アークエアーガウジング (AAG)

(d) 溶接姿勢



- (e) 仮付溶接工は、原則として本工事に従事する者が行う
(イ) 仮付位置
仮付溶接は溶接の始、終端、隅部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける



- (ロ) 突合せ溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する



(f) 溶接施工

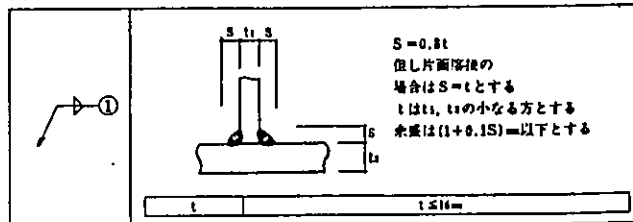
- (イ) エンドタブ
I) 突合せ溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同鋼材形状のエンドタブを取り付ける
II) エンドタブの材質は、母材と同質とする
III) エンドタブの長さは、MC: 35mm以上
NGC, GC: 40mm以上とし特記のない場合は、溶接終了後、エンドタブ母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする

- (ロ) 裏はつり
材質はSS41規格品とする
(ハ) スカーラップ 半長は30~35mmとする
(ニ) 裏はつり
現場溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監督者の確認を助行し、鋼材に確認マークをつける
(ホ) 現場溶接の隅先面には、溶接に支障のない防錆材を散布する。又、隅先面をいためない様に、養生を行なう

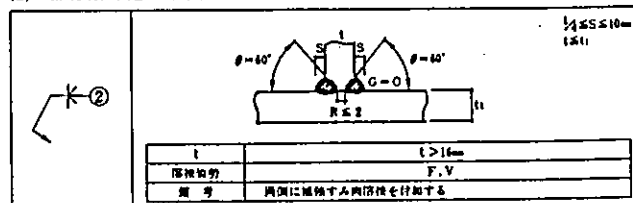
- (5) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接合面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接標準図 (注) F: 炭素 G: ルート間隔 R: フェース S: 鋼厚 (単位mm)

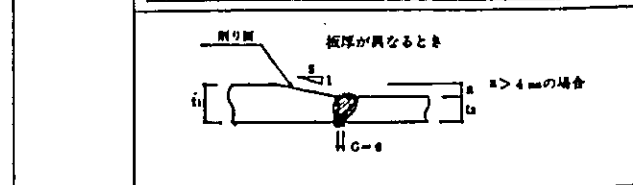
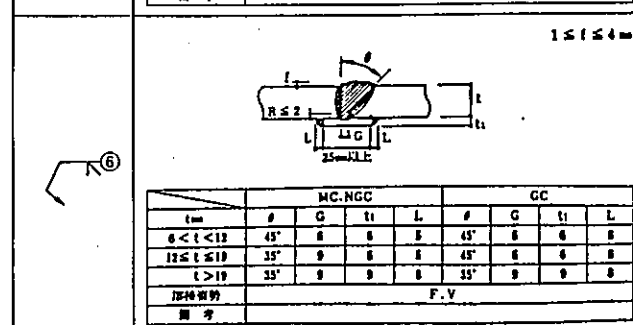
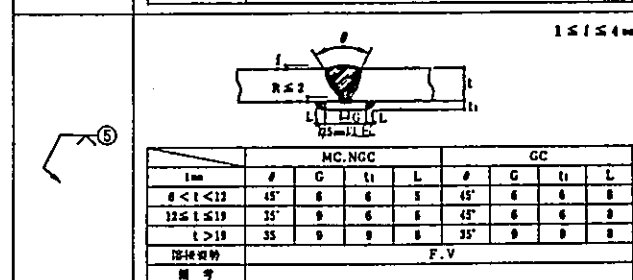
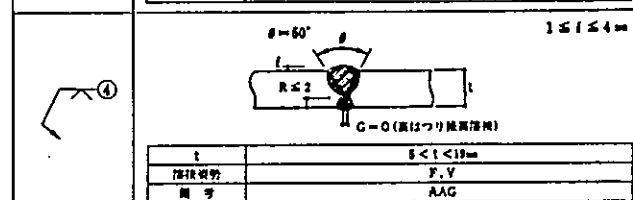
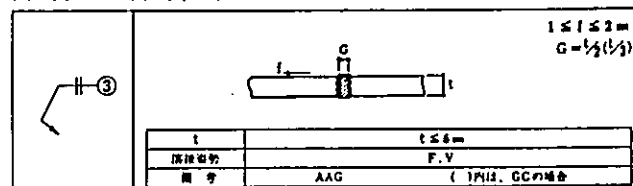
(1) スミ肉溶接



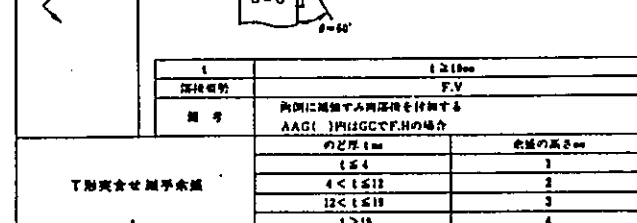
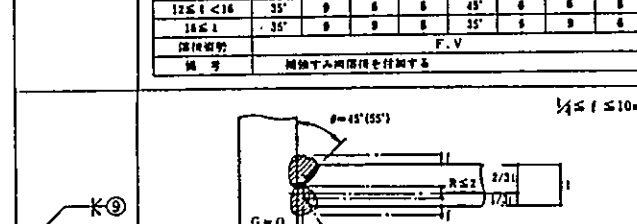
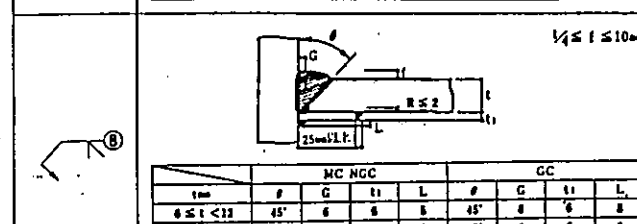
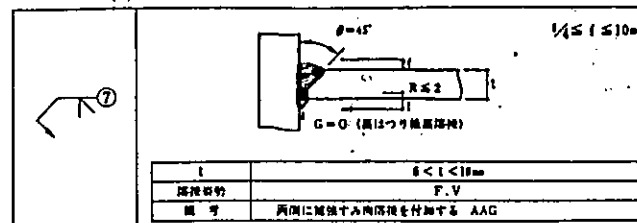
(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所は注意)



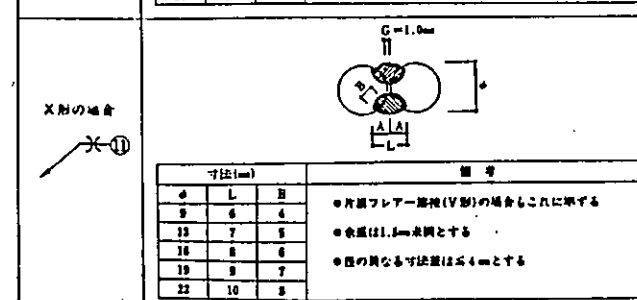
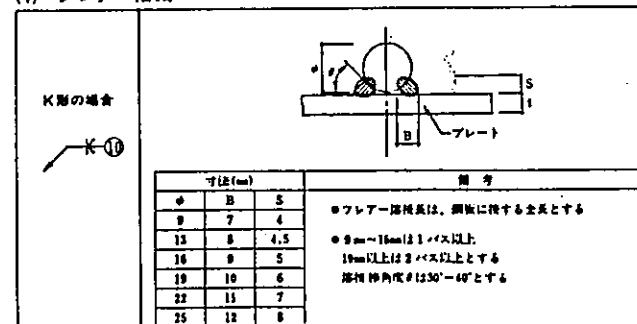
(3) 突合せ溶接 (I) 平継手



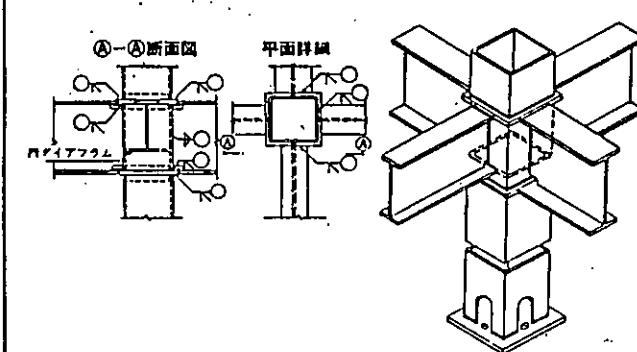
(ii) T形継手



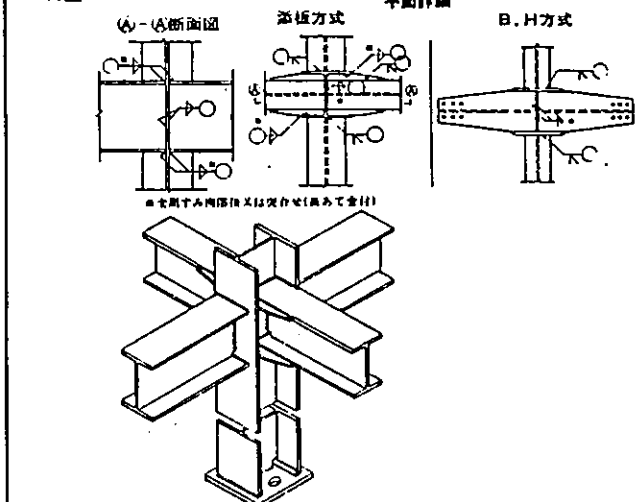
(4) フレー溶接



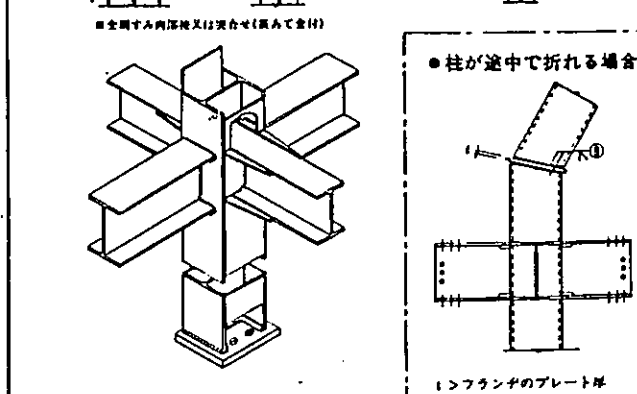
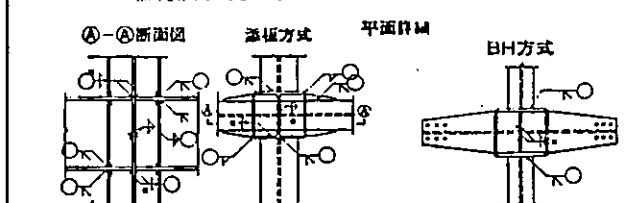
- 溶接記号番号を○中に記入のこと
● BOX型 (通しダイヤフラムの場合)



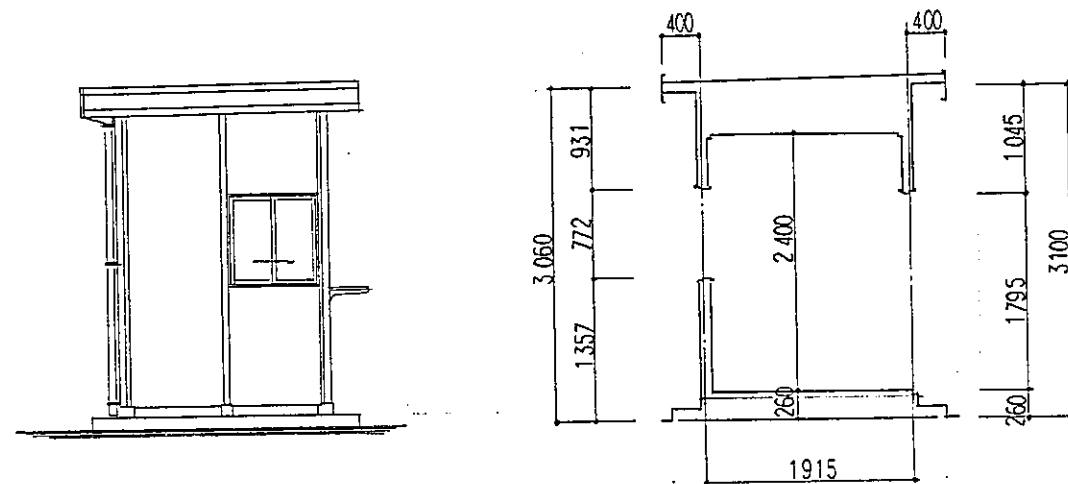
● H型



- ※ (原則として目的の字の適用は以下の通りとし、資材等の寸法がつかない等の状況で中絶溶接の場合(4)に準ずるものとする。なお、溶接部を打っているところがある場合は適用には留意すること。)

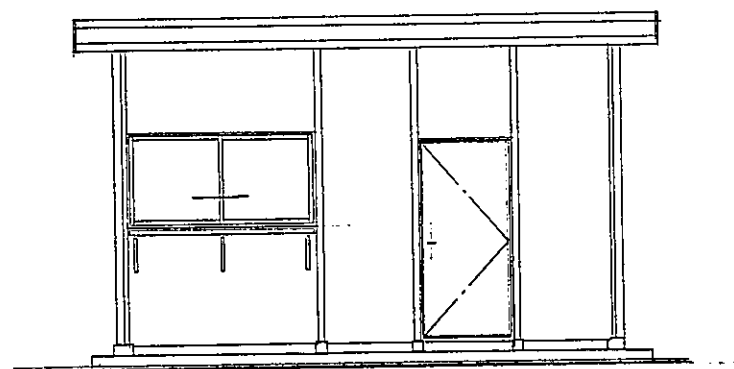


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計
図面名	A.8棟 鉄骨構造標準図
縮尺	図面番号 04/
設計年月日	昭和62年2月14日
部長	課長 係長 担当
横浜市道路局	

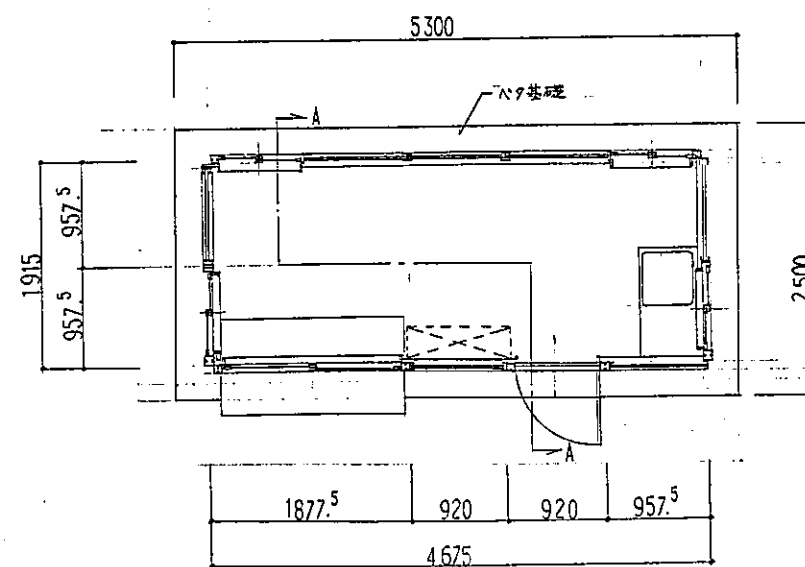


A TYPE 立面 図 1:50

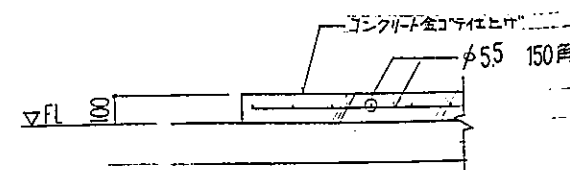
A-A 断面 図 1:50



A TYPE 立面 図 1:50



A TYPE 平面 図 1:50



ベタ基礎配筋図 S=1:20

外部仕上表

構造	軽量鉄骨フレーム構造
屋根	ルーフデッキφ0.5 山高88 ポリウレタン4% 熱処理 (片側)
外壁	炭酸マグネシウム板φ12 塗装品 (ハネレ式)
建具	アルミサッシ引違い窓 (網入りガラス) アルミ片開戸 (乙種防火戸)
基礎	鉄筋コンクリート布基礎
備考	植込ビ 軒120° 至75° エアコン用スリーブ (盲目蓋共)

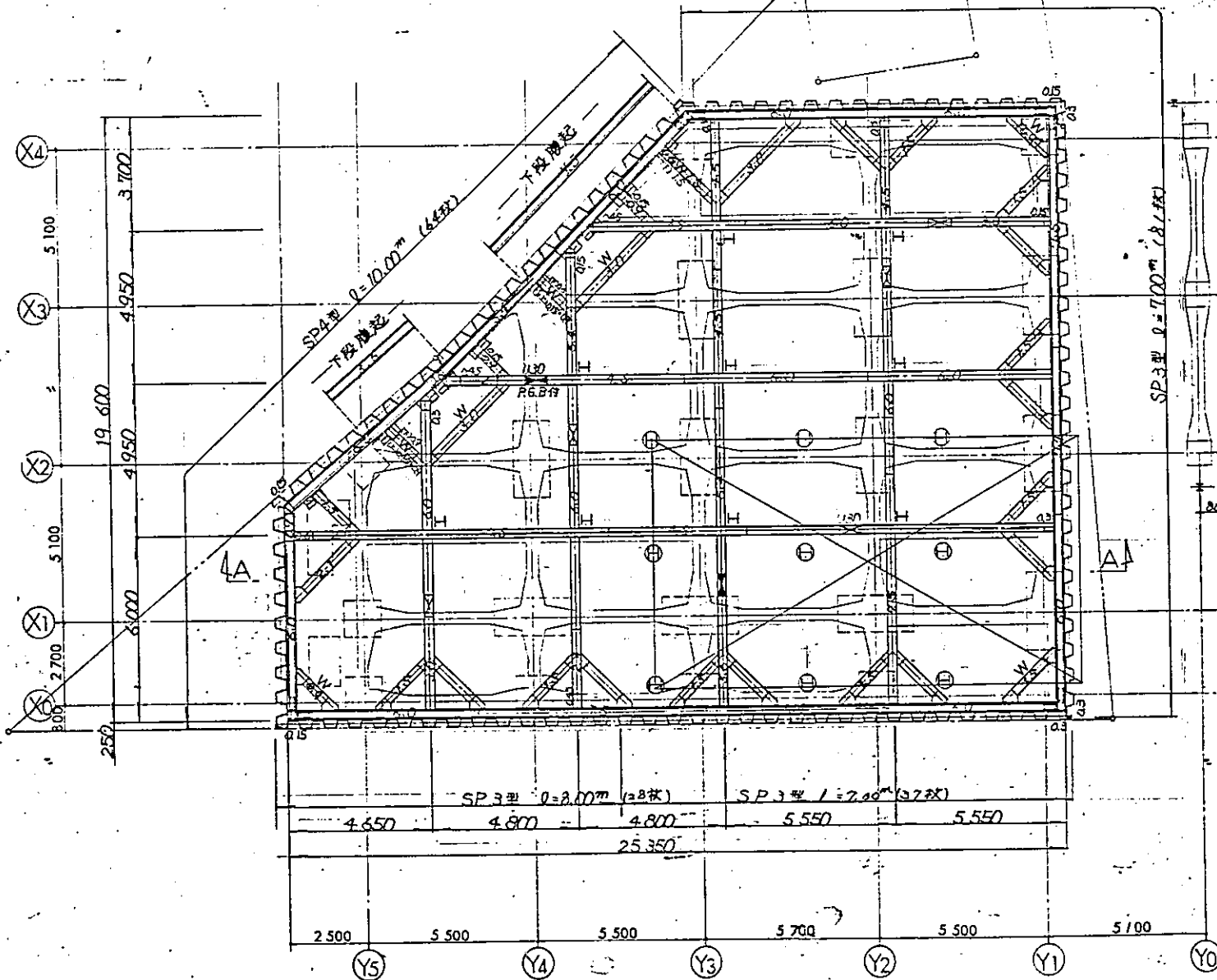
内部仕上表

床	巾木	壁	天井
捨てベニヤφ4下地7mmシヨン707φ1.8	ソフト巾木	プリント合板φ4	カラーベニヤφ2.5

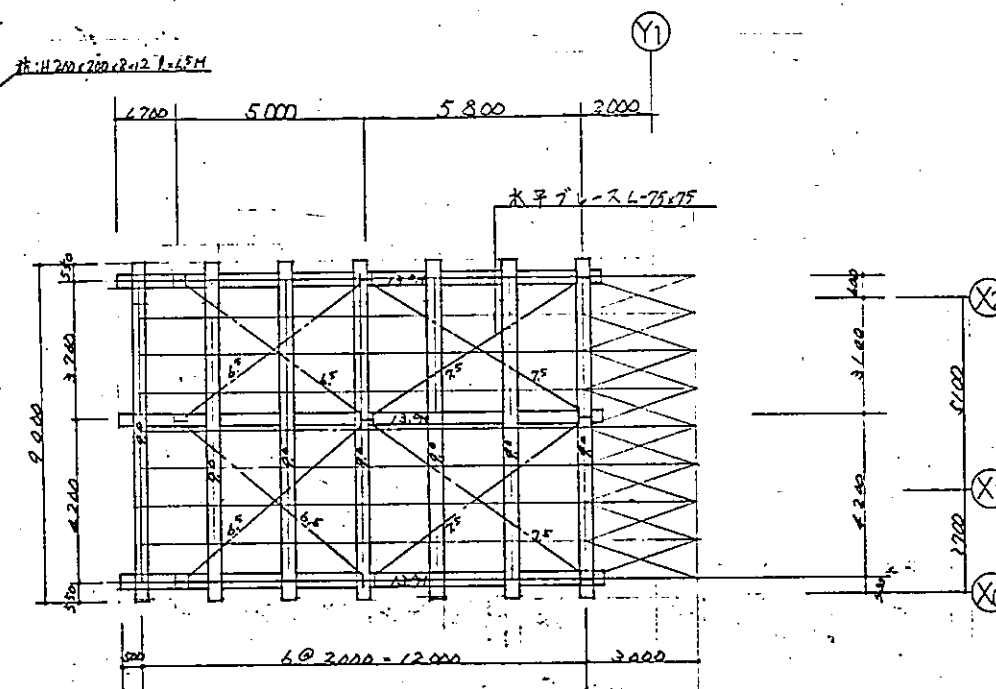
※ 管理小屋本体は支給品とする。

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟管理小屋		
縮尺	1/50.20	図面番号	64-2/
設計年月日	昭和 62年 3月 30日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

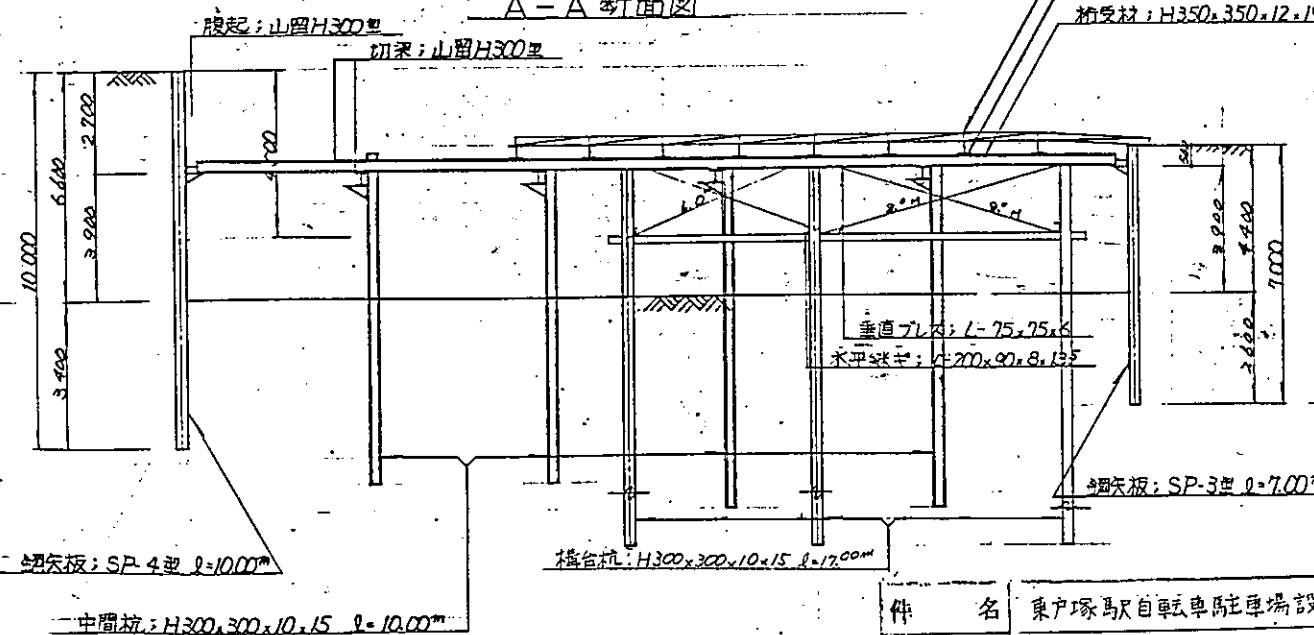
山留平面図 S-1/100



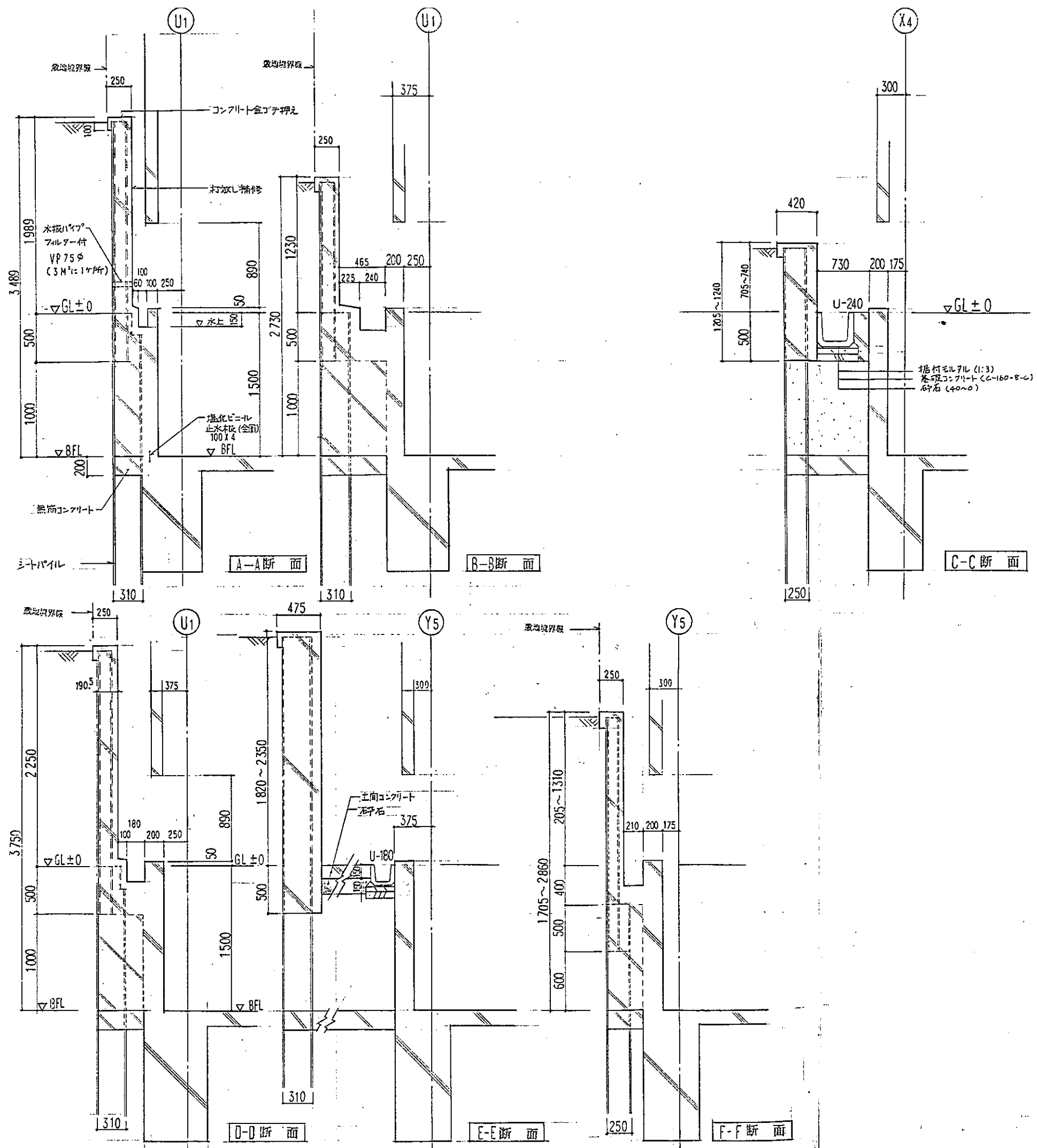
橋台平面図



A-A 断面図

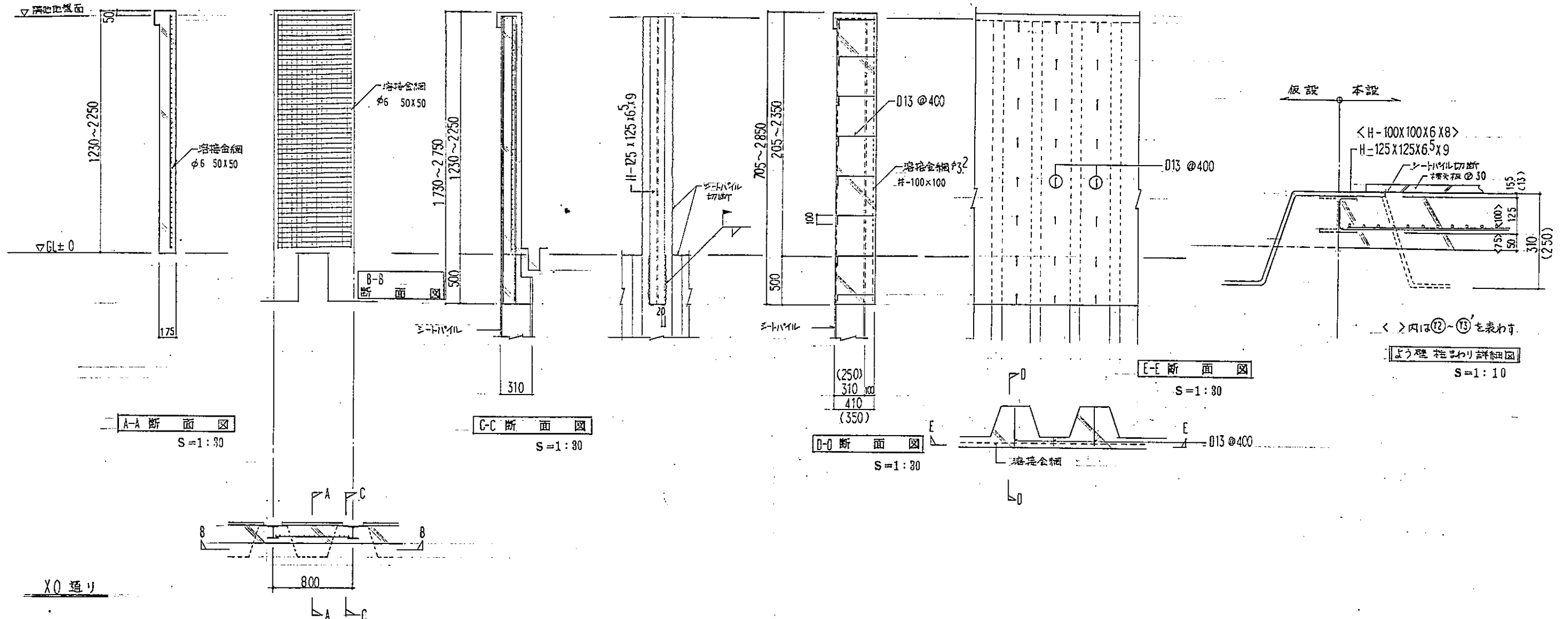


件名	東戸塚駅自転車駐留場設計		
図面名	山留訂画図		
縮尺	/	図面番号	64-3/
設計年月日	昭和 62 年 4 月 3 日		
設計者	課長	係長	当
横浜市道路局			

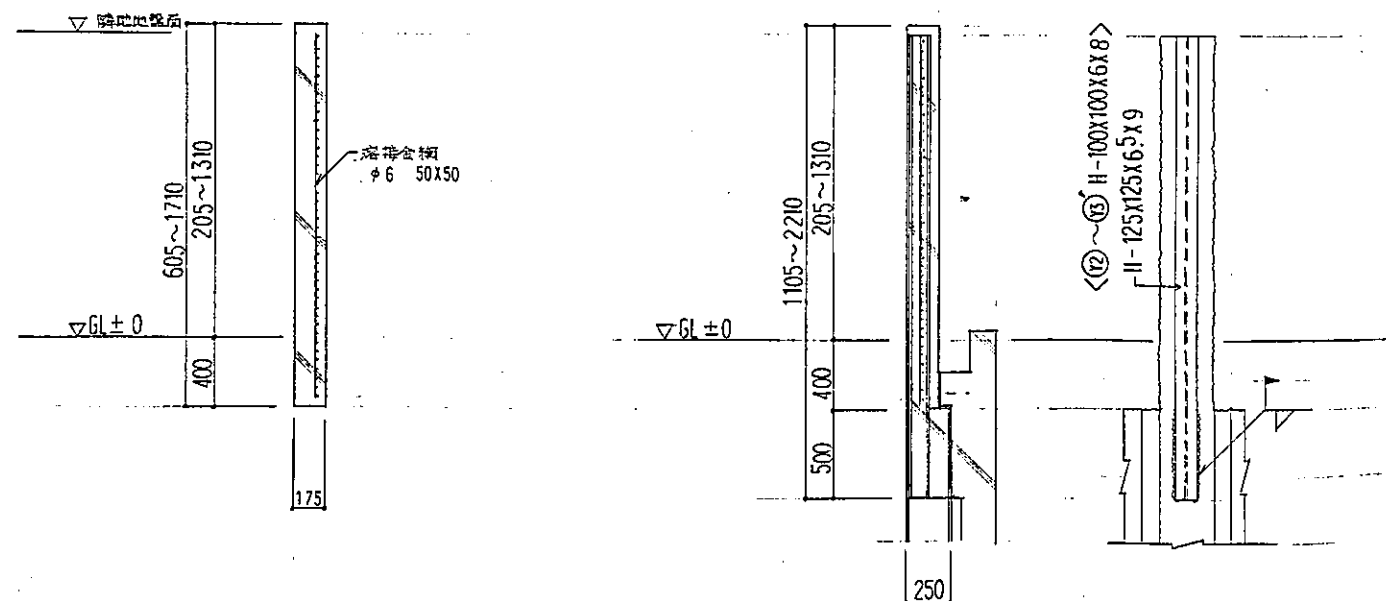


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟よう壁側詳細図		
縮尺	1/30	図面番号	64-5
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

U1 通り

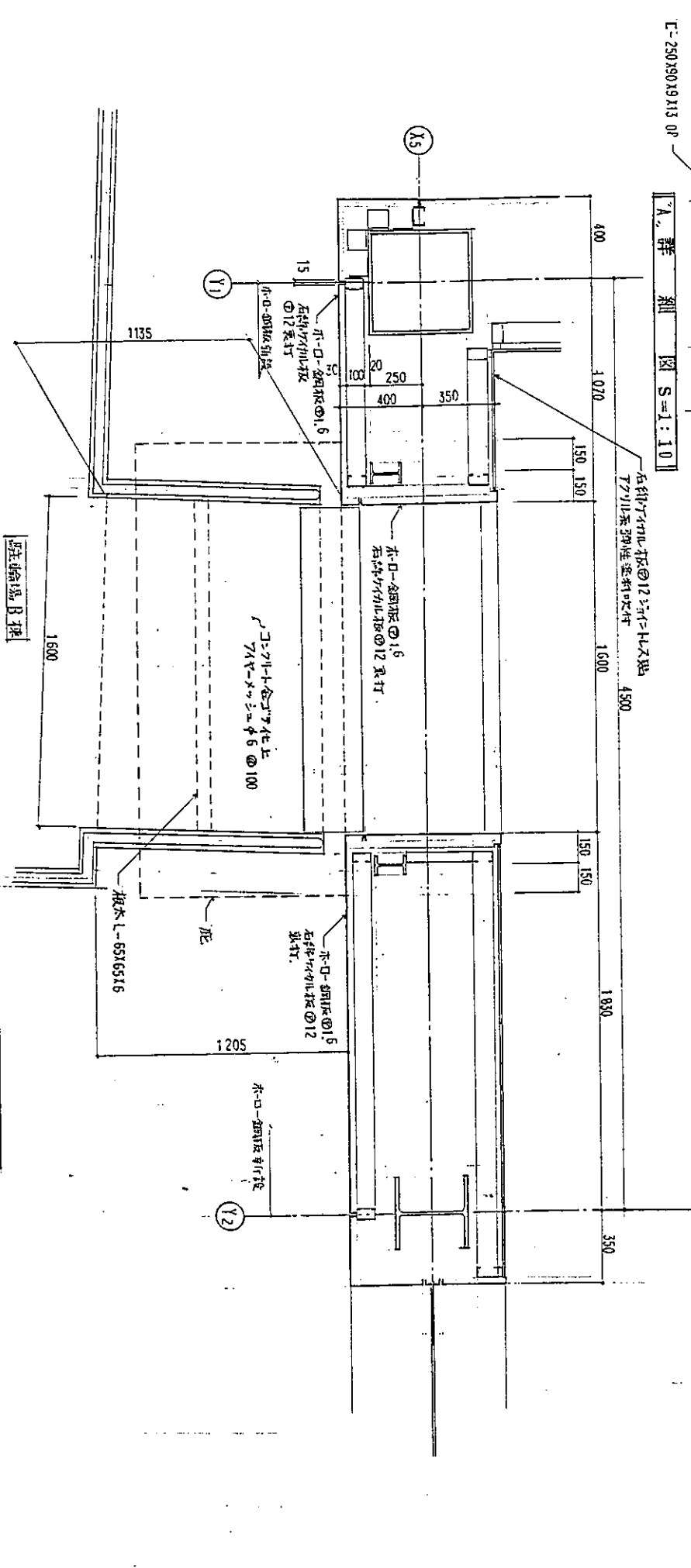
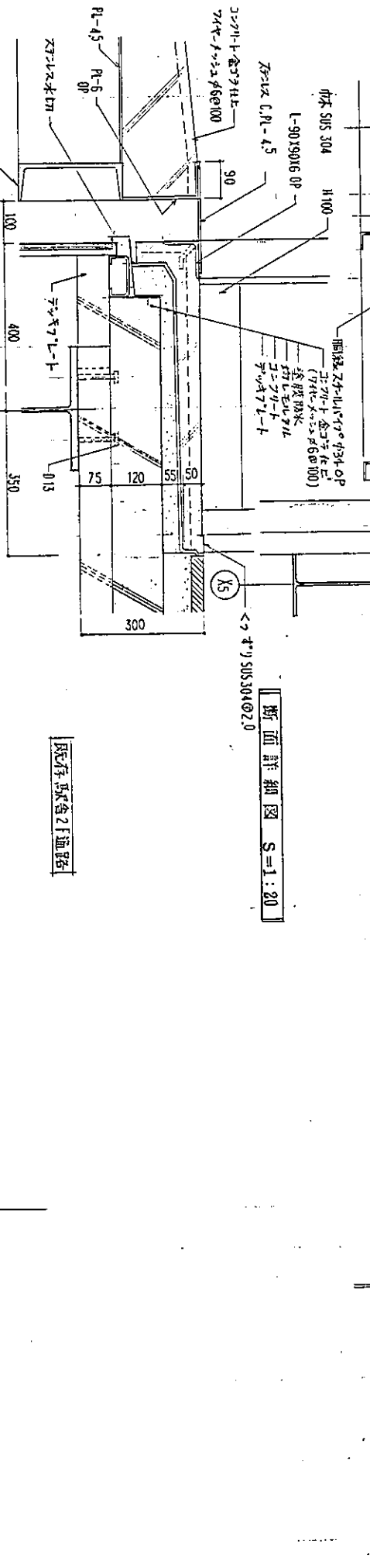
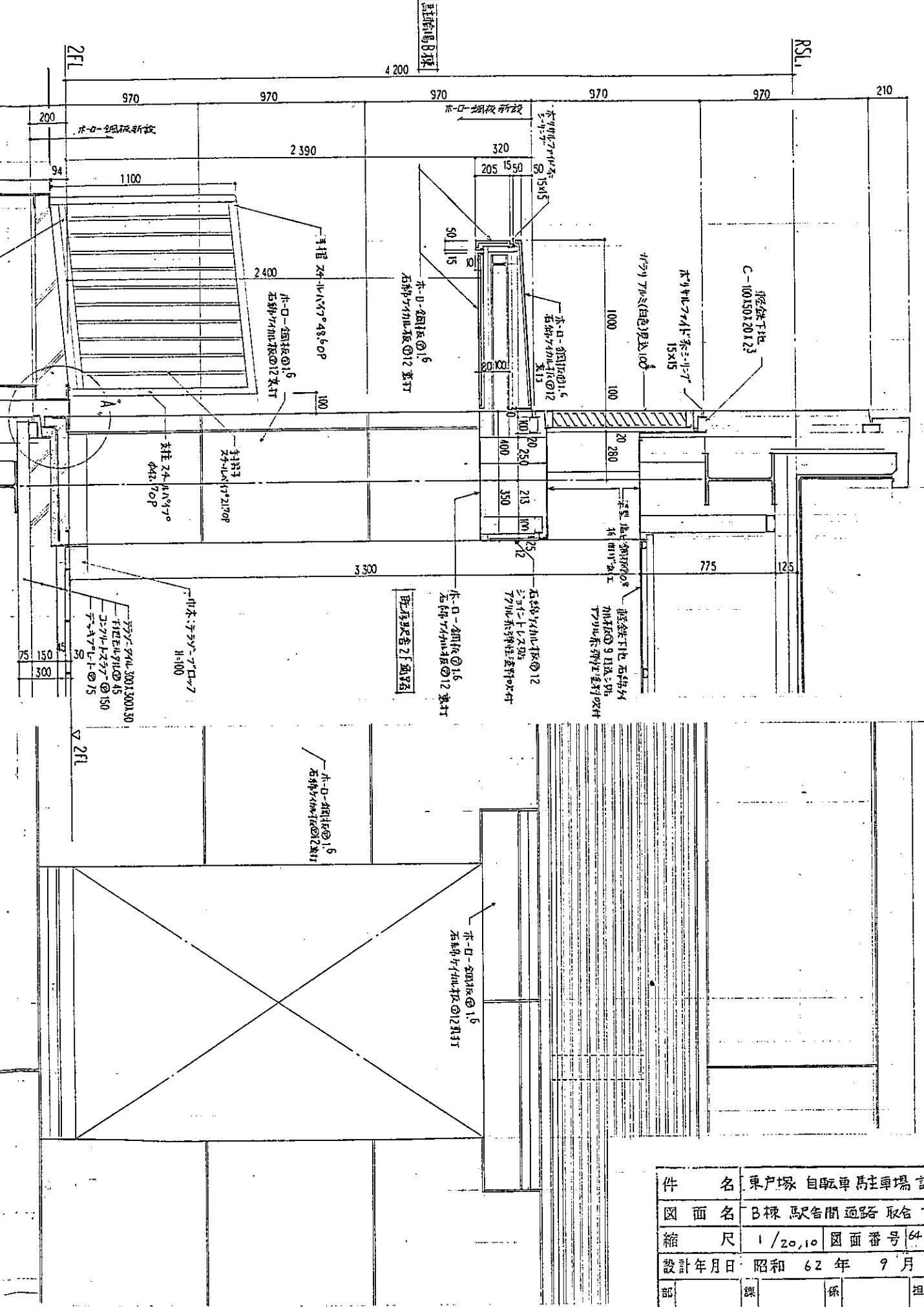


X0 通り

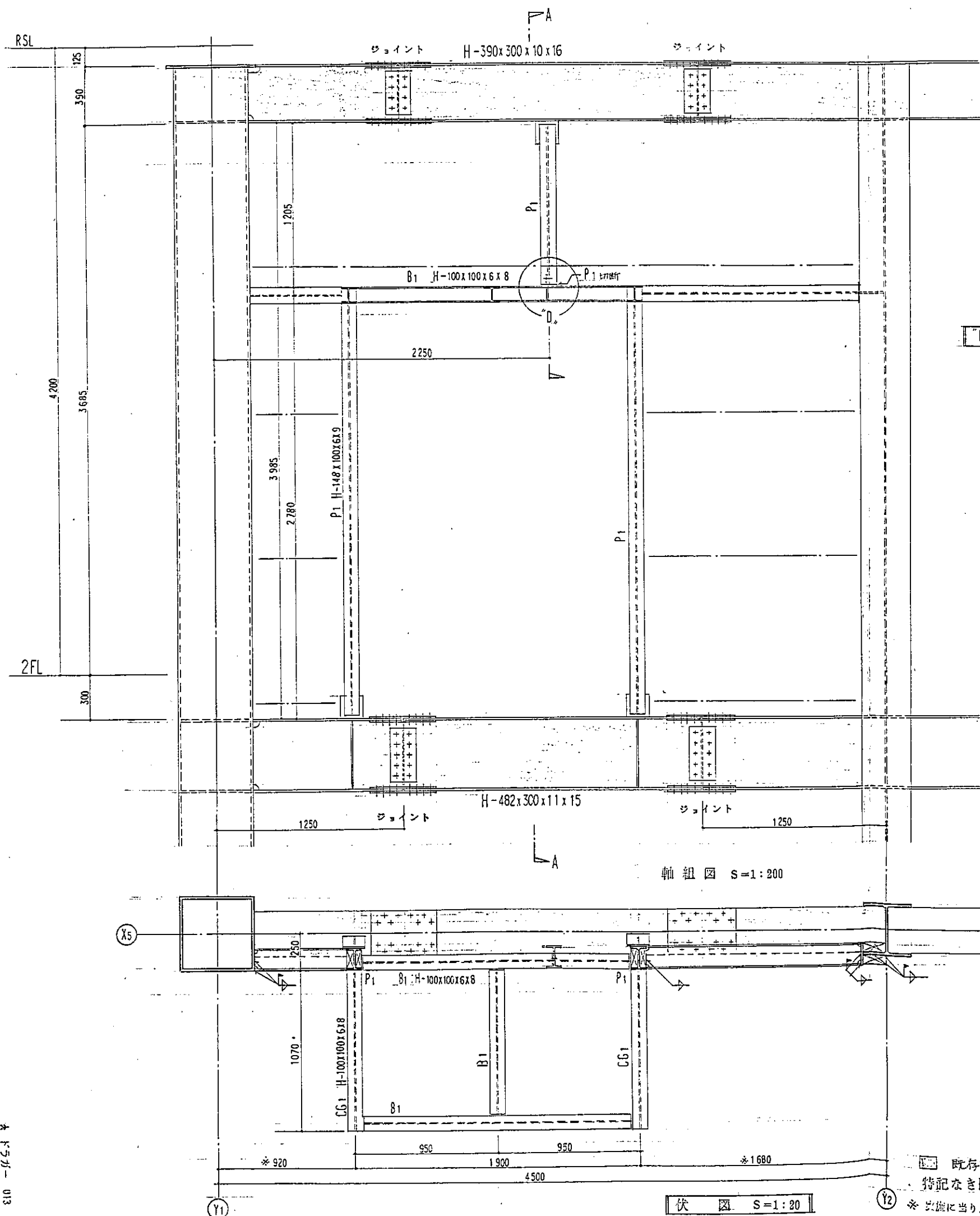


件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	A棟よう壁 部分詳細図		
縮尺	1/30,10	図面番号	64-6/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

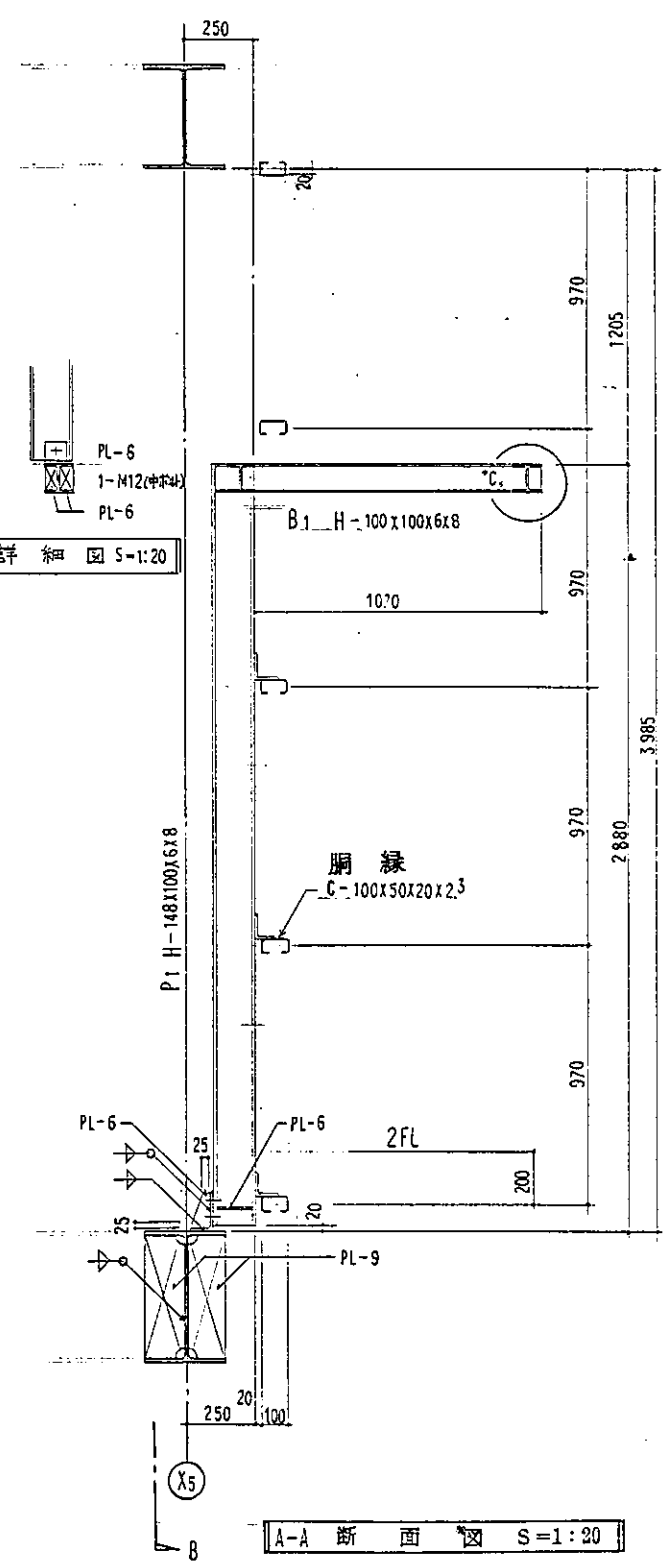
件名	東戸塚 自転車駐車場 設計		
図面名	B棟 駅舎間通路 取合 詳細図		
縮尺	1/20,10	図面番号	64-7/
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



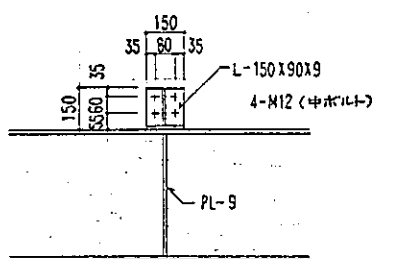
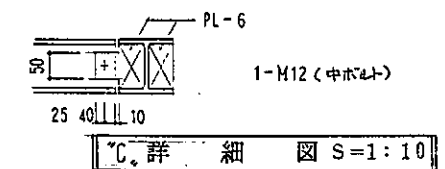
既設部分を表わす。



D 詳細図 S=1:20



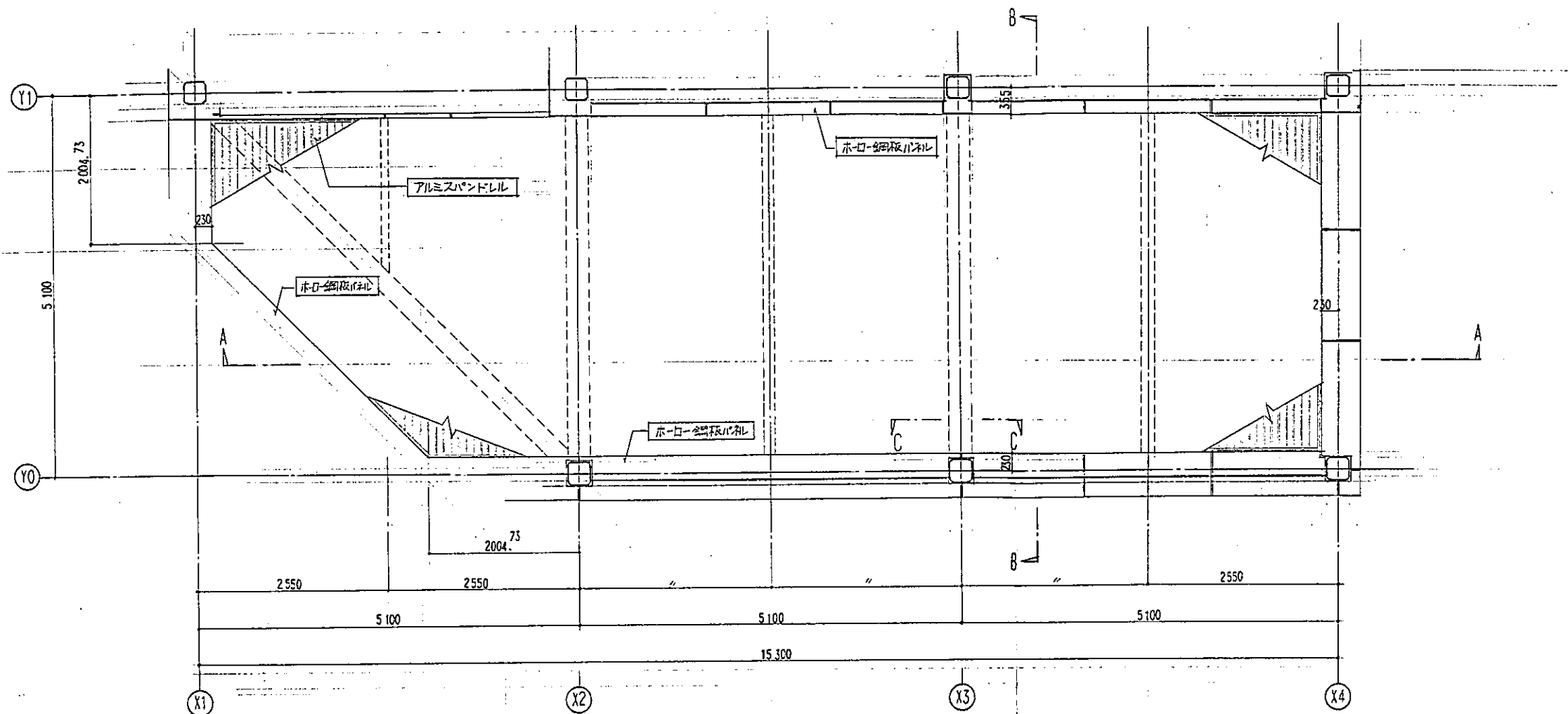
A-A 断面図 S=1:20



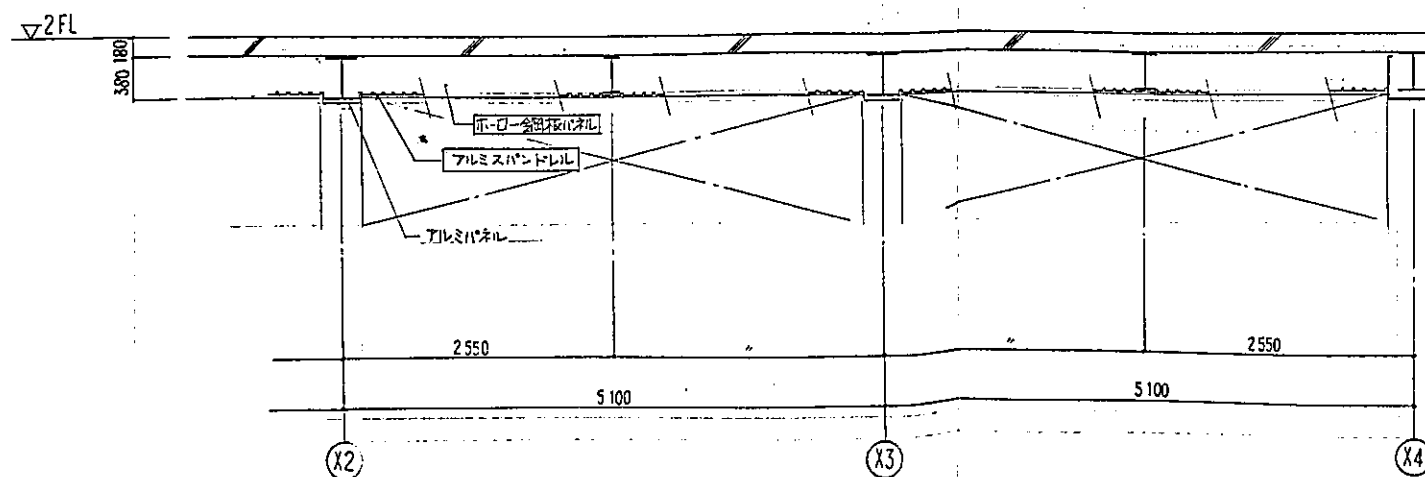
B 断面図 S=1:20

件名	東戸塚駅 自転車駐車場設計		
図面名	B 棟 駅舎間通路鉄骨詳細図		
縮尺	1/20, 10	図面番号	64-8
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

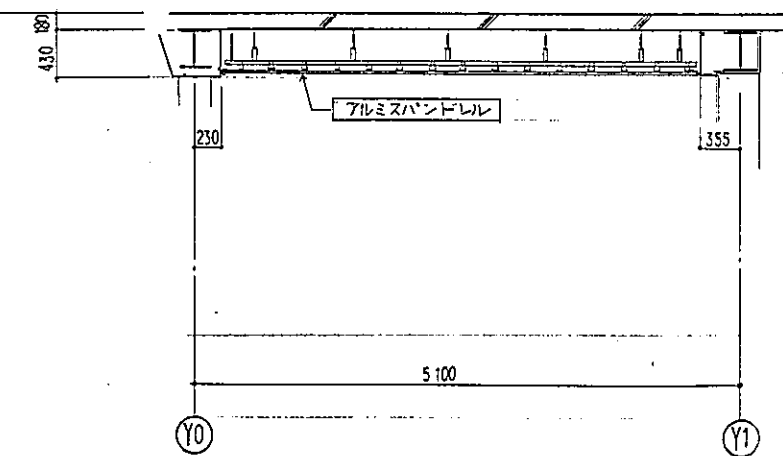
既存部分を表わす。
 特記なき限り 鋼材はSS41とする。
 ※ 数値に当り上記仮定数値に相違ある時は設計変更を行う



A 棟軒天伏図 S=1:50



A-A 断面図 S=1:50



B-B 断面図 S=1:50

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	A棟軒天伏図, 断面図.			
縮尺	1/50	図面番号	64-9/	
設計年月日	昭和 62 年 9 月 30 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

特記仕様書 (給排水衛生換気設備)

1 建物概要	A棟 飲食店 地下1階 地上2階 延床面積 1,174.07㎡	5 一般事項	1) 本工事に必要な工事写真は、各工事の写真をフリーアルバムに整理し提出する。
	B棟 飲食店 地上3階 延床面積 719.71㎡		2) 竣工図の提出は、工事完成後、係員の指示に従い速やかに提出する。提出期限は3日とする。
	合 計 1,893.78㎡		3) 養生材は、一定の場所にとり、係員の指示により処理する。又工事中又障となる物は、係員の指示により処理する。
2 工期	工期は契約工期を厳守する事。		4) 本工事完成検査合格後、もしくは全面工事完了後、速やかに係員立会のもと、施設管理者あるいは機器取扱者に対して、機器取扱説明、工事内容説明等を行う事。また運転並びに保守員は、必要に応じて、工具類、機器取扱説明書、他、必要図書類を引渡す事。
3 工事項目	給排水衛生換気設備工事		
	1) 給水設備工事		
	2) 給湯設備工事		
	3) 排水通気設備工事		
	4) 消火設備工事		
	a) ドレンチャージ設備工事		
	b) 粉末消火設備工事		
	5) 換気設備工事		
4 工事仕様	1) 本仕様書に記載されている工事項目は、すべて建設大臣官庁官庁官庁部「機械設備工事仕様書」(60年版)及び「機械設備工事標準図」(60年版)に依る。なお優先順位は、特記仕様書、図面、標準仕様書の順とする。	6 安全管理	1) 労災保険は、各建設現場毎に加入する。火災保険についてはこの限りでない。
	2) 現場において、取合、材料の寸法、取付位置、取付け工法の変更、あるいはこれらによって取付け数量の増減などの軽微な変更は、係員の指示により施工する事。		2) 労働安全衛生法その他関係法規に従い、常に安全管理に必要措置を講じ、労働災害発生防止に努めること。また施設管理者と十分打ち合わせ、仮囲い等により、工事関係者以外への侵入を防止し、工事部分に立ち入らない様に危険箇所には、係員を配置する等の措置をとり、事故防止にあたること。
	3) 本工事で使用する、機器及び材料は、工事着工前に「メーカーリスト」を提出し、係員の承認を受ける事。		
	4) 本工事施工に先立ち、関連工事請負者と充分打ち合わせの上、施工計画書、工程表及び本工事に必要な官公署申請届出書類の提出予定表を作成し、係員の承認を受ける事。また工程表作成については、機器の搬入時期及び工法について事前に確認に打ち合わせを行う事。	7 特記事項	1) 本工事に使用する機器で、稼働型、動力型等の合電動機には、効率改善型三相コンデンサ及びELBを取り付ける事。
	5) 本工事に使用する機器、材料は、市に指定した特記ある場合、係員の承認を受けるものとする。又、特に係員の指示する材料については、見本品を提出の上決定する。		2) 散水栓はすべてコンクリート水栓柱付とし、パイプ等で破損しない様に堅固に固定すること。水栓取付高さは900mmとする。
	6) 本工事に使用する機器で、容量能力以外の仕様(外形寸法、電気容量、補機など)において、製作者により差異がある場合は、承認図により承認する。また機器の製作は、承認図が承認された後、製作に入る事。		3) 給水、ドレンチャージの保温は屋外仕様とする。
	7) 消防用設備について、施工管理、官公署への申請、許認可事務の補助及び検査立会などは、すべて消防設備士の立会で行う事。		4) 各配管の識別は系統名、色別帯、流水方向を示す矢印により行う。色別帯表示位置は係員の指示による。

件名	県庁駅自転車駐車場設計		
図面名	特記仕様書 (給排水・換気設備)		
縮尺		図面番号	65/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 14 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

例

記号	名称	材質	備考
—	給水管	塩ビパイプ鋼管(水通)	JWWA K116 SGP-VB
—	給湯管	銅管	M 917°
—	排水管	配管用炭素鋼鋼管(水)	JIS G 3452
—	通気管	—	—
—	汚水管	排水鋳鉄管	HASS 210 ムカ=カ形
—	屋外排水管	ヒューム管	JIS A 5303 (B形)
HD	ドレンチャーパー	配管用炭素鋼鋼管(水)	JIS G 3452
—	ガート弁	—	給水用弁部150mm径用 JIS 10K 2L 止水用 JIS 5K
N	チャッキ弁	—	JIS 10K
—	フレキシブル継ぎ	SUS製	—
□	水栓 易栓	—	—
□	水栓 柱	コンクリート製	—
①	床土掃除口	—	—
○	汚水 枳	コンクリート製	—
⊗	雨水 枳	—	トラフ枳(排水溜り200mm)
○	ドレンチャーパー	—	—
◎	感知用スチールヘッド	—	—
⊙	自動警報弁	—	—
⊗	一斉閉鎖弁	—	—

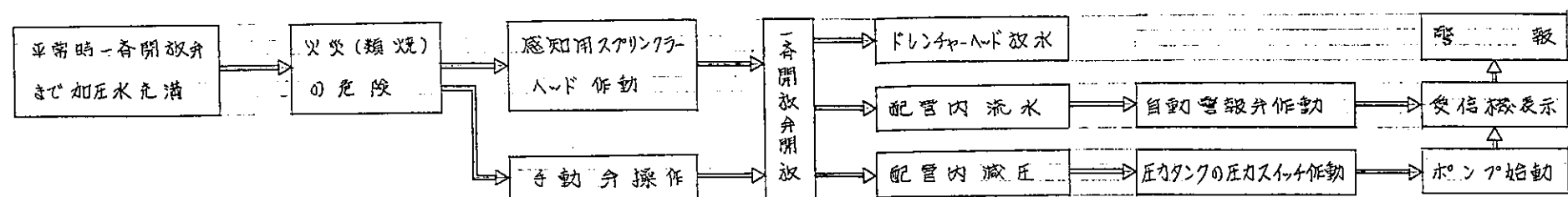
器具表

名 称 品 番 付 属 品			標 別		A 種		B 種			合 計	備 考
			1階	2階	1階	2階	原二				
			ミニバイク置場	ミニバイク置場	管理人所	自転車置場	ミニバイク置場	ミニバイク置場	自転車置場		
洋風便器	CT20 (S921B)	90°用金具便座、床タンク、便器本体、紙巻器			1					1	
自 在 水 栓	T130AR-13				1					1	
"	T30CR-13				1					1	
カップリング水栓	T26K-13	キー式	1	1		1	1	1	1	6	
水 栓 柱			1	1		1	1	1	1	6	コンクリート製

機 器 表

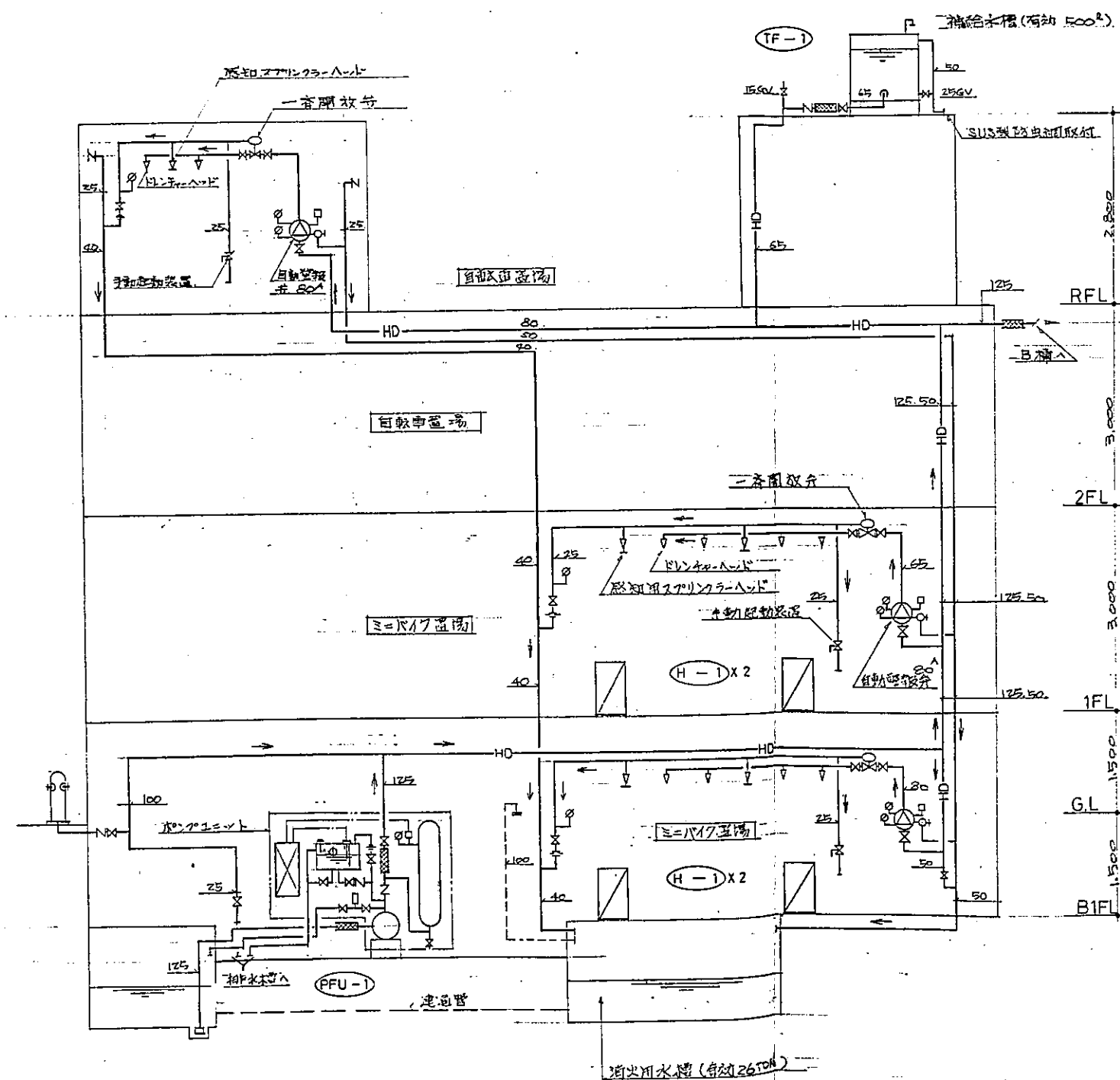
記号	名称	設置場所	仕 様	台数	動力 50Hz			備 考
					KW	φ	V	
TW-1	排水槽付自動給水装置	屋 外	受水槽(FRP製)有効430L 耐震型 1000×500×1000 ^H 圧力ポンプ 25 ⁴ ×25 ⁴ mm×18mm	1	0.3	1	100	120-1基礎(建築工事)
PFU-1	ドレンチャーパー	地階排水	ポンプユニット 125 ⁴ ×950 ⁴ mm×30mm 制御盤(消火槽満減水警報付) 防塵型 他付属品一式	1	18	3	200	120-1基礎(建築工事) 入△起動 消防認定品
TF-1	消火用補助水槽	塔屋屋上	鋼板製 有効水量500L 1000×1000×1000 ^H 板厚:側面4mm 蓋3.2mm 平架台共	1				120-1基礎(建築工事)
H-1	移動式粉末消火器	12階B7置場	ホ3種粉末 4kg入 ホ-ス15 ⁴ ×20mm 格納箱 650×450×1150 ^H	15				
P-1	排水水中ポンプ	地階排水	自動運転型 40 ⁴ ×100 ⁴ mm×6mm フロートスイッチ、水中ケーブル6m	1	0.25	1	100	
ET-1	電気湯沸器	(階管理) 湯所	型掛型 12L ボイラントタイマー、タイマー付	1	0.75	1	100	
EF-1	天井 扇	—	低騒音型 60 ^{CMH} ×5 ^{mm} 18	1	0.013	1	100	
EF-2	換 気 扇	—	200 ⁴ ×500 ^{CMH} 通風シールド付、FD付ワイヤー付	1	0.023	1	100	

件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	器具表・機器表		
縮 尺		図面番号	66 /
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局			



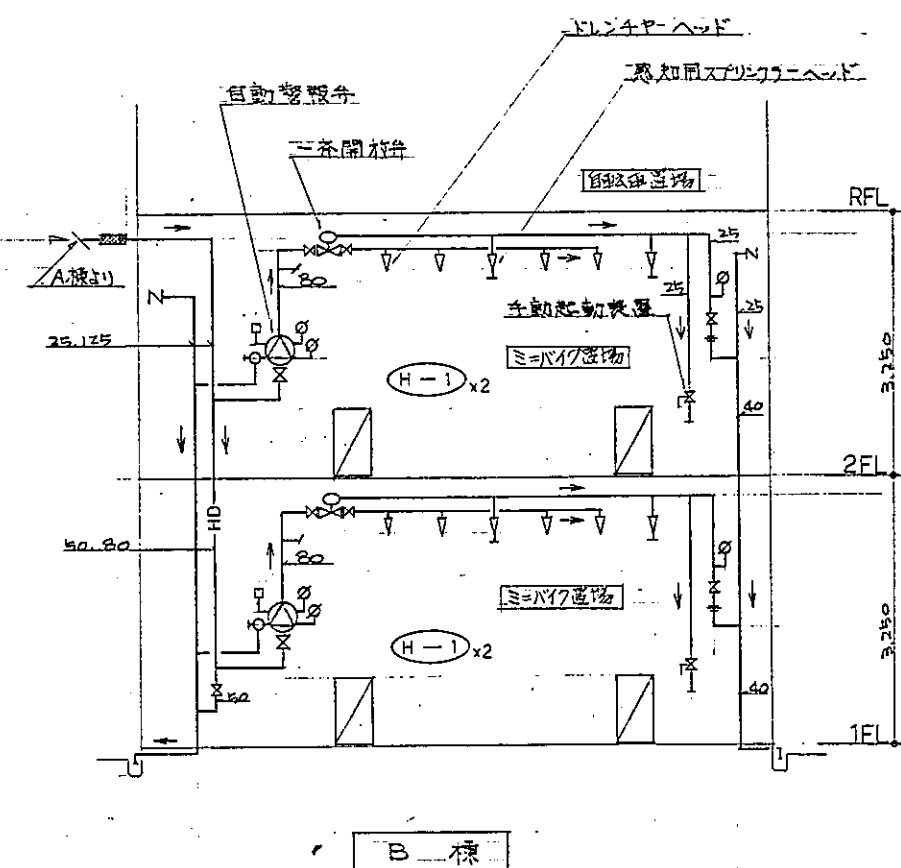
ドレンチャ-設備動作フロー

機械設備 電気設備



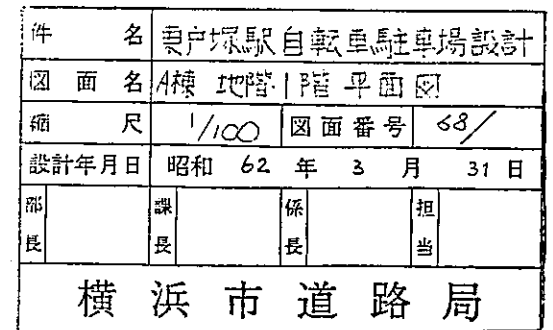
A棟

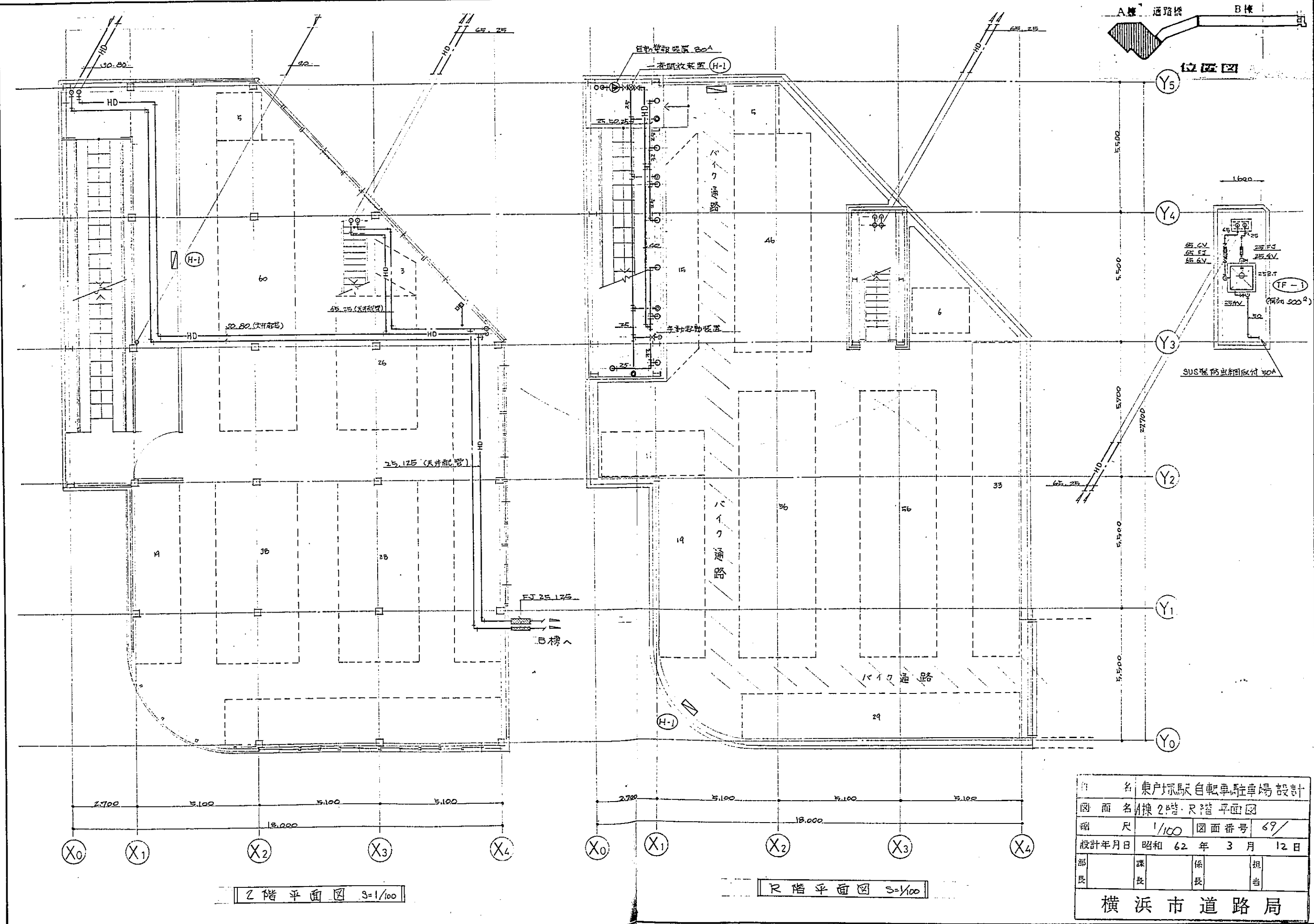
系統図



B棟

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	ドレンチャ-設備 系統図			
縮尺		図面番号	67/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

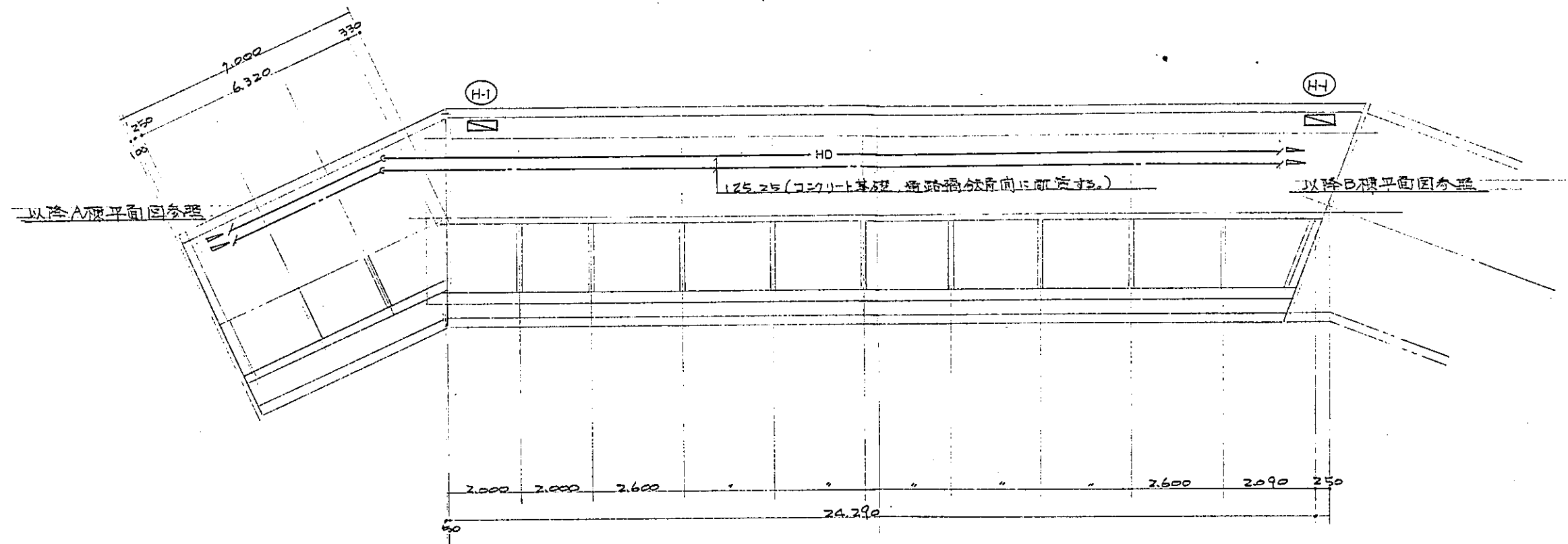
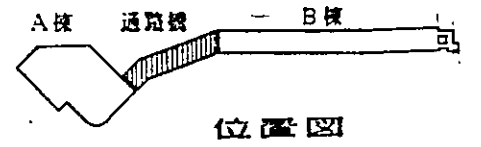




2階平面図 S=1/100

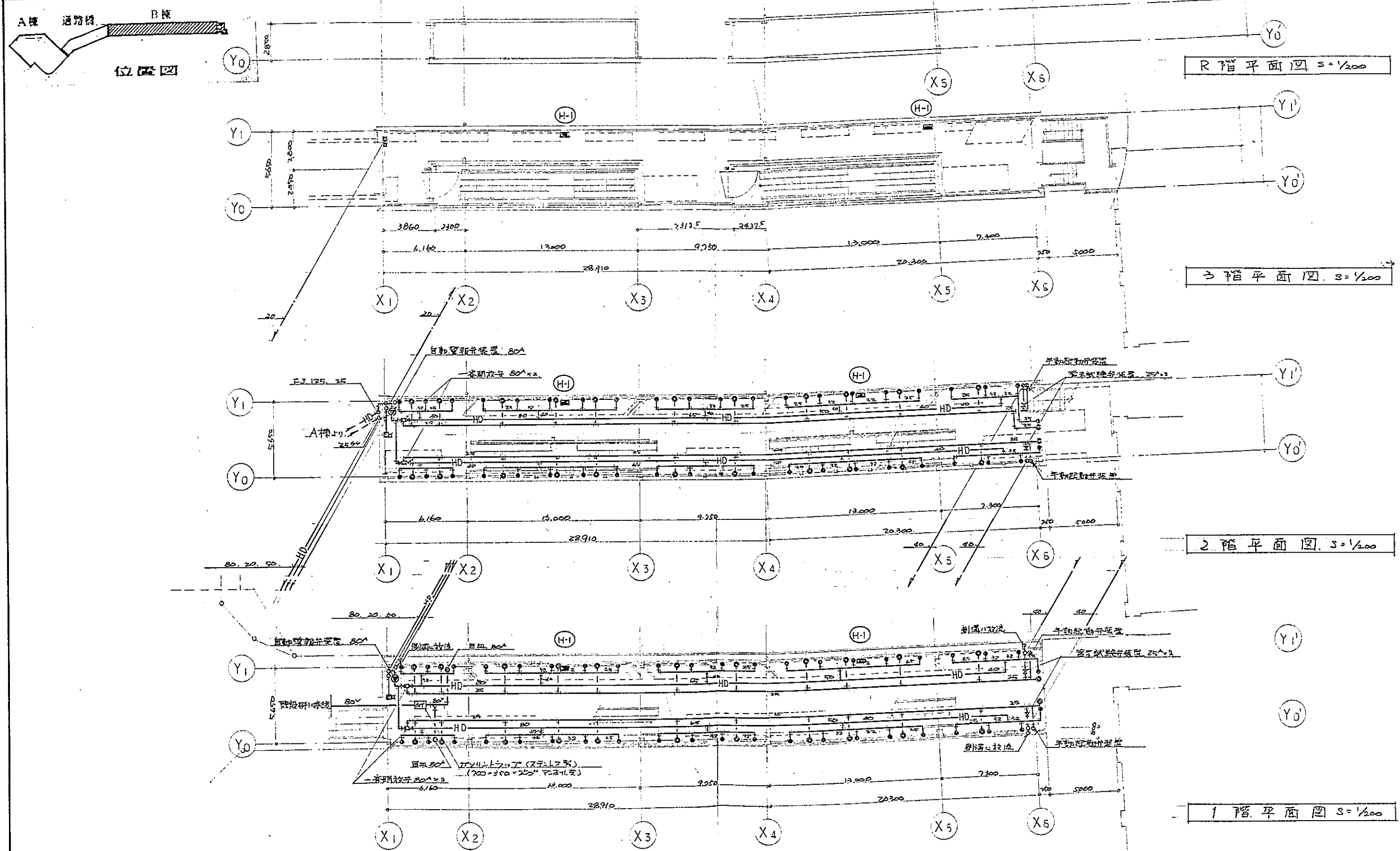
R階平面図 S=1/100

名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	1棟2階・R階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	69/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



通路橋平面図 S=1/100

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	通路橋 給水設備平面図			
縮尺	1/100	図面番号	70/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



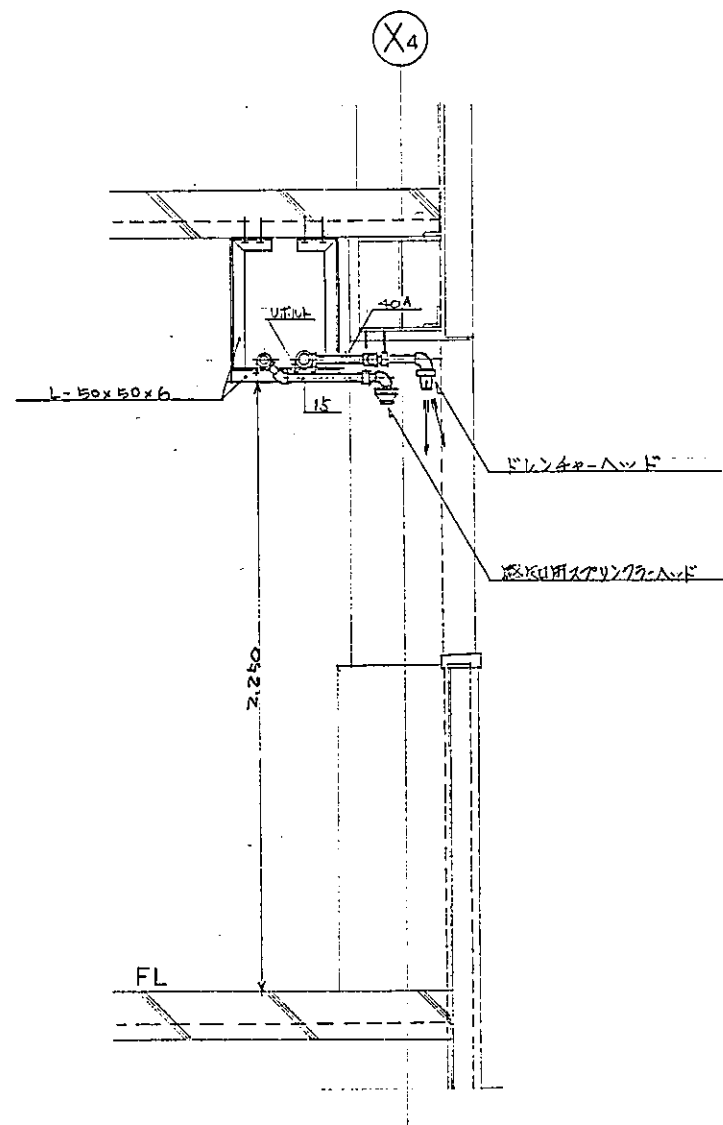
R階平面図 S=1/200

3階平面図 S=1/200

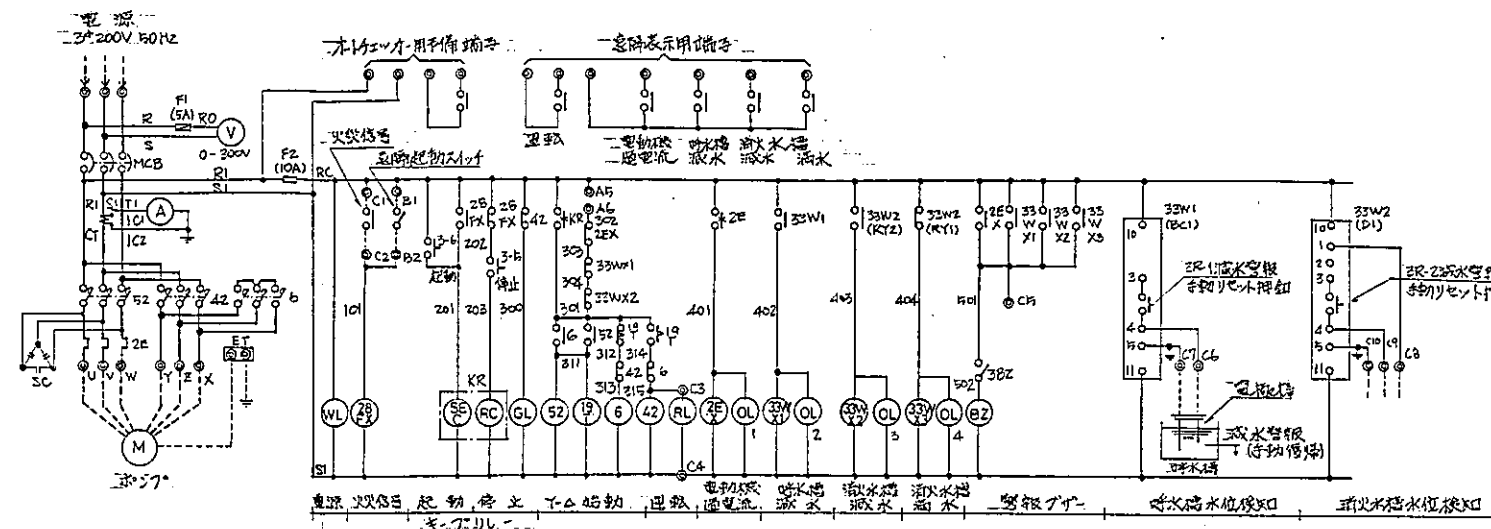
2階平面図 S=1/200

1階平面図 S=1/200

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	B棟 給水設備平面図			
縮尺	1/200	図面番号	71/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				

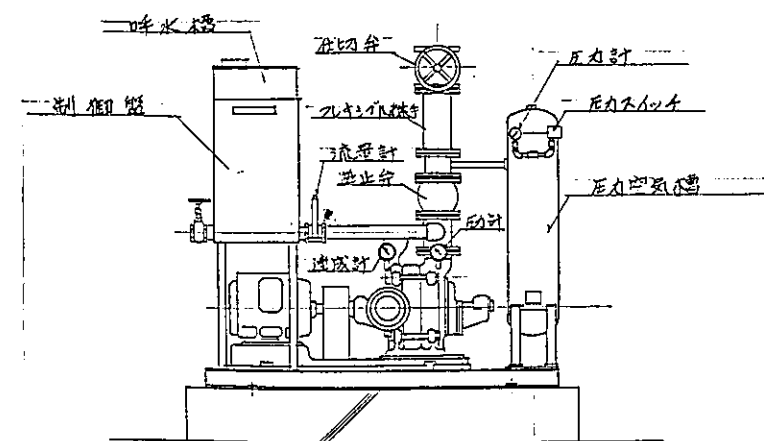


ドレンポンプヘッド取付要領図 S=1/20



ドレンポンプ用制御盤結線図

記号	名	概
MCB	配線用遮断器	
52	主電磁接触器	
6	起動用電磁接触器	
42	運転用電磁接触器	
2E	2Eサーモリレー	
33W1	停止ボタン	
CT	変流器	
F	ヒューズ	
33W2	減水警報リセットボタン	
3R	減水警報リセットボタン	
KR	キアリレー	
SEC	キアリレーセトコイル	
RC	キアリレーセトコイル	
X	補助リレー	
SC	進相コンデンサ	
M	電動機	
ET	接地端子	



ドレンポンプユニット要領図 (参考図)

件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	ドレンポンプ用制御盤結線図 他		
縮尺	1/20	図面番号	72/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

件	名	渠中掘取自転車軌車端設計			
図	面	給排水設備 系統図			
縮	尺		図面番号	73/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日				
主任		課長		係長	
技師		技師		技師	
横 浜 市 道 路 局					

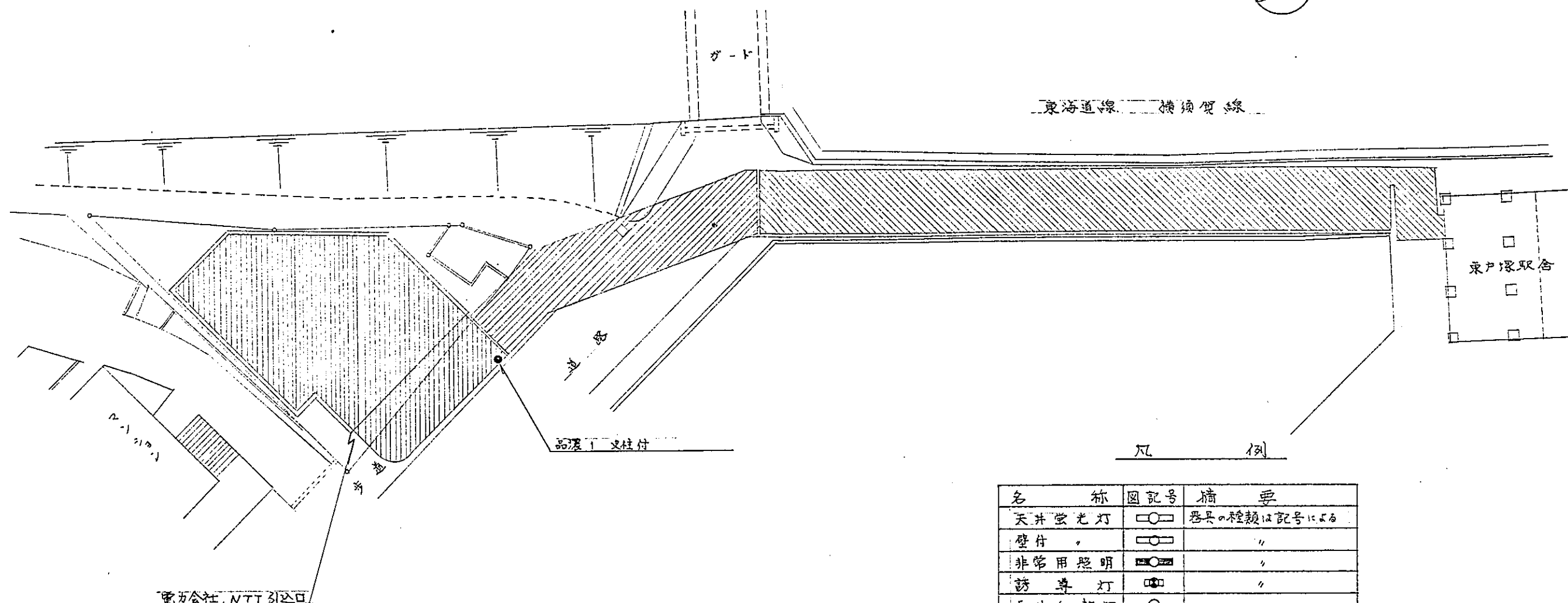
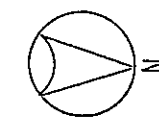
特記仕様書(電気設備)

1. 建物概要	A棟 鉄骨造 地下1階 地上2階 延床面積 1,174.07㎡
	B棟 鉄骨造 地上3階 延床面積 719.71㎡
	合 計 1,893.78㎡
2. 工 期	工期は契約工期を厳守する事。
3. 工 事 項 目	電気設備工事
	1) 動力設備工事
	2) 電灯コンセント設備工事
	3) 自動火災設備工事
	4) 電話配管設備工事
	5) 防犯設備工事
4. 工 事 仕 様	1) 本仕様書に記載されていない事項は、すべて建設大臣官庁官庁管轄部「電気設備共通仕様書」(60年版)及び「電気設備工事標準図」(60年版)、横浜市道路局「電気設備工事仕様書」に依る。 なお優先順位は、特記仕様書、図面、標準仕様書の順とする。
	2) 現場のおさまり、取合上、材料の寸法、取付位置、取付工法の変更あるいはこれらによる取付数量の多少の増減などの軽微な変更は、係員の指示により施工する事。
	3) 本工事で使用する機器及び材料は、工事着工前に「メーカーリスト」を提出し、係員の承認を受ける事。
	4) 本工事施工に先立ち、関連工事請負者と十分打合わせの上、施工計画書、工程表及び本工事に必要な官公署申請届出書類の提出予定表を作成し、係員の承認を得る事。また、工程表作成については、機器の搬入時期及びその方法について綿密に打合わせを行う事。
	5) 本工事に使用する機器、材料は市の指定とし、特記ある場合も係員の承認を得るものとする。 又、特に係員の指定する材料については、見本品を提出の上、決定する。
	6) 消防用設備について、施工管理、官公署への申請、許認可事務の補助、及び検査立会などは、すべて消防設備士の立会で行う事。
	7) 電気電話の引込位置、引込方法等は事前に関係会社と打合わせの上、その報告書を提出の事。

5. 一 般 事 項	1) 本工事に必要な工事写真は、各工事毎の写真をつりアルバムに整理し提出する。
	2) 竣工図の提出は、工事完成後、係員の指示に従い速やかに提出する事。提出部数は3部とする。
	3) 発生枝は一定の場所により、係員の指示により処理する。又、工事中支障となる物件は、係員の指示により処理する。
	4) 本工事完成検査合格後、もしくは手直工事完了後、速やかに係員立会のもと、施設管理者あるいは機器取扱者に対して、機器取扱説明、工事内容説明を行う事。また、運転並びに保守点検に必要な付属品、工具類、機器取扱説明書、その他必要図書類を引渡す事。
6. 安 全 管 理	1) 労災保険は各建設場所毎にかけ事。X災保険についてはその限りでない。
	2) 労働安全衛生法、その他関係法規に従い、常に安全管理に必要な処置を講じ、労働災害発生防止に努める事。また、施設管理者とも十分打合わせの上、夜間工事により、工事関係者以外の者が、工事部分に立入らない様にし、危険箇所には、保安要員を配置する等の処置をとり、事故防止にあたること。

7. 特 記 事 項	1) 引込開閉器盤の寸法は引込ケーブルの太さに応じた十分なスペースを有するものとする。
	2) 警報のうち、ドレンチャージポンプ制御盤より取出力警報は、機械設備工事業者と事前に打合わせの事。

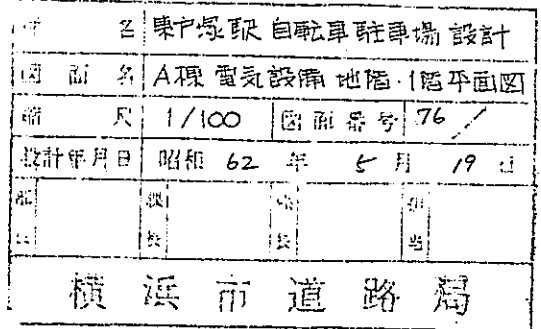
件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図 面 名	特記仕様書 (電気設備)			
縮 尺		図面番号	74/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日			
部 長	課 長	係 長	担 当	
横 浜 市 道 路 局				

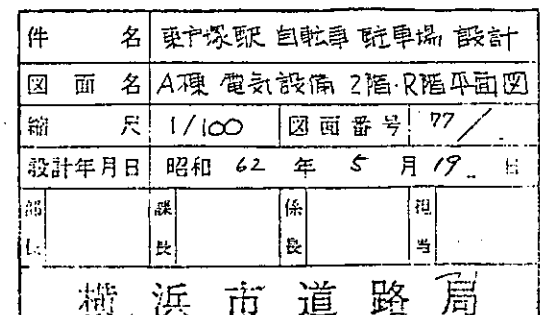


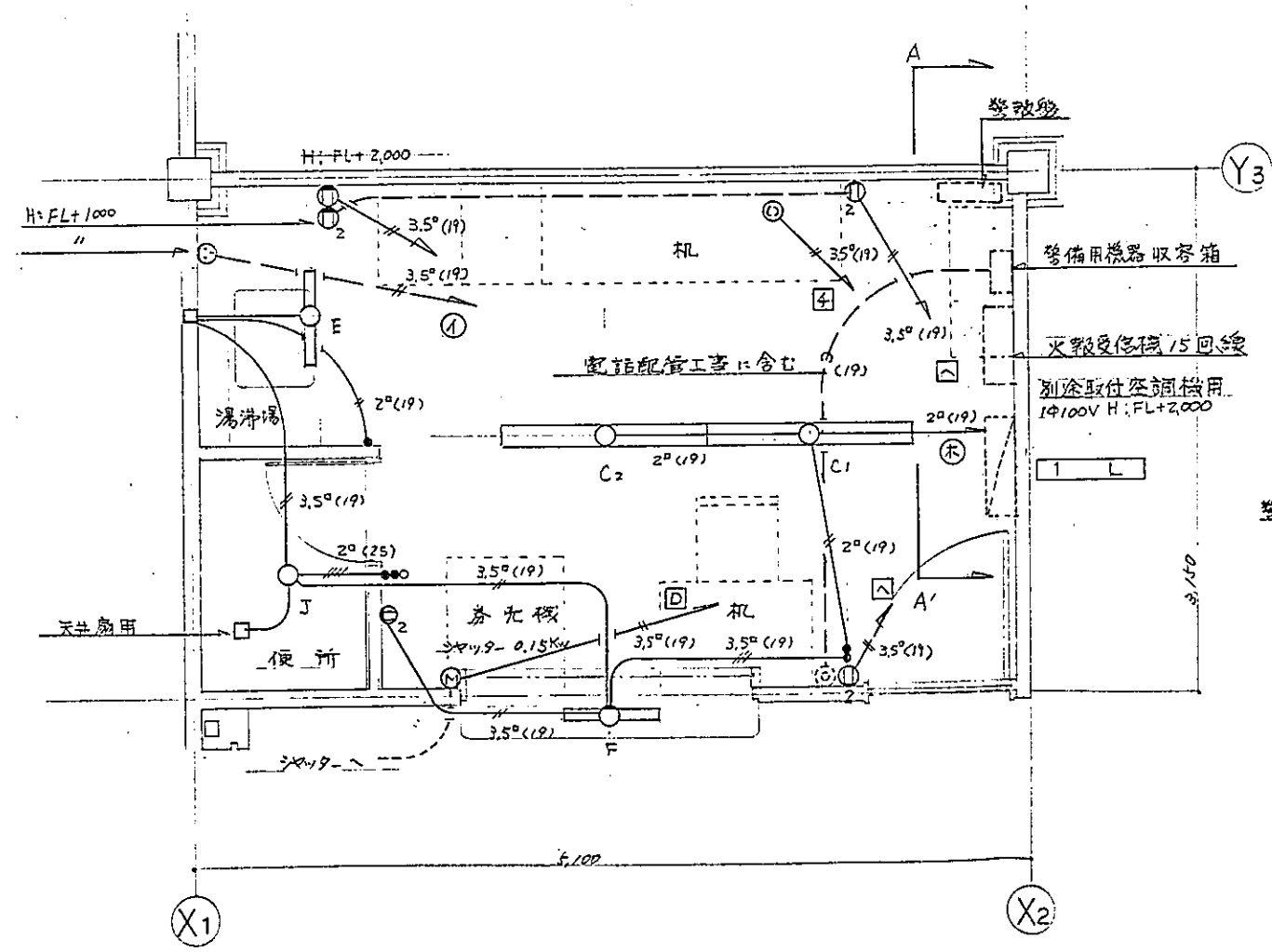
凡 例

名 称	図 記 号	備 考
天井蛍光灯	○	器具の種類は記号による
壁付	○	"
非常用照明	■	"
誘導灯	■	"
天井白熱灯	○	"
屋外灯	⊗	"
埋込コンセント	⊙	2P/15A 適用, ⊙ ₂ は 2 個用
	⊙	3P/15A 適用 2 個用
タンブラースイッチ	•	適用 1P 300V 10A
パイロットランプ	•	" 100V
自動減速器	•A	CDS 200V 10A
電話アウトレット	⊙	ノズルプレート付
フロートスイッチ	⊙F	水銀スイッチ(A接続)内蔵
電灯分電盤	⊠	
動力制御盤	⊠	
警報盤	⊠	
ジョイントボックス	□	
フルボックス	⊠	寸法は傍記による
電力量計	⊠	鉄箱入 1 中, 3 中
引込	—	
天井配線	—	明記のない場合は 1V
床埋込配線	---	"
露出配線	----	"
警報ブザー	⊙	AC 100V 用 音量 90dB 以上
警報用押釦	⊙	AC 250V 6A, 埋込型 プレート付

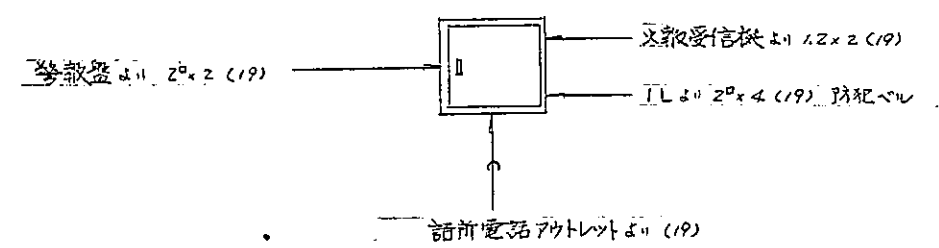
件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	電気設備 凡例・配置図		
縮 尺	1/300	図面番号	75/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局			



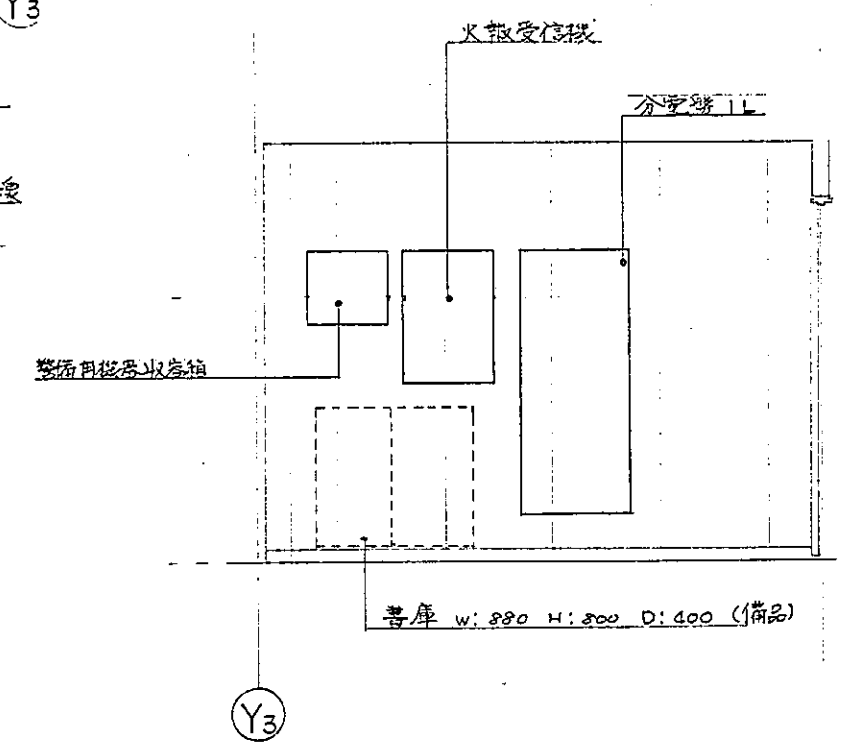




1階 話所平面図 S = 1/30



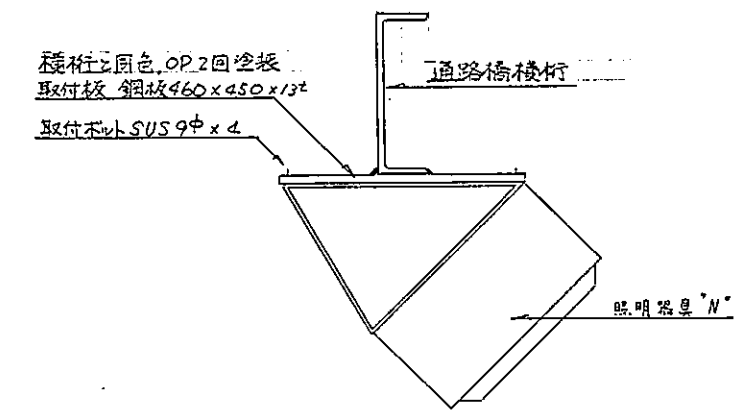
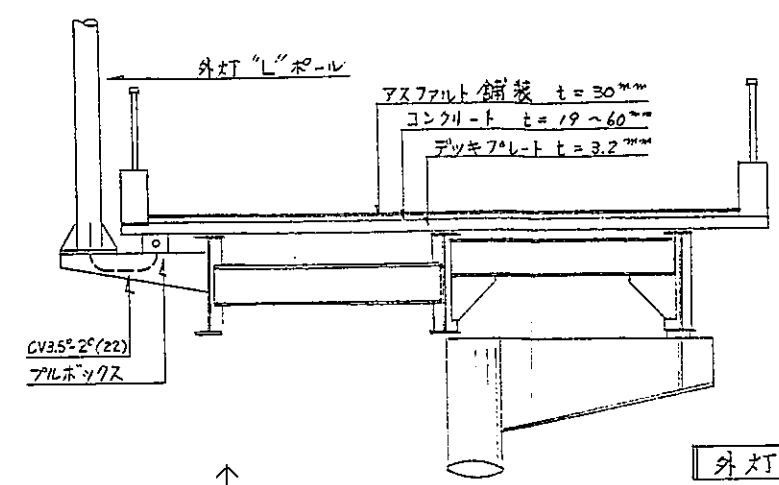
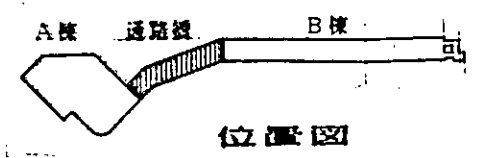
警備用機器収容箱配線概念図



記入寸法は参考とする

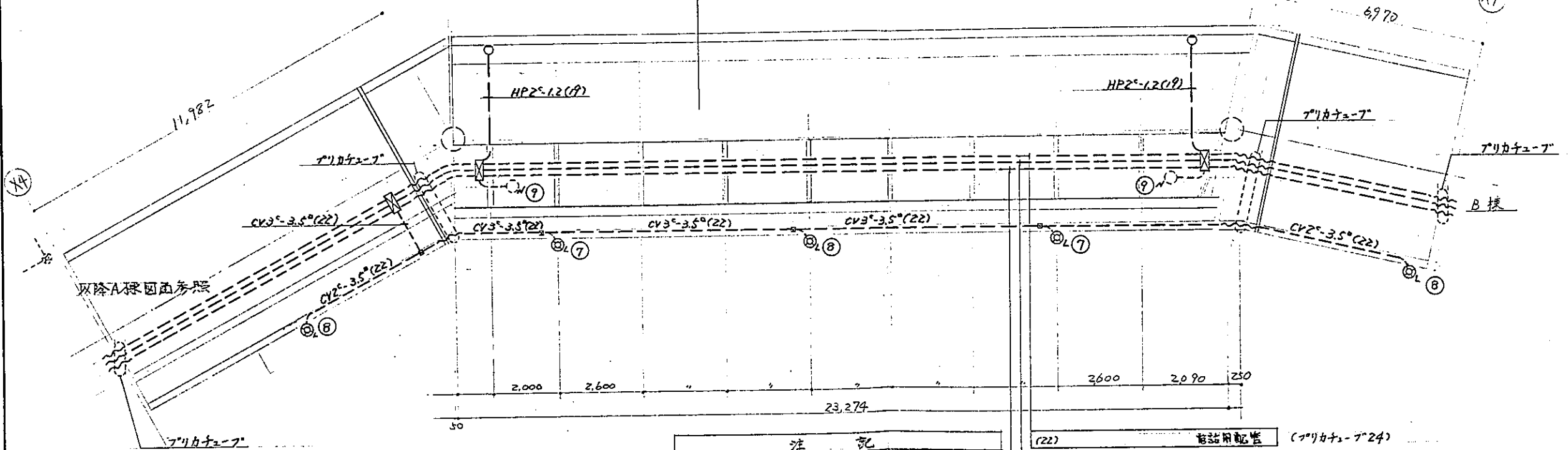
A-A' 展開図 S = 1/30

件名	栗戸塚駅 自転車駐車場 設計			
図面名	A棟 電気設備 1階話所平面図			
縮尺	1/20	図面番号	78/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日			
部	課	係	組	
長	長	長	長	
横浜市道路局				



外灯"L"取付参考断面図 S=1/50

照明器具N取付参考図 S=1/10



- 注 記
1. 通路橋鉄骨下端に配線槽。
 2. ポールボックスは防雨型とする。
 3. 外灯"L"は橋上に"N"は橋下に取付。

通路橋平面図 S=1/100

(22)	電線用配管	(70リカチューブ 24)
HP1.2-10P (28) x 3	目 火 板	(70リカチューブ 30)
⑦⑧	CV3°-3.5°	ポールライト
⑨	CV2°-2°	ポール照明
⑩	CV3°-2° (36)	防犯ハル
⑪⑫⑬	CV3°-3.5°	照 明
⑭	CV2°-3.5°	誘 導 灯
⑮	CV2°-2° (36)	手 係
⑯	CV3°-8° E3.5° (28)	管理小屋

件 名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図 面 名	通路橋 電気設備 平面図		
縮 尺	1/100	図面番号	79/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局			

R階平面図 S=1:200

3階平面図 S=1:200

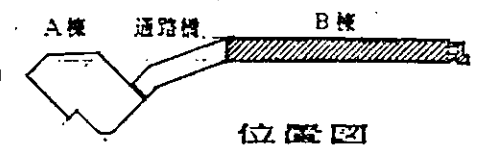
2階平面図 S=1:200

1階平面図 S=1:200

- ⑦⑧ CV3.5"-3°
 ⑨ CV2°-3° (7'11"33)
 ⑩⑪⑫ CV3.5"-3°
 ⑬ CV3.5"-2°
 ⑭ CV2°-2° (7'11"33)
 ⑮ CV3°-3°, E3.5° (7'11"30)

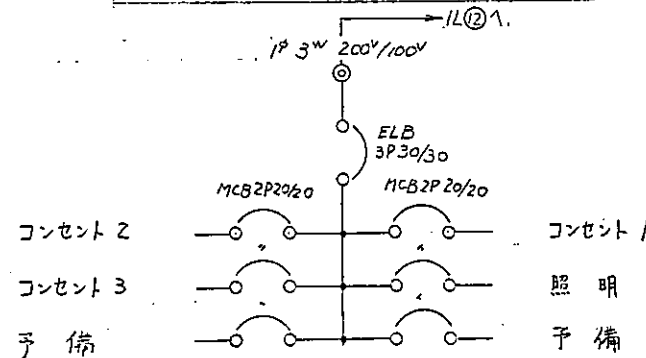
- ⑩⑪ 3.5"x3, E2° (25)
 CUV2°-2° (17)
 ⑫ 8"x3, E3.5° (25)
 2"x2 (17)

- ⑩⑪ 3.5"x3, E2° (25)
 CUV2°-2° (17)
 ⑫ 8"x3, E3.5° (25)
 2"x2 (17)

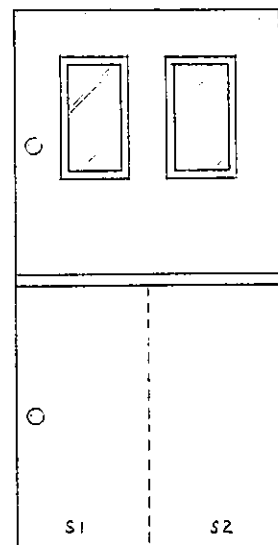


件名	車庫・駅・自転車駐車場設計		
図面名	各種電気設備平面図 (1)		
縮尺	1/200	図面番号	80/
設計年月日	昭和 62 年 5 月 19 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			

- 1 ①~⑪回路はCOSにより手動、自動の切替可能とし、常時は自動とする
- 2 上記回路の減速はCDS(警外)とタイマー-TM(くり返し動作、待電補償付)の時限動作により定刻に消灯させるものとする。但し①②はタイマーのみによる減速とする。
- 又④の回路はCDSのみによる減速としタイマーは使用しない。

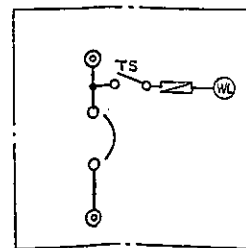


2 L 壁掛露出型 (支給品, BQ60306)



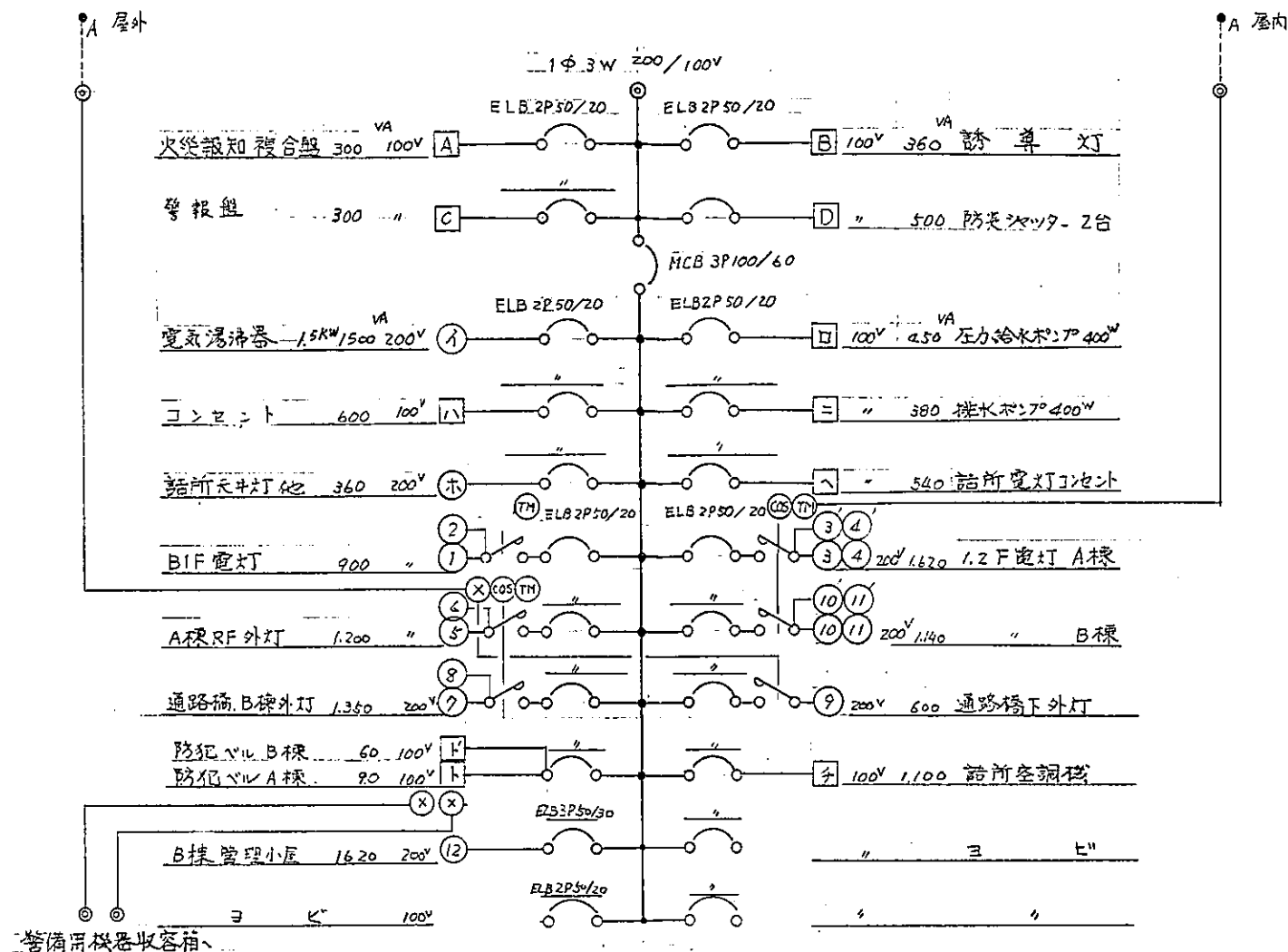
WHM取付スペース (封鎖付キ-ハンドル) 単3 120A x 2個用

引込計器盤 鋼板製、露出型、屋外用

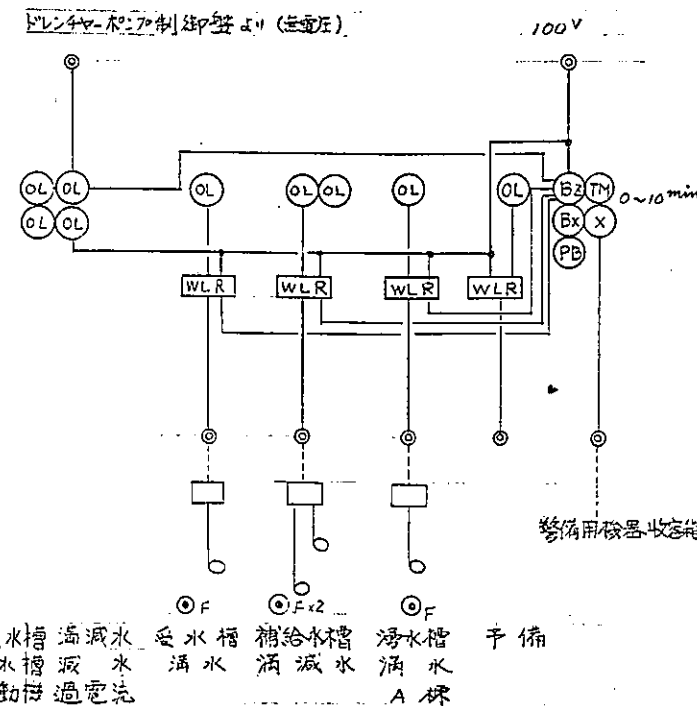


引込開閉器取付スペース (キ-ハンドル)

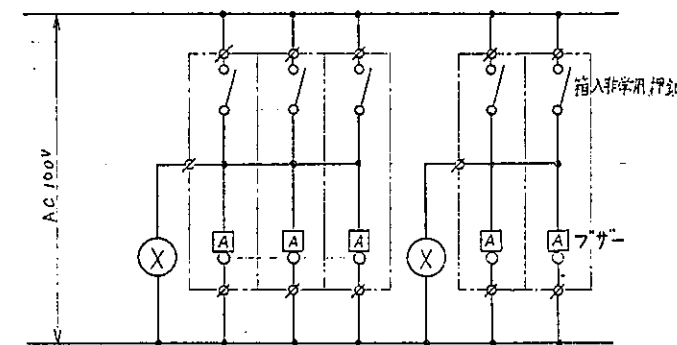
- S1 MCB 3P100/75 x 1 (VV22⁰-3C)-般用
- S2 MCB 3P 225 / 125 x 1 (FP 38⁰-3C)
- S2は消防法の規制に基づく耐火分断型仕様とする。



1 L 壁掛、露出型 負荷合計、15.040 KVA



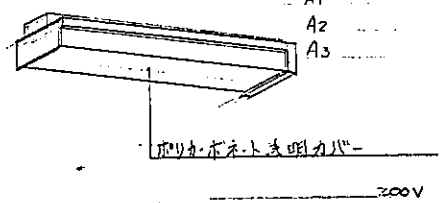
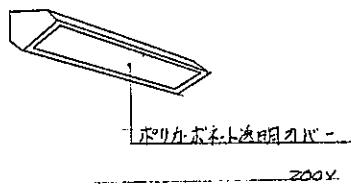
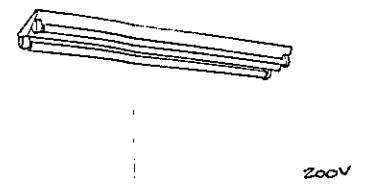
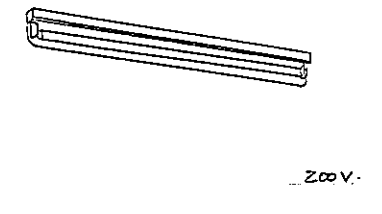
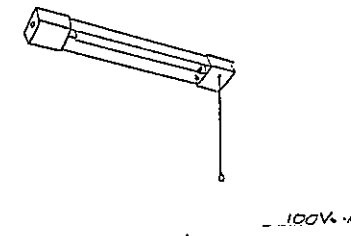
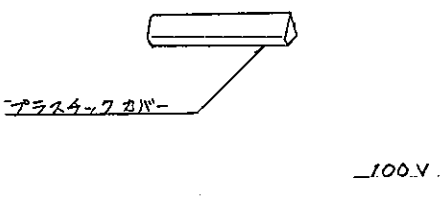
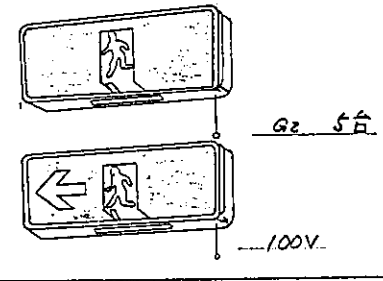
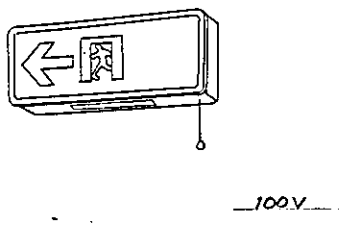
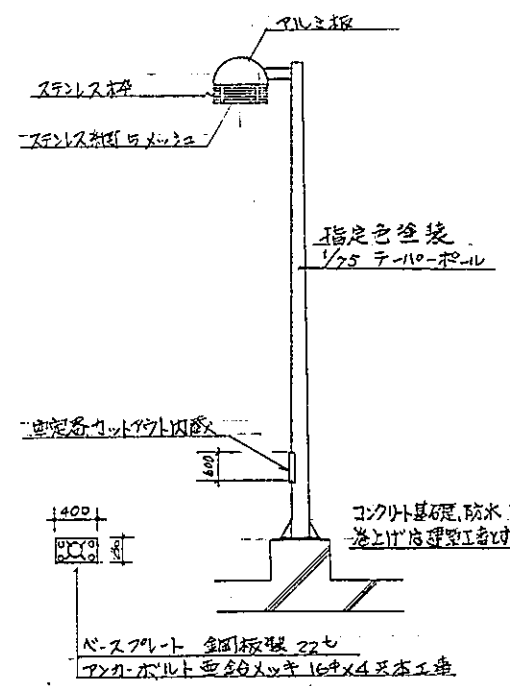
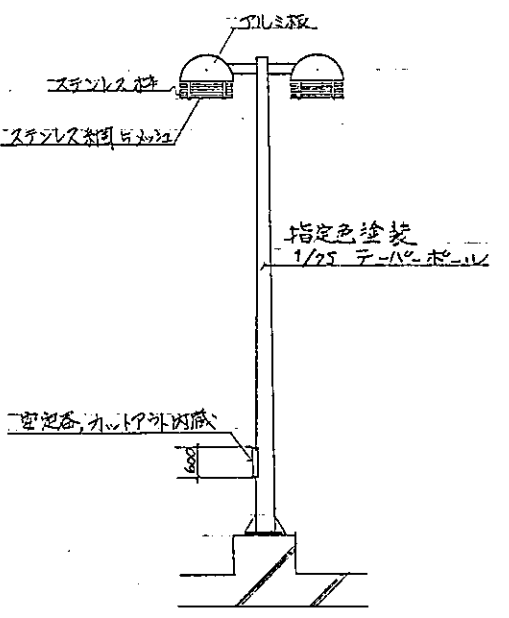
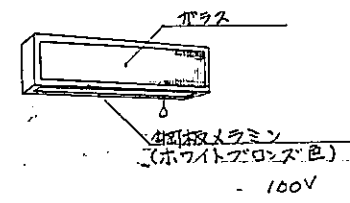
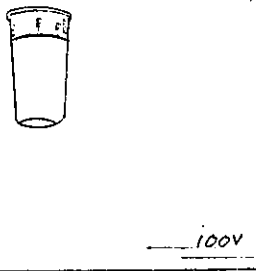
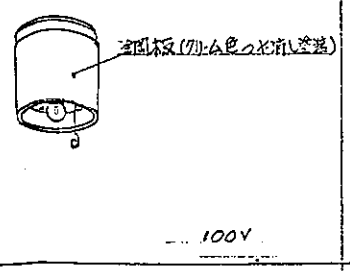
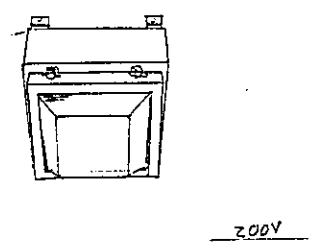
警報盤 壁掛、露出型 8窓 7"サ-はタイマーにより自動停止



防犯ベル回路図

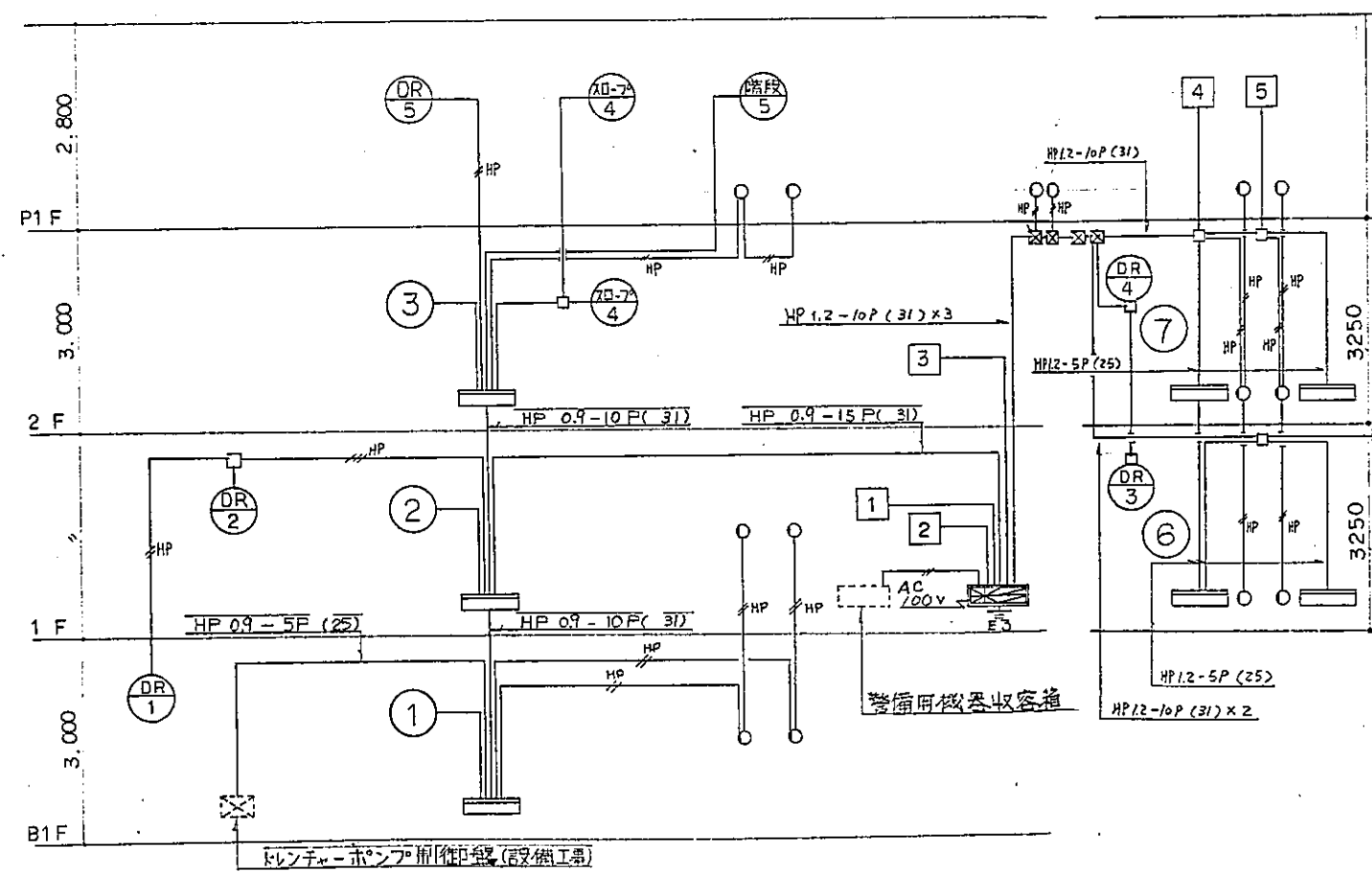
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	分電盤結線図			
縮尺		図面番号	81/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日			
部長	課長	係長	担当	

横浜市道路局

A1	防塵カバー付 直付 FL40 ^W ×1	B	防塵カバー付 壁付器具 FL40 ^W ×1	C1	逆富士型 非常照明 FL40 ^W ×2	D	片反射器付直付 防湿型 FL40 ^W ×1	E	棚下灯 FL20 ^W ×1
A2	" 吊付 FL40 ^W ×1	O	" 防雨型	C2	" FL40 ^W ×2				
A3	" FL40 ^W ×2		B 4台 D 6台		C1 1台 C2 1台		2台		1台
									
F	ウォールライト FL20 ^W ×1	G1	避難口誘導灯 小型 FL10 ^W ×1	H	室内通路誘導灯 小型 FL10 ^W ×1	L	ホーライト 防虫型 HF100 ^W ×1	M	ホーライト 防虫型 HF100 ^W ×2
	3台	G2	" 矢印付		両面型 吊 5台		11台 200V 一般高圧安定器		3台 200V 一般高圧安定器 2灯用
									
I	階段通路誘導灯 FL40 ^W ×1	J	ガラスグローブ付器具 IL40 ^W ×1	K	非常照明 IL40 ^W ×1				
	1台		1台		1台				
									
N	フネル照明器具直付水銀灯 HF200 ^W ×1								
	2台 鋼板型								
									

特 記		要 項	
1	FL40 ^W はラビットスタート高効率 FL20 ^W は	3	非常照明は非常用電池内蔵型認定品とする
	フロ-スタート低効率型とする		C1は非常時点灯率 25%とする
2	水銀灯安定器は調光型を含め一般	4	誘導灯は非常用電池内蔵の認定品とする
	高効率型とする	5	支給品となる照明器具は型式不明のため書き入れてない

件 名	奥戸塚駅自転車駐車場 設計		
図 面 名	照明器具配置図		
縮 尺		図面番号	82/
設計年月日	昭和 62 年 5 月 17 日		
部 長	課 長	係 長	担 当
横 浜 市 道 路 局			



設備幹線系統図

凡例

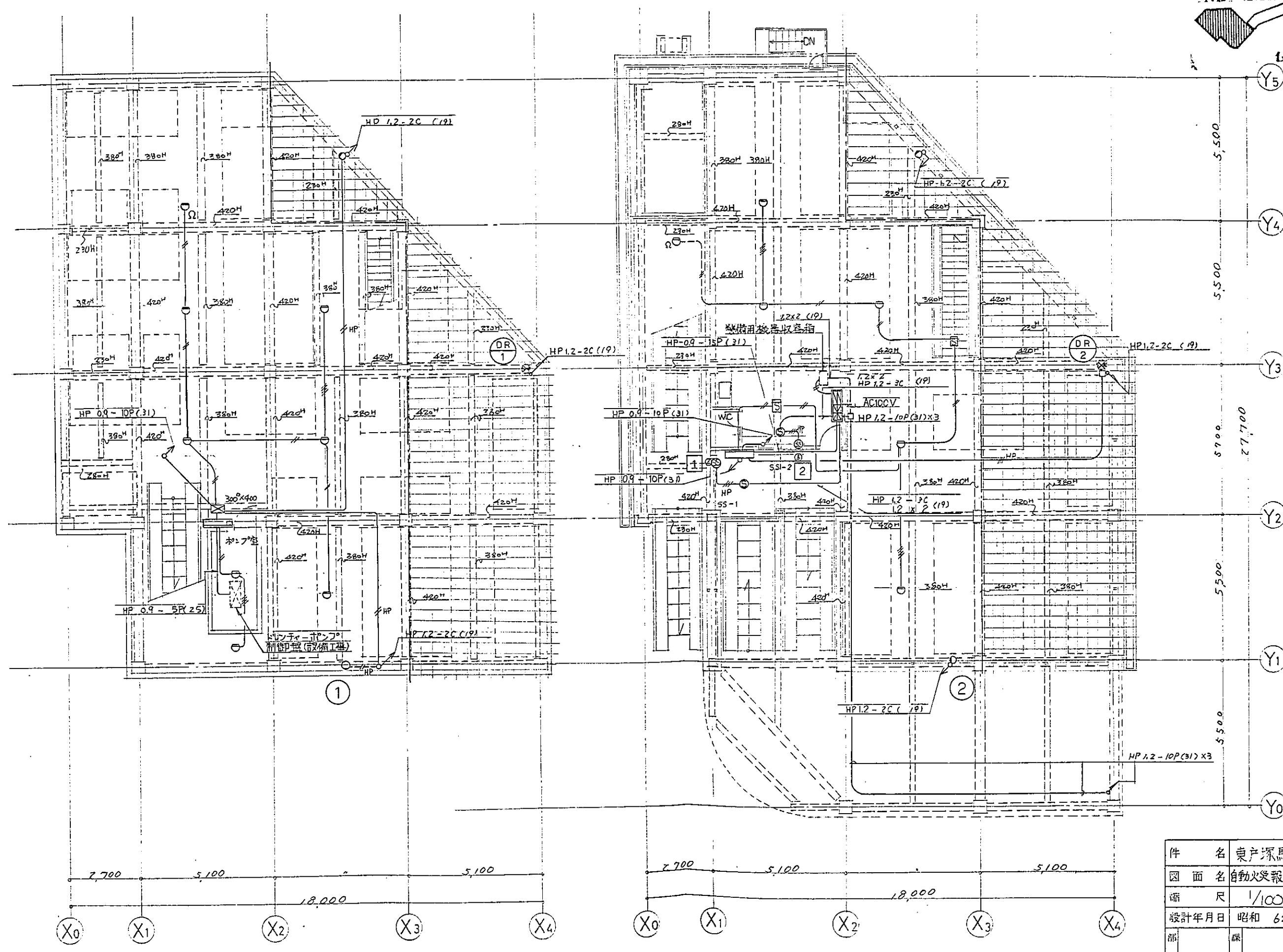
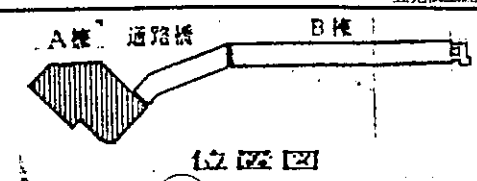
記号	名称	記号	事項
DR	複合盤	火災受信機 P型1級	15回線(主音響内蔵)
DR	訓受信機	連動操作盤	5回線
DR	発信機	20L	
DR	発信機	P型1級	
DR	電鈴	DC24V, φ150MM	
DR	表示灯	AC30V, 2.0W	
DR	煙式感知器	光電式スポット型	2種
DR	熱式感知器	差動式スポット型	3種
DR	配管配線	天井いんべい	
DR	配管配線	立上り引下げ	
DR	ドレンチャー消火設備アラーム	設備工事	
DR	機器収容箱	20KΩ	② ③ ④ 収容
DR	終端抵抗		
DR	自動閉鎖装置	防火シャッター閉鎖用(建築工事)	DC24V
DR	電子ブザー	シャッター降下時警報用	DC24V
DR	制御回路番号	防火扉、シャッター用 NO.1	
DR	警戒区域境界線		
DR	警戒区域番号	No.1	~ 7

特記

- 1) 火災受信機には、ドレンチャー放出 5 L、ドレンチャーポンプ始動 1 L 計 6 L を含むものとする。
 - 2) 地区ベルはドレンチャー放出警報専用とする。
 - 3) 火災受信機は発報時に警備用移設装置により警備用機器に信号を送るものとする。
- 3) 特記なき配管配線は下記の通り。
- | | | | | |
|----|-----|---|----|------|
| 1V | 1.2 | x | 2 | (1P) |
| 1V | 1.2 | x | 4 | () |
| HP | 1.2 | - | 2C | () |
| HP | 1.2 | - | 3C | () |

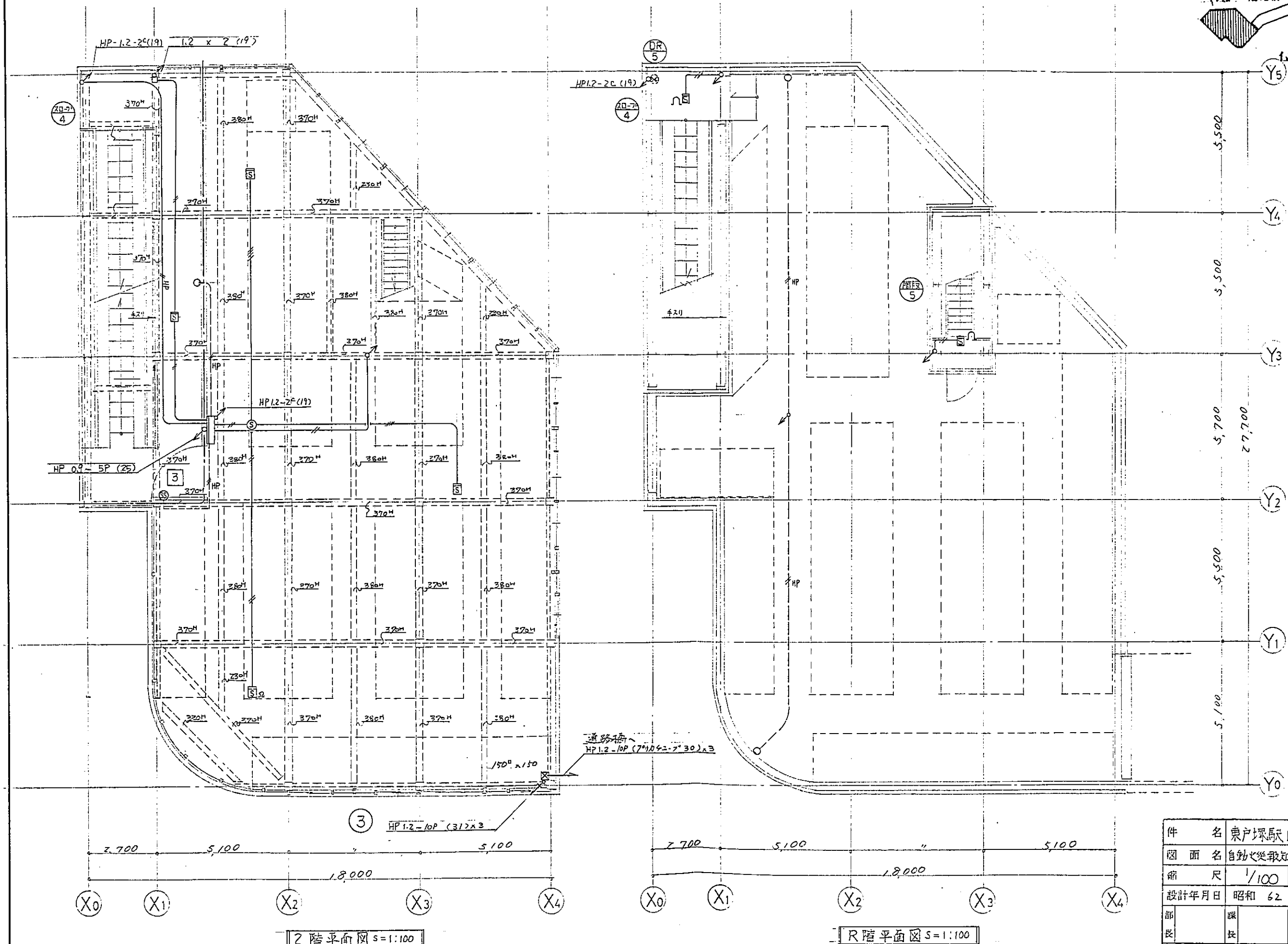
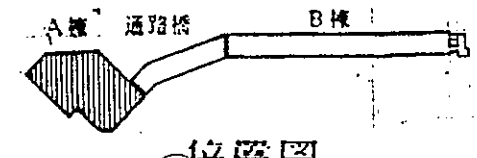
件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	自動火災報知設備系統図 凡例		
縮尺		図面番号	83/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長		課長	
係長		担当	

横浜市道路局

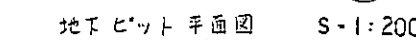
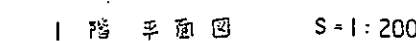
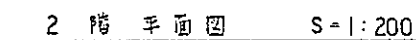
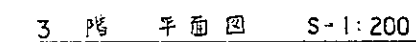


<注記> 本図中下図1は
外気自然流通区域
を示す。

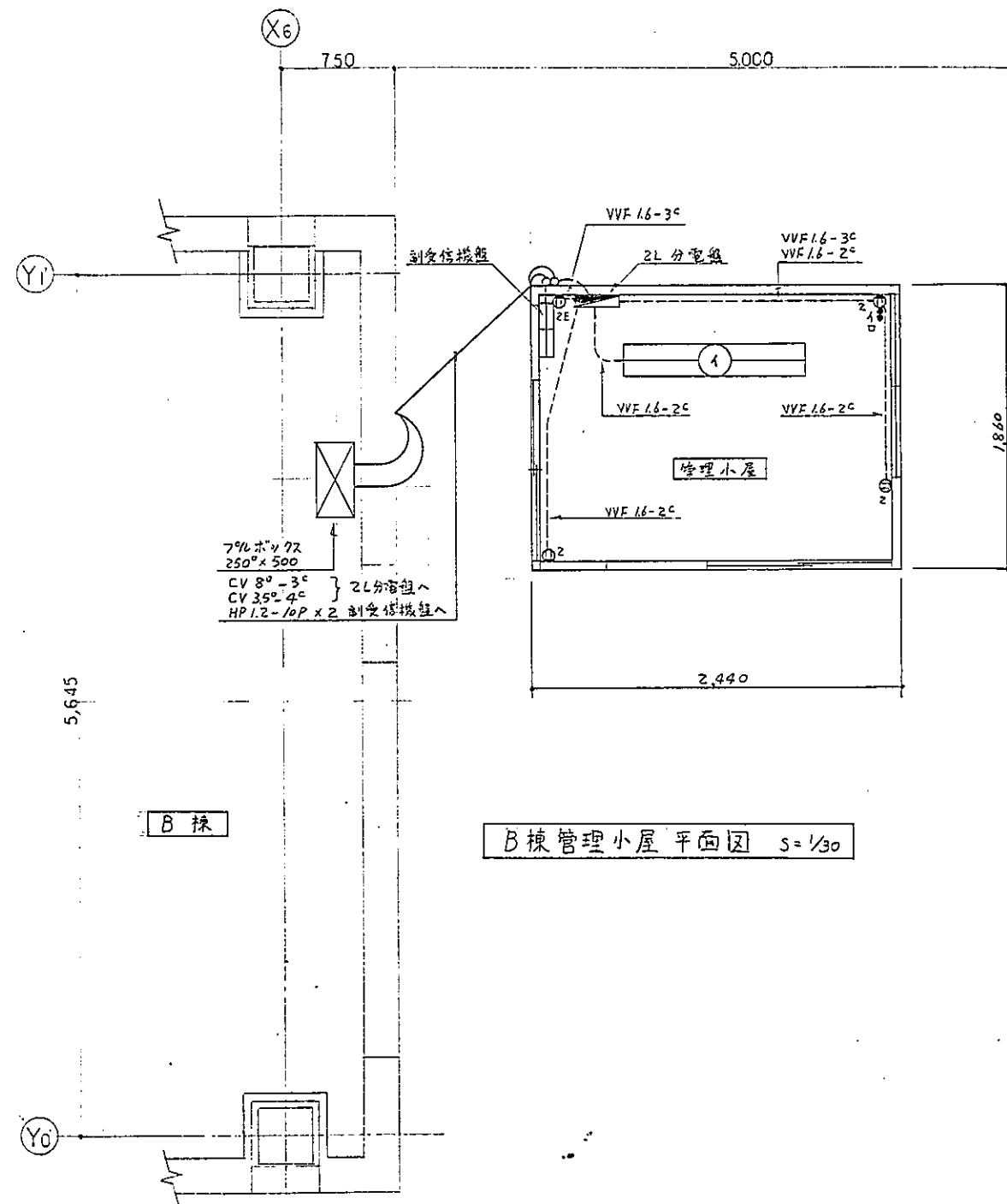
件名	東戸塚駅自転車駐輪場設計		
図面名	自動火災報知設備地階1階平面図		
縮尺	1/100	図面番号	84
設計年月日	昭和 62 年 3 月 日		
部長	課長	係長	担当
横浜市道路局			



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	自転車乗降設備2.R階平面図			
縮尺	1/100	図面番号	35/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



件名	東戸塚駅自転車駐車場設計			
図面名	B棟 電気設備平面図(2)			
縮尺	1/200	図面番号	864/	
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日			
部長	課長	係長	担当	
横浜市道路局				



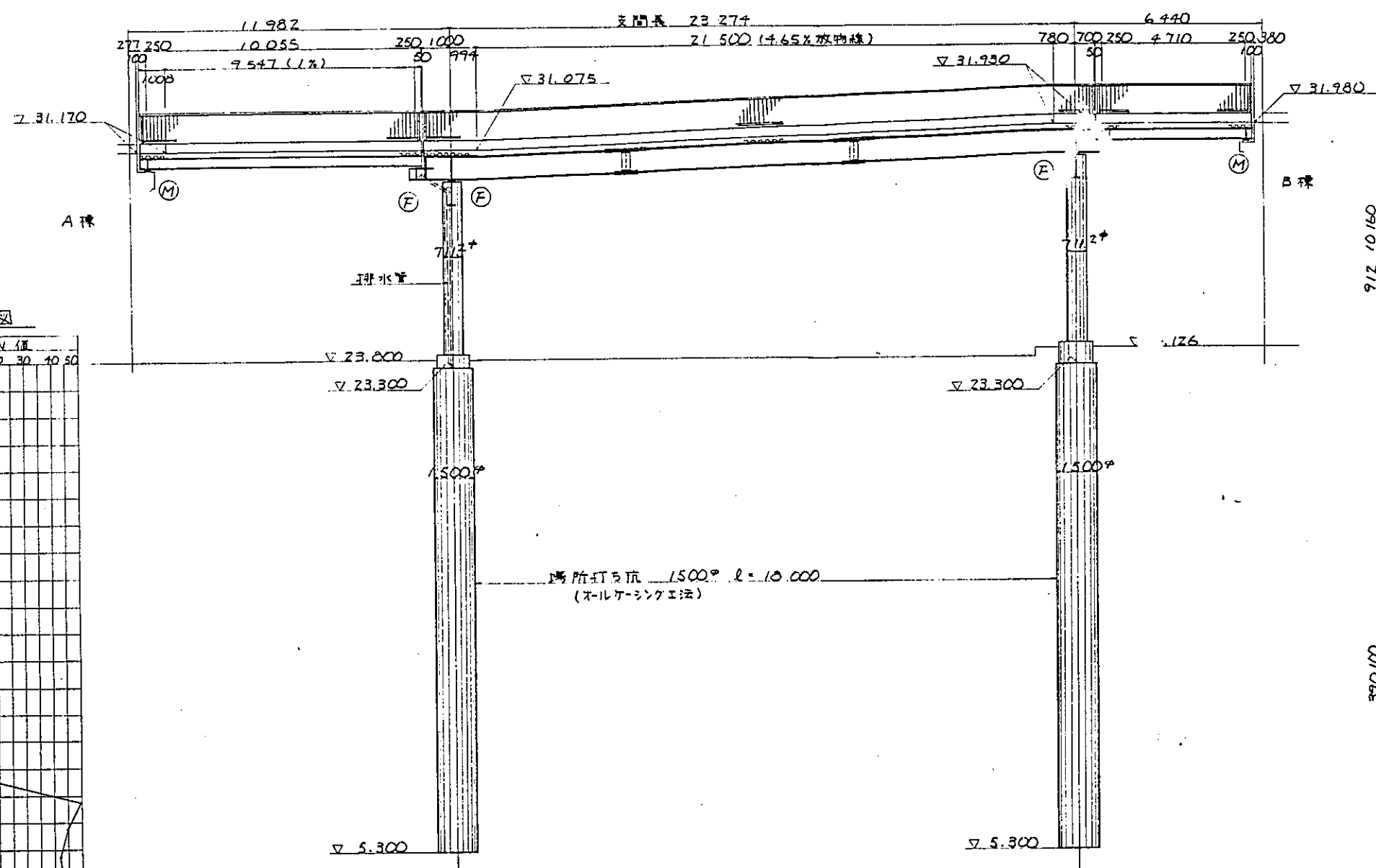
支給品リスト

品名	形状寸法	数量	備考
照明器具	FL400x2	1台	ランプ付
分電盤	BQ60306	1面	

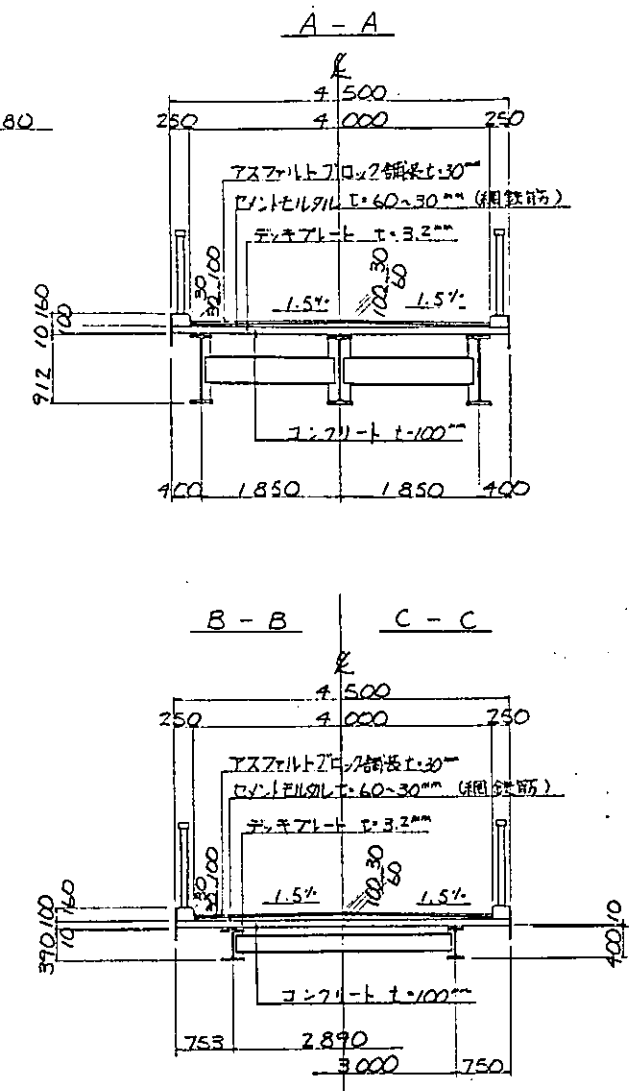
(駁舎)

件名	東戸塚駅自転車駐車場設計		
図面名	B棟管理小屋平面図		
縮尺	1/30	図面番号	86-2/
設計年月日	昭和 62 年 3 月 12 日		
部長		課長	
係長		担当	
横浜市道路局			

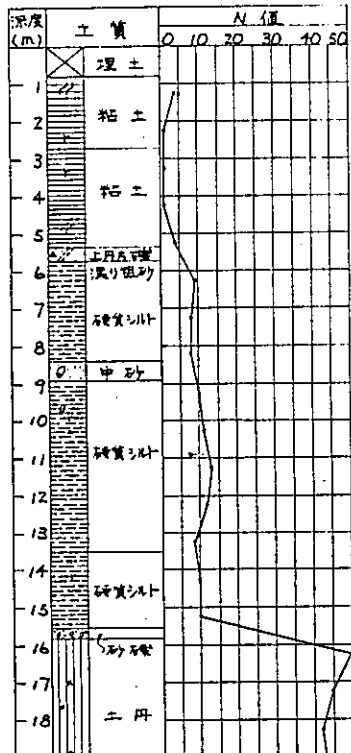
側面図 S=1/100 一般図



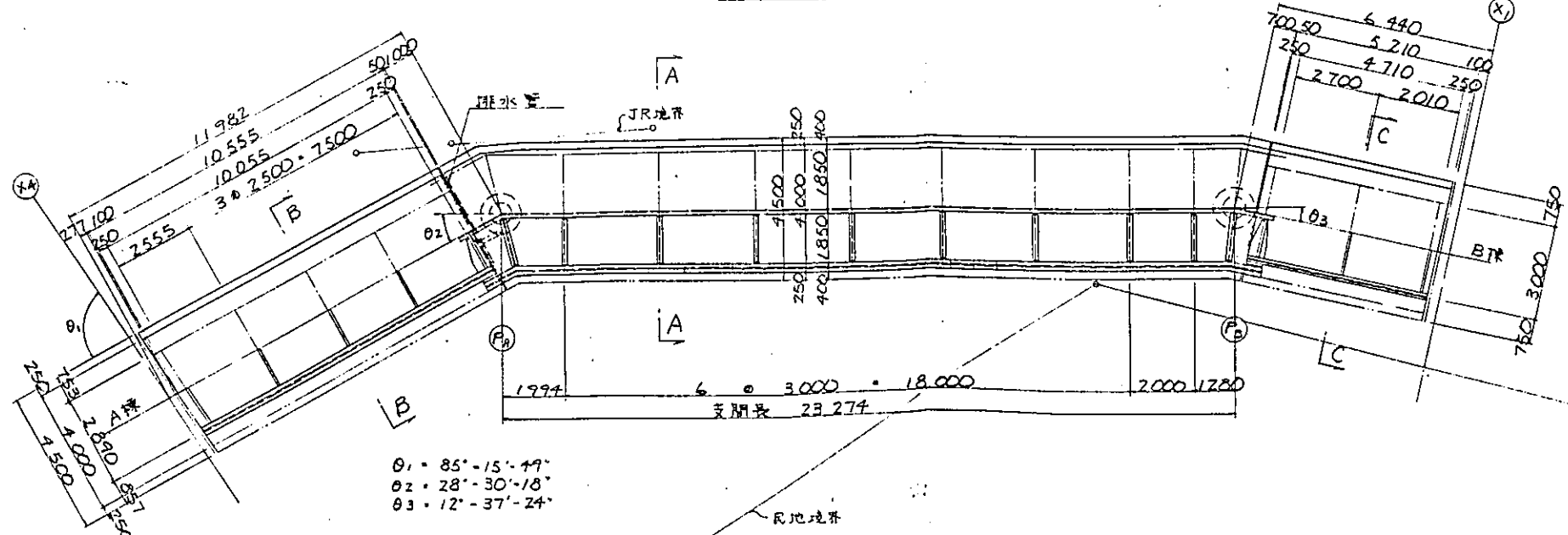
断面図 S=1/50



ボーリング柱状図

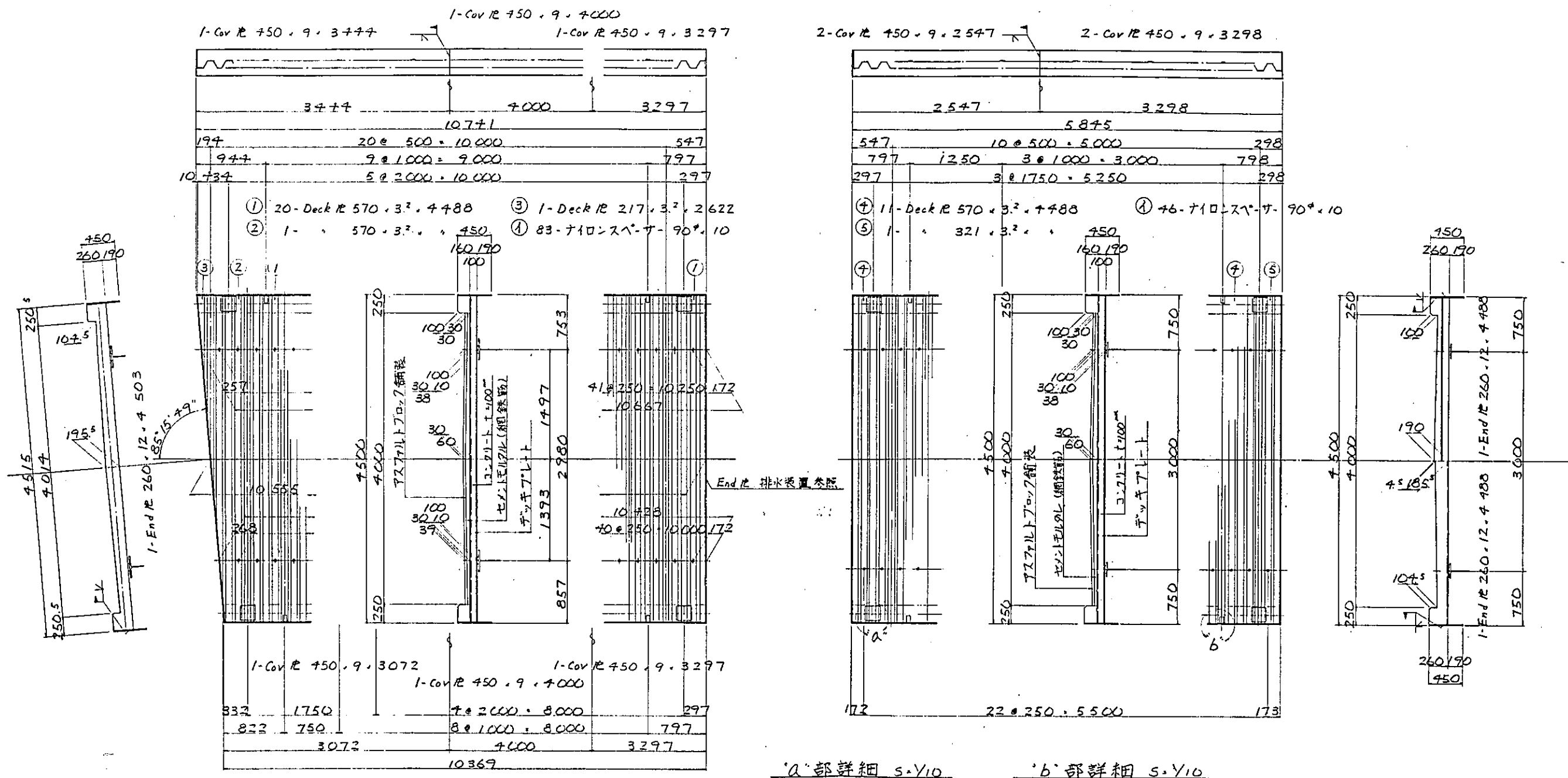


平面図 S=1/100



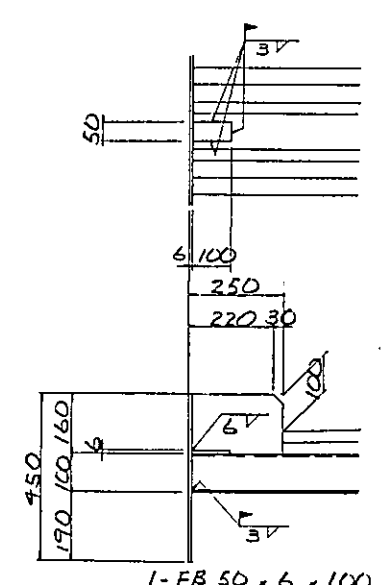
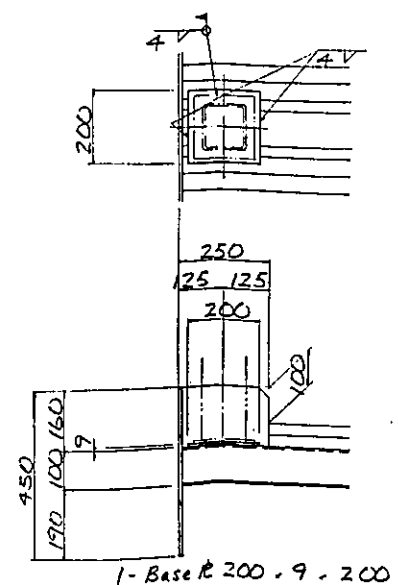
件名	横浜駅南口駅前地区開発事業
図面名	一般図
縮尺	1/100
図面番号	87
設計年月日	昭和 年 月 日
監理	横浜市道路局

床版 (その1) S-Y30



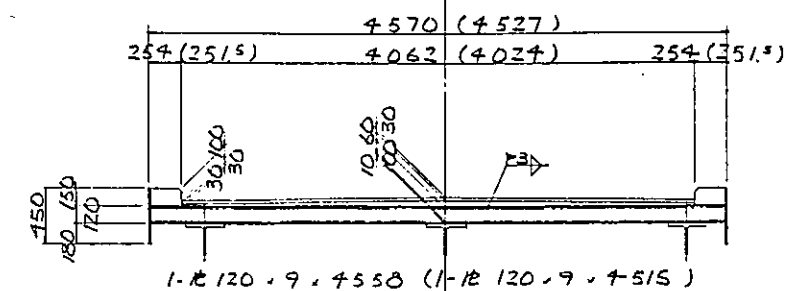
'a'部詳細 S-Y10

'b'部詳細 S-Y10

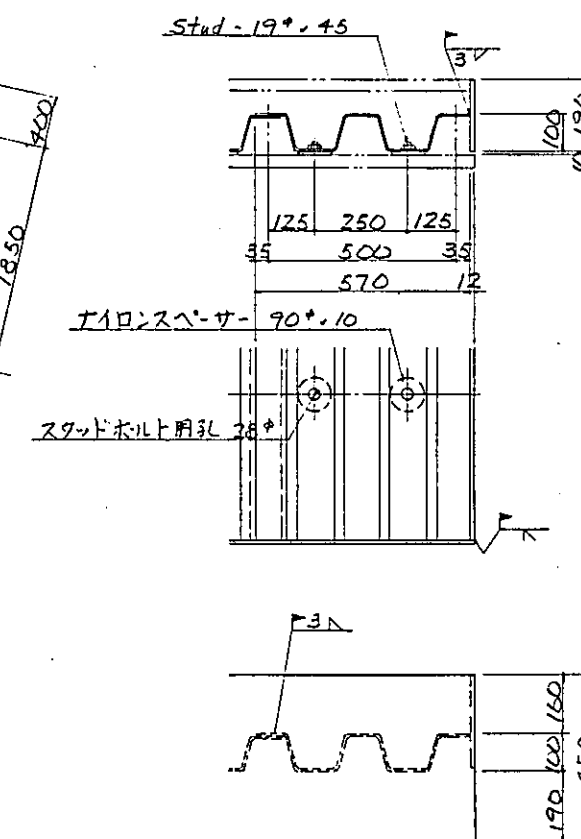


注)
1. 特記なき打算是全てSS+1とする
2. 本図に表示なき詳細は (その2) 参照のこと

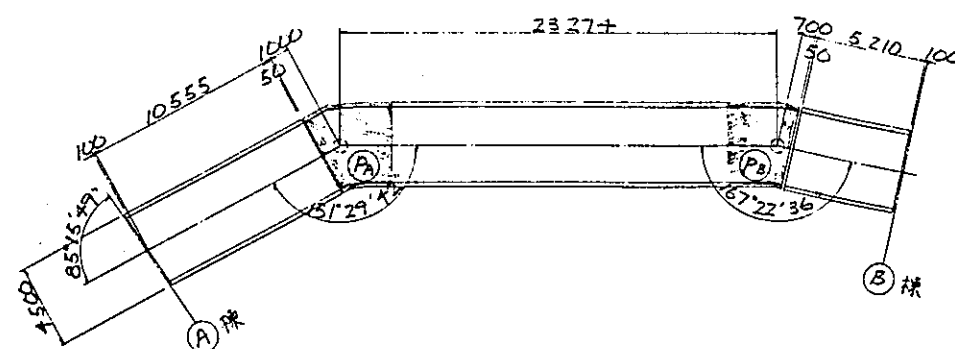
件名	東京湾駅東口自転車駐車場整備工事
図面名	床版 (その1)
縮尺	1/30 図面番号 88-1/
設計年月日	昭和 年 月 日
製図	製図
校核	校核
承認	承認
横浜	横浜市道路局



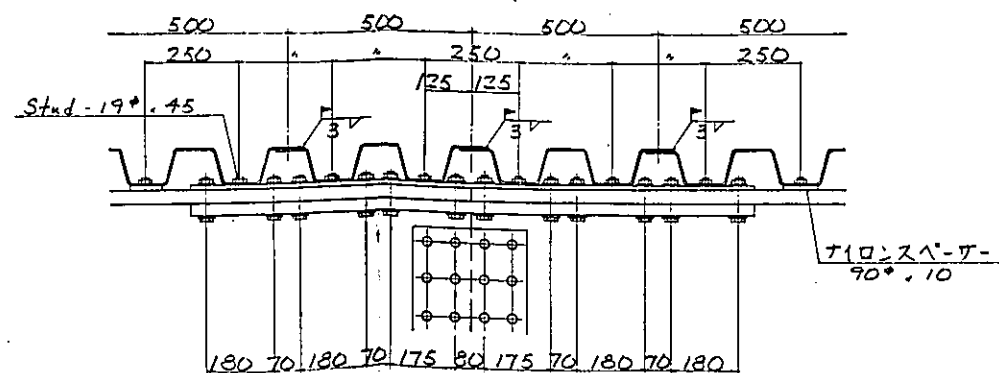
端部デッキブルト取付詳細 S-7/10



· 配置图



デッキプレート取付詳細 S-V10
(主桁添接部)

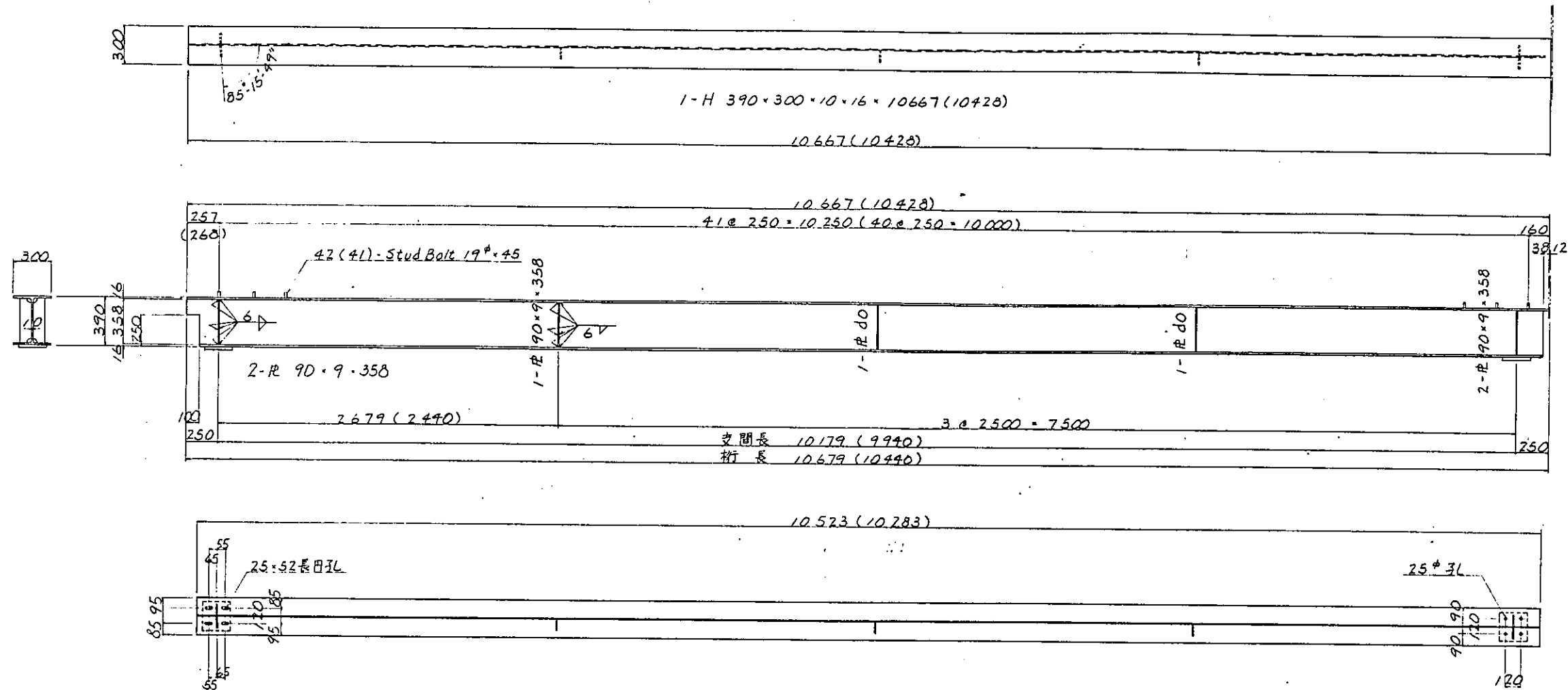


注)
1. 特記なき材質は S541 とする。
2. 本図に表示なき詳細は (その1) 参照のこと。

件名	東京市東区自転車駐車場工事		
図面名	床版(平面)		
縮尺	1/30	図面番号	88-2/
設計年月日	昭和	年	月 日
配 長	課 長	係 長	出 発
横浜市道路局			

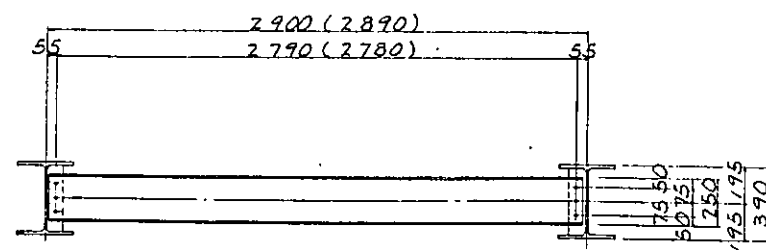
主桁(その1) $S = 1/20$

(G1)(G2)



横桁 $S = 1/20$

FB-1(FB-2)

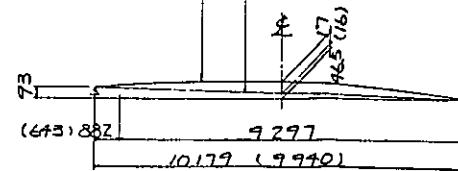


1-E 250×90×9・13・2870(2860)
6-H.T.B M22・60(F10T)

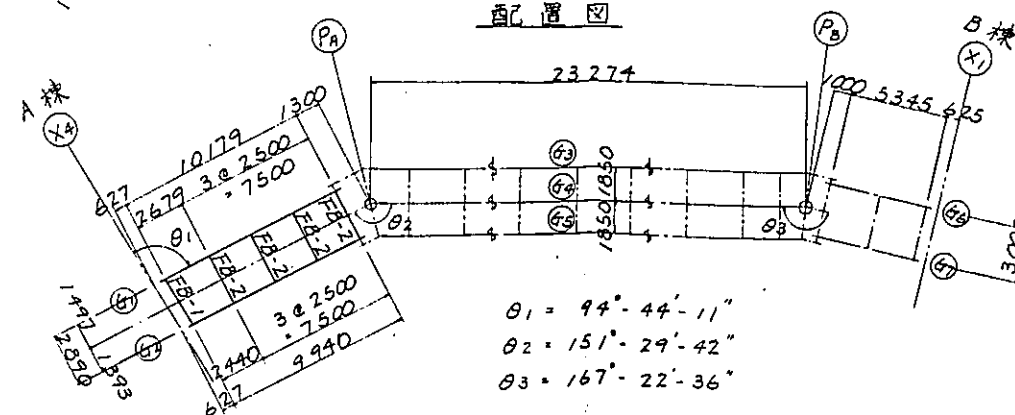
キャンバー図

製作キャンバー

完成時



配置図



注)

1. 特記なき材質は全てSS+とする。
2. ()内寸法は②寸法を示す。

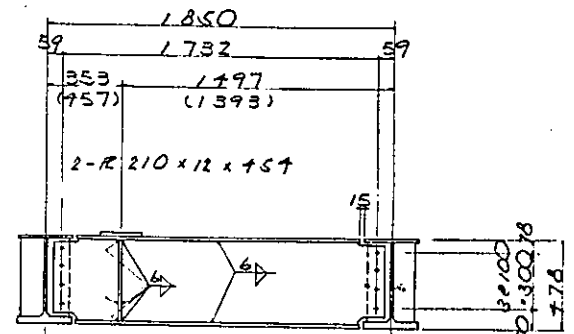
作 名	東口橋・西口橋・野田橋・三浦橋
図 面 名	主桁(その1)
縮 尺	1/20 縮尺表示: 89-1
設計年月日	昭和 年 月 日
製 図 者	
検 査 者	
横 浜 市 道 路 局	

主桁(その2) S=1/20

(G3)(G4)(G5)

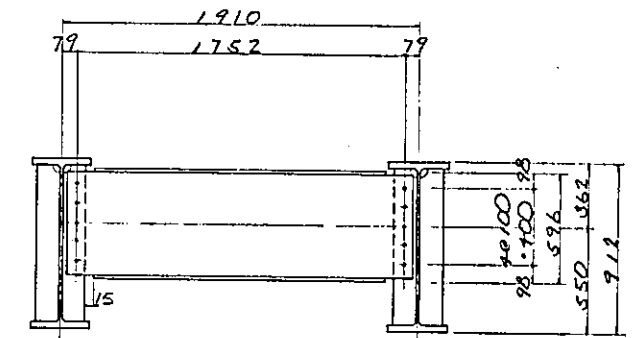
1-SPI R 302x10x1510
2-SPI R 115x32x1510 (SM41A)
17-HTB M22x115 (FIOT)

FB-3 (FB-3')



1-F19 R 500x12x1518
1-Web R 954x9x1812
1-F19 R 200x12x1518
8-HTB M22x60 (FIOT)

FB-4



1-HS76x199x10x15x1832
10-HTB M22x60 (FIOT)

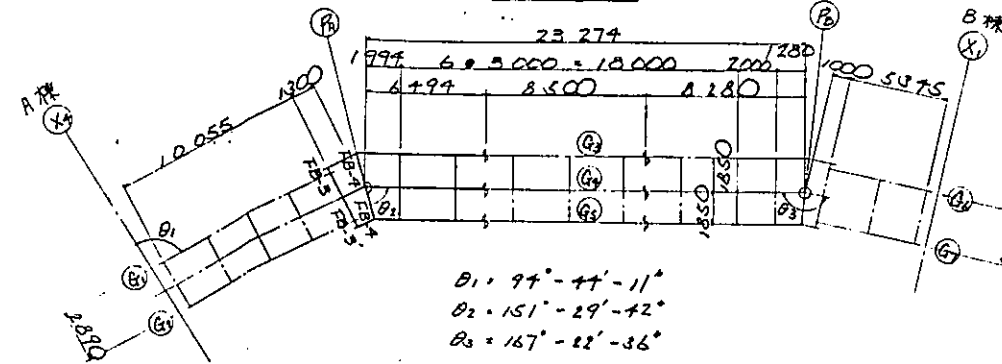
注)
1. 特記を材料費全てSS+1とする。
2. () 内の重量は17t-の重量を示す。

支間長 L10

桁長 L11

	L1	L2	L3	L4	L5	L6	L7	L8	L9	L10	L11	L12	L13	L1	L2	L3	M1	M2	M3
(G3)	8984	1470	6964	1250	70	89	6750	2764	2020	23947	27424	1761	2058	3046	3504	5538	5	27	37
(G4)	8074	1000	6774	750	78	119	6250	1994	1550	23274	26074	1291	1588	2106	2644		3	25	30
(G5)	7104	530	6024	250	108	149	5750	1524	1080	22599	24724	821	1118	1166	1712		1	23	26

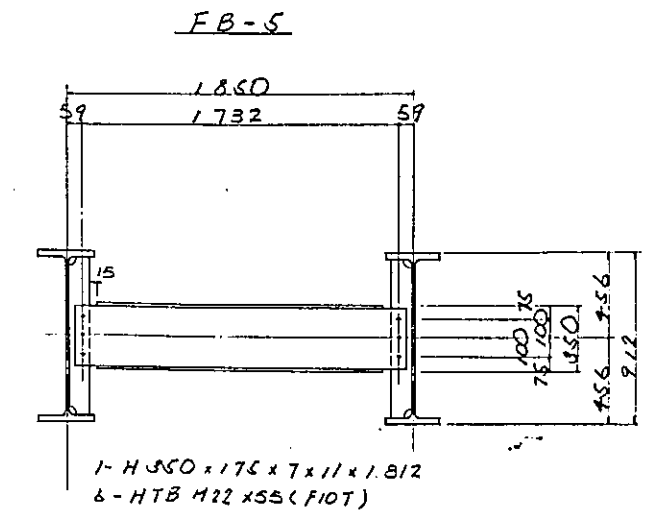
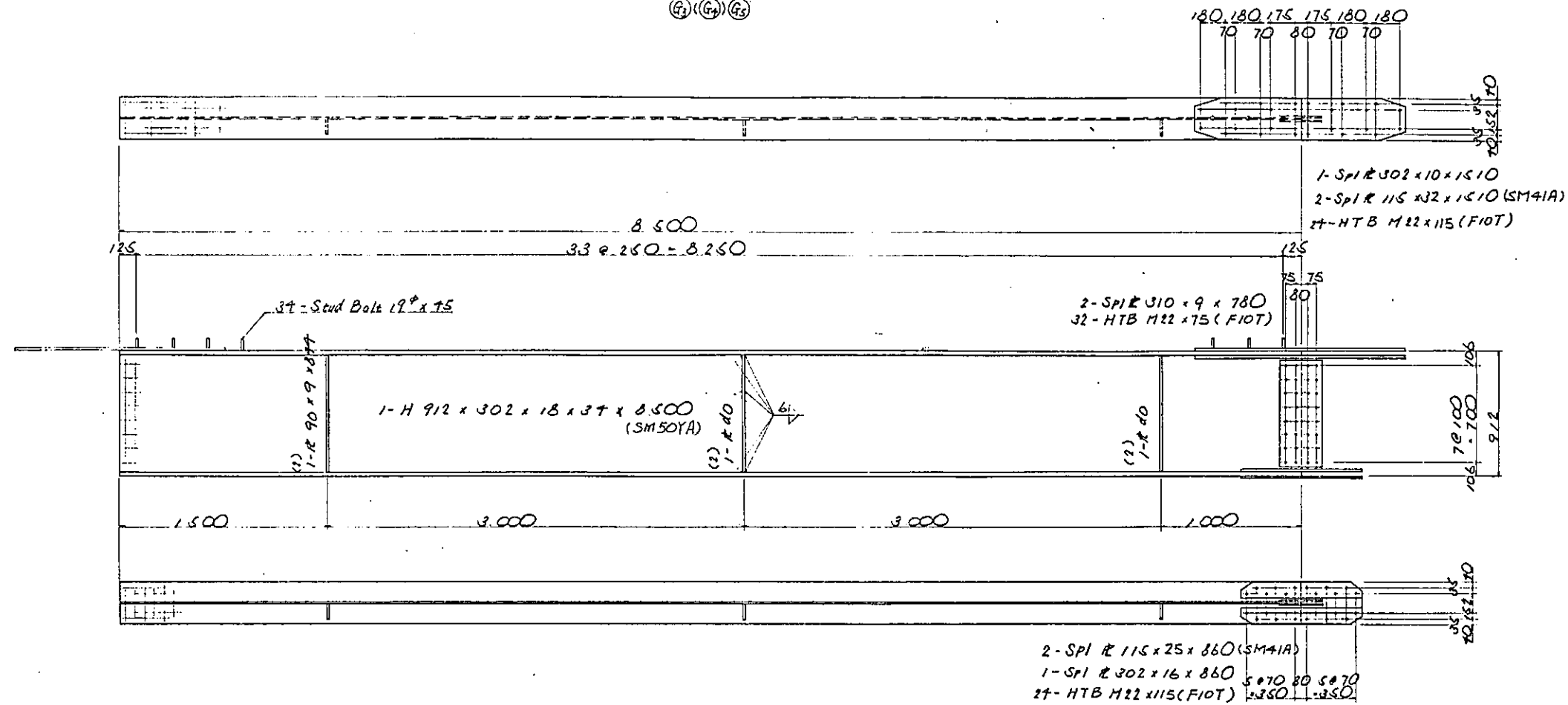
配置図



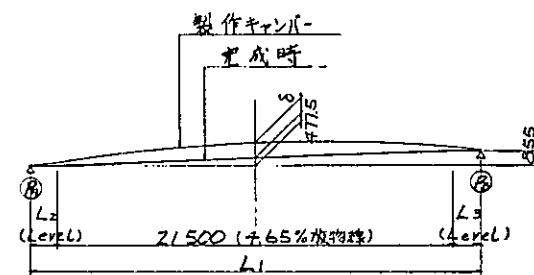
件名	横浜地区市口地区市道整備工事
図面名	主桁(その2)
縮尺	1/20 図面番号 27-2
設計年月日	昭和 年 月 日
部	課 係 係 係
横 浜 市 道 路 局	

主桁(その3) S-1/20

(G3)(G4)(G5)

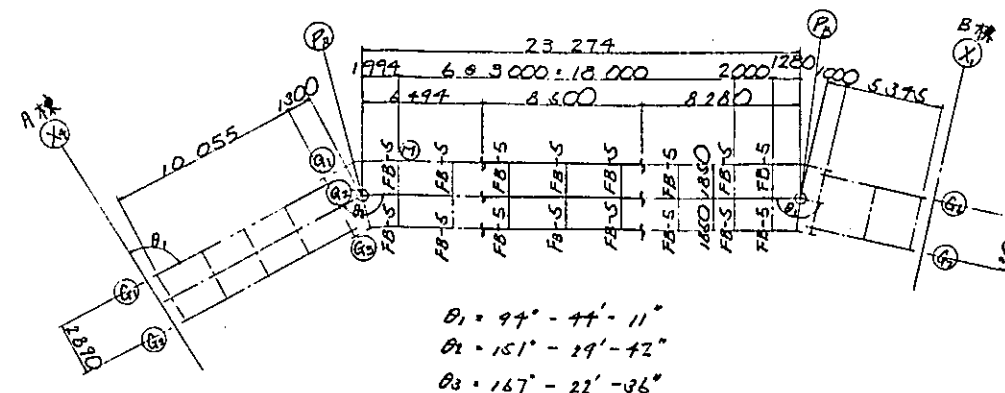


キャンバー図



	L1	L2	L3	δ
G3	23.999	1.464	985	41
G4	23.274	994	780	41
G5	22.599	524	575	32

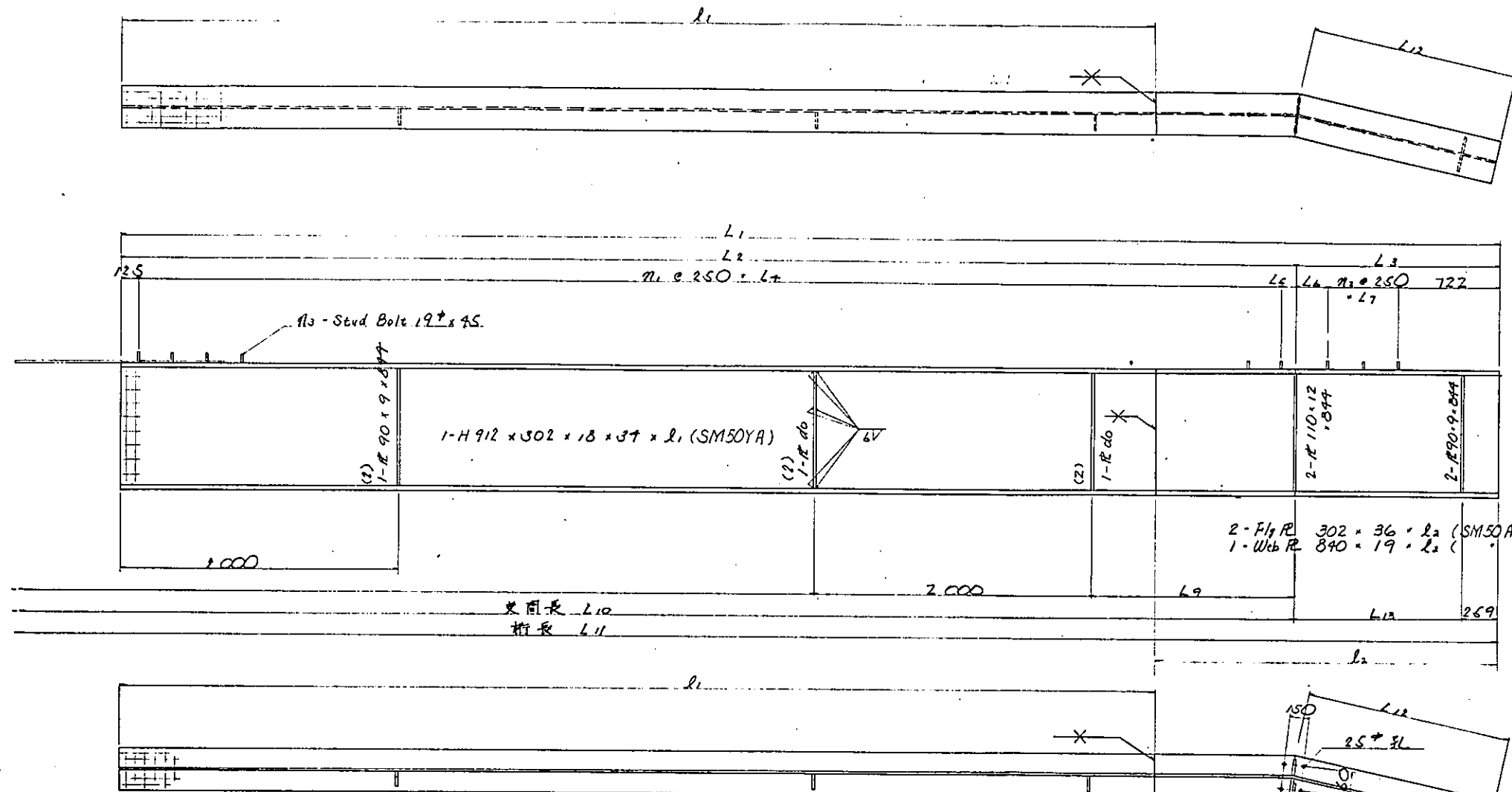
配置図



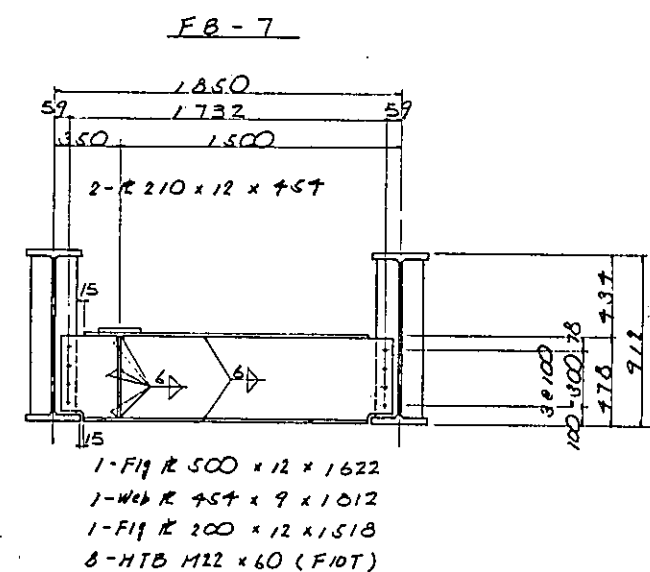
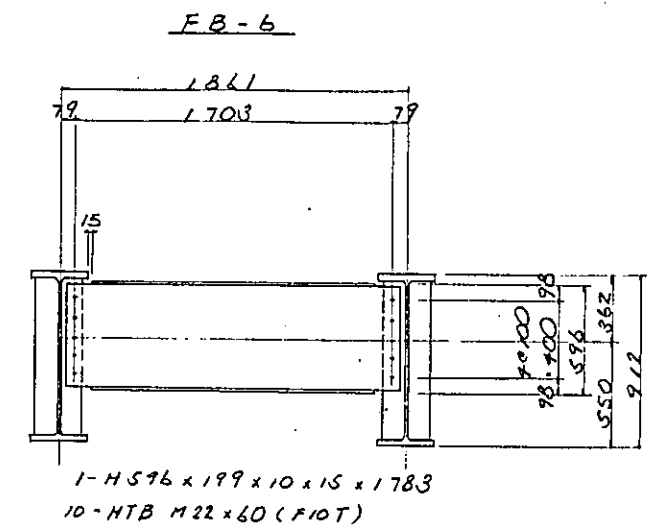
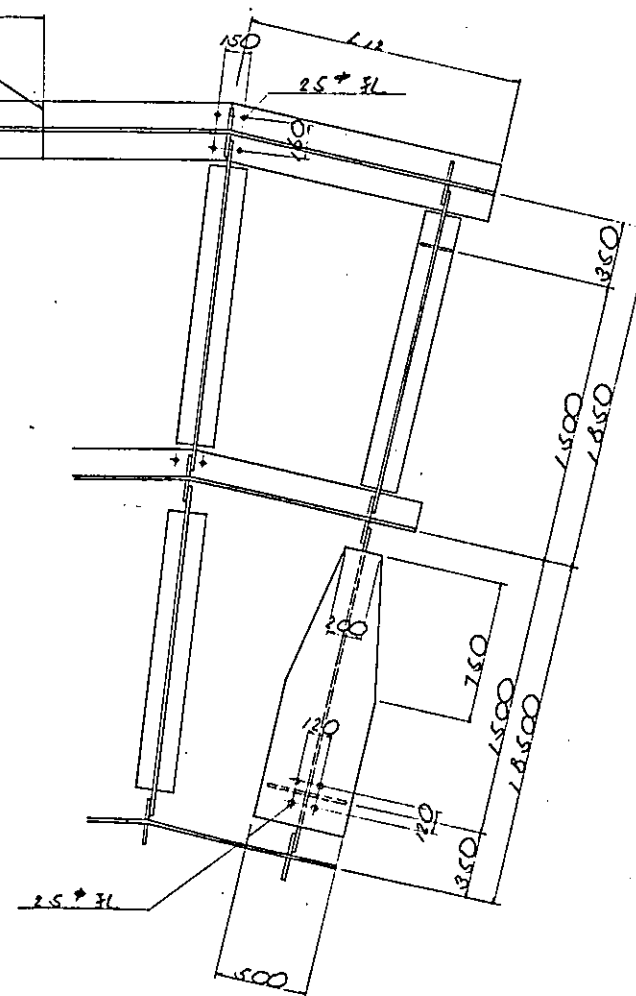
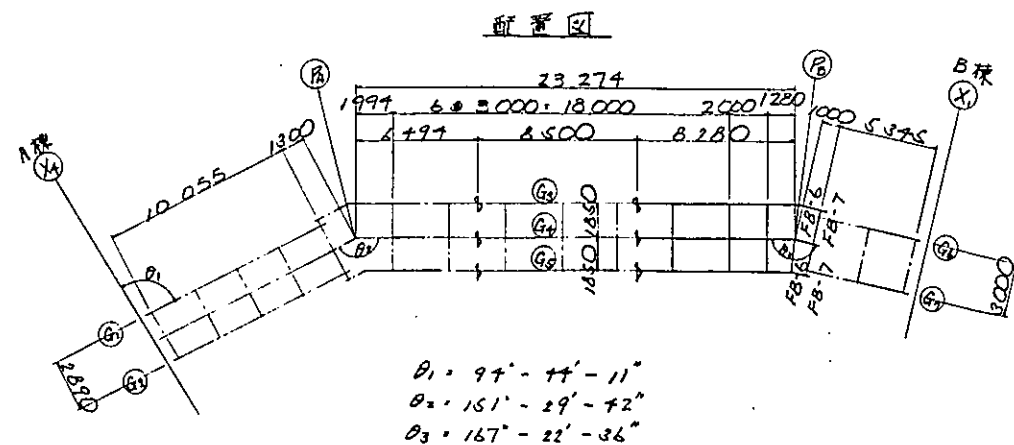
- 注)
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
 2. () 内の黄色スフィナーの数は() 桁を示す。

件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	主桁(その3)		
縮尺	1/20	図面番号	87-3
設計年月日	昭和 年 月 日	校対	年 月 日
図	製	検	当
横浜市道路局			

主 桁 (その4) $S = 1/20$
 $(G_3) (G_4) (G_5)$



	L_1	L_2	L_3	L_4	L_5	L_6	L_7	L_8	L_9	L_{12}	ρ_1	ρ_2	m_1	m_2	m_3
(a)	9.940	8.785	1.455	8.280	110	233	500	1.196	1.785	1.772	7.517	2.540	33	2	37
(b)	9.530	8.280	1.250	8.000	155	276	250	99.1	1.280	1.267	*	2.130	32	1	35
(c)	9.120	8.075	1.045	7.780	200	73	350	786	1.075	1.062	*	1.720	31	1	34

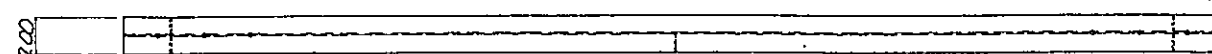


- 注)
1. 特記なき材質は全てSS材とする。
 2. () 内の垂直スチフナーの数は④桁を示す。
 3. 支間長、桁長は主桁(4の2)を省略。

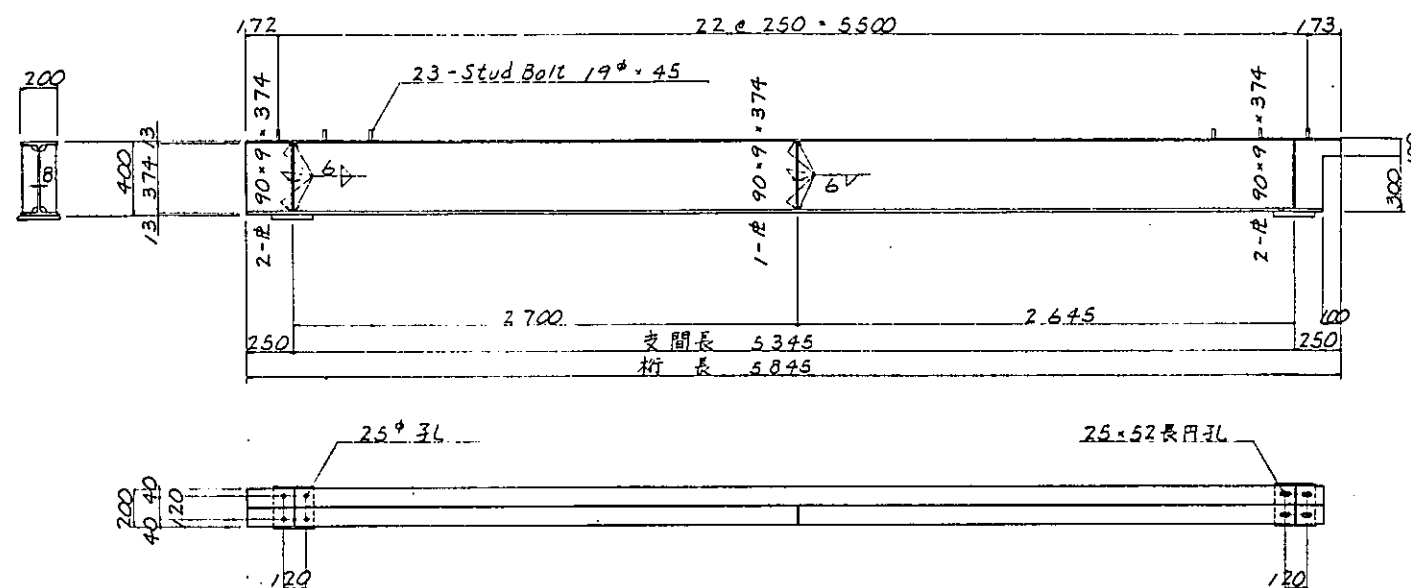
作 名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図 面 名	主 桁 (その4)		
縮 尺	1/20	図 面 番 号	第 4/
設計年月日	昭和	年	月 日
所 長	課 長	保 養	出 当
横 浜 市 道 路 局			

主桁 (その5) $S = 1/20$

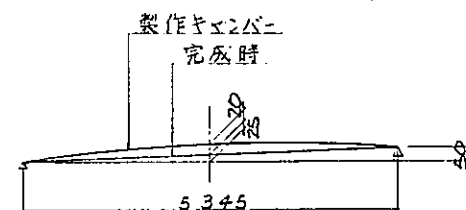
(56) (57)



1-H $400 \times 200 \times 8 \times 13 = 5845$

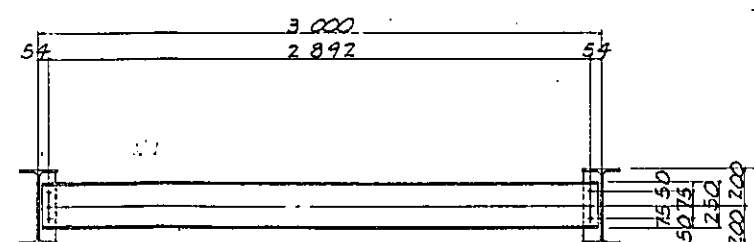


キャンバー ☒



橫桁 $s = 1/20$

F8-8

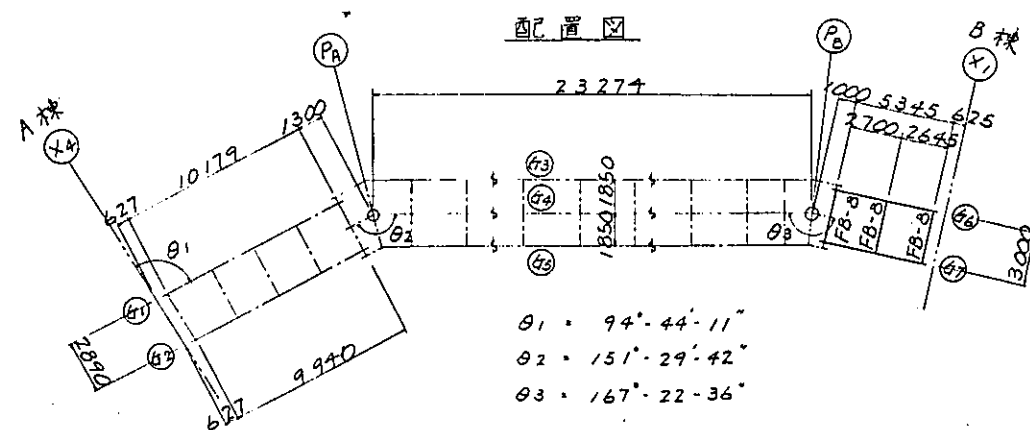


1-E 250 x 90 x 9 x 13 = 2972

6 - H.T.B M22 x 60 (F10T)

注)

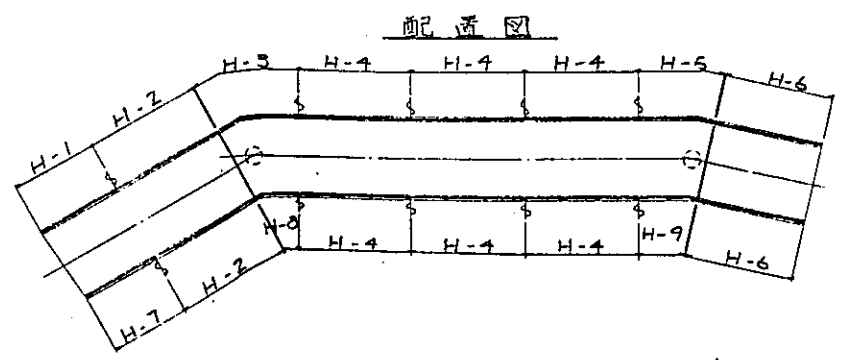
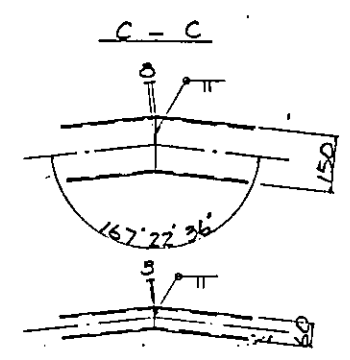
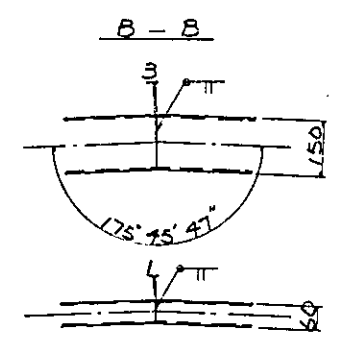
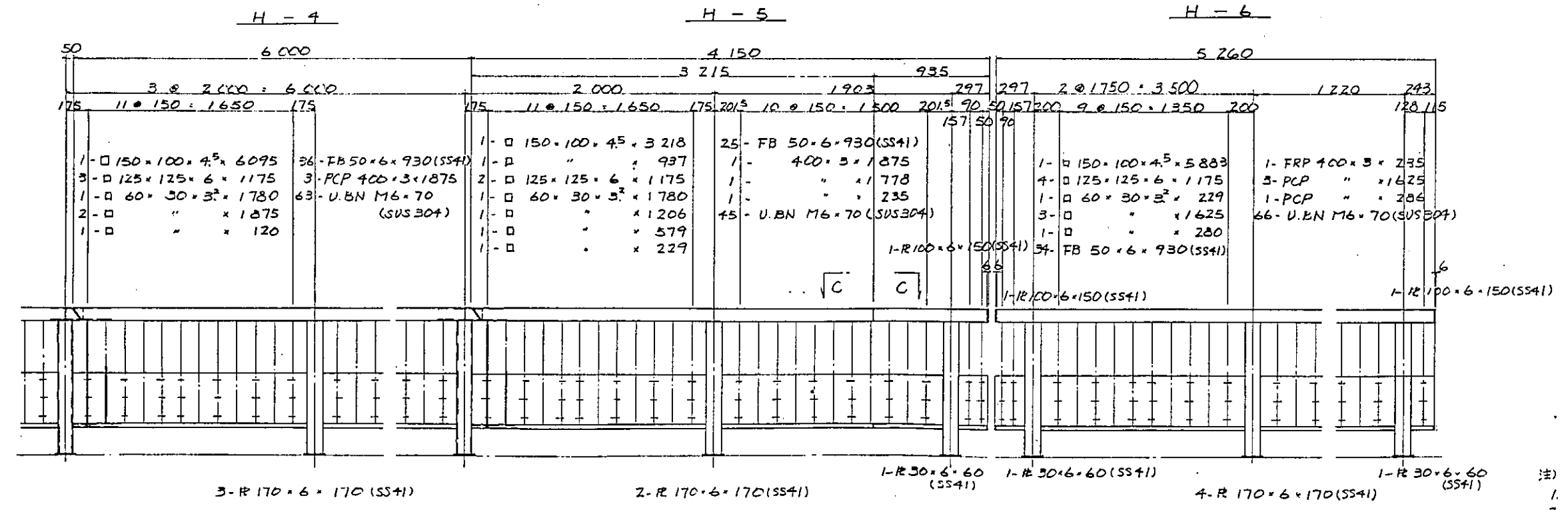
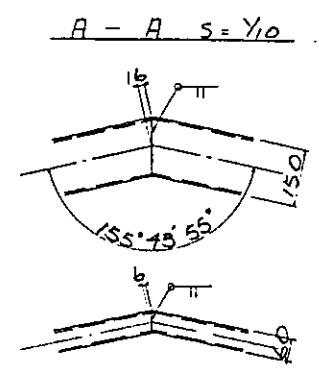
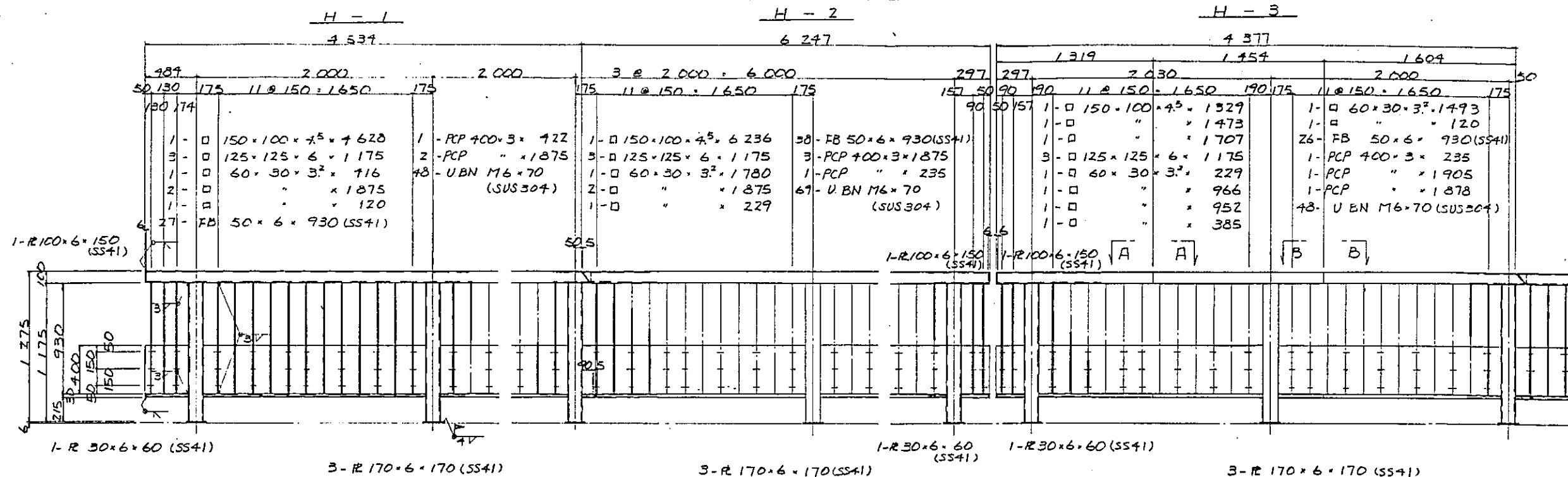
1. 特記なき材質は全てSS41とする。


$$\theta_1 = 94^\circ - 44' - 11''$$
$$\theta_2 = 151^\circ - 29' - 42''$$

$\theta_3 = 167^\circ - 22 - 36^\circ$

件名	東戸塚駅口自転車駐車場整備工事			
図面名	主桁 (705)			
縮尺	1/20	図面番号	89-s/	
設計年月日	昭和	年	月	日
図	原	備	相	
長	長	長	当	
横浜市道路局				

高欄 (その1) 5. 1/20



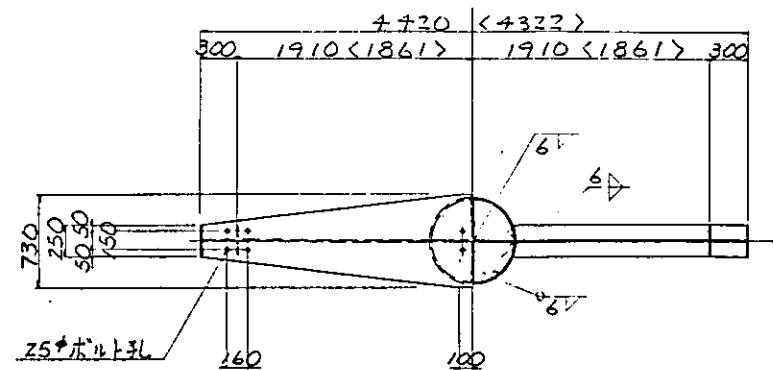
注
1. 特記なき材質は全て STKR41 とする。
2. 本図に示する詳細は (その2) 参照のこと。

作 名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事
図 面 名	高欄 (その1)
縮 尺	1/20 図面番号 90-1
設計年月日	昭和 年 月 日
図 氏	氏 氏 氏 氏
校 査	氏 氏 氏 氏
横 浜 市 道 路 局	

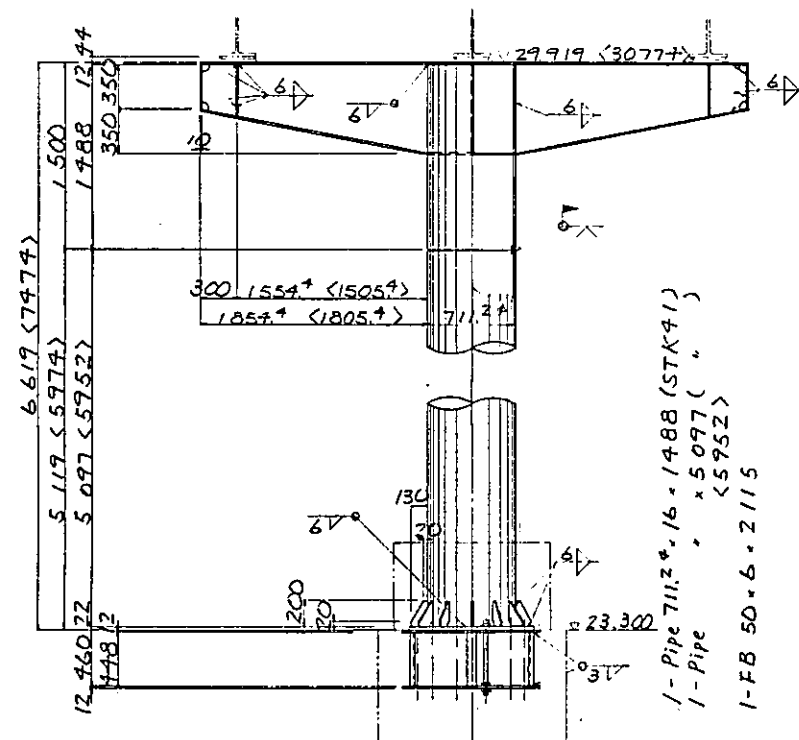
16

支柱 $S = 1/30$

$(P_A < P_B)$



- 1-Top 皮 730 x 12 x 4420 (+322) 4-Sti# 皮 110 x 12 x 407 (+108)
 2-Web 皮 700 x 12 x 1844 (+1795) 1-Dia 皮 679 x 12
 2-Flg 皮 250 x 12 x 1910 (+1862) 1-Rib 皮 700 x 12 x 679
 2-End 皮 250 x 10 x 350 2-Rib 皮 700 x 12 x 333

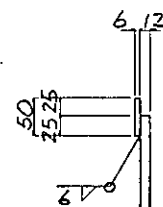


ベースプレート

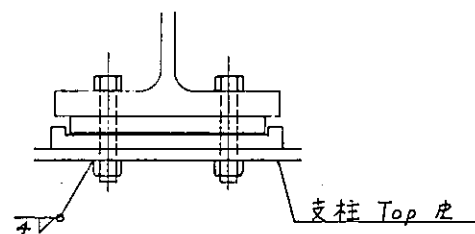
- 1-Base 皮 1000 x 22
 2-Anc 皮 1100 x 12
 13-Rib 皮 130 x 12 x 200
 4-L 50 x 50 x 6 x 448
 12-Anc B.N M42 x 600 (3-1種ナット付)

アンカプレート

裏当て材詳細 $S = 1/5$

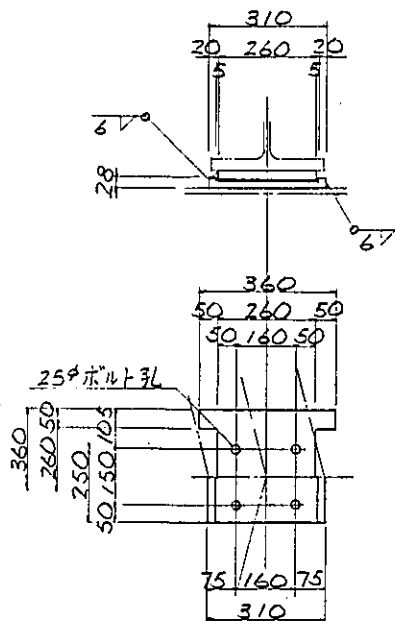


⑤ 音取付ボルト詳細図 $S = 1/5$



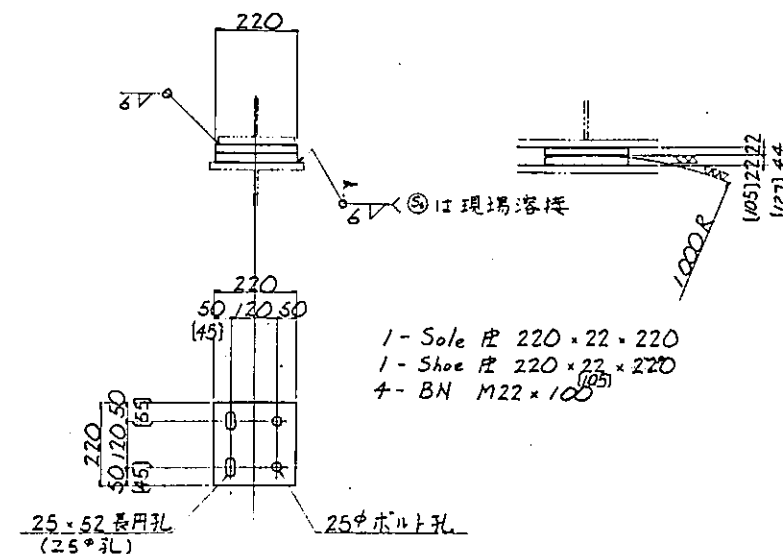
音 $S = 1/10$

⑤ (⑤)



- 1-Sole 皮 360 x 22 x 360
 1-Shoe 皮 250 x 28 x 310 (SM41A)
 4-BN M22 x 120

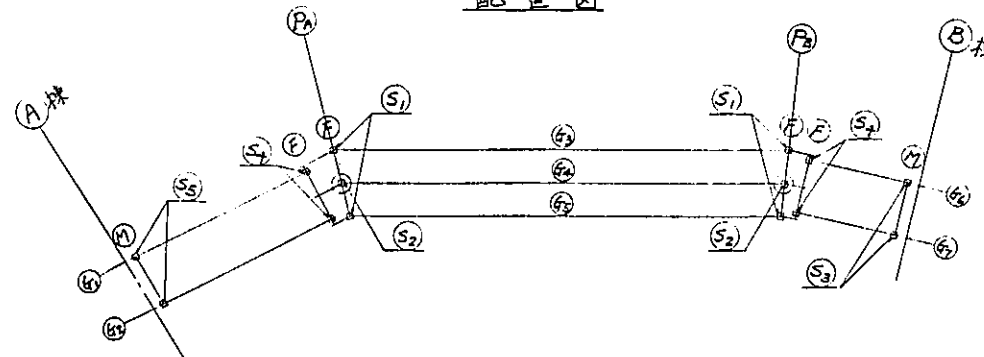
⑤ (⑤) (⑤)



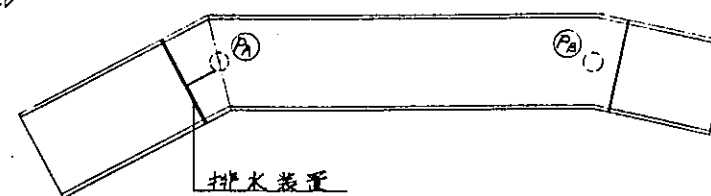
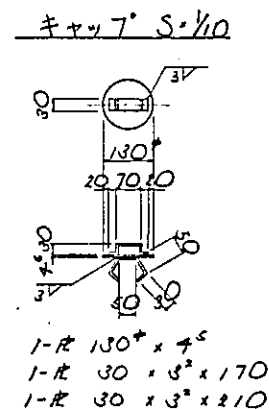
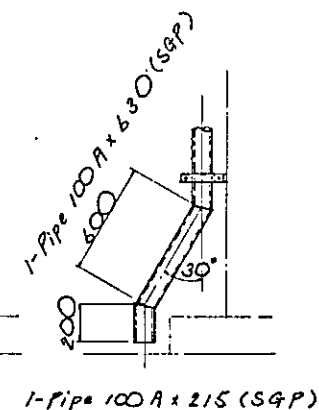
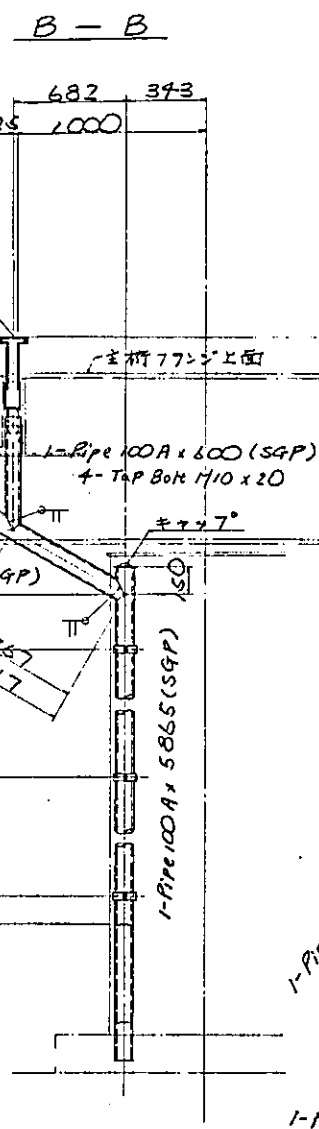
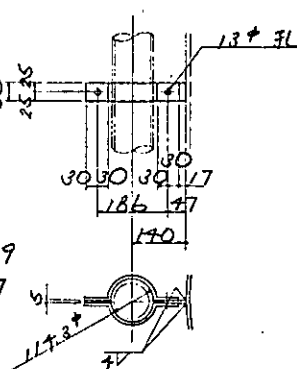
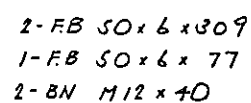
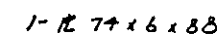
- 1-Sole 皮 220 x 22 x 220
 1-Shoe 皮 220 x 22 x 220
 4-BN M22 x 100

注)
 1. 特記なき材質は全てSS41とする。

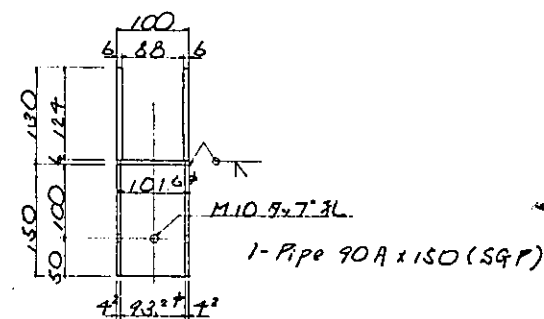
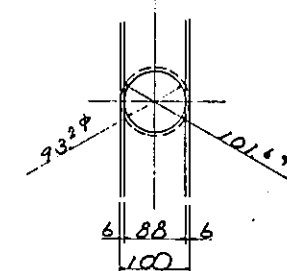
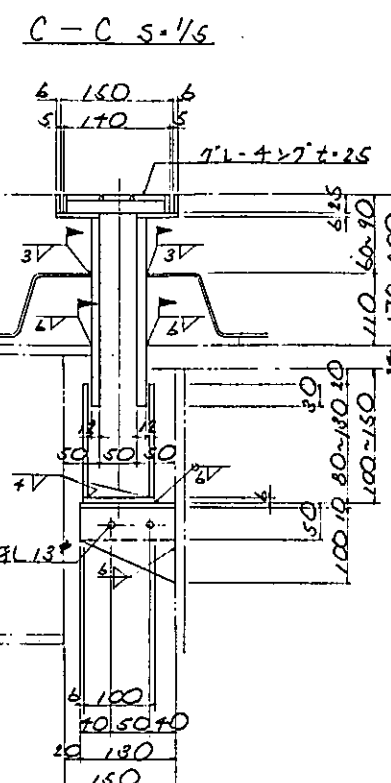
配置図



作 名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事
図 名	支柱 音
縮 尺	1/100 (図面番号 91)
設計年月日	昭和 年 月 日
製 図	製 図
検 査	検 査
横 浜 市 道 路 局	

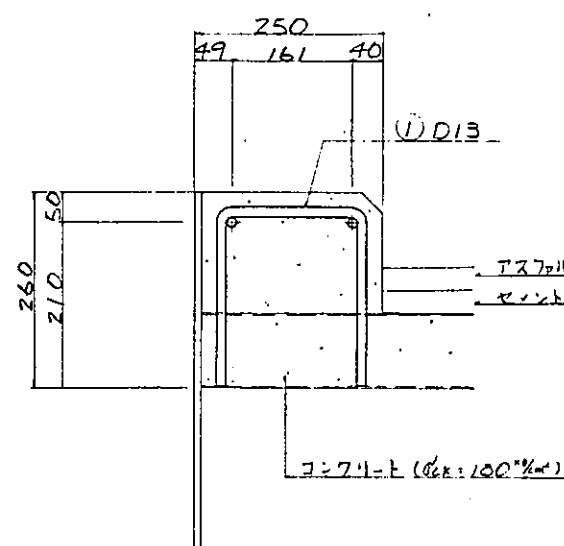


注)
1 特記なき材質は全てSS41とする。

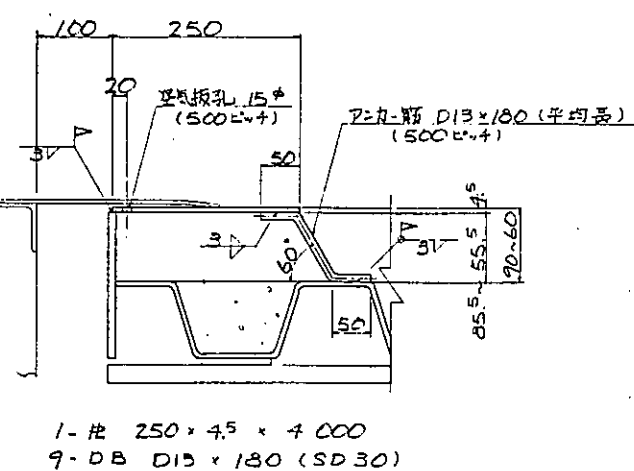


作	名	神戸堤防河口自転車駐車場整備工事			
図	面	排水装置			
縮	尺	1/20	図面番号	92/	
設計年月日	昭和	年	月	日	
面	課	係	組		
長	長	長	長		
横浜市道路局					

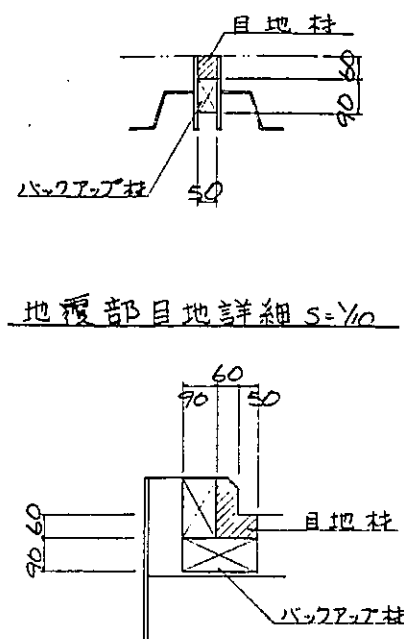
断面図 $S = 1/5$



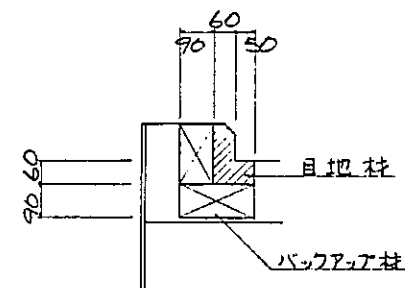
伸縮裝置 (EJ-1) S: 1/5



目地詳細 (EJ-Z) S = 1/10



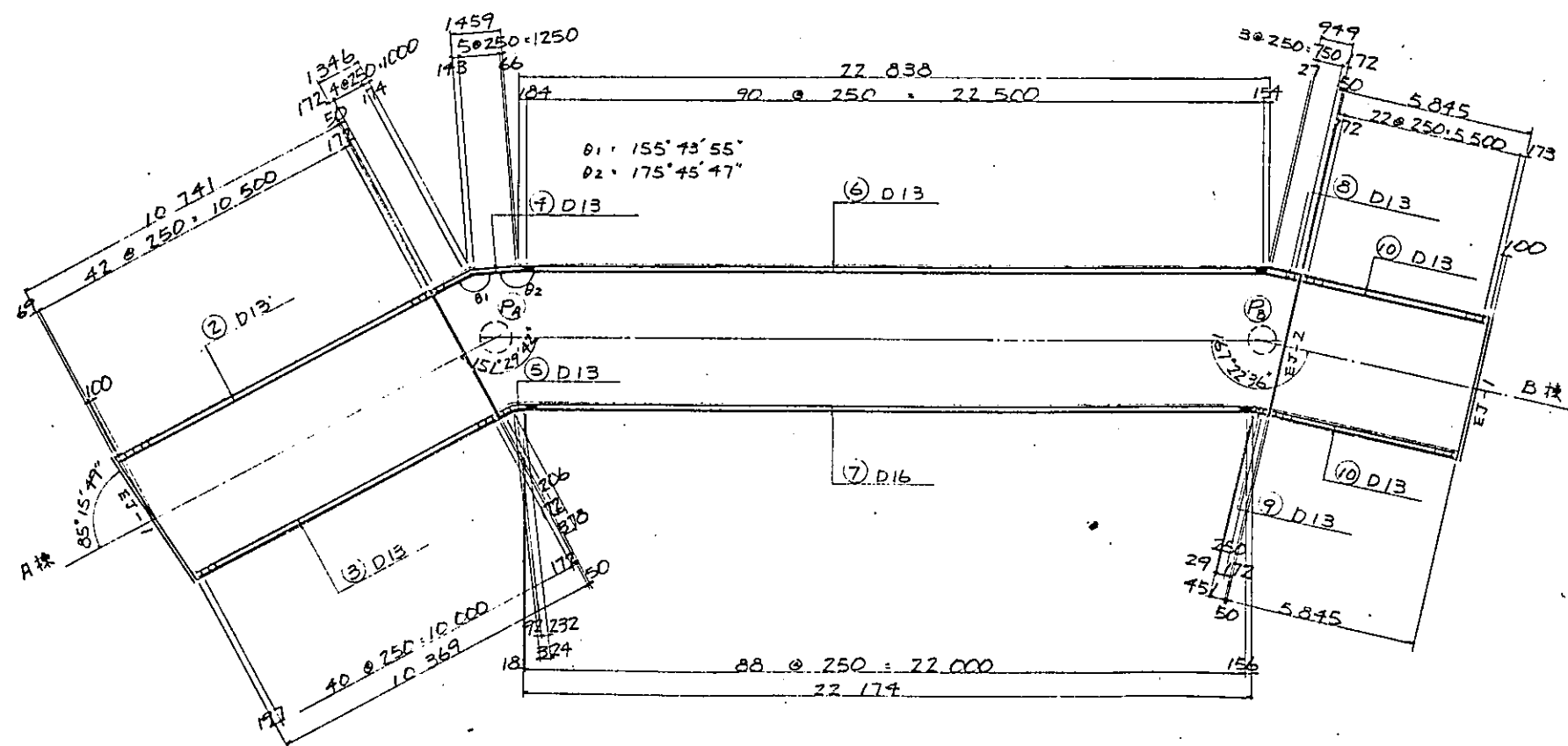
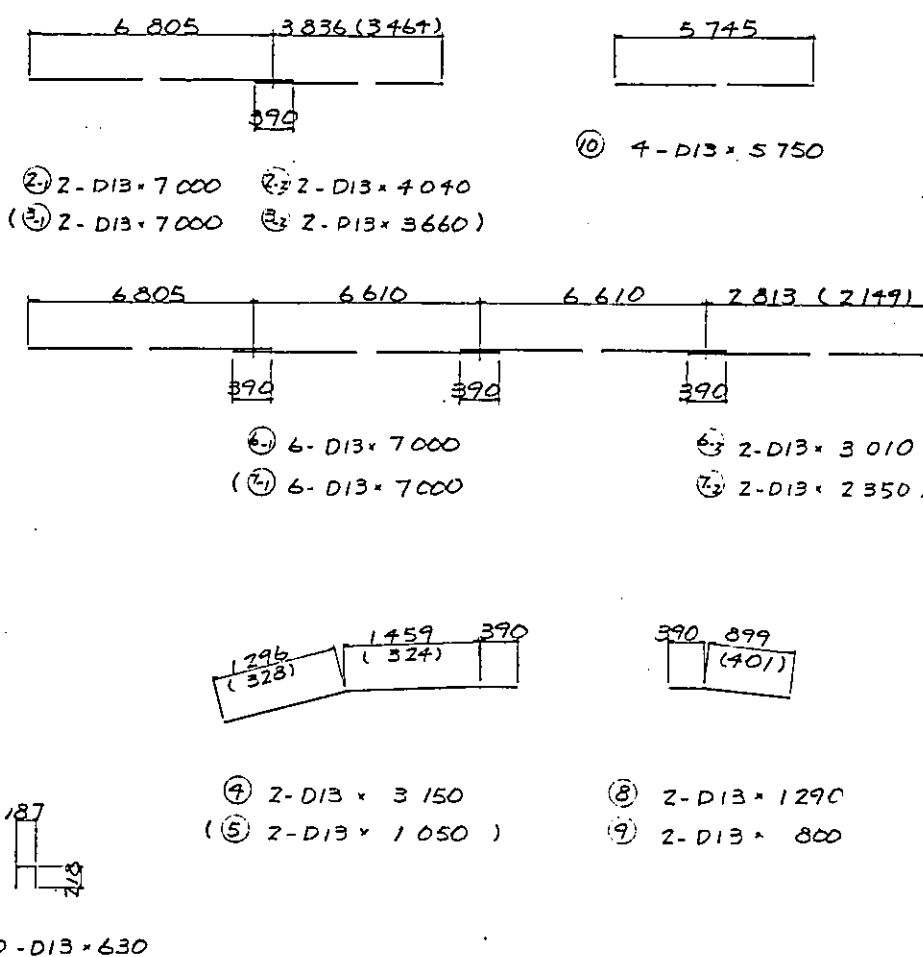
地覆部目地詳細 S=1/10



材 料 表

[illegible]

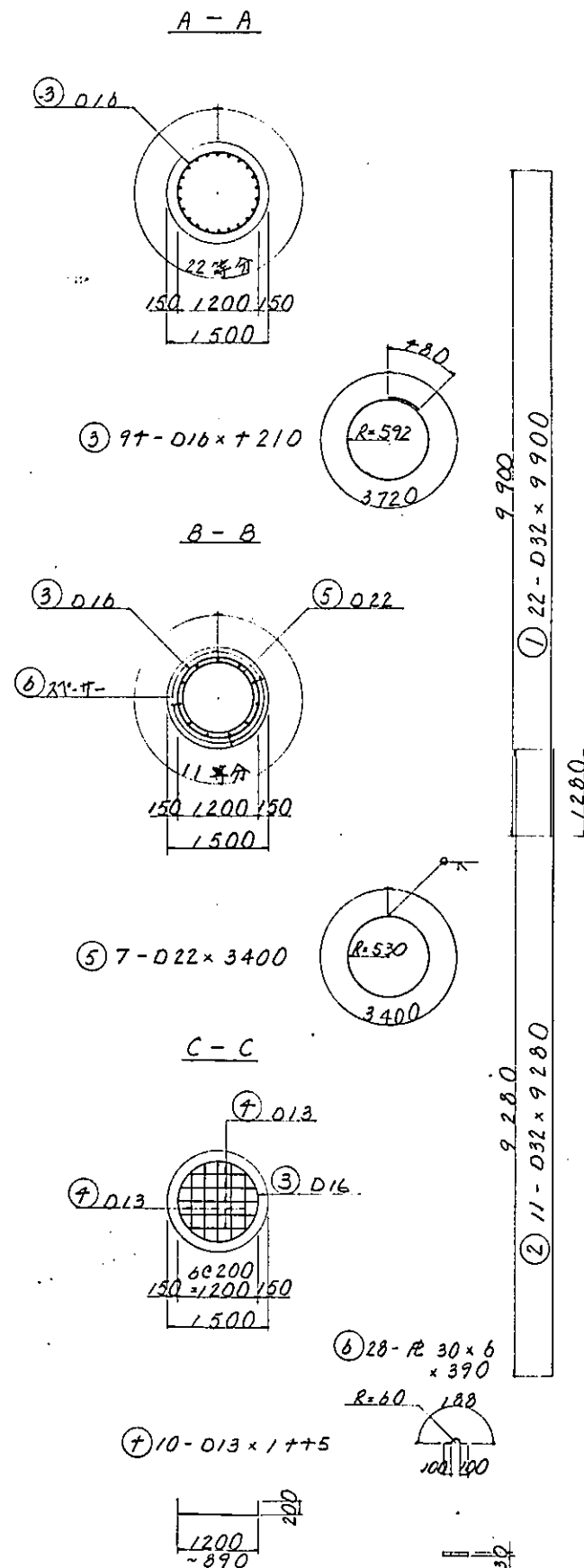
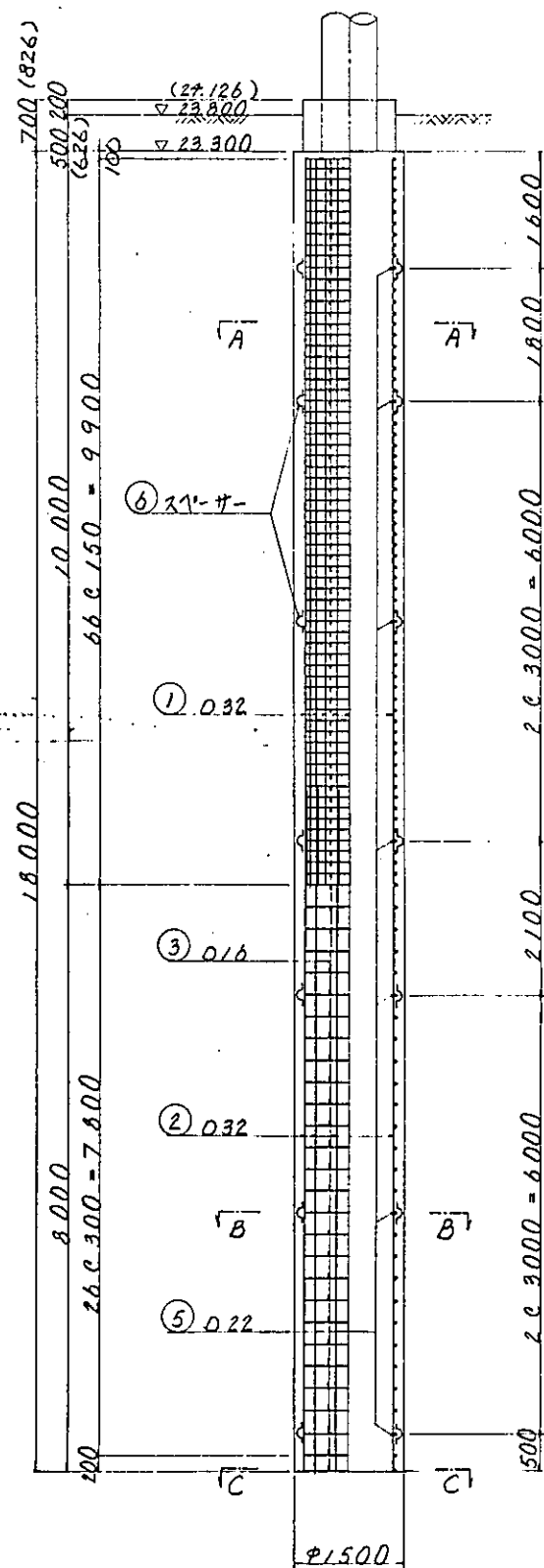
鉄筋加工図



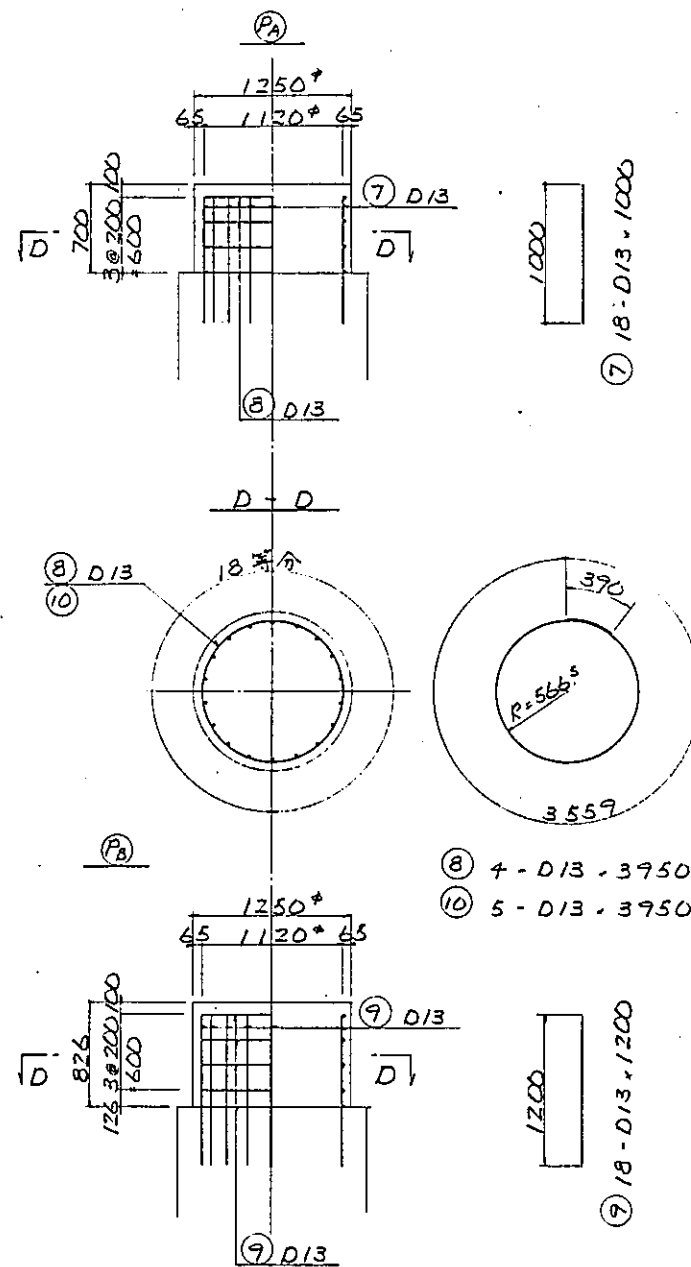
① 330-D13 × 630

件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事			
図面名	伸縮装置・把握			
縮尺	1/図示 図面番号 93/			
設計年月日	昭和	年	月	日
配 表	廣 美	編 表	指 出	
横浜市道路局				

場所打ち杭配筋図 (A)(B) S=1/50



根巻き配筋図 S=1/30



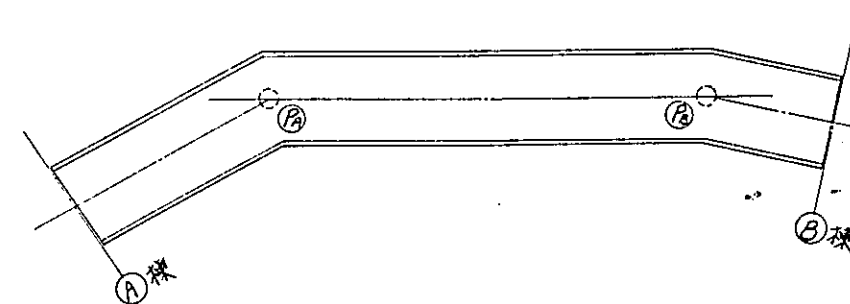
材料表

符号	径(mm)	長さ(mm)	本数	単位重量	一和重量(kg)	重量(kg)	摘要
場所打ち杭							
①	0.32	9900	22	6.23	61.677	1357	
②	"	9280	11	"	57.814	636	
③	0.16	210	94	1.56	6.864	617	○
④	0.13	1600	10	0.995	1.592	16	○
⑤	0.22	3400	7	3.04	10.944	72	○
⑥	平鋼	390	28	1.41	0.550	15	~
(2基分)							
鉄筋				0.32	1.993	3986	
(SD30)				0.22	72	144	
				0.16	617	1234	
				0.13	16	32	
平鋼				30x6	15	30	
(SS41)							
合計					2713	5+26	

材料表

符号	径(mm)	長さ(mm)	本数	単位重量	一和重量(kg)	重量(kg)	摘要
根巻き							
⑦	0.13	1000	18	0.995	0.995	18	○
⑧	"	3950	4	"	9.930	16	○
⑨	"	1200	18	"	1.194	21	○
⑩	"	3950	5	"	3.930	20	○
計 D13 75							
(SD30)							

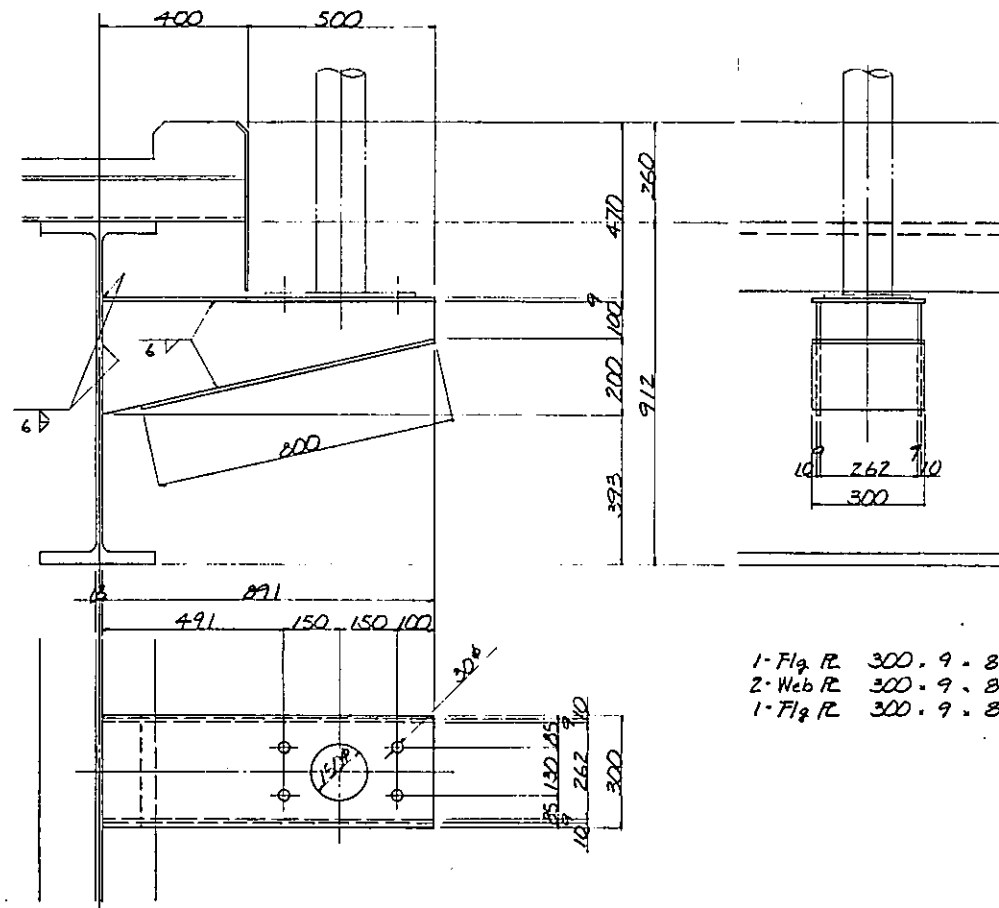
配筋図



件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事
図面名	杭・根巻き
縮尺	1/30 図面番号 95/
設計年月日	昭和 年 月 日
監理	設計
監理	設計
監理	設計
監理	設計
横浜市道路局	

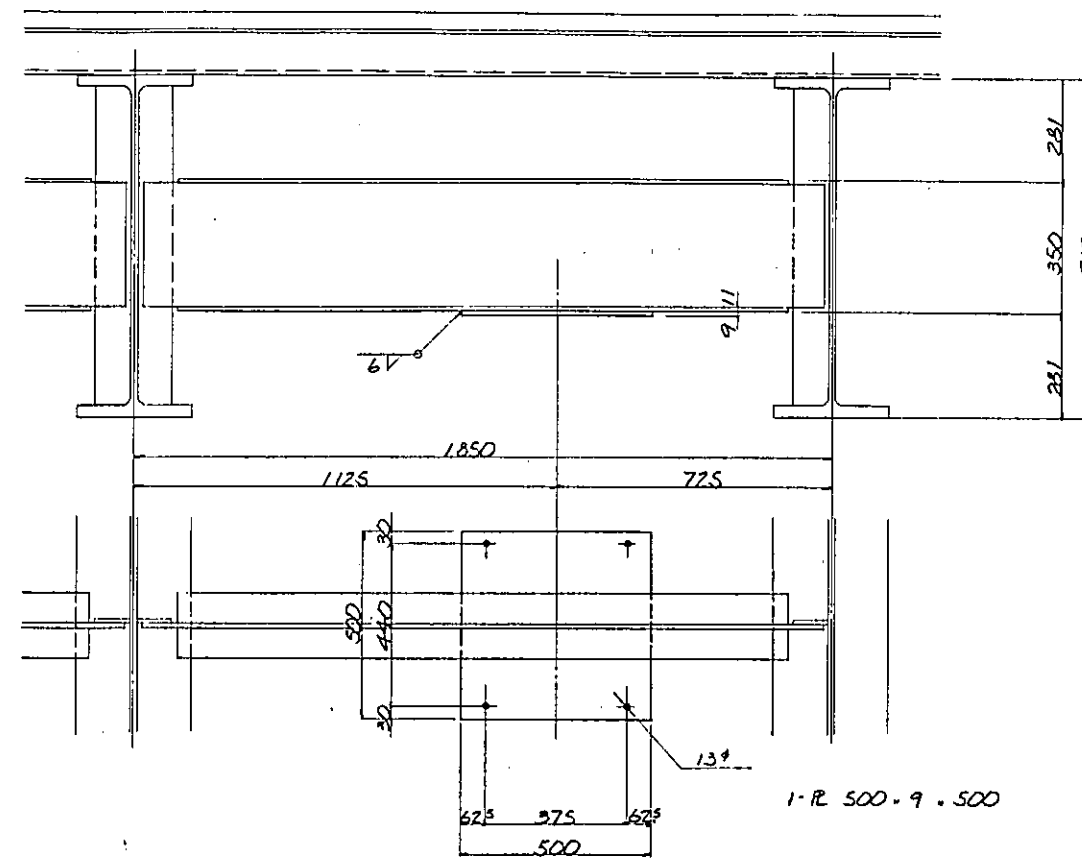
照明受台詳細図 s. 1/10

(A)



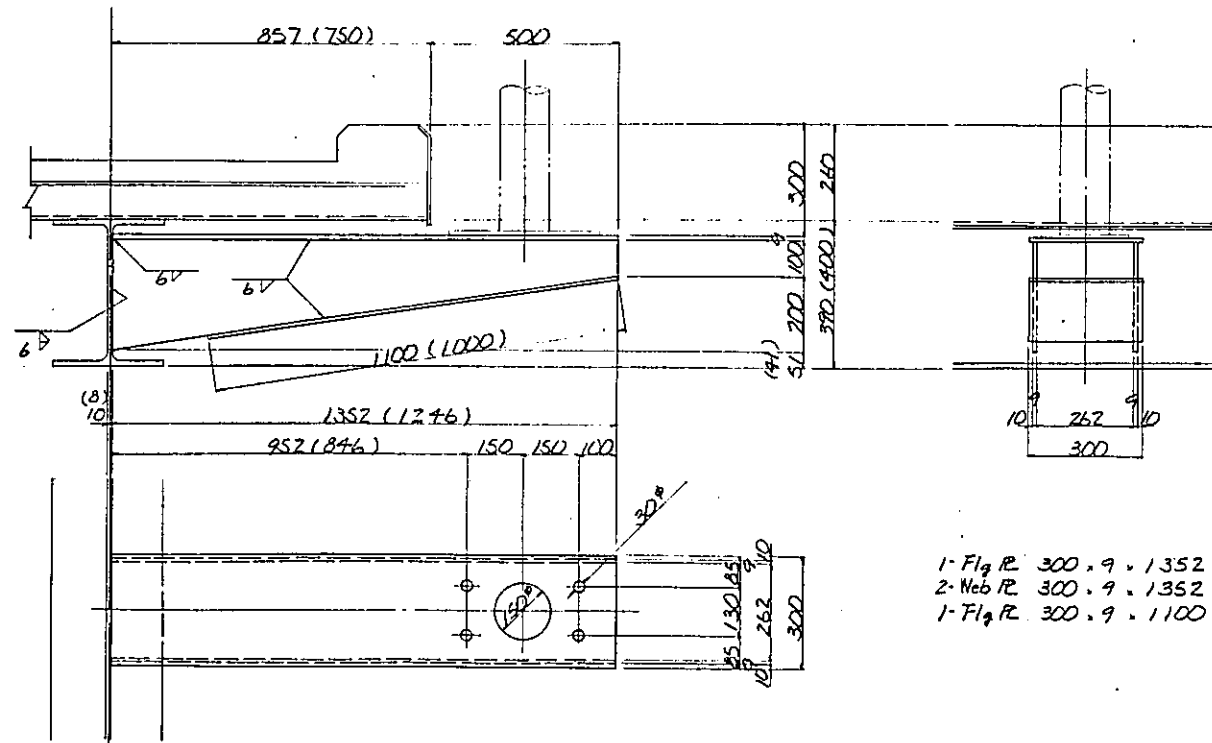
- 1-Flg. R 300. 9. 891
2-Web R 300. 9. 891
1-Flg. R 300. 9. 800

(D)



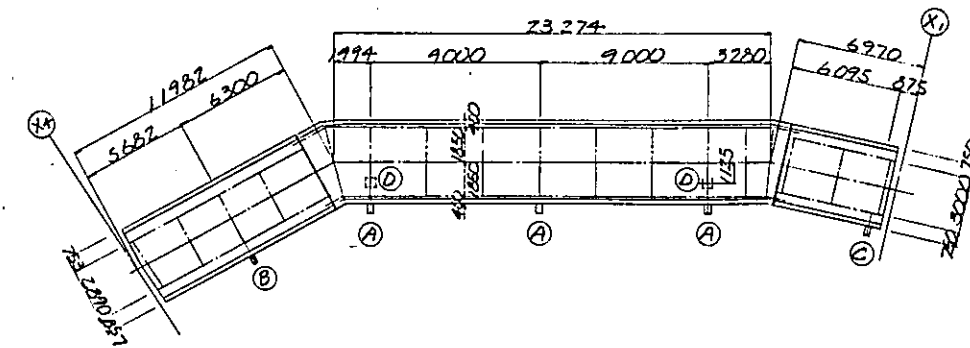
1-R 500. 9. 500

(B) (C)



- 1-Flg. R 300. 9. 1352 (1246)
2-Web R 300. 9. 1352 (1246)
1-Flg. R 300. 9. 1100 (1000)

配置図



注)
1. 特記なき材質は全てSS41を示す。

件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	照明受台詳細		
縮尺	/	図面番号	96 /
設計年月日	昭和	年	月 日
製図	製図	製図	製図
横浜市道路局			

件名	東戸塚駅東口自転車駐車場整備工事		
図面名	給排水管受台		
縮尺	/	図面番号	97/
設計年月日	昭和	年	月 日
図 長	図 長	図 長	担当
横浜市道路局			

構造特記仕様書

1. 一般共通事項

(1) 設計図書優先順位は次の通りとする。

- ① 質疑回答書・設計指示書
- ② 特記仕様書
- ③ 設計概算書を含む設計図
- ④ 各表等
- ⑤ 日本建築学会工事標準仕様書及び施工指針

(2) 特記仕様は、●印のついたものを用いる。

(3) 図面および本特記仕様書に記載されていない事項は、すべて下記の日本建築学会発行の図書による。

- 建築工事標準仕様書・同解説
 - JASS-1 一般共通事項(1994年版)
 - JASS-3 土工事および山留め工事(1998年版)
 - JASS-4 地盤および基礎スラブ工事(1998年版)
 - JASS-5 鉄筋コンクリート工事(1997年版)
 - JASS-6 鋼骨工事(1996年版)
 - JASS-10 プレキャストコンクリート工事(1991年版)
 - JASS-18 監理工事(1998年版)
- 鉄筋コンクリート造設計指針・同解説(1986年版)
- 鋼骨工事技術指針(1996年版)
- 場所打ちコンクリートのコンクリートに関する施工指針・同解説(1982年版)
- 高力ボルト接合設計指針(1993年版)
- 鉄筋のガス圧注工標準仕様書(日本圧入協会発行：1994年版)
- 鋼骨組立鉄骨構造(柱)鋼骨組立設計部作成：1998年版

(4) 施工中に先立ち以下の書類を工事監督官(以下監理者と略す)に提出し、確認及び指示を受ける。

- 工費計表(工事計画書)
 - コンクリート工事 ● 鉄筋工事
 - 鋼骨工事 ○
 - 杭掘削工事
 - コンクリート配合報告書
 - 鉄骨製作要領書

(5) 検査設計条件

① 採用形式及び計算ルート

X方向	Y方向
ルート 2	ルート 2

② 荷重係数 (kg/m²)

区分	スラブ用	小梁用	梁間用	地盤用	備考
恒重	300	300	225	150	
活重	300	300	225	150	

③ 地震荷重

一次有効周期 T=0.195sec	二次有効周期 Tc=0.6sec	Rt=1.0	Z=1.0	Ce=0.2	K=
地震係数					

④ 所定値

応度圧 q (kg/cm ²)	高さ 16m以下の部分 q=60/√h	高さ 16mを超える部分 q=120/√h
風圧力の軽減・調整	● 変	○ 有()

⑤ 質量荷重

風速係数	3D cm	長期	kg/m ²
単位質量	2.0 kg/cm ² m ²	短期	60 kg/m ²

⑥ 土圧及び水圧

土圧係数	Kh=0.5	地下水位	設計地下水位 GL-n
地下水位			n

⑦ 材料強度 (t)

機械名	品 目	規格名	規 格
高圧水ポンプ		受水器	
クレーンダウナー		キュービクル	
自走発電機		エレベーター	

⑧ 照度・気象条件

● 1/200以下	○ 1/150以下	○ 1/120以下
-----------	-----------	-----------

2. 仮設工事

別添決定特記仕様書による。

3. 土工事

(1) 電気土質試験の材料(工法)

- 複層土の中核貫入土 (工法：電着による密着)
- 山の崩壊 (工法：水射り又は振動による密着)

(2) 粘土の処分方法

- 場外搬出
- 場内処理
-

4. 地盤工事

(1) 砕石、砂利、捨てコンクリート地盤 (mm)

取込範囲	砕 石	砂 利	捨てコン	備 考
基礎下(断圧版)	50		50	
客観界下	50		50	
土間コンクリート下	100			

(2) 砕石形式

- 直接密着
 - 基礎の種類
 - 改良基礎
 - 市街地
 - ベタ基礎
- 砕石改良
 - ラップルコンクリート
- 砕石杭
 - 杭の種類(JIS規格品または建設省認定品)
 - PC杭 (OA型 OB型 OC型)
 - PHC杭 (OA型 OB型 OC型 D型)
 - SC杭
 - 鋼管杭
 - 工法の種類
 - 打撃工法
 - プレバールリング打撃工法
 - セメントミルク工法
 - 連続大径固定工法
 - プレバールリング先端吸込工法
 - 中継り先端吸込工法
 - 中継り先端吸込工法
- 場所打ちコンクリート杭
 - 工法の種類
 - アースドリル杭
 - リバーシブル杭
 - ペット杭
 - 深礎杭
 - B工法
 - ミニエアーアースドリル杭
 - 連続大径固定工法
 - 拡張アースドリル杭
 - 拡張リバーシブル杭

(3) 許容地耐力

- 直交基礎 シルト摩擦又は砂礫(N≧5)
 - ・支持層 : 設計GL- 1.3 m
 - ・基礎許容地耐力 5.0 t/m²
- 杭基礎
 - ・支持層 : 設計GL- n
 - ・杭先端深さ : 設計GL- n

支持層深さに差異が認められる場合は、監理者・設計者と協議の上、杭先端深さその他の指示を受ける。

(4) 試験・検定項目

- 平板載荷試験(1箇所) 深さ GL-1.3 m
- 最大荷重 30.0 t/m²
- 試験杭 (本) ※本邦として使用可
- 杭の位置試験(○本線 ○水平) 最大荷重 t/本

5. 鉄筋コンクリート工事

(1) 計画利用期間の確認

- 一般 ○ 短期 ○ 長期

(2) コンクリートの種類

骨材による種類 Fc:普通 Lc1:軽量 Lc2:軽量2種 (比重=) (比重=)

要求性能による種類 A:基本 B:高強度 C:高流動 D:水中 E:プレストレスト P:水密 G:海水作用 H:凍結融解作用 I:塩化剤 J:無害 K:隠蔽

取込範囲	コンクリートの種類	基準強度 (N/mm ²)	スランプ (mm)	H/C (以下)	N (以下)	備考
基礎・基礎梁	Fc A	21	24	15	55	175
デッキスラブ	Fc A	18	21	12	55	175
土間	Fc A	18	21	15	65	185
コンクリート	Fc J	—	18	15	65	185
床下保水	Fc J	—	18	15	65	185
床仕上げ用	Fc J	—	16	15	65	185

1) 水セメント比(X) 2) 単位水量(kg/m³) 3) 単位セメント量(kg/m³)

(3) セメント及び混和材料

- セメント
 - ボルトランドセメント
 - 普通 ○ 早強 ○ 超早強
 - 中濃縮 ○ 耐硫酸性
 - 高炉セメント (OA型 OB型 OC型)
 - シリアセメント (OA型 OB型 OC型)
 - フライアッシュセメント (OA型 OB型 OC型)
- 混和剤
 - AE減水剤 (○減水率 ○減水率)
 - AE減水剤 (○減水率 ○減水率)
 - 高性能AE減水剤 (○減水率 ○減水率)
 - 減水剤
- 混和材
 - フライアッシュ
 - 膨張材
 - 高炉スラグ微粉末
 - グリカフォーム

(4) コンクリート中に含まれる化学物質の含有量の制限

鉄筋コンクリートとはどの製造段階上主要な部分に用いられるコンクリートについては、原則として化学物質は0.3kg/m<

鉄筋コンクリート造配筋標準図その1

1. 一般共通事項

(1) 鉄筋の表示記号

鉄筋の断面表示は下記の記号による。

鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25
表示記号	○	△	×	●	◇	◎
鉄筋径	D29	D32	D35	D38	D41	
表示記号	◇	×	◇	×	○	

(2) 鉄筋のかぶり厚さ

構造部分の種類	設計かぶり厚さ	
	最小値	最大値
土に接しない部分	屋根スラブ	30
	床スラブ	30
	耐力壁	40
	柱	40
土に接する部分	柱・梁・床スラブ・壁	50
	基礎	50
	基礎・地盤	70
	基礎・地盤	70

(3) 鉄筋の最小間隔とあき

鉄筋相互のあきは下記のうち最大のものとす。

- 1) $a \geq 25$ mm
- 2) $a \geq 1.25 \times$ 粗骨材最大寸法
- 3) $a \geq 1.5d$ (d : 鉄筋の呼び名(直径))

鉄筋の間隔 $P = a + D1$ ($D1$: 最外径)

(4) 鉄筋の折曲形状及び寸法

① 折曲形状

折曲角度	鉄筋の種類	鉄筋径	内径(D)
180°	SD295A SD295B SD345	D16以下 D19 D25	3d以上 4d以上 5d以上
135°	SD390	D16 D41	5d以上

② 折曲寸法

180°: 1.5d以上
135°: 1.5d以上
90°: 1.5d以上

(5) 鉄筋の接合部

① 接合部

180°: 1.5d以上
135°: 1.5d以上
90°: 1.5d以上

(6) 鉄筋の接合部

① 接合部

180°: 1.5d以上
135°: 1.5d以上
90°: 1.5d以上

(7) 鉄筋の接合部

① 接合部

180°: 1.5d以上
135°: 1.5d以上
90°: 1.5d以上

2. 柱

(1) 柱の鉄筋の配置

① 柱の鉄筋の配置

② 柱の鉄筋の配置

③ 柱の鉄筋の配置

④ 柱の鉄筋の配置

⑤ 柱の鉄筋の配置

⑥ 柱の鉄筋の配置

⑦ 柱の鉄筋の配置

⑧ 柱の鉄筋の配置

⑨ 柱の鉄筋の配置

⑩ 柱の鉄筋の配置

⑪ 柱の鉄筋の配置

⑫ 柱の鉄筋の配置

⑬ 柱の鉄筋の配置

⑭ 柱の鉄筋の配置

⑮ 柱の鉄筋の配置

⑯ 柱の鉄筋の配置

⑰ 柱の鉄筋の配置

⑱ 柱の鉄筋の配置

⑲ 柱の鉄筋の配置

⑳ 柱の鉄筋の配置

㉑ 柱の鉄筋の配置

㉒ 柱の鉄筋の配置

㉓ 柱の鉄筋の配置

㉔ 柱の鉄筋の配置

㉕ 柱の鉄筋の配置

㉖ 柱の鉄筋の配置

㉗ 柱の鉄筋の配置

㉘ 柱の鉄筋の配置

㉙ 柱の鉄筋の配置

㉚ 柱の鉄筋の配置

㉛ 柱の鉄筋の配置

㉜ 柱の鉄筋の配置

㉝ 柱の鉄筋の配置

㉞ 柱の鉄筋の配置

㉟ 柱の鉄筋の配置

㊱ 柱の鉄筋の配置

㊲ 柱の鉄筋の配置

㊳ 柱の鉄筋の配置

㊴ 柱の鉄筋の配置

㊵ 柱の鉄筋の配置

㊶ 柱の鉄筋の配置

㊷ 柱の鉄筋の配置

㊸ 柱の鉄筋の配置

㊹ 柱の鉄筋の配置

㊺ 柱の鉄筋の配置

㊻ 柱の鉄筋の配置

㊼ 柱の鉄筋の配置

㊽ 柱の鉄筋の配置

㊾ 柱の鉄筋の配置

㊿ 柱の鉄筋の配置

3. 梁

(1) 梁の鉄筋の配置

① 梁の鉄筋の配置

② 梁の鉄筋の配置

③ 梁の鉄筋の配置

④ 梁の鉄筋の配置

⑤ 梁の鉄筋の配置

⑥ 梁の鉄筋の配置

⑦ 梁の鉄筋の配置

⑧ 梁の鉄筋の配置

⑨ 梁の鉄筋の配置

⑩ 梁の鉄筋の配置

⑪ 梁の鉄筋の配置

⑫ 梁の鉄筋の配置

⑬ 梁の鉄筋の配置

⑭ 梁の鉄筋の配置

⑮ 梁の鉄筋の配置

⑯ 梁の鉄筋の配置

⑰ 梁の鉄筋の配置

⑱ 梁の鉄筋の配置

⑲ 梁の鉄筋の配置

⑳ 梁の鉄筋の配置

㉑ 梁の鉄筋の配置

㉒ 梁の鉄筋の配置

㉓ 梁の鉄筋の配置

㉔ 梁の鉄筋の配置

㉕ 梁の鉄筋の配置

㉖ 梁の鉄筋の配置

㉗ 梁の鉄筋の配置

㉘ 梁の鉄筋の配置

㉙ 梁の鉄筋の配置

㉚ 梁の鉄筋の配置

㉛ 梁の鉄筋の配置

㉜ 梁の鉄筋の配置

㉝ 梁の鉄筋の配置

㉞ 梁の鉄筋の配置

㉟ 梁の鉄筋の配置

㊱ 梁の鉄筋の配置

㊲ 梁の鉄筋の配置

㊳ 梁の鉄筋の配置

㊴ 梁の鉄筋の配置

㊵ 梁の鉄筋の配置

㊶ 梁の鉄筋の配置

㊷ 梁の鉄筋の配置

㊸ 梁の鉄筋の配置

㊹ 梁の鉄筋の配置

㊺ 梁の鉄筋の配置

㊻ 梁の鉄筋の配置

㊼ 梁の鉄筋の配置

㊽ 梁の鉄筋の配置

㊾ 梁の鉄筋の配置

㊿ 梁の鉄筋の配置

4. 床スラブ

(1) 床スラブの鉄筋の配置

① 床スラブの鉄筋の配置

② 床スラブの鉄筋の配置

③ 床スラブの鉄筋の配置

④ 床スラブの鉄筋の配置

⑤ 床スラブの鉄筋の配置

⑥ 床スラブの鉄筋の配置

⑦ 床スラブの鉄筋の配置

⑧ 床スラブの鉄筋の配置

⑨ 床スラブの鉄筋の配置

⑩ 床スラブの鉄筋の配置

⑪ 床スラブの鉄筋の配置

⑫ 床スラブの鉄筋の配置

⑬ 床スラブの鉄筋の配置

⑭ 床スラブの鉄筋の配置

⑮ 床スラブの鉄筋の配置

⑯ 床スラブの鉄筋の配置

⑰ 床スラブの鉄筋の配置

⑱ 床スラブの鉄筋の配置

⑲ 床スラブの鉄筋の配置

⑳ 床スラブの鉄筋の配置

㉑ 床スラブの鉄筋の配置

㉒ 床スラブの鉄筋の配置

㉓ 床スラブの鉄筋の配置

㉔ 床スラブの鉄筋の配置

㉕ 床スラブの鉄筋の配置

㉖ 床スラブの鉄筋の配置

㉗ 床スラブの鉄筋の配置

㉘ 床スラブの鉄筋の配置

㉙ 床スラブの鉄筋の配置

㉚ 床スラブの鉄筋の配置

㉛ 床スラブの鉄筋の配置

㉜ 床スラブの鉄筋の配置

㉝ 床スラブの鉄筋の配置

㉞ 床スラブの鉄筋の配置

㉟ 床スラブの鉄筋の配置

㊱ 床スラブの鉄筋の配置

㊲ 床スラブの鉄筋の配置

㊳ 床スラブの鉄筋の配置

㊴ 床スラブの鉄筋の配置

㊵ 床スラブの鉄筋の配置

㊶ 床スラブの鉄筋の配置

㊷ 床スラブの鉄筋の配置

㊸ 床スラブの鉄筋の配置

㊹ 床スラブの鉄筋の配置

㊺ 床スラブの鉄筋の配置

㊻ 床スラブの鉄筋の配置

㊼ 床スラブの鉄筋の配置

㊽ 床スラブの鉄筋の配置

㊾ 床スラブの鉄筋の配置

㊿ 床スラブの鉄筋の配置

5. 壁

(1) 壁の鉄筋の配置

① 壁の鉄筋の配置

② 壁の鉄筋の配置

③ 壁の鉄筋の配置

④ 壁の鉄筋の配置

⑤ 壁の鉄筋の配置

⑥ 壁の鉄筋の配置

⑦ 壁の鉄筋の配置

⑧ 壁の鉄筋の配置

⑨ 壁の鉄筋の配置

⑩ 壁の鉄筋の配置

⑪ 壁の鉄筋の配置

⑫ 壁の鉄筋の配置

⑬ 壁の鉄筋の配置

⑭ 壁の鉄筋の配置

⑮ 壁の鉄筋の配置

⑯ 壁の鉄筋の配置

⑰ 壁の鉄筋の配置

⑱ 壁の鉄筋の配置

⑲ 壁の鉄筋の配置

⑳ 壁の鉄筋の配置

㉑ 壁の鉄筋の配置

㉒ 壁の鉄筋の配置

㉓ 壁の鉄筋の配置

㉔ 壁の鉄筋の配置

㉕ 壁の鉄筋の配置

㉖ 壁の鉄筋の配置

㉗ 壁の鉄筋の配置

㉘ 壁の鉄筋の配置

㉙ 壁の鉄筋の配置

㉚ 壁の鉄筋の配置

㉛ 壁の鉄筋の配置

㉜ 壁の鉄筋の配置

㉝ 壁の鉄筋の配置

㉞ 壁の鉄筋の配置

㉟ 壁の鉄筋の配置

㊱ 壁の鉄筋の配置

㊲ 壁の鉄筋の配置

㊳ 壁の鉄筋の配置

㊴ 壁の鉄筋の配置

㊵ 壁の鉄筋の配置

㊶ 壁の鉄筋の配置

㊷ 壁の鉄筋の配置

㊸ 壁の鉄筋の配置

㊹ 壁の鉄筋の配置

㊺ 壁の鉄筋の配置

㊻ 壁の鉄筋の配置

㊼ 壁の鉄筋の配置

㊽ 壁の鉄筋の配置

㊾ 壁の鉄筋の配置

㊿ 壁の鉄筋の配置

6. 基礎

(1) 基礎の鉄筋の配置

① 基礎の鉄筋の配置

② 基礎の鉄筋の配置

③ 基礎の鉄筋の配置

④ 基礎の鉄筋の配置

⑤ 基礎の鉄筋の配置

⑥ 基礎の鉄筋の配置

⑦ 基礎の鉄筋の配置

⑧ 基礎の鉄筋の配置

⑨ 基礎の鉄筋の配置

⑩ 基礎の鉄筋の配置

⑪ 基礎の鉄筋の配置

⑫ 基礎の鉄筋の配置

⑬ 基礎の鉄筋の配置

⑭ 基礎の鉄筋の配置

⑮ 基礎の鉄筋の配置

⑯ 基礎の鉄筋の配置

⑰ 基礎の鉄筋の配置

⑱ 基礎の鉄筋の配置

⑲ 基礎の鉄筋の配置

⑳ 基礎の鉄筋の配置

㉑ 基礎の鉄筋の配置

㉒ 基礎の鉄筋の配置

㉓ 基礎の鉄筋の配置

㉔ 基礎の鉄筋の配置

㉕ 基礎の鉄筋の配置

㉖ 基礎の鉄筋の配置

㉗ 基礎の鉄筋の配置

㉘ 基礎の鉄筋の配置

㉙ 基礎の鉄筋の配置

㉚ 基礎の鉄筋の配置

㉛ 基礎の鉄筋の配置

㉜ 基礎の鉄筋の配置

㉝ 基礎の鉄筋の配置

㉞ 基礎の鉄筋の配置

㉟ 基礎の鉄筋の配置

㊱ 基礎の鉄筋の配置

㊲ 基礎の鉄筋の配置

㊳ 基礎の鉄筋の配置

㊴ 基礎の鉄筋の配置

㊵ 基礎の鉄筋の配置

㊶ 基礎の鉄筋の配置

㊷ 基礎の鉄筋の配置

㊸ 基礎の鉄筋の配置

㊹ 基礎の鉄筋の配置

㊺ 基礎の鉄筋の配置

㊻ 基礎の鉄筋の配置

㊼ 基礎の鉄筋の配置

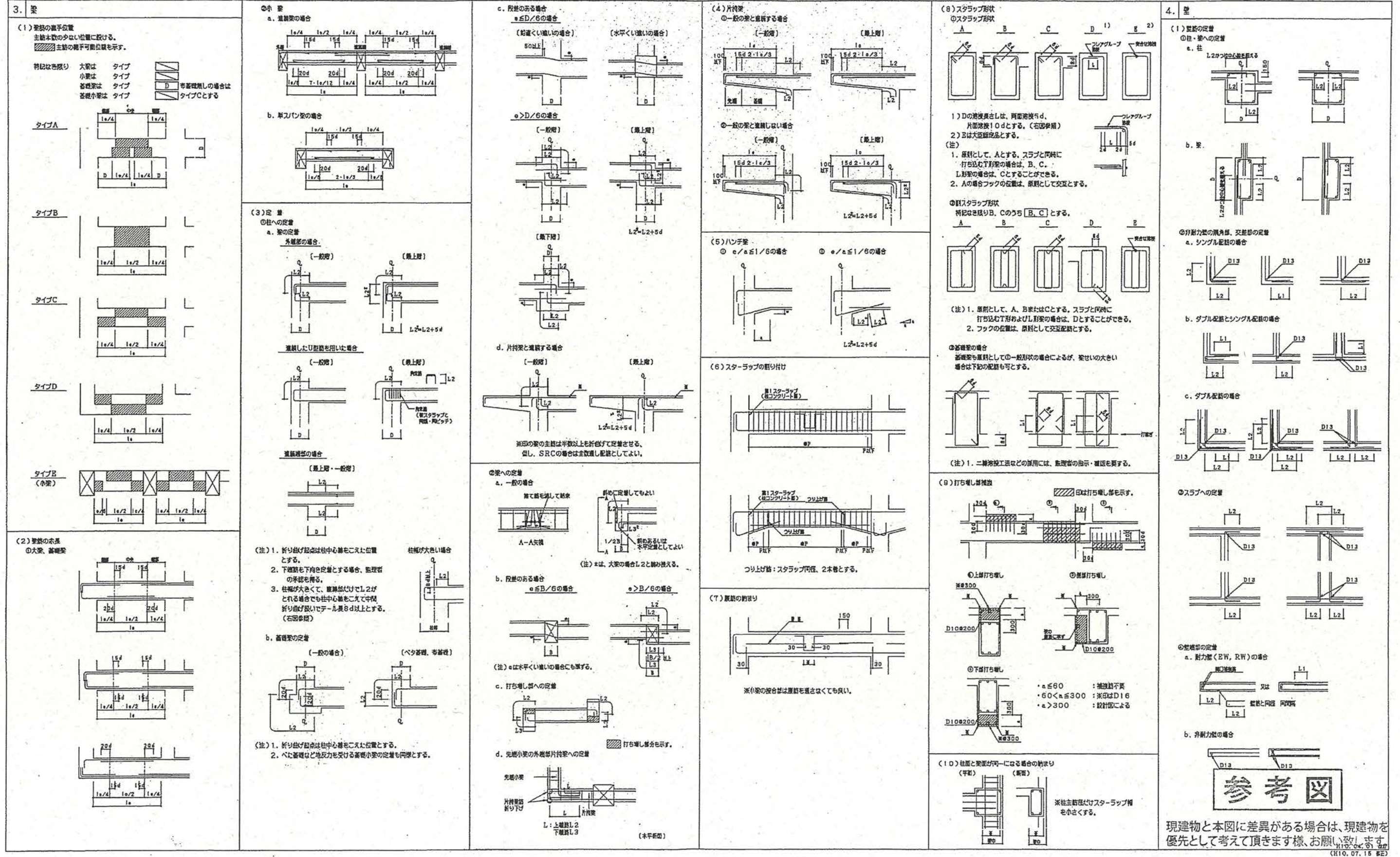
㊽ 基礎の鉄筋の配置

㊾ 基礎の鉄筋の配置

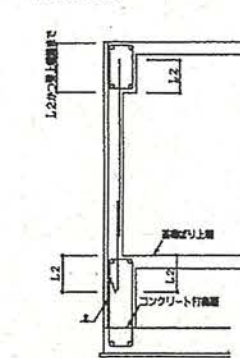
㊿ 基礎の鉄筋の配置

参考図

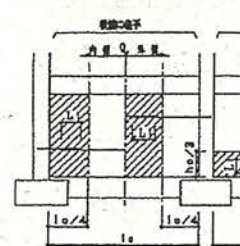
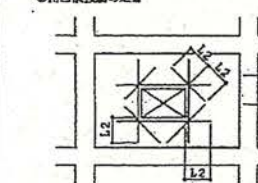
現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先して考えて頂きます様、お願い致します。



使用しない項目にはX印を記入する。

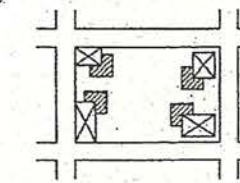
③土圧壁(RW)の定置及び配筋位置
a. 壁の定置

※地下外壁の外側鉄筋の基礎梁への定置長さは、規定長さより約1mごとに配圧スラブの上端まで下げるなど鉄筋位置確保に有効な施工とする。

b. 土圧壁(RW)の配筋位置
配筋の継手可動位置を示す(2) 開口部鉄筋
①開口部鉄筋の定置

- (注) 1. ひび割れ防止筋は別に配筋する。
2. $a \leq 200$ の場合は、鉄筋(一)で示した補強筋は不要とする。
3. 厚さが150でダブル配筋の場合は、鉄筋(一)としない。
4. 200×200 以下の開口部については、鉄筋は開口部を空けて割付けた場合、補強筋は不要とする。

②ひび割れ防止筋(内装・外装共)

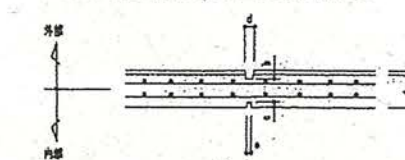


ひび割れ防止筋を示す。

- (注) 1. ひび割れ防止筋は、鉄筋と同等位置に配筋する。径Dは鉄筋と同じとする。交互配筋の場合は太い筋とする。
2. ひび割れ防止筋は、鉄筋のピッチ125以下の場合は不要とする。
3. ひび割れ防止筋は、鉄筋のピッチ125以上の場合は、鉄筋(一)としない。ただし、厚さが150でダブル配筋の場合は、鉄筋(一)の使用は不可とする。

(3) 外装収縮(鉄筋)目地

外装収縮(鉄筋)目地は、縦目地3.0mピッチ程度に設ける。



- (注) 1. 内目地を設けられない場合、および、打ち増し厚が20mmを超える場合にも、収縮目地の断面欠損率は、打ち増しを含めた鉄筋の20%以上とする。
2. パラペット及び外部手摺も含む。

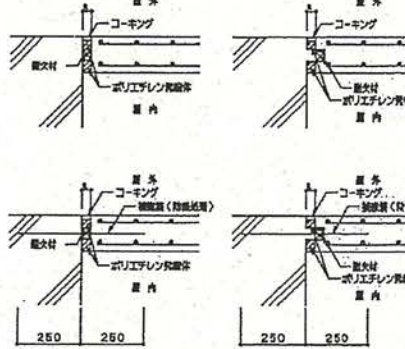
ス	a (mm)	b (mm)	c (mm)	d (mm)	e (mm)	番号
120	20以下	20以下	10(15)	20以上	20	
150	20以下	20	15	20以上	20	
180	20以下	20	20	20以上	25	

(4) 構造目地

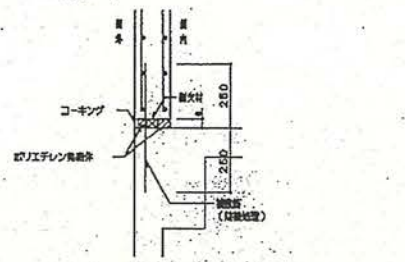
構造目地の箇所は設計図による。スリット材は既製品とする。

①完全スリット型

a. 完全スリット



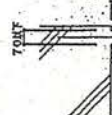
b. 水平スリット



部	部	a (mm)	補強筋	番号
縦目地	縦目地	300		
水平目地	水平目地	300		

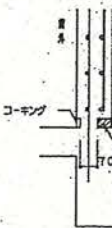
②部分スリット型

a. 部分スリット



部	部	a (mm)	補強筋	番号
縦目地	縦目地	300		
水平目地	水平目地	300		

b. 水平スリット

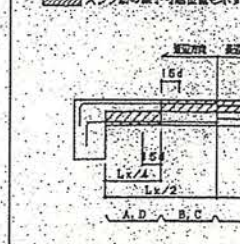


部	部	a (mm)	補強筋	番号
縦目地	縦目地	300		
水平目地	水平目地	300		

5. スラブ

(1) スラブ鉄筋の定置及び配筋位置

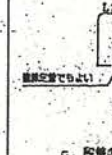
スラブ鉄筋の定置位置を示す。



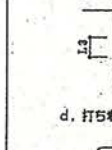
(2) 定置

①開口部鉄筋

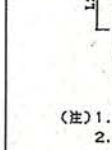
a. 開口部鉄筋



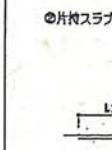
b. 開口部鉄筋



c. 開口部鉄筋



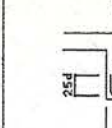
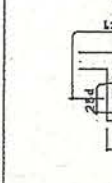
d. 打ち増し部への定置



(注) 1. 折り上げ筋は梁中線を越え位置とする。

2. スラブ鉄筋のひび割れ防止はスベラー(φ800以下)による。

②片持スラブ



(3) スラブ鉄筋の定置

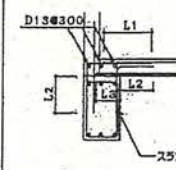
鉄筋: $a \leq t \leq 80$ の場合

② $a > t \leq 80$ の場合

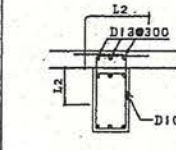
(注) $a > 300$ の場合は設計図による。

(4) 縦スラブと基礎梁の打ち増し補強筋

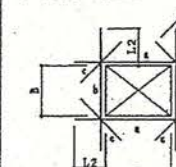
①外装



②内装



(5) スラブの開口部鉄筋



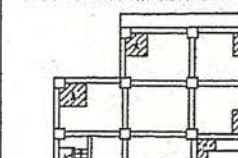
ス	ス	a, b	c
B < 400	200以下	2-Dn ¹⁾	1-D13
B < 400	200以上	3-Dn ¹⁾	2-Dn ¹⁾
400 ≤ B < 700		3-Dn ¹⁾	2-Dn ¹⁾

1) Dnは折断するスラブ鉄筋の最大径とする。

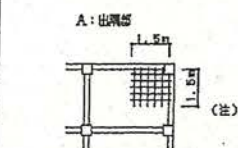
(注) 1. 200×200 以下の開口部については、スラブ鉄筋の開口部を空けて割付けた場合、補強筋は不要とする。

2. Bが700以上の場合は設計図による。

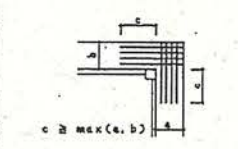
(6) スラブの出入隅部鉄筋(各隅部共)



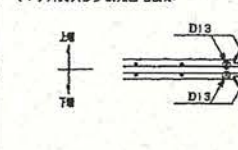
A: 出隅部鉄筋



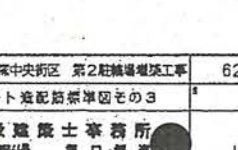
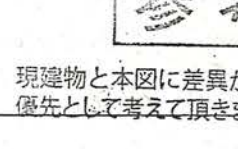
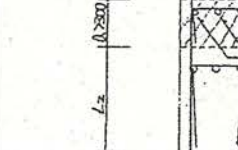
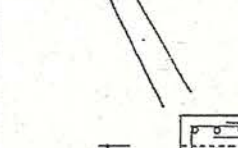
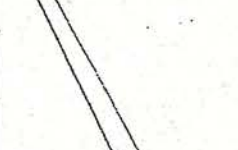
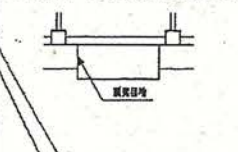
B: 片持スラブの出隅部鉄筋



(7) 片持スラブ鉄筋目地仕様



1. 鉄筋目地ピッチは、4,000程度とする。
2. 片持スラブの出隅部鉄筋は、その位置に設ける。
3. コンクリート平すりのある場合には、ある部分にない部分の隅に設ける。



1. 溶接基準

突合せ溶接	真鍮金無し	1		T ≤ 6	2		T ≥ 6	3		T ≤ 16	4		T ≥ 6	5		T ≤ 16	6		T ≥ 6	
		 $G = \frac{1}{2}T - \frac{1}{3}T$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 45^\circ$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 45^\circ$ $\alpha = 60^\circ$ $D_1 = \frac{2}{3}(T-R)$ $D_2 = \frac{1}{3}(T-R)$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 60^\circ$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 60^\circ$ $D_1 = \frac{2}{3}(T-R)$ $D_2 = \frac{1}{3}(T-R)$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 45^\circ$													
真鍮金使用	7		T ≥ 16	8		T ≥ 6	9		T ≥ 16	10		T ≥ 6	11		T ≥ 6					
	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 45^\circ$ $\alpha = 60^\circ$ $D_1 = \frac{2}{3}(T-R)$ $D_2 = \frac{1}{3}(T-R)$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 45^\circ$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 45^\circ$ $\alpha = 60^\circ$ $D_1 = \frac{2}{3}(T-R)$ $D_2 = \frac{1}{3}(T-R)$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 60^\circ$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 60^\circ$ $D_1 \geq 2\sqrt{T}$															
すみ肉溶接	21		T ≥ 6	22		T ≥ 6	23		T ≥ 6	24		T ≥ 6	25		T ≥ 6					
	 $G = 0$ [T] $R = 2$ $\alpha = 35^\circ$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 35^\circ$	 $G = 0$ [T] $R = 2$ $\alpha = 35^\circ$	 $G = 0$ [T] $R = 2$ $\alpha = 35^\circ$	 $G = 0$ $R = 2$ $\alpha = 35^\circ$															
フレア溶接	31		6 ≤ T ≤ 16	32		T ≥ 19	33		6 ≤ T ≤ 16											
	 <table border="1"> <tr><td>T</td><td>6</td><td>8</td><td>12</td><td>14</td><td>16</td></tr> <tr><td>S</td><td>6</td><td>8</td><td>9</td><td>10</td><td>12</td></tr> </table>	T	6	8	12	14	16	S	6	8	9	10	12	 $S = \frac{1}{3}T$ $R = \frac{1}{3}T$ $\alpha = 60^\circ$	 $R = T$					
T	6	8	12	14	16															
S	6	8	9	10	12															
その他の溶接	41		a ≥ 2min(T, 3d)	42		a ≥ 2T	43		a ≥ 0.3d 変形長 L = 6d	44		a ≥ 0.3d 変形長 L = 10d								
	 $a \geq 2\min(T, 3d)$	 $a \geq 2T$	 $a \geq 0.3d$ 変形長 L = 6d	 $a \geq 0.3d$ 変形長 L = 10d																
その他の溶接	バンドプレート		ボックス柱（電機溶接）		（部分溶接溶接と完全溶接溶接の境界）		（サブマージアーク溶接）		CES		エレクトロスラグ溶接									
	 T : バンドプレートの厚さ α : 溶接部の傾斜角 45° 以上	 T : ボックス柱の厚さ α : 溶接部の傾斜角 45° 以上	 T : 溶接部の厚さ α : 溶接部の傾斜角 45° 以上	 T : 溶接部の厚さ α : 溶接部の傾斜角 45° 以上	 T : 溶接部の厚さ α : 溶接部の傾斜角 45° 以上	 T : 溶接部の厚さ α : 溶接部の傾斜角 45° 以上														

川建QLデッキ合成スラブ設計・施工標準

川建QLデッキ合成スラブの設計・施工は、日本建築学会「各種合成構造設計指針・同解説」、鋼材振興部「デッキプレート取付設計・施工標準」、川建QLデッキ設計マニュアル・同施工マニュアルによる。

設計

材料/デッキプレート

デッキプレート種類	規格	規格	規格	規格
QL99-50-12	QL99-50-15	QL99-75-12	QL99-75-15	QL99-75-18
QL99-99-50-12	QL99-99-50-15	QL99-99-75-12	QL99-99-75-15	QL99-99-75-18
QL99-99-99-50-12	QL99-99-99-50-15	QL99-99-99-75-12	QL99-99-99-75-15	QL99-99-99-75-18
QL99-99-99-99-50-12	QL99-99-99-99-50-15	QL99-99-99-99-75-12	QL99-99-99-99-75-15	QL99-99-99-99-75-18

材料/コンクリート

コンクリート種類	規格	規格	規格	規格
コンクリート	コンクリート	コンクリート	コンクリート	コンクリート
コンクリート	コンクリート	コンクリート	コンクリート	コンクリート
コンクリート	コンクリート	コンクリート	コンクリート	コンクリート

材料/溶接金網・異径鉄筋

溶接金網	規格	規格	規格	規格
溶接金網	溶接金網	溶接金網	溶接金網	溶接金網
溶接金網	溶接金網	溶接金網	溶接金網	溶接金網
溶接金網	溶接金網	溶接金網	溶接金網	溶接金網

接合

接合部	規格	規格	規格	規格
接合部	接合部	接合部	接合部	接合部
接合部	接合部	接合部	接合部	接合部
接合部	接合部	接合部	接合部	接合部

耐火

耐火部	規格	規格	規格	規格
耐火部	耐火部	耐火部	耐火部	耐火部
耐火部	耐火部	耐火部	耐火部	耐火部
耐火部	耐火部	耐火部	耐火部	耐火部

特記

特記部	規格	規格	規格	規格
特記部	特記部	特記部	特記部	特記部
特記部	特記部	特記部	特記部	特記部
特記部	特記部	特記部	特記部	特記部

溶接せり溶接

溶接せり溶接	規格	規格	規格	規格
溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接
溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接
溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接	溶接せり溶接

デッキプレート

デッキプレート	規格	規格	規格	規格
デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート
デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート
デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート

デッキプレート

デッキプレート	規格	規格	規格	規格
デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート
デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート
デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート	デッキプレート

アプセラー

アプセラー	規格	規格	規格	規格
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー

アプセラー

アプセラー	規格	規格	規格	規格
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー

アプセラー

アプセラー	規格	規格	規格	規格
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー

アプセラー

アプセラー	規格	規格	規格	規格
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー

アプセラー

アプセラー	規格	規格	規格	規格
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー

アプセラー

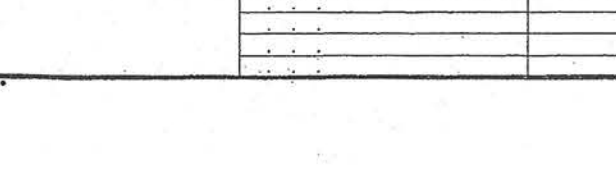
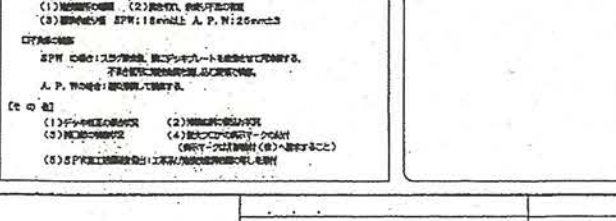
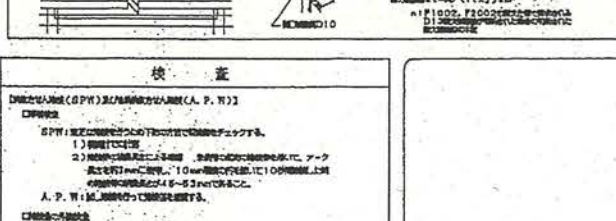
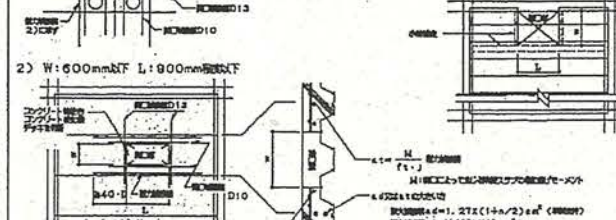
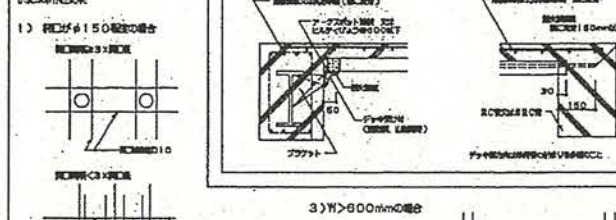
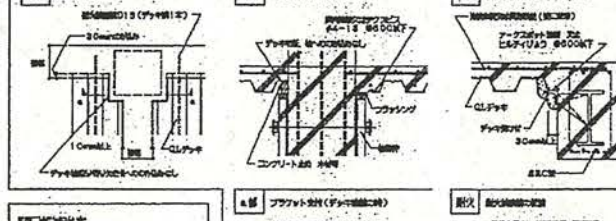
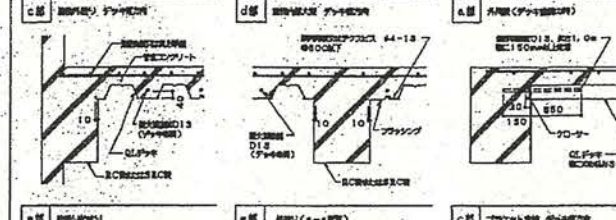
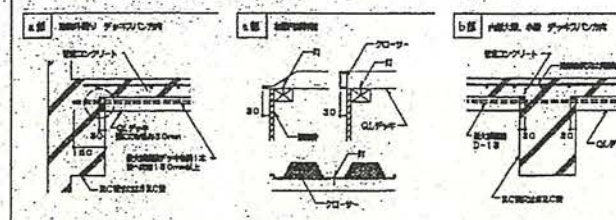
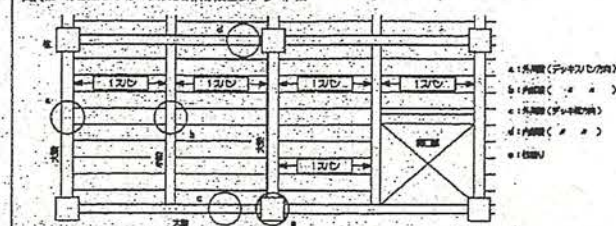
アプセラー	規格	規格	規格	規格
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー

アプセラー

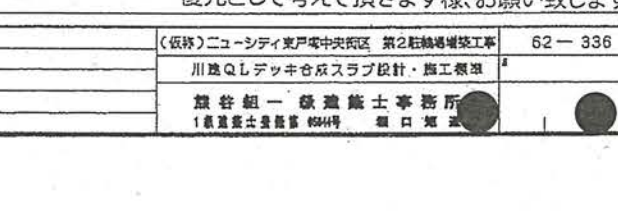
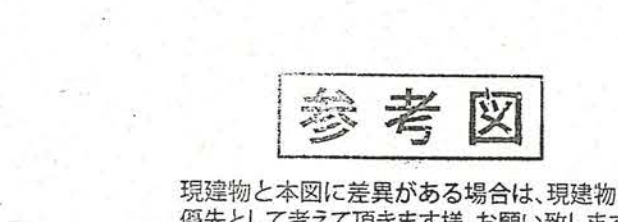
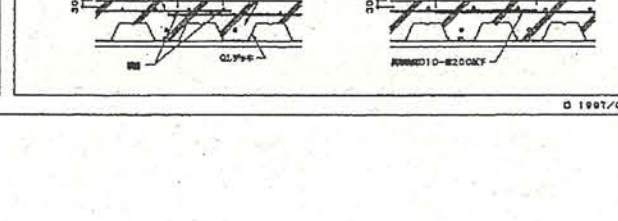
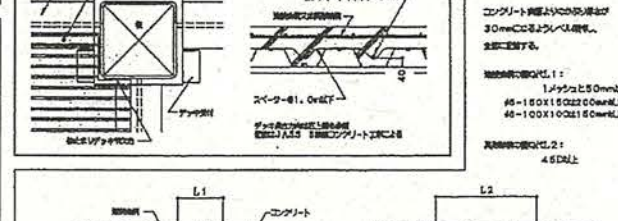
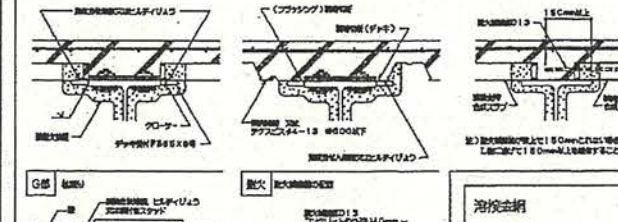
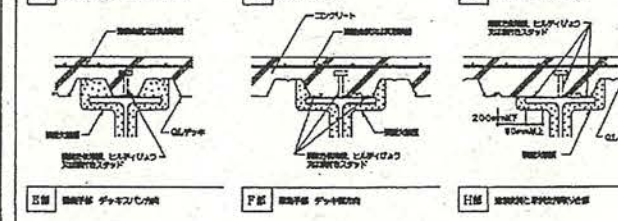
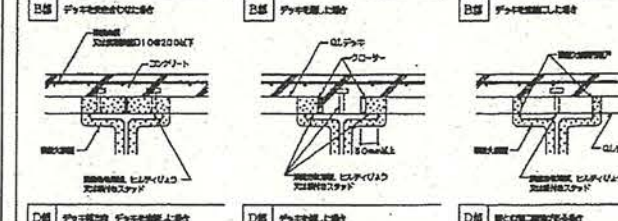
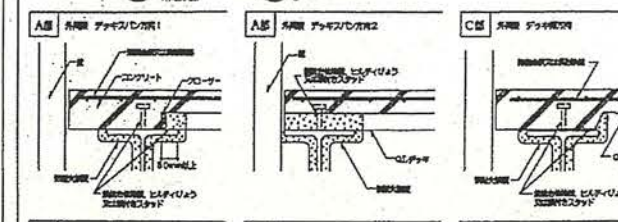
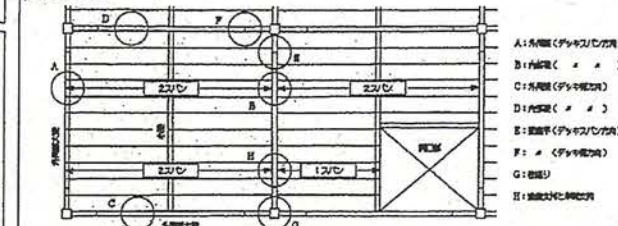
アプセラー	規格	規格	規格	規格
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー
アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー	アプセラー

標準納まり

支持部：鉄筋コンクリート及び鉄骨鉄筋コンクリート梁

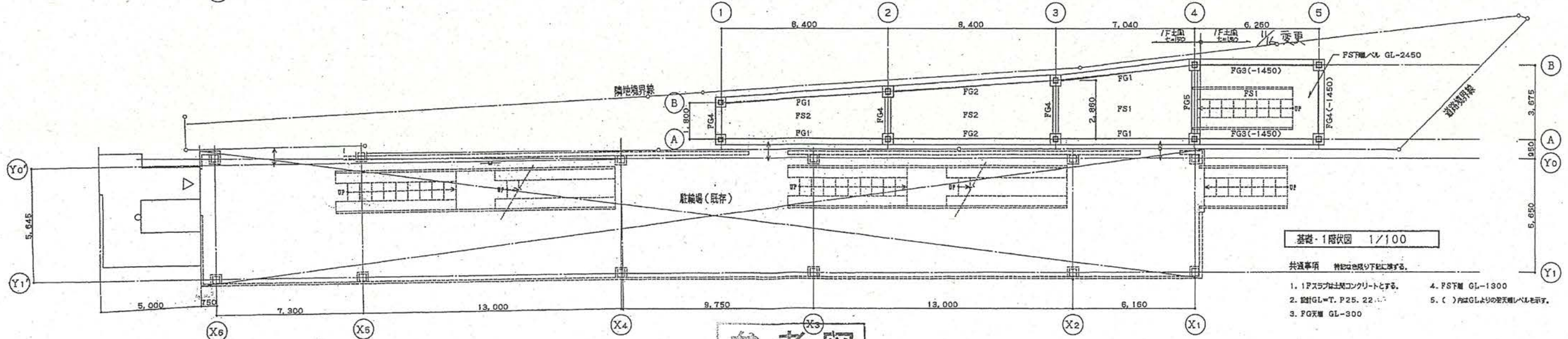
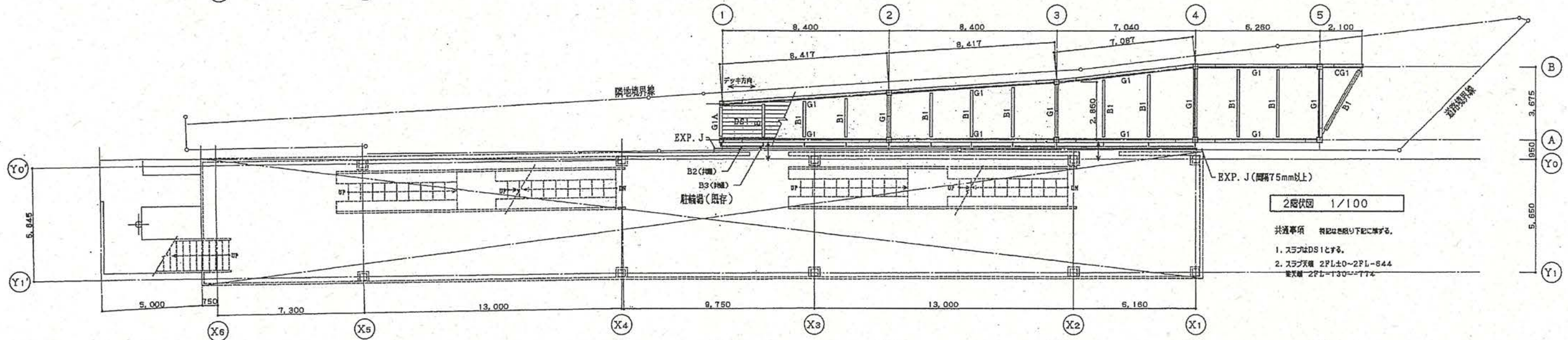
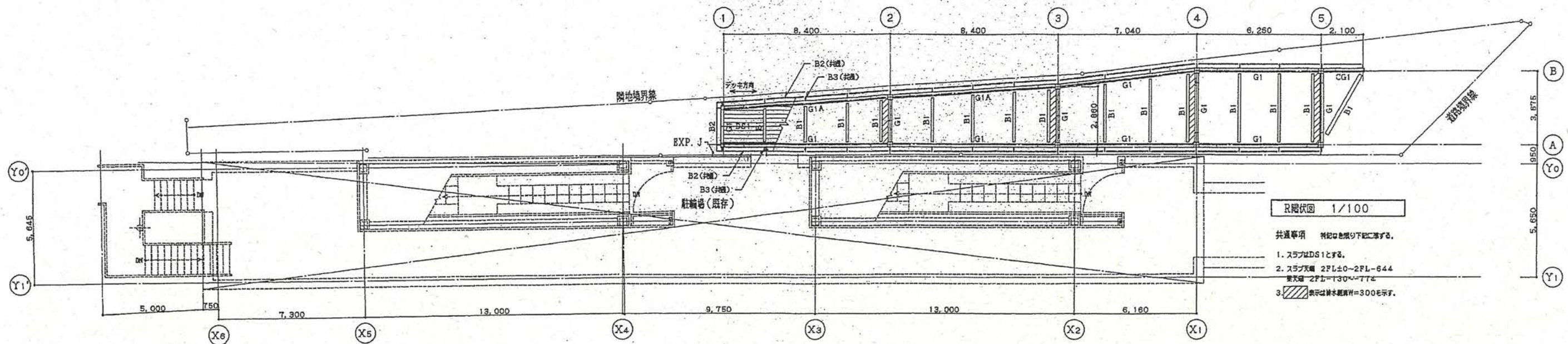


支持部：鉄骨梁



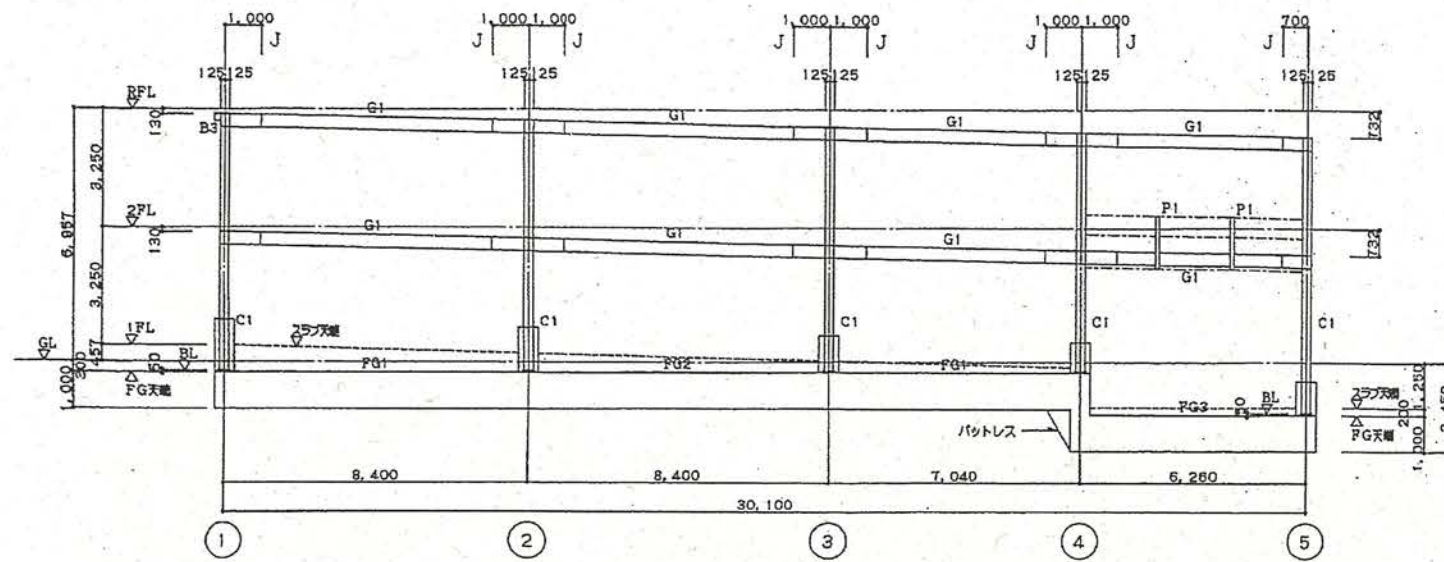
参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

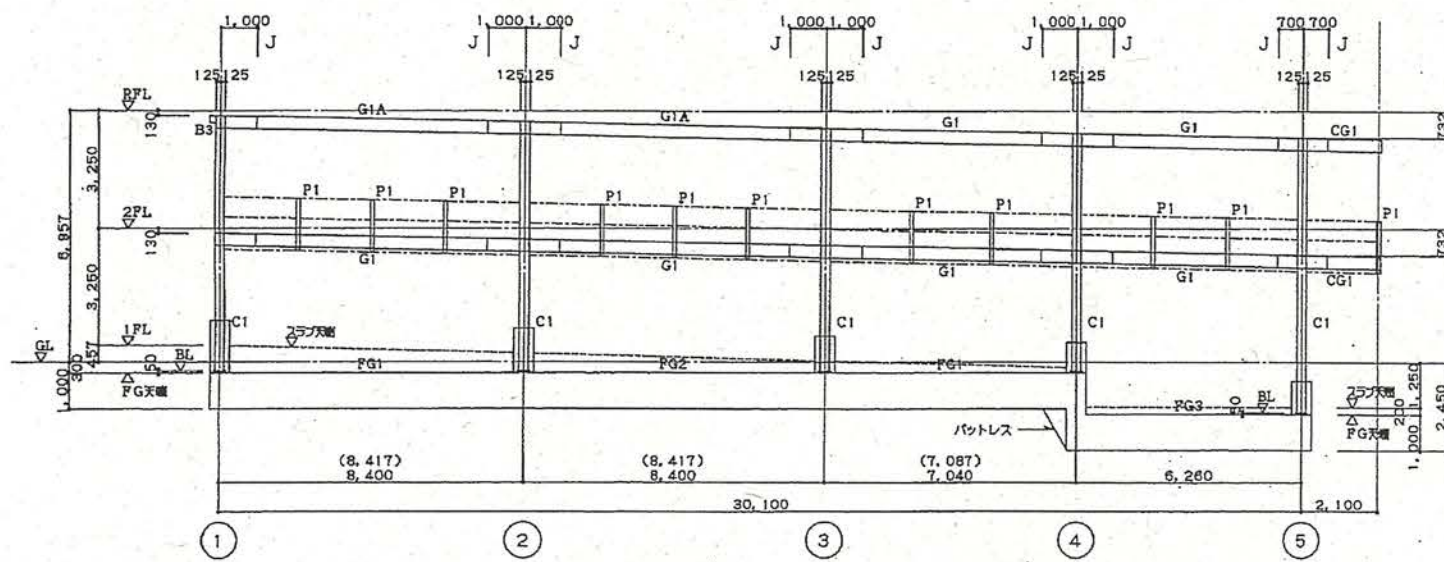


参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します

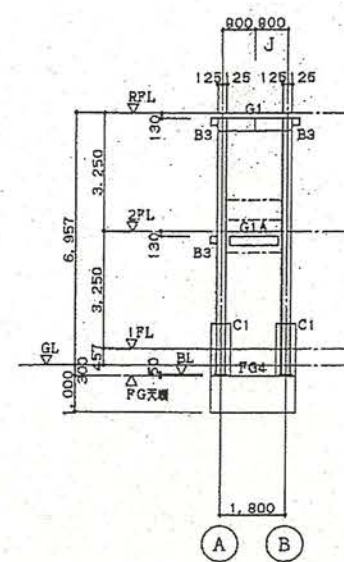


A通り軸組図 1/100

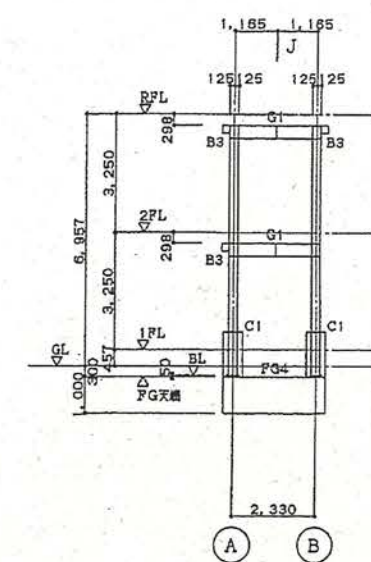


B通り軸組図 1/100

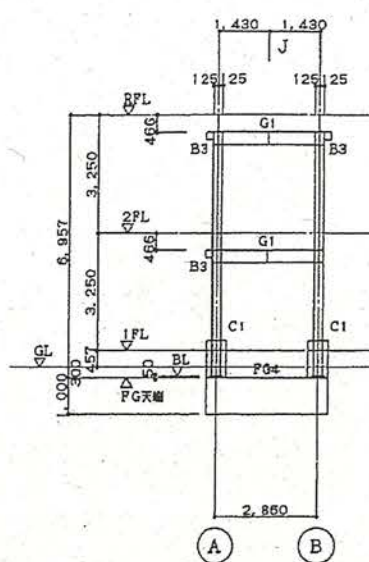
- 共通事項 特記は色傾り下記に準ずる。
1. ()内は実尺を示す。
 2. BL表示はベースプレート下層を示す。
 3. Jはジョイント位置を示す。
 4. --- 表示は断面寸法を示す。
 5. 本図は 1/100 とする。
 6. 1F土間コンクリート下層とFG天板のレベルは差上り差下し打とする。
 7. 板柱は天板 1Fスラブ天板+700とする。



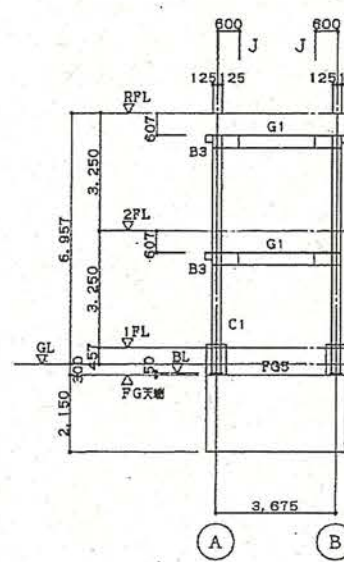
1通り軸組図



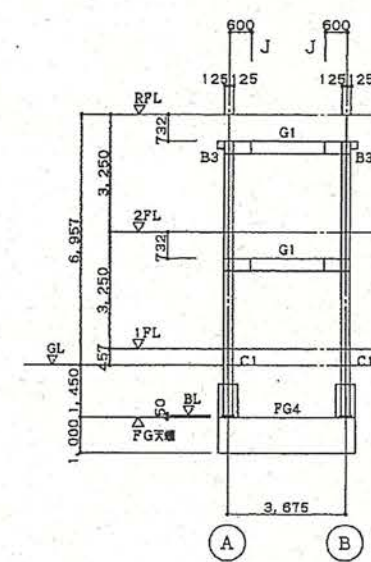
2通り軸組図



3通り軸組図



4通り軸組図



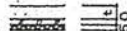
5通り軸組図

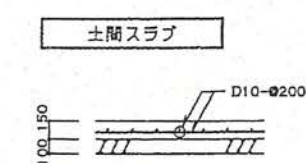
参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

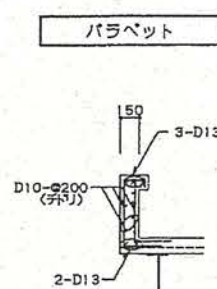
(仮称)ニューシティ東戸塚中央街区 第2駐車場増築工事	62-336	S-09
軸組図	1/100	
熊谷組一級建築士事務所	99.9.30	
1級建築士登録第 4244号 熊谷 知 道		

地中梁リスト 1/30		特記なき限り ・幅止筋 D10@1,000以内									
梁符号	位置	FG1			FG2		FG3		FG4	FG5	備考
		1,4 端	中 央	2,3 端	両端部	中 央	両端部	中 央	全断面	全断面	
断面											
	B x D	300 x 1000			300 x 1000		300 x 1000		300 x 1000	300 x 2150	
	上 端 筋	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	4-D19	3-D19	3-D19	
	下 端 筋	3-D19	3-D19	4-D19	4-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	3-D19	
	S T I R	□-D10 @200			□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200	□-D10 @200	
腰 筋		4-D10			4-D10		4-D10		4-D10	10-D10	

耐圧版リスト		FSの地盤				とする			
符号	版厚	位置	短辺方向			長辺方向			備考
			端部	中央	隅部	端部	中央	隅部	
FS1	250	上縦筋	D13-@150			D13-@200			モデアミ
		下縦筋	D13-@150			D13-@200			
FS2	250	上縦筋	D13-@200			D13-@250			モデアミ
		下縦筋	D13-@200			D13-@250			
		上縦筋							
		下縦筋							
		上横筋							
		下横筋							



デッキスラブリスト		デッキスラブ		デッキプレート		備考	
符号	厚さ	位置	溶接条件	溶接条件	溶接条件	備考	
DS1	50+80	上端筋	φ6x150x150	φ6x150x150	φ6x150x150	引継QLデッキ QL-99-50-12 F1001両用品	
		下端筋					



柱リスト 1/30		特記なき限り ・鉄骨主材 BCR295 ・アンカーボルトは二箇ナット締め、フック付とする。	
階	符号	C1	
		2 階	1 階
断面		□-250x250x16	
		同上	
スタッドボルト		8x4面-φ19 @200 H=80	
根 部			
		B x D	
		550x550	
主 筋		8-D19	
フープ		D10 @100	
備考		柱筋フープ 2-D13	
柱 脚			
		ベースプレート	
		アンカーボルト 4-M16 (L=640)	
備考			

特記なき限り

・鉄骨主材 SS400

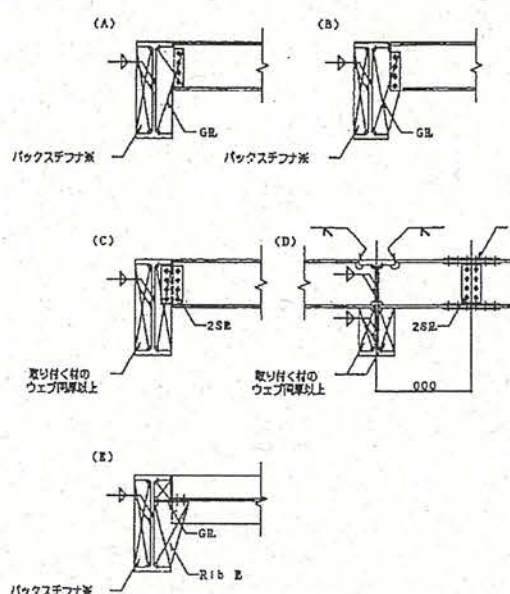
・スタッドボルト φ16 @300(シングル) H=80

大梁リスト

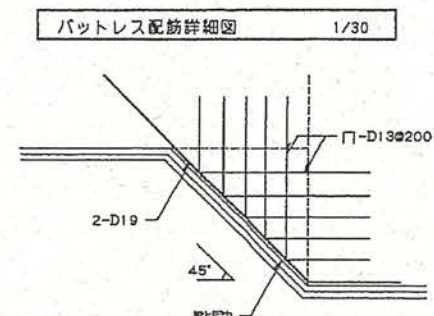
符号	階	位置	部 材	産 手	
				フランジ	ウェブ
G1	R	全断面	H - 346×174× 6× 9	S.E-1 E-9×170×405 S.E-2 2E-9× 65×405 H.T.B 6-M20	S.E-3 2E-6×165×22 H.T.B 3-M20
	2	全断面	同 上	同 上	同 上
G1A	R	全断面	H - 350×175× 7×11	S.E-1 E-9×170×405 S.E-2 2E-9× 65×405 H.T.B 6-M20	S.E-3 2E-6×165×22 H.T.B 3-M20
	2	全断面	H - 346×174× 6× 9	—	ウェブ G.E-9 H.T.B 4-M20
CG1	R	全断面	H - 346×174× 5× 9	S.E-1 E-9×170×405 S.E-2 2E-9× 65×405 H.T.B 6-M20	S.E-3 2E-6×165×22 H.T.B 3-M20
	2	全断面	同 上	同 上	同 上

部材リスト		特記なき限り ・鉄骨主材 SS400			
符号	部 材	ピン 接 合			備 考
		タイプ	プレート	H・T・B	
B1	H - 248x124x 5x 8	A	G. E-6	3-M16	
B2	[- 150x 75x6.5x10	A	G. E-6	2-M16	
B3	[- 150x 75x6.5x10	—	—	—	隅内溶接
脚端	C-100x50x20x2.3 @500	—	—	—	取付ピース E-6 取付ボルト・中ボルト 2-M12
P1	H - 100x100x 8x 8	A	G. E-6	3-M16	

ジョイントタイプ

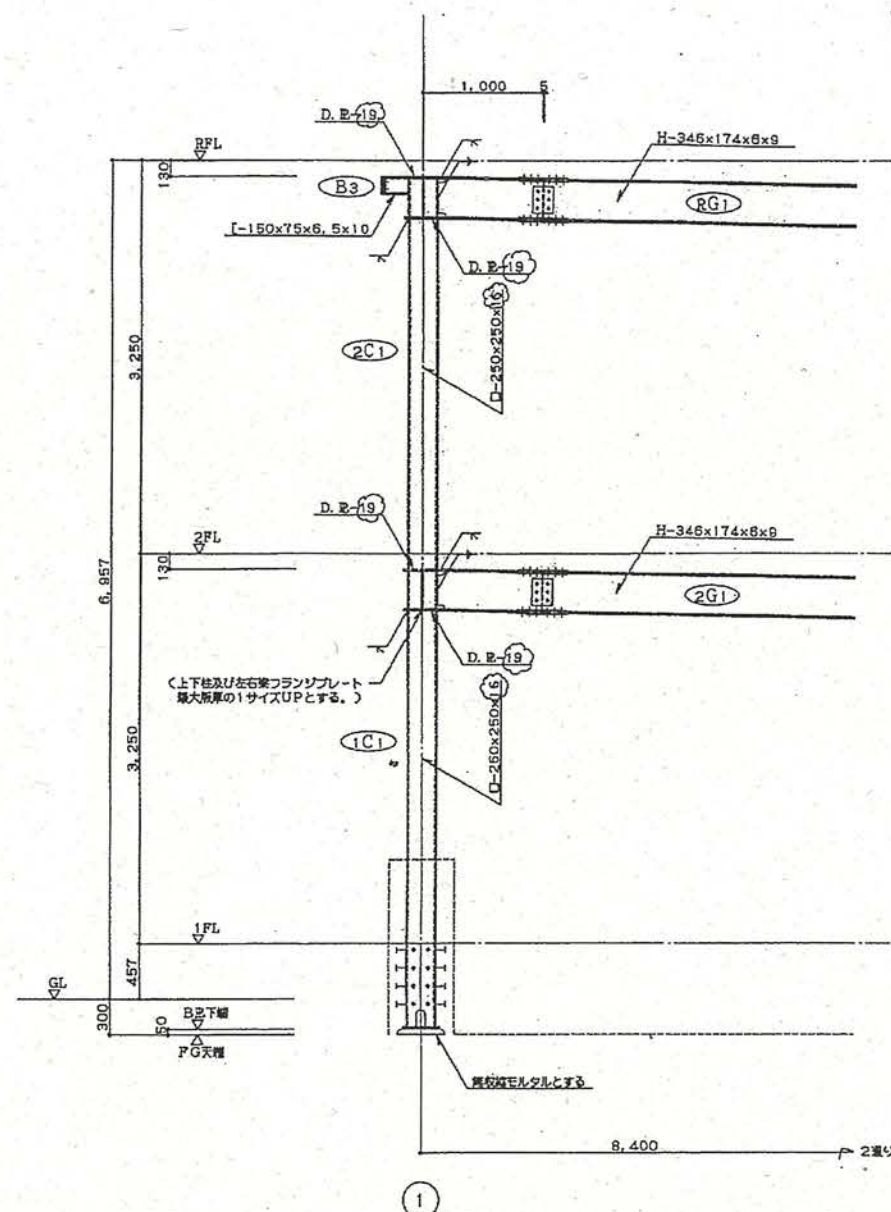


※ バックステッチナシは G 部 同厚とする。右し、200 以内の位置に G.E. が
バックステッチナシにある場合は不変とする。



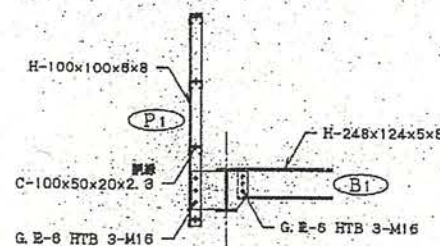
参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

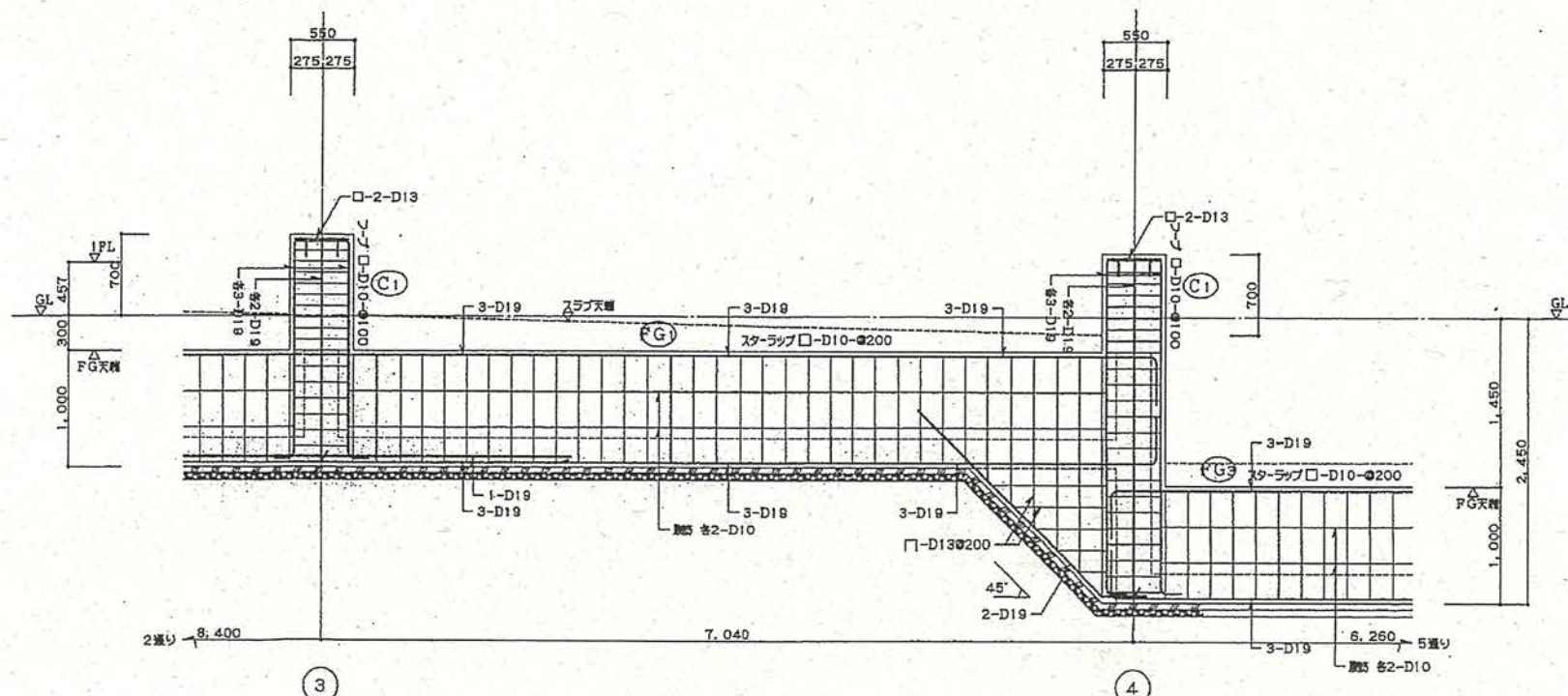
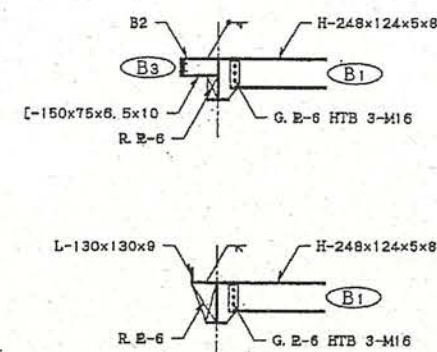


A通り鉄骨詳細図	1/30
特記事項	
鉄骨主材: 鉄: BCR295	
鉄: SS400	
ダイヤフラム: SN400C	

鋼材パネル納り図 (P.1詳細) 1/30



ハネ出し床納り図 1/30



A通りラーメン配筋詳細図	1/30
特記事項	
鉄骨主材: 鉄: BCR295	
鉄: SS400	
ダイヤフラム: SN400C	

参考図

現建物と本図に差異がある場合は、現建物を優先として考えて頂きます様、お願い致します。

12月17日

(仮称) ニューシティ東戸塚中央地区 第2駐車場増設工事	62-336	S-11
A通り鉄骨詳細図・ラーメン配筋詳細図	1/30	
設計者: 一級建築士事務所		
1級建築士登録番号: 第44号		
図: 口 知		

構造設計概要書

工 事 名 称

(仮称) ニューシティ東戸塚中央街区第2 駐輪場増築工事

1999 年 9 月 日

設計者

熊谷組 一級建築士事務所

1級建築士登録 第65844号 堀 口 矩 道

目 次

§ 1	建築物の概要	P 1 -
§ 2	設計方針と使用材料	P 2 -
§ 3	荷 重 ・ 外 力	P 4 -
§ 4	準 備 計 算	P 6 -
§ 5	応 力 解 析	P 7 -
§ 6	断 面 算 定	P 8 -
§ 7	基 礎 ・ 地 盤	P 8 -
§ 8	層間変形角・剛性率・偏心率等	P 9 -
§ 9	保 有 水 平 耐 力	P 10 -

§1 建築物の概要

1. 工事名称 (仮称) ニューシティ東戸塚中央街区第2駐車場増築工事

2. 設計者

(1) 事務所名

(2) 設計者氏名

(3) 構造設計者氏名

(4) 電話番号

3. 敷地の位置 横浜市中区戸塚品港町516-2

4. 用途 名門 駐車場

5. 工事種別 新築・増築・改築

6. 規模

(1) 延べ面積 235.56 m² 建築面積 117.78 m²

(2) 階数 地上 2 階 地下 0 階 塔屋 0 階

(3) 高さ 7.76 m

(4) 軒の高さ 6.50 m

7. 構造概要

(1) 構造種別 (S造)・RC造・SRC造

(2) 骨組形式 X方向 ラーメン構造

Y方向 //

(3) 基礎種別 直接基礎・杭基礎(工法:)

(4) 略図 (基準階伏図)

次頁参照

〔断面図〕

次頁参照

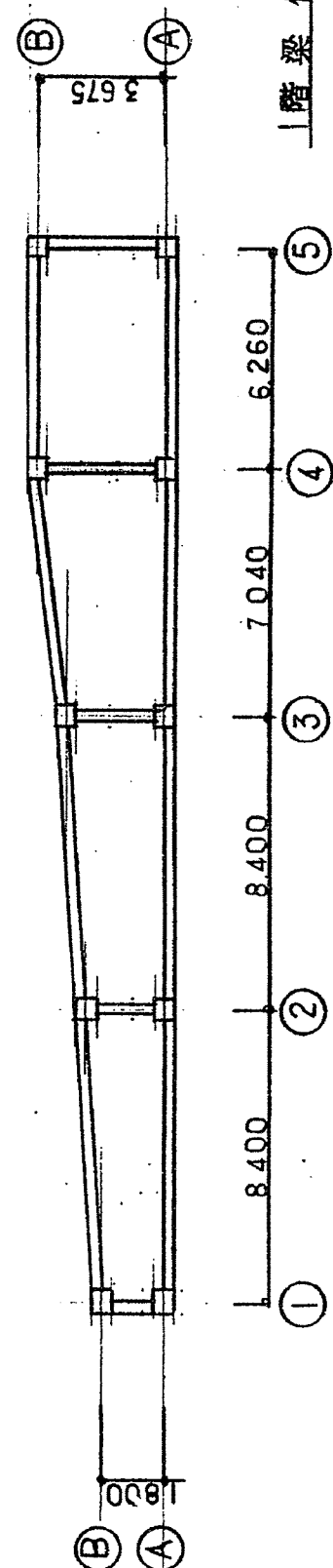
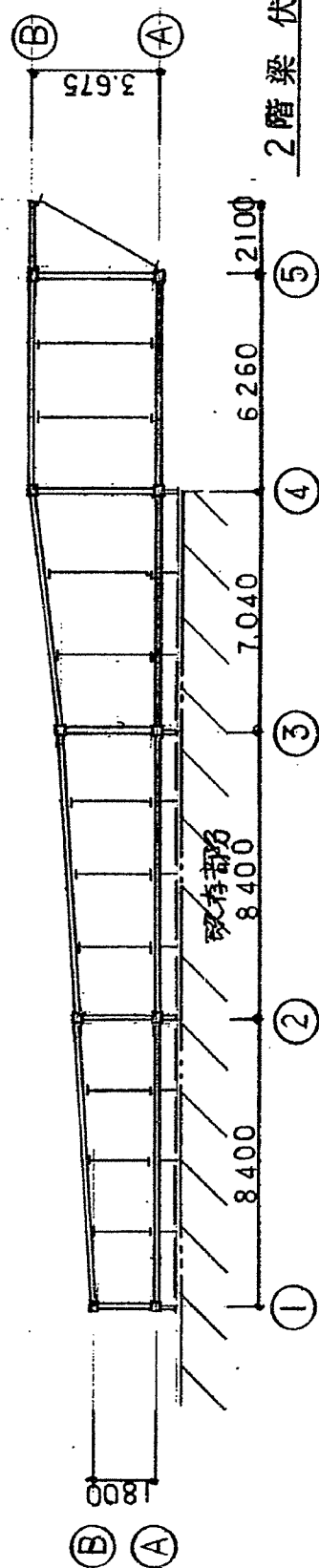
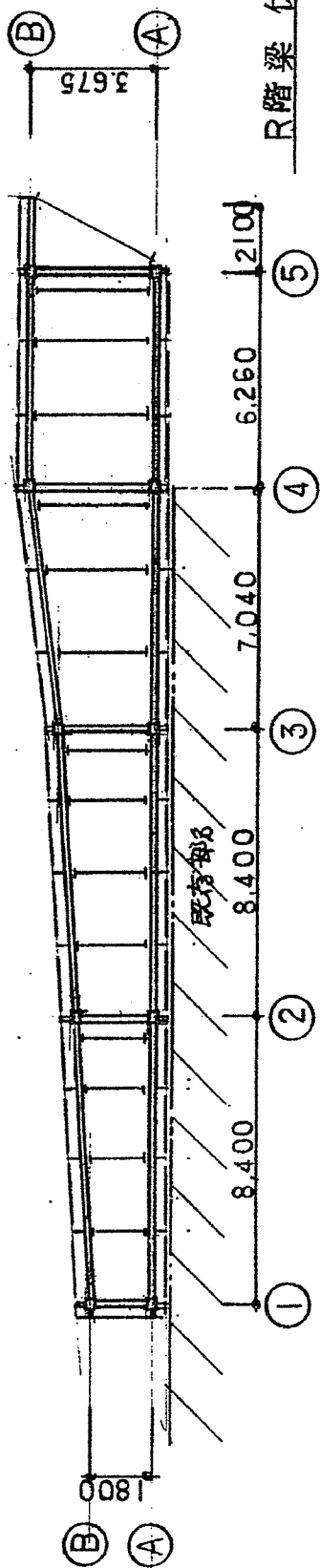
8. その他

- (1) 増築計画 有・☒無
(2) 屋上付属物 有・☒無
(3) その他

§ 2 設計方針と使用材料

1. 設計上準拠した指針・規準等

- ☐ 建築基準法・同施行令・告示等
☐ 構造計算指針・同解説（日本建築センター編）
☒ 鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説
☐ 鉄骨鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説
☒ 鋼構造設計規準
☒ 建築基礎構造設計規準・同解説
☐ プレストレストコンクリート設計施工規準・同解説
☐ 特殊コンクリート造関係設計規準・同解説
☐ 鋼構造塑性設計指針
☐ 建築耐震設計における保有耐力と変形性能
☒ 建築構造設計指針（東京都建築構造行政連絡会監修）
☐
☐
☐



2. 設計方針

(1) 計算ルート X方向ルート 2 - ()

電 (P. 41)

Y方向ルート 2 - ()

(2) 壁・柱量の算定

(P.)

[$\times 10^3$]

方向	階	$\Sigma \square \square A_w$ (cm^2)	$\Sigma \square \square A_c$ (cm^2)	$\Sigma 7A'_w$ (cm)	$\Sigma \square \square A_w + \Sigma \square \square A_c$ + $\Sigma 7A'_w$ (cm)	$\square \square ZWA_i$ (kg)
X						
Y						

(3) その他

(P.)

なし

(4) コンピューターの使用箇所 (一貫計算 評価番号: 807-2136 プログラム名: JSB1(改))

(部分計算 機種:

計算箇所:

3. 使用材料と使用場所

電 (P. 5)

材 料	種 別	使 用 場 所	備 考
コンクリート	FC21	躯体	$\gamma = 2.4$
			$\gamma =$
鉄 筋 鋼 材	SD295A	躯体 (D10~D16)	$\sigma_u = 3.0 \text{ t/cm}^2$ (1.0F) $\cdot 1.1F$
	SD345	躯体 (D19)	$\sigma_u = 3.5$ " "
	SD400	梁	$\sigma_u = 2.9 \text{ t/cm}^2$ (1.0F) $\cdot 1.1F$
	STKR400	柱	" "
	SDC400	胴材	" "
高力ボルト	S10T	各接合部	$T_n = 5000$
溶 接	実合溶接	主要接合部	現場0.9F1.0F, 工場0.9F1.0F
	隅肉溶接	その他接合部	"
そ の 他			

§ 3 荷重・外力

(P. 8)

1. 床 荷 重

(kg/m²)

用 途	種 別	床 用	小ばり用	大ばり・柱・基礎用	地 震 用	備 考
厩 床	D.L.	470	500	500	500	
	L.L.	300	300	225	150	
	T.L.	770	800	765	690	
2階床	D.L.	250	280	320	320	
	L.L.	300	300	225	150	
	T.L.	550	580	545	470	
1階床	D.L.	360	360	360	360	
	L.L.	300	300	225	150	
	T.L.	660	660	585	510	
	D.L.					
	L.L.					
	T.L.					
	D.L.					
	L.L.					
	T.L.					

その他広告塔

t. 設備機器 (

) t

2. 積雪荷重

(P.)

(1) 最深積雪量

30 cm

単位重量

2 kg/m²・cm

(2) 低 減

有・無

§ 4 準備計算

1. 計算仮定

(1) 床剛性

(P.)

QLデッキにスタッドボルトを打設し剛床仮定とする

(2) 壁(ブレース)剛性

(P.)

なし

(3) その他

(P.)

なし

2. 剛性の評価方法

(1) 柱・はり

電 (P. 16)

梁は閉断面スラブとし、床の協働により床剛性をも評価する
(計算機内蔵プログラム)

$$k = \frac{EI}{L}$$

(2) 耐力壁(ブレース)

(P.)

なし

(3) 雑壁等

(P.)

なし

(4) 地盤・くい

(P.)

なし

3. その他

(1) 柱脚の固定度

(P.)

浮き固定 (柱脚は根巻形式とする)

(2) 地中梁の剛性

(P.)

$$k = \frac{EI}{L}$$

(3) その他

(P.)

なし

§ 5 応力解析

1. 鉛直荷重時

電 (P. 27)

(1) 解析方法

SDI (CE) による立体解析

(2) その他 (代表フレームとした場合)

2. 水平荷重時

電 (P. 27)

(1) 解析方法

SDI (CE) による立体解析

(2) その他 (代表フレームとした場合)

(3) フレーム・壁 (ブレース) の分担率

電 (P. 35)

方向	階	ΣD_c	ΣD_w	$\frac{\Sigma D_w}{\Sigma D_c + \Sigma D_w}$	設計用分担率		壁の r_{max}
					柱の分担率	壁の分担率 (ブレース)	
X	2				100%	0%	
	1				"	"	
Y	2				100%	0%	
	1				"	"	

(4) 偏心等による補正 (有)・無

(P.)

§ 6 断面算定

1. 応力の組合せ

電 (P. 43)
47

- (1) 長期 銘直時

- (2) 短期 銘直+地震時

2. 部材の設計方針（日本建築学会の計算式等）

- (1) は 2)

- ① 曲 け

電 (P. 43)

- ② せん断

- (2) 柱

- ① 曲げ、圧縮

建築学会規程書 1253

電 (P. 47)

- ② せん断

- ### (3) 耐力壁 (ブレース)

(P.)

- #### (4) 接合部

(P.)

- (5) その他の考慮 剛域考慮 有・**無**

(P.)

§ 7 基礎・地盤

1. く い 基 礎

(P.)

工 法	径	長 さ	許容支持力	支持地盤の種類	備 考
	cm	m	t/本		

2. 直接基礎

(P. 2/)

- (1) 基礎形式 終基礎
 (2) 長期許容地耐力 5.0 t/m 短期 10.0 t/m
 (3) 深 さ GL- 1.30 m
 (4) 支持地盤の種類 シルト

3. 地盤調査

(P.)

- (1)* 調査の有無 有・無
 (2) 調査方法
 (3) 調査地点

4. その他

(P.)

- (1) 地盤改良 有・無
 (2) NFの処理 有・無
 (3) 水平抵抗の検討 有・無
 (4) 引抜き処理 有・無
 (5) その他

§ 8 層間変形角、剛性率、偏心率等

1. 算定表

電 (P. 39
40)

方向	階	Q_i (t)	ΣD	δ (cm)	γ ($\leq 1/200$)	R_s ($\geq 6/10$)	F_s	R_e ($\leq 15/100$)	F_e	F_{es}
X	2	21.24		0.614	1/529	1.078		0.018		
	1	30.06		0.790	1/452	0.922		0.013		
Y	2	21.24		0.858	1/377	1.063		0.123		
	1	30.06		0.839	1/426	0.937		0.048		

2. その他

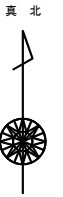
(P.)

なし

平面図

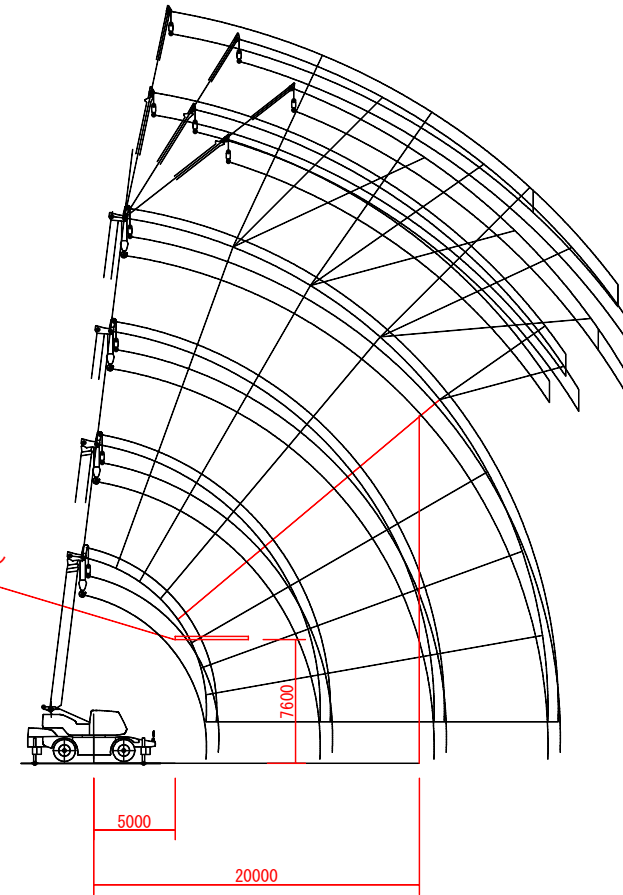
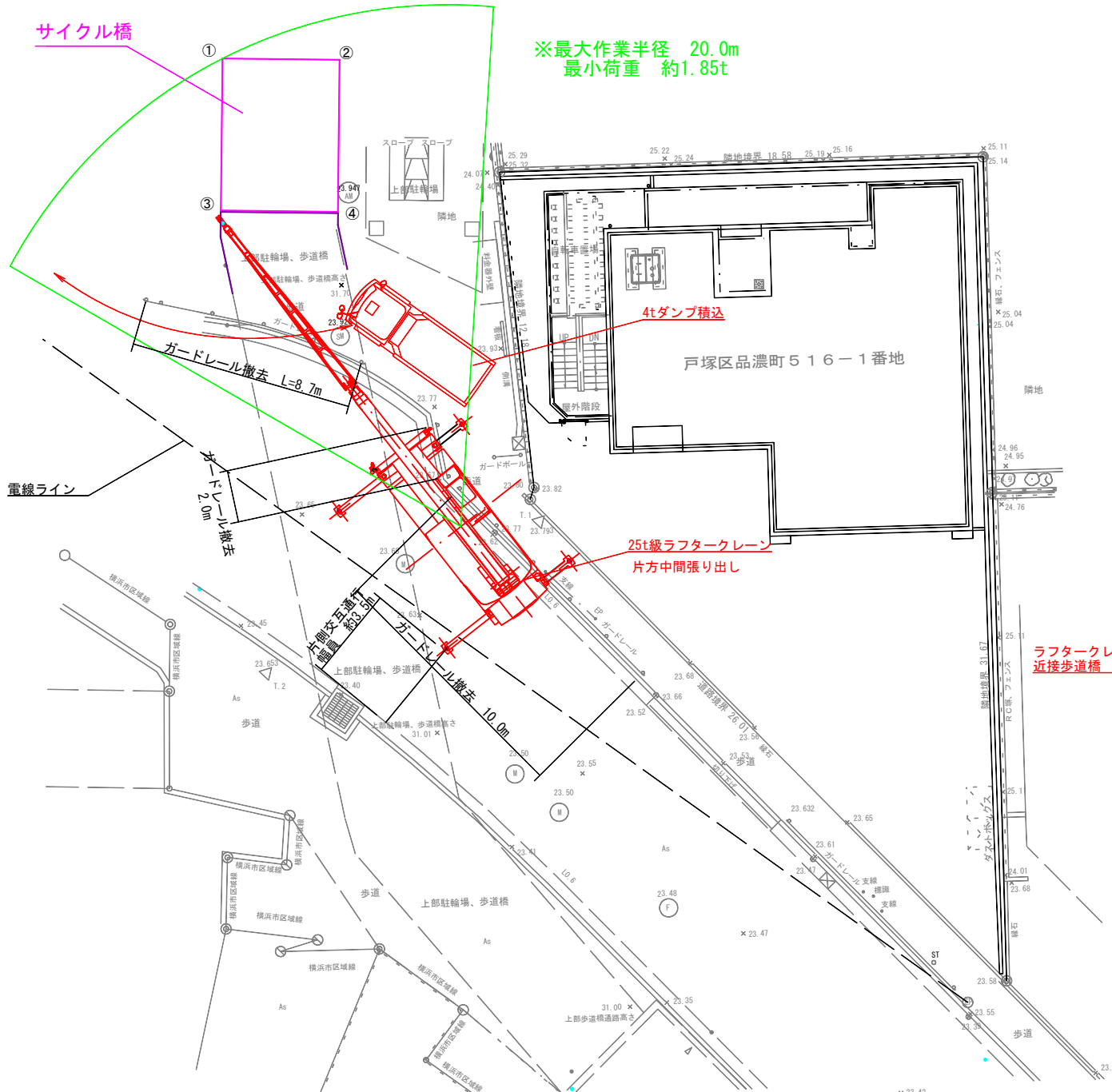
S=1/150

※最大作業半径 20.0m
最小荷重 約1.85t



性能図

S=1/300



※・最低吊り角度 20°
・30.5mブーム使用
・つり荷重 1.85t~4.45t
・作業半径 13.0~20.0m